

感染症発生動向調査事業報告書

令和3年
(2021年)

序

感染症発生動向調査事業は、感染症発生状況の把握・分析、情報提供による感染症の発生及びまん延防止を目的として行われており、「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（感染症法）」に基づく事前対応型の感染症対策として位置づけられています。

東京都健康安全研究センターでは、所内に東京都感染症情報センターを設置し、一類感染症から五類感染症、新型インフルエンザ等感染症及び指定感染症のうち全症例の届出が義務付けられている疾患や、定点医療機関からの届出対象となる五類感染症等について、都内の発生状況や病原体の検出状況等を迅速に把握し、解析・評価を行ったうえで都民や医療機関等に情報提供を行っています。

日本において1例目となる新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の発生が報告されたのは2020年1月でした。その後も世界的なパンデミックは続き、2年以上にわたるCOVID-19流行下での生活は人々に大きな行動変容をもたらしました。手指消毒やマスク着用等が基本的な生活様式の一部として定着し、テレワークやウェブ会議などが急速に普及しました。また、厳しい渡航制限により海外との往来はCOVID-19流行前と比較し大幅に減少しました。これらの影響もあってか、2020年にはインフルエンザをはじめ多くの感染症が軒並み前年より減少しましたが2021年にはCOVID-19以外の感染症の動向にいくつかの注目すべき変化が見られました。インフルエンザが引き続きほとんど発生がみられなかったのに対して、5類感染症（小児科定点把握対象）の一つであるRSウイルス感染症は全国的にこれまでにない流行となり東京都でも報告数が増加しました。コロナ禍以前の東京都では通常RSウイルス感染症は7月に定点あたり1.0を超え、9月に2~3程度でピークとなる傾向にありました。ところが、2021年は5月には1.0を超え、7月にはピークに達し、しかも例年の値の3~4倍となりました（8.92）。また、性感染症の一つである梅毒の東京都での報告数が前年の1,579例から大幅に増加し2,451例となりました（対前年比約1.6倍）。これは1999年に梅毒が感染症法による全数把握対象疾患の5類感染症に定められて以来最多です。このように様々な感染症についてその発生状況を把握し解析するという感染症発生動向調査事業は今後ますます重要となると考えられます。

本報告書は、東京都感染症予防検討委員会における2021年の感染症発生情報の評価や予防策の検討の結果をまとめたものです。各疾患の発生動向につきまして、「小児科・内科疾患（インフルエンザ）」と「基幹定点における疾患」は桜山豊夫委員長に、「眼科疾患」は倉本慶子委員に執筆をお願いしました。また、「一、二、三、四、五類感染症（全数届出）」及び「性感染症」につきましては当センターの疫学情報担当が、「病原体情報」につきましては同じく微生物部が担当しました。

末筆になりましたが、感染症発生動向調査事業にご協力くださいました東京都医師会、定点医療機関および保健所等の関係者の皆様方に厚く御礼を申し上げます。

関係各位におかれましては、感染症対策の一助として本書を広くご活用くださいますようお願い申し上げます。

令和4年5月

東京都健康安全研究センター所長 吉村 和久

目 次

第1章 東京都感染症発生動向調査事業における患者情報

1 発生動向調査の概略

(1) 調査対象疾患	3
(2) 定点医療機関	3
表1 東京都感染症発生動向調査事業定点医療機関数	3
(3) 運営方法	3
(4) 情報発信	4

2 本年（2021年）の概況

(1) 一～四類、五類感染症（全数把握対象）等	4
(2) 五類感染症（定点把握対象）	6
(3) 疑似症（法第14条第1項に規定する厚生労働省令で定める疑似症）	8
表2-1(1) 東京都感染症発生動向調査年別患者報告数（一～四類、五類全数等）	9
表2-1(2) 東京都感染症発生動向調査年別患者報告数（全数動物）	10
表2-2 東京都感染症発生動向調査年別患者報告数（インフルエンザ定点・小児科定点）	11
表2-3 東京都感染症発生動向調査年別患者報告数（眼科定点）	12
表2-4 東京都感染症発生動向調査年別患者報告数（基幹定点週報告分）	12
表2-5 東京都感染症発生動向調査年別患者報告数（基幹定点月報告分）	13
表2-6 東京都感染症発生動向調査年別患者報告数（性感染症定点）	13

3 各疾患の動向

(1) 一～四類、五類感染症（全数把握対象）等

ア 一類感染症	14
イ 二類感染症	14
ウ 三類感染症	14
エ 四類感染症	16
オ 五類感染症（全数把握対象）	20
カ 新型インフルエンザ等感染症	33
表3-1 一～四類、五類感染症（全数把握対象）等 週別患者報告数	35
表3-2 一～四類、五類感染症（全数把握対象）等 保健所別患者報告数	38
表3-3 一～四類、五類感染症（全数把握対象）等 年齢階級別患者報告数	41

(2) 小児科・内科疾患

ア インフルエンザ	44
イ RSウイルス感染症	46
ウ 咽頭結膜熱	47
エ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	48

オ	感染性胃腸炎	49
カ	水痘	50
キ	手足口病	51
ク	伝染性紅斑	52
ケ	突発性発しん	53
コ	ヘルパンギーナ	54
サ	流行性耳下腺炎	55
シ	不明発しん症	56
ス	川崎病	57
(3)	眼科疾患	
ア	急性出血性結膜炎	58
イ	流行性角結膜炎	59
(4)	基幹定点医療機関における週報告疾患	
ア	細菌性髄膜炎	60
イ	無菌性髄膜炎	61
ウ	マイコプラズマ肺炎	62
エ	クラミジア肺炎（オウム病を除く）	63
オ	感染性胃腸炎（ロタウイルスによる）	64
カ	インフルエンザ入院	65
(5)	基幹定点医療機関における月報告疾患	
ア	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌（MRSA）感染症	66
イ	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	67
ウ	薬剤耐性緑膿菌感染症	68
(6)	性感染症	
ア	性器クラミジア感染症	69
イ	性器ヘルペスウイルス感染症	70
ウ	尖圭コンジローマ	71
エ	淋菌感染症	72
オ	臈トリコモナス症	73
表 4-1	週別患者報告数（インフルエンザ・小児科・眼科・基幹）	74
表 4-2	週別定点当たり患者報告数（インフルエンザ・小児科・眼科・基幹）	76
表 5-1	保健所別患者報告数（インフルエンザ・小児科・眼科・基幹）	78
表 5-2	保健所別定点当たり患者報告数（インフルエンザ・小児科・眼科・基幹）	80
表 6	年齢階級別患者報告数（インフルエンザ・小児科・眼科・基幹）	82
表 7-1	二次医療圏別患者報告数（インフルエンザ・小児科・眼科・基幹）	83
表 7-2	二次医療圏別定点当たり患者報告数（インフルエンザ・小児科・眼科・基幹）	84
表 8-1	月別患者報告数（基幹）	85

表 8-2	月別定点当たり患者報告数（基幹）	85
表 8-3	月別・性別患者報告数（基幹）	85
表 8-4	性別・年齢階級別患者報告数（基幹）	86
表 9-1	月別患者報告数（性感染症）	86
表 9-2	月別定点当たり患者報告数（性感染症）	86
表 9-3	月別・性別患者報告数（性感染症）	87
表 9-4	月別・性別定点当たり患者報告数（性感染症）	87
表 9-5	保健所別、二次医療圏別患者報告数（性感染症）	88
表 9-6	保健所別、二次医療圏別定点当たり患者報告数（性感染症）	89
表 9-7	年齢階級別患者報告数（性感染症）	90
表 10	検査結果別報告数（基幹）	90

第2章 東京都感染症発生動向調査事業における病原体情報

1 ウイルス検査結果

(1) 小児科・内科・基幹病原体定点医療機関からの搬入検体

ア	インフルエンザ	93
イ	RS ウイルス感染症	94
ウ	咽頭結膜熱	95
エ	感染性胃腸炎	96
オ	水痘	97
カ	手足口病	98
キ	伝染性紅斑	99
ク	突発性発しん	100
ケ	ヘルパンギーナ	100
コ	流行性耳下腺炎	101
サ	不明発しん症	102
シ	川崎病	103
ス	無菌性髄膜炎	103
(2)	眼科病原体定点医療機関からの搬入検体	104
(3)	性感染症（STI）病原体定点医療機関からの搬入検体	104
(4)	積極的疫学調査による搬入検体	104

2 細菌検査結果

(1)	四類感染症の病原体検索	107
(2)	五類感染症（全数把握対象）の病原体検索	107
(3)	五類感染症（定点把握対象）の病原体検索	109
(4)	性感染症（STI）病原体定点医療機関からの搬入検体	110

第3章 資料

1	東京都感染症発生動向調査定点医療機関名簿	115
2	東京都感染症予防検討委員会委員名簿	131
3	東京都感染症発生動向調査事業の流れ	132
	東京都感染症発生動向調査事業実施要綱	134
	別表1 感染症法に基づく感染症の分類	
1	一類感染症、二類感染症、三類感染症、四類感染症及び指定感染症	146
2	五類感染症（全数把握）	147
3	新型インフルエンザ等感染症	148
4	五類感染症（定点把握）	148
5	疑似症	148
	別表2 五類感染症（定点把握）の調査単位と報告時期	149
	別表3 疑似症の調査単位と報告時期	150
	別記様式一覧表	151
	別記様式1 感染症発生動向調査病原体定点検査票	152
	別記様式2 感染症発生動向調査（小児科定点）	153
	別記様式3 感染症発生動向調査（インフルエンザ定点）	154
	別記様式8 麻疹発生届	155
	別記様式10 梅毒発生届	157
	別記様式11 風疹発生届	158
	別記様式74 侵襲性髄膜炎菌感染症発生届	160
	別記様式75 新型コロナウイルス感染症発生届	162

第 1 章

東京都感染症発生動向調査事業における患者情報

1 発生動向調査の概略

(1) 調査対象疾患

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」及び「感染症発生動向調査事業実施要綱」に定められている全数把握対象疾患及び定点把握対象疾患に加え、厚生労働省令で定める疑似症をサーベイランスの調査対象としている。また、東京都が独自に指定する調査対象疾患として、不明発しん症と川崎病を小児科疾患、膻トリコモナス症を性感染症に加えている。

(2) 定点医療機関

患者定点となる医療機関数は、小児科定点 264、内科定点 155、眼科定点 39、基幹定点 25、性感染症定点 55、疑似症定点 38 が設定され、このうち 70 医療機関が病原体定点を兼ねている。なお、小児科定点はインフルエンザ定点としての機能も果たしている。

表 1 東京都感染症発生動向調査事業定点医療機関数

(2021年12月31日現在)

定点種別(疾患数)	患者定点数	病原体定点数
小児科定点 (13)	264	26
内科定点 (1)	155	15
眼科定点 (2)	39	4
基幹定点 (9)	25	21
性感染症定点 (5)	55	4
疑似症定点	38	

(3) 運営方法

全数把握対象疾患は、診断後直ちに（五類感染症は7日以内、ただし侵襲性髄膜炎菌感染症、風しん及び麻しんは診断後直ちに）保健所に届出が行われるほか、小児科定点、内科定点、眼科定点及び基幹定点からの報告は週単位で、性感染症定点からの報告は月単位でなされる。ただし、基幹定点から報告される一部の疾患（薬剤耐性菌による感染症）については月単位となっている。

週単位で報告される疾患については、毎週月曜日から日曜日までに診断された患者を、小児科、内科、眼科の各定点医療機関は年齢別の患者数、基幹定点医療機関は年齢及び検出病原体名を所定の調査票に記入し保健所に送付する。

月単位で報告される疾患については、性感染症定点医療機関は当該月の年齢別患者数、基幹定点医療機関は当該月の患者の年齢、検体採取部位を所定の調査票に記入し保健所に送付する。

疑似症サーベイランスでは、疑似症定点医療機関において届出基準を参考とし、当該疑似症の患者と診察された場合に、所定の調査票を直ちに保健所に送付する。

医療機関から届いた情報は、保健所が感染症発生動向調査システムに入力する。東京都健康安全研究センター疫学情報担当（基幹地方感染症情報センター）（以下、疫学情報担当という）は、保健所からの情報を確認後、国へ送信する。

また、疑似症については、保健所は随時、福祉保健局感染症対策部防疫・情報管理課（以下、防疫・情報管理課という）へ報告する。保健所からの報告を受けた防疫・情報管理課は、疫学情報担当へ報告する。両者で検討の上、疫学情報担当が汎用サーベイランスシステムに入力し、国へ報告する。

新型コロナウイルス感染症又は再興型コロナウイルス感染症の届出は、新型コロナウイルス感染者等情報把握・管理支援システム（HER-SYS）の入力により行われるが、当該システムへの入力環境が医療機関に無い場合には、予め定めた方法により届出を受理した保健所が当該システムへ入力する。

（４）情報発信

新型コロナウイルス感染症を除く患者情報は、全国の情報及び病原体定点で採取された検体からの病原体検出結果と共に、「感染症週報」として東京都感染症情報センターホームページで公開され、広く都民に情報還元が図られている。さらに都医ニュースの特定の感染症を取り上げ、週報に「感染症豆知識」として掲載している。

また、隔月第４木曜日を目途に開催される東京都感染症予防検討委員会において直近２か月分の情報について討議し、その情報は東京都医師会雑誌に「感染症だより」として掲載されている。

２ 本年（2021年）の概況

（１）一～四類、五類感染症（全数把握対象）等

ア 一類感染症

一類感染症の届出はなかった。

イ 二類感染症

急性灰白髄炎、ジフテリア、重症急性呼吸器症候群、中東呼吸器症候群、鳥インフルエンザ（H5N1）、鳥インフルエンザ（H7N9）の届出はなかった。結核については別途「東京都における結核の概況」として報告する。

ウ 三類感染症

細菌性赤痢：２件の届出があった。菌種は全て *flexneri* であった。推定感染地は国内１件、国外１件であった。

腸管出血性大腸菌感染症：３２９件の届出があった。血清型・毒素型は O157 VT1・VT2 が 100 件で最多であった。症状別では患者 217 人（うち溶血性尿毒症症候群 6 人）、無症状病原体保有者 112 人で、推定感染地は国内 260 件、不明 69 件であった。

腸チフス：１件の届出があった。

エ 四類感染症

E型肝炎：113 件の届出があった。推定感染地は国内 93 件、不明 20 件であった。

A型肝炎：14 件の届出があった。推定感染地は国内 13 件、不明 1 件であった。推定感染経路は、経口感染 1 件、性的接触 3 件、家庭内感染 2 件、糞口感染 2 件、不明 6 件であった。

エキノコックス症：１件の届出があった。

Q熱：１件の届出があった。

つつが虫病：12 件の届出があった。推定感染地は全て国内で、東京都 9 件（多摩地区 6 件、島しょ地区 3 件）、埼玉県、長野県、静岡県各 1 件であった。

日本紅斑熱：４件の届出があった。感染経路は、動物・蚊・昆虫等からの感染 3 件、その他 1 件であった。

ボツリヌス症：１件の届出があり、推定感染地は国内であった。

マラリア： 11 件の届出があった。病型は熱帯熱マラリア 7 件、卵型マラリア 2 件、三日熱マラリア 1 件、不明 1 件であった。

レジオネラ症： 163 件の届出があった。病型は肺炎型 154 件、ポンティアック熱型 9 件で、死亡例は 4 人報告された。推定感染地は国内 147 件、不明 16 件であり、公共浴場施設（温泉を含む）での感染と推定されたのは 23 件であった。

レプトスピラ症： 3 件の届出があった。推定感染地は全て国内であった。

オ 五類感染症（全数把握対象）

アメーバ赤痢： 97 件の届出があった。腸管アメーバ症 90 件、腸管外アメーバ症 2 件、腸管及び腸管外アメーバ症 5 件であった。推定感染地は国内 75 件、国外 6 件、不明 16 件であった。

ウイルス性肝炎（E型肝炎及びA型肝炎を除く）： 49 件の届出があった。B型肝炎 37 件、C型肝炎 8 件、サイトメガロウイルス（CMV）肝炎 3 件、エプスタイン・バーウイルス（EBV）肝炎 1 件であった。

カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症： 210 件の届出があった。推定感染地は国内 188 件、不明 22 件であった。

急性弛緩性麻痺： 2 件の届出があった。推定感染地はすべて国内であった。

急性脳炎： 26 件の届出があった。病原体はヘルペスウイルス 10 件、RS ウイルス 2 件、EB ウイルス、パラインフルエンザウイルス 3 型各 1 件、不明 12 件であった。

クロイツフェルト・ヤコブ病： 12 件の届出があった。孤発性プリオン病・古典型クロイツフェルト・ヤコブ病（CJD）が 10 件、孤発性プリオン病・その他が 1 件、遺伝性プリオン病・家族性 CJD が 1 件であった。

劇症型溶血性レンサ球菌感染症： 85 件の届出があった。血清群別では A 群 25 件、B 群 28 件、C 群 1 件、G 群 31 件であった。死亡例は 14 人報告された。

後天性免疫不全症候群： 357 件の届出があった。AIDS 患者 63 人、HIV 感染者 294 人（指標疾患以外の有症候者 26 人、無症候性キャリア 268 人）であった。推定感染地は国内 300 件、国外 16 件、国内又は国外 2 件、不明 39 件であった。推定感染経路は、性的接触 327 件（同性間 261 件、異性間 30 件、両性間 6 件、性別不明 30 件）、不明 30 件であった。

ジアルジア症： 8 件の届出があった。

侵襲性インフルエンザ菌感染症： 20 件の届出があった。血清型は f 型 2 件、b 型 1 件、型別不能 12 件、検査未実施 5 件であった。ワクチン接種歴は 4 回 1 件、なし 3 件、不明 16 件であった。

侵襲性肺炎球菌感染症： 128 件の届出があった。死亡例は 6 人報告された。ワクチン接種歴は 4 回 22 件、3 回 7 件、2 回 2 件、1 回 11 件、なし 31 件、不明 55 件であった。

水痘（入院例）： 32 件の届出があった。死亡例の報告はなかった。推定感染地は国内 26 件、不明 6 件であった。

梅毒： 2,451 件の届出があった。早期顕症梅毒 I 期 903 件、早期顕症梅毒 II 期 939 件、晩期顕症梅毒 28 件、先天梅毒 3 件、無症候 578 件であった。

播種性クリプトコックス症： 14 件の届出があった。推定感染地は国内 10 件、不明 4 件であった。

破傷風： 4 件の届出があった。推定感染地はすべて国内であった。

バンコマイシン耐性腸球菌感染症： 12 件の届出があった。耐性遺伝子型は *vanA* 4 件、*vanB* 4 件、検査未実施 4 件であった。

百日咳：69件の届出があった。ワクチン接種歴は、4回22件、3回2件、1回3件、なし2件、不明40件であった。

風しん：2件の届出があり、全て検査診断例（抗体検査）であった。

薬剤耐性アシネトバクター感染症：1件の届出があった。

カ 新型インフルエンザ等感染症

新型コロナウイルス感染症：2020年1月31日に指定感染症として定められた後、2021年2月13日より新型インフルエンザ等感染症に変更された。2022年3月31日現在、新型コロナウイルス感染症等情報把握・管理支援システムHER-SYS上で保健所確認済となっている登録データによると、2021年に295,833件の届出があった。

（2）五類感染症（定点把握対象）

ア 小児科・内科疾患

2021年は五類感染症（定点把握対象）の小児科・内科疾患の多くが2020年と同様に2019年と比較して減少傾向にあった。新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に対する予防行動が活発化している影響もあってか、飛沫感染が主要な感染経路と考えられる疾患の多くが引き続き報告数を大きく減少させた。人と人との接触が減った影響もあり、それ以外の疾患も前々年（2019年）の報告数に比べて報告数が減少した疾患が多かった。いっぽうで、RSウイルス感染症は前年（2020年）に流行が見られなかった反動か、前々年（2019年）の報告数を大きく上回り、過去10年間の平均値の倍以上の報告があった。そのほか、咽頭結膜熱、感染性胃腸炎、手足口病、ヘルパンギーナ、川崎病の5疾患が前年（2020年）の報告数を上回った。

【前年比減少疾患】

インフルエンザ：2021年の報告数は43人、定点当たり0.11人であった。前年比（定点当たり）は0.01未満であった。

A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎：2021年の報告数は4,014人、定点当たり15.58人であった。前年比（定点当たり）は0.30であった。

水痘：2021年の報告数は1,287人、定点当たり4.99人であった。前年比（定点当たり）は0.50であった。

伝染性紅斑：2021年の報告数は265人、定点当たり1.03人であった。前年比（定点当たり）は0.57であった。

【前年並みであった疾患】

咽頭結膜熱：2021年の報告数は1,596人、定点当たり6.19人であった。前年比（定点当たり）は1.06であった。

突発性発しん：2021年の報告数は5,291人、定点当たり20.53人であった。前年比（定点当たり）は0.94であった。

流行性耳下腺炎：2021年の報告数は651人、定点当たり2.53人であった。前年比（定点当たり）は0.95であった。

不明発しん症：2021年の報告数は443人、定点当たり1.72人であった。前年比（定点当たり）は0.90であった。

【前年比増加疾患】

RS ウイルス感染症：2021年の報告数は16,189人、定点当たり62.94人であった。前年比（定点当たり）は28.56であった。

感染性胃腸炎：2021年の報告数は45,400人、定点当たり176.04人であった。前年比（定点当たり）は1.14であった。

手足口病：2021年の報告数は2,542人、定点当たり9.82人であった。前年比（定点当たり）は2.46であった。

ヘルパンギーナ：2021年の報告数は2,595人、定点当たり10.03人であった。前年比（定点当たり）は3.84であった。

川崎病：2021年の報告数は168人、定点当たり0.65人であった。前年比（定点当たり）は1.29であった。

イ 眼科疾患

急性出血性結膜炎：2021年の報告数は2人、定点当たり0.05人、定点あたりの当年/前年比は0.18であった。

流行性角結膜炎：2021年の報告数は284人、定点当たり7.51人、定点あたりの当年/前年比は0.78であった。

ウ 基幹定点における週報告疾患

細菌性髄膜炎：2021年の報告数は24人、定点当たり0.96人であった。前年比（定点当たり）は0.96であった。

無菌性髄膜炎：2021年の報告数は25人、定点当たり1.01人であった。前年比（定点当たり）は0.78であった。

マイコプラズマ肺炎：2021年の報告数は19人、定点当たり0.76人であった。前年比（定点当たり）は0.11であった。

クラミジア肺炎（オウム病を除く）：2021年の報告数は17人、定点当たり0.68人であった。前年比（定点当たり）は0.67であった。

感染性胃腸炎（ロタウイルスによる）：2021年の報告数は4人、定点当たり0.16人であった。前年比（定点当たり）は0.50であった。

インフルエンザ入院：2021年の報告数は2人、定点当たり0.08人であった。前年比（定点当たり）は0.01であった。

エ 基幹定点における月報告疾患

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：2021年の報告数は814人、定点当たり32.56人であった。前年比（定点当たり）は0.99であった。

ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：2021年の報告数は42人、定点当たり1.68人であった。前年比（定点当たり）は1.91であった。

薬剤耐性緑膿菌感染症：2021年の報告数は5人、定点当たり0.20人であった。前年比（定点当たり）は0.71であった。

オ 性感染症

2021年の定点当たり報告数は、臙トリコモナス症を除く4疾患で、前年と比較して増加した。

性器クラミジア感染症：2021年の報告数は2,225人（定点当たり40.69人）で、前年比1.04とわずかに増加した。男性1,339人（前年比1.07）、女性886人（前年比0.98）であった。

性器ヘルペスウイルス感染症：2021年の報告数は718人（定点当たり13.14人）で、前年比1.07とわずかに増加した。男性400人（前年比1.11）、女性318人（前年比1.02）であった。

尖圭コンジローマ：2021年の報告数は1,056人（定点当たり19.31人）で、前年比1.09とわずかに増加した。男性の報告数は653人（前年比1.02）、女性403人（前年比1.22）であった。

淋菌感染症：2021年の報告数は1,018人（定点当たり18.62人）で、前年比1.15と増加した。男性の報告数は758人（前年比1.18）、女性260人（前年比1.06）であった。

臙トリコモナス症：2021年の報告数は95人（定点当たり1.74人）で、過去10年で最も少ない報告数となった。男性1人（前年比0.20）、女性94人（前年比0.97）であった。

（3）疑似症

疑似症の報告はなかった。

表2-1(1) 東京都感染症発生動向調査年別患者報告数

(一～四類、五類全数等)

		2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
一類	エボラ出血熱	-	-	-	-	-	-	-
	クリミア・コンゴ出血熱	-	-	-	-	-	-	-
	痘そう	-	-	-	-	-	-	-
	南米出血熱	-	-	-	-	-	-	-
	ペスト	-	-	-	-	-	-	-
	マールブルグ病	-	-	-	-	-	-	-
	ラッサ熱	-	-	-	-	-	-	-
二類	急性灰白髄炎	-	-	-	-	-	-	-
	結核	2,306	2,340	2,213	1,970	1,810	1,589	1,429
	ジフテリア	-	-	-	-	-	-	-
	重症急性呼吸器症候群	-	-	-	-	-	-	-
	中東呼吸器症候群 ^{*9}	-	-	-	-	-	-	-
	鳥インフルエンザ(H5N1) ^{*1}	-	-	-	-	-	-	-
鳥インフルエンザ(H7N9) ^{*6}	-	-	-	-	-	-	-	
三類	コレラ	1	2	2	-	2	-	-
	細菌性赤痢	53	40	34	109	27	11	2
	腸管出血性大腸菌感染症	335	452	467	466	388	332	329
	腸チフス	14	18	8	11	3	2	1
	パラチフス	9	8	6	10	4	1	-
四類	E型肝炎	39	37	57	101	128	118	113
	ウエストナイル熱	-	-	-	-	-	-	-
	A型肝炎	39	65	65	421	143	24	14
	エキノкокクス症	1	-	1	-	-	-	1
	黄熱	-	-	-	-	-	-	-
	オウム病	-	2	-	2	3	1	-
	オムスク出血熱	-	-	-	-	-	-	-
	回帰熱	-	-	2	-	-	-	-
	キャサナル森林病	-	-	-	-	-	-	-
	Q熱	-	-	-	2	-	-	1
	狂犬病	-	-	-	-	-	-	-
	コクシジオイデス症	2	2	1	-	-	3	-
	サル痘	-	-	-	-	-	-	-
	ジカウイルス感染症 ^{*10}	-	3	-	-	-	-	-
	重症熱性血小板減少症候群 ^{*4}	-	-	-	-	1	-	-
	腎症候性出血熱	-	-	-	-	-	-	-
	西部ウマ脳炎	-	-	-	-	-	-	-
	ダニ媒介脳炎	-	-	-	-	-	-	-
	炭疽	-	-	-	-	-	-	-
	チクングニア熱 ^{*2}	7	4	3	-	11	-	-
	つつが虫病	14	7	13	12	12	21	12
	デング熱	92	90	65	61	130	13	-
	東部ウマ脳炎	-	-	-	-	-	-	-
	鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)	-	-	-	-	-	-	-
	ニパウイルス感染症	-	-	-	-	-	-	-
	日本紅斑熱	1	-	1	-	-	-	4
	日本脳炎	-	-	-	-	-	-	-
	ハンタウイルス肺症候群	-	-	-	-	-	-	-
	Bウイルス病	-	-	-	-	-	-	-
	鼻疽	-	-	-	-	-	-	-
ブルセラ症	2	1	-	-	1	-	-	
ベネズエラウマ脳炎	-	-	-	-	-	-	-	
ヘンドラウイルス感染症	-	-	-	-	-	-	-	
発しんチフス	-	-	-	-	-	-	-	
ボツリヌス症	-	1	2	1	-	1	1	

		2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
四 類	マラリア	16	18	27	14	22	6	11
	野兎病	-	-	-	-	-	-	-
	ライム病	2	-	1	1	1	1	-
	リッサウイルス感染症	-	-	-	-	-	-	-
	リフトバレー熱	-	-	-	-	-	-	-
	類鼻疽	1	-	1	1	-	1	-
	レジオネラ症	153	143	159	164	187	148	163
	レプトスピラ症	10	7	9	5	9	2	3
ロッキー山紅斑熱	-	-	-	-	-	-	-	
五 類 (全 数 届 出)	アメーバ赤痢	205	222	219	163	155	116	97
	ウイルス性肝炎 (A型・E型を除く)	53	69	67	69	98	60	49
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 ^{*7}	236	190	212	233	237	171	210
	急性弛緩性麻痺 (急性灰白髄炎を除く) ^{*12}				8	7	4	2
	急性脳炎	47	85	74	65	81	31	26
	クリプトスポリジウム症	3	2	2	3	4	-	-
	クロイツフェルト・ヤコブ病	24	16	19	25	19	17	12
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	62	65	72	87	126	101	85
	後天性免疫不全症候群	435	464	464	422	406	383	357
	ジアルジア症	19	17	24	19	12	8	8
	侵襲性インフルエンザ菌感染症 ^{*5}	29	46	56	40	85	23	20
	侵襲性髄膜炎菌感染症 ^{*5}	8	5	3	6	5	2	-
	侵襲性肺炎球菌感染症 ^{*5}	323	356	390	401	382	163	128
	水痘 (入院例) ^{*7}	55	56	55	61	80	50	32
	先天性風しん症候群	-	-	-	-	2	-	-
	梅毒	1,044	1,673	1,788	1,775	1,712	1,579	2,451
	播種性クリプトコックス症 ^{*7}	11	20	15	18	12	18	14
	破傷風	2	4	9	8	8	8	4
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	-	-	-	-	-	-	-
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	2	2	8	7	8	8	12
百日咳 ^{*11}				2,434	1,340	262	69	
風しん ^{*3}	33	19	22	947	860	29	2	
麻しん ^{*3}	10	22	28	23	124	2	-	
薬剤耐性アシネトバクター感染症 ^{*8}	13	1	6	4	2	-	1	
新型 [#] 新型コロナウイルス感染症 ^{*13}						68,506	295,833	

*1 2008年5月12日より追加指定。

*2 2011年2月1日より追加指定。

*3 2008年1月1日より五類 (定点把握対象) から五類 (全数把握対象) に変更。

*4 2013年3月4日より追加指定。

*5 2013年4月1日より髄膜炎菌性髄膜炎に替わり指定。

*6 2013年4月26日より指定感染症に定められた後、2015年1月21日より二類感染症に変更。

*7 2014年9月19日より追加指定。

*8 2011年2月1日より五類 (定点把握対象) に追加指定、2014年9月19日に五類 (全数把握対象) に変更。

*9 2014年7月26日より指定感染症に定められた後、2015年1月21日より二類感染症に変更。

病原体がベータコロナウイルス属MERSコロナウイルスであるものに限る。

*10 2016年2月15日より追加指定。

*11 2018年1月1日より五類 (定点把握対象) から五類 (全数把握対象) に変更。

*12 2018年5月1日より追加指定。

*13 2020年2月1日より指定感染症に追加指定、2021年2月13日より新型インフルエンザ等感染症に変更。

新型インフルエンザ等感染症

表2-1(2) 東京都感染症発生動向調査年別患畜報告数 (全数動物)

	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
エボラ出血熱のサル	-	-	-	-	-	-	-
マールブルグ病のサル	-	-	-	-	-	-	-
ペストのプレーリードッグ	-	-	-	-	-	-	-
重症急性呼吸器症候群のイタチアナグマ	-	-	-	-	-	-	-
重症急性呼吸器症候群のタヌキ	-	-	-	-	-	-	-
重症急性呼吸器症候群のハクビシン	-	-	-	-	-	-	-

	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
結核のサル	-	-	-	-	-	-	-
中東呼吸器症候群のヒトコブラクダ ^{*1}	-	-	-	-	-	-	-
鳥インフルエンザ(H5N1又はH7N9)の鳥類	-	-	-	-	-	-	-
細菌性赤痢のサル	-	-	-	-	-	-	-
ウエストナイル熱の鳥類	-	-	-	-	-	-	-
エキノコックス症の犬	-	-	-	-	-	-	-

*1 2014年7月26日より追加指定

表2-2 東京都感染症発生動向調査年別患者報告数
(インフルエンザ定点・小児科定点)

上段:年間報告数

下段:定点当たり

	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
小児科定点数	264	264	264	264	264	264	264	264	264	264
インフルエンザ定点数	419	419	419	419	419	419	419	419	419	419
インフルエンザ	135,064 323.29	75,328 181.11	152,421 367.55	59,435 145.11	125,207 302.31	129,813 314.14	137,262 331.57	148,861 361.04	33,424 81.86	43 0.11
RSウイルス感染症 ^{*1}	6,349 24.51	6,058 23.48	6,183 23.70	7,197 27.82	7,021 27.06	8,838 34.47	7,830 30.49	8,682 34.00	570 2.20	16,189 62.94
咽頭結膜熱	5,510 21.20	6,184 23.89	5,607 21.54	5,385 20.77	5,026 19.38	7,322 28.21	4,671 17.96	4,405 17.04	1,506 5.84	1,596 6.19
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	25,224 96.60	24,801 95.29	27,581 105.60	35,039 134.57	31,211 120.13	30,664 117.71	32,120 123.25	29,223 112.95	13,314 51.33	4,014 15.58
感染性胃腸炎	118,967 455.28	102,987 395.81	84,091 322.84	91,052 350.13	110,239 423.72	84,981 326.63	79,282 304.52	77,421 299.71	40,036 154.79	45,400 176.04
水痘	12,995 49.75	11,452 44.22	10,314 39.69	6,765 26.04	5,541 21.34	5,135 19.73	4,515 17.35	5,739 22.25	2,591 10.05	1,287 4.99
手足口病	5,411 20.90	29,320 114.72	6,089 23.44	32,599 126.39	6,993 26.97	33,056 129.10	8,452 32.65	34,136 132.46	1,020 3.98	2,542 9.82
伝染性紅斑	1,626 6.23	1,608 6.19	5,069 19.44	10,174 39.08	2,485 9.57	1,311 5.04	10,733 41.36	6,071 23.60	465 1.80	265 1.03
突発性発しん	8,547 32.85	8,299 32.00	8,120 31.18	7,816 30.10	7,231 27.87	7,056 27.13	6,771 26.05	5,872 22.77	5,610 21.76	5,291 20.53
百日咳 ^{*2}	286 1.10	91 0.35	158 0.61	300 1.15	181 0.70	113 0.44				
ヘルパンギーナ	13,548 52.28	8,480 33.06	15,874 61.25	7,200 27.91	13,094 50.69	6,812 26.54	8,188 32.01	10,341 40.26	674 2.61	2,595 10.03
流行性耳下腺炎	3,089 11.88	2,549 9.83	3,003 11.57	4,883 18.83	8,526 32.88	2,903 11.16	1,246 4.79	994 3.85	688 2.67	651 2.53
不明発しん症 ^{*3}	1,400 5.40	1,094 4.24	1,158 4.45	1,312 5.06	983 3.79	1,101 4.25	1,073 4.14	817 3.17	492 1.91	443 1.72
川崎病 ^{*3}	177 0.68	221 0.85	180 0.69	199 0.77	208 0.80	205 0.79	214 0.82	150 0.58	131 0.51	168 0.65

*1 2003年45週より実施

*2 2018年1月1日から全数把握対象疾患

*3 東京都独自疾患

表2-3 東京都感染症発生動向調査年別患者報告数

(眼科定点)

上段:年間報告数

下段:定点当たり

	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
定点数	39	39	39	39	39	39	39	39	39	39
急性出血性結膜炎	19 0.50	17 0.45	13 0.34	14 0.36	11 0.28	12 0.31	14 0.37	11 0.29	11 0.29	2 0.05
流行性角結膜炎	1,140 30.01	891 23.68	913 23.79	1,256 32.49	1,201 31.03	1,219 31.48	1,060 28.22	649 17.35	363 9.62	284 7.51

表2-4 東京都感染症発生動向調査年別患者報告数

(基幹定点週報告分)

上段:年間報告数

下段:定点当たり

	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
定点数	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25
細菌性髄膜炎	42 1.68	48 1.93	22 0.88	38 1.52	33 1.32	41 1.64	32 1.28	39 1.57	25 1.00	24 0.96
無菌性髄膜炎	121 4.86	126 5.06	102 4.09	73 2.92	77 3.08	39 1.56	33 1.32	48 1.93	32 1.28	25 1.01
マイコプラズマ肺炎	1,067 42.84	514 20.66	234 9.37	770 30.85	1,047 41.88	237 9.48	230 9.20	349 14.02	169 6.79	19 0.76
クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	14 0.56	40 1.60	21 0.84	59 2.36	50 2.00	46 1.84	40 1.60	39 1.56	25 1.01	17 0.68
感染性胃腸炎 ^{*1} (ロタウイルスによる)		22 0.88	134 5.36	99 3.96	108 4.32	235 9.40	110 4.40	188 7.53	8 0.32	4 0.16
インフルエンザ 入院 ^{*2}	610 24.40	518 20.89	735 29.40	486 19.44	649 25.96	902 36.08	1,113 44.52	1,511 60.49	357 14.28	2 0.08

*1 2013年42週より実施

*2 2011年36週より実施

表2-5 東京都感染症発生動向調査年別患者報告数
(基幹定点月報告分)

上段:年間報告数
下段:定点当たり

	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
定点数	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	1,074 43.25	918 37.26	908 36.44	877 35.21	867 34.68	881 35.24	804 32.16	894 35.76	823 32.92	814 32.56
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	440 17.72	467 18.94	186 7.47	158 6.36	138 5.52	105 4.20	102 4.08	96 3.84	22 0.88	42 1.68
薬剤耐性緑膿菌感染症	24 0.97	32 1.29	21 0.84	28 1.12	22 0.88	3 0.12	9 0.36	8 0.32	7 0.28	5 0.20
薬剤耐性アシネト* バクター感染症	0 0.00	0 0.00	0 0.00							

* 2011年2月より2014年9月18日まで実施

表2-6 東京都感染症発生動向調査年別患者報告数
(性感染症定点)

上段:年間報告数
下段:定点当たり

	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
定点数	55	55	55	55	55	55	55	55	55	55
性器クラミジア感染症	2,315 42.64	2,286 42.46	2,427 44.90	2,678 49.09	2,712 49.39	2,294 41.77	2,551 46.46	2,767 50.93	2,116 39.31	2,225 40.69
性器ヘルペスウイルス感染症	1,311 24.17	1,216 22.60	1,298 24.00	1,329 24.36	1,400 25.49	1,279 23.29	1,037 18.88	977 17.98	663 12.31	718 13.14
尖圭コンジローマ	877 16.17	959 17.84	986 18.22	1,237 22.68	1,321 24.06	1,021 18.58	1,051 19.14	1,564 28.81	956 17.72	1,056 19.31
淋菌感染症	1,035 19.09	1,070 19.87	1,259 23.31	1,394 25.55	1,528 27.82	1,109 20.20	1,104 20.11	1,185 21.81	876 16.25	1,018 18.62
膺トリコモナス症*	129 2.38	113 2.10	127 2.36	151 2.77	117 2.13	110 2.00	128 2.33	118 2.17	100 1.86	95 1.74
梅毒様疾患*	120 2.21	136 2.53	135 2.50	221 4.05						

* 東京都独自疾患、梅毒様疾患は2015年末で終了

3 各疾患の動向

(1) 一～四類、五類感染症（全数把握対象）等

ア 一類感染症

一類感染症（エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう、南米出血熱、ペスト、マールブルグ病、ラッサ熱）は届出がなかった。

イ 二類感染症

① 結核

結核の発生動向は別途、「東京都における結核の概況」で報告する。

② その他の二類感染症

急性灰白髄炎、ジフテリア、重症急性呼吸器症候群、中東呼吸器症候群、鳥インフルエンザ（H5N1）、鳥インフルエンザ（H7N9）は届出がなかった。

ウ 三類感染症

① 細菌性赤痢

2021年は2件の届出があった。菌種は全て *flexneri* であった。性別は全て男性で、年齢階級別では20～29歳1人、50～59歳1人であった。

推定感染地は国内1件、国外1件（インド）であった。

感染経路は、経口感染1件（国内）、不明1件であった。

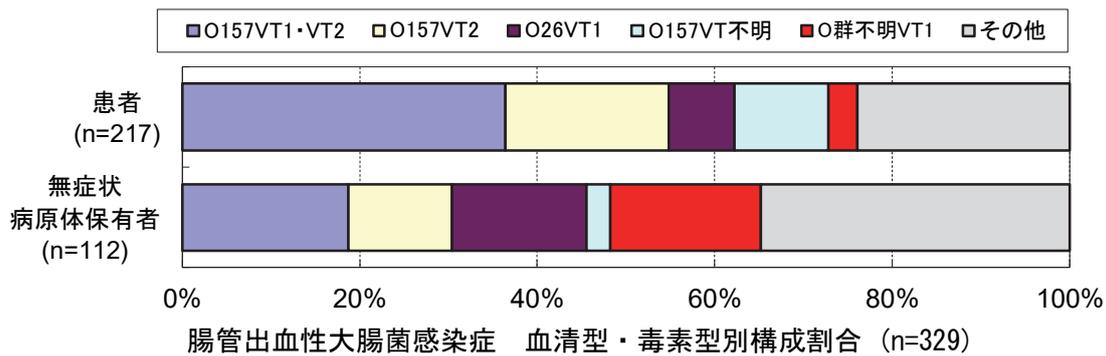
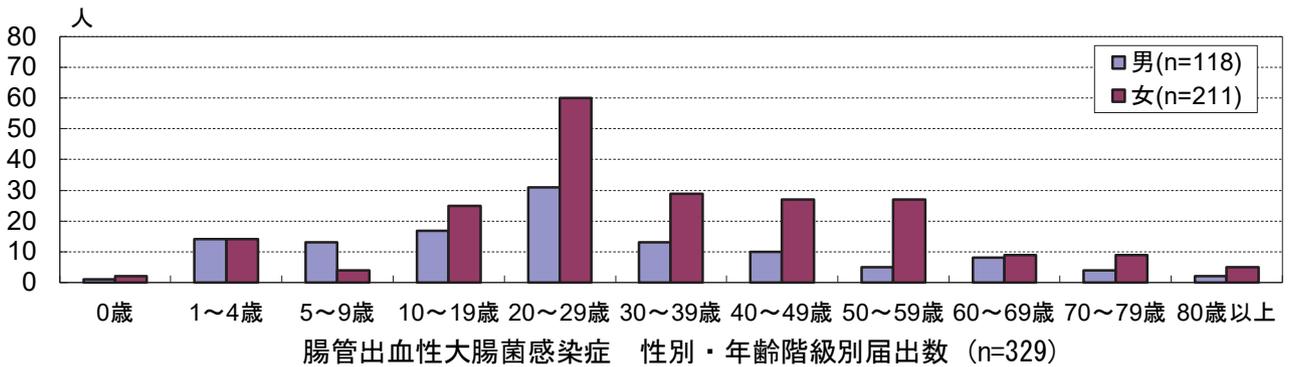
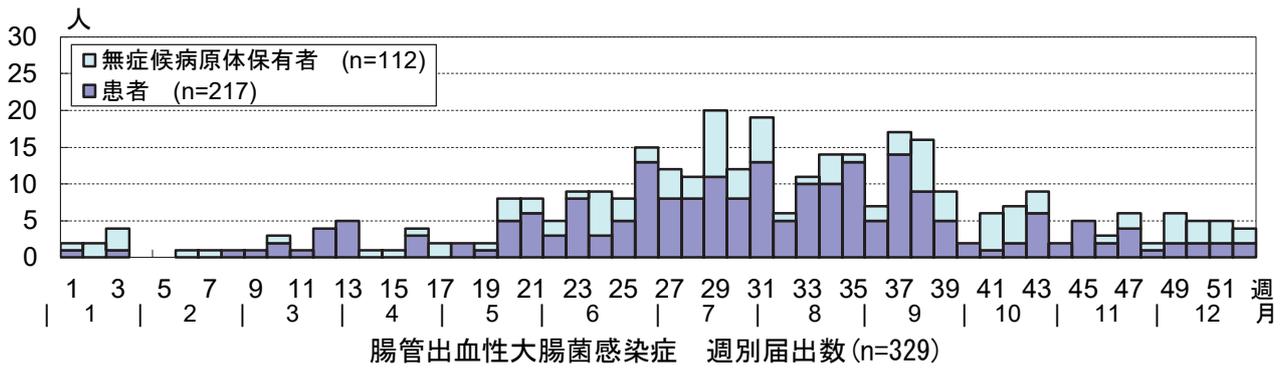
② 腸管出血性大腸菌感染症

2021年は329件の届出があった。症状別では患者217人、無症状病原体保有者112人であった。届出はほぼ1年を通して見られたが、特に夏季に増加した。性別は男性118人、女性211人で、年齢階級別では10歳未満48人（うち5歳未満31人）、10～19歳42人、20～29歳91人、30～39歳42人、40～49歳37人、50～59歳32人、60～69歳17人、70～79歳13人、80歳以上7人であった。血清型・毒素型はO157 VT1・VT2が100件で最多であった。

推定感染地は国内260件、不明69件であった。

症例の集積は、第36～38週に同一保育園関係17人、第27～29週に同居家族5人が認められた。

溶血性尿毒症症候群（HUS）と判明しているものは6人おり、内訳は5歳未満2人、10～19歳2人、50～59歳1人、70～79歳1人であった。



腸管出血性大腸菌感染症 血清型・毒素型別届出数 (n=329)

血清型	毒素型	人数	血清型	毒素型	人数
O6	VT2	1	O126	VT2	1
O8	VT1・VT2	1	O128	VT1・VT2	6
	VT1	33		VT1	4
O26	VT2	1	O145	VT2	1
	不明	1		不明	2
O63	VT2	1	O146	VT2	2
	VT1	1		VT1	6
O91	VT1・VT2	1		VT2	53
	不明	1	O157	VT1・VT2	100
O103	VT1	12		不明	26
	VT1・VT2	2	O168	VT2	1
	VT1	7		VT1	26
O111	VT2	1		VT2	15
	VT1・VT2	1	不明	VT1・VT2	11
O121	VT2	2		不明	9

溶血性尿毒症症候群（HUS）発症例（n=6）

受理日	性別	年齢	血清型・毒素型	推定感染地	推定感染経路等
5/22	女	13	血清型・毒素型不明	国内	経口感染（イチゴ狩りの摂取物）
7/16	男	4	O157 VT1・VT2	国内	不明
8/26	女	71	血清型・毒素型不明	国内	不明
10/27	女	19	O157 VT1・VT2	国内	不明
11/1	女	56	O157 毒素型不明	国内	経口感染（生野菜）
12/20	女	3	血清型不明 VT2	国内	動物・蚊・昆虫等からの感染

③ 腸チフス

2021年は1件の届出があった。性別では女性、年齢階級別では40～49歳であった。

ファージ型はA型で、推定感染地は国内であった。

④ その他の三類感染症

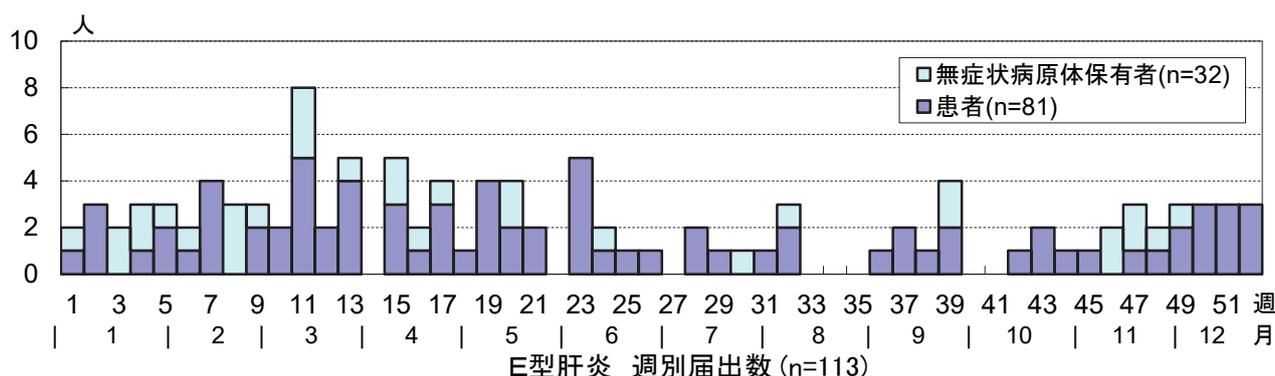
コレラ、パラチフスは届出がなかった。

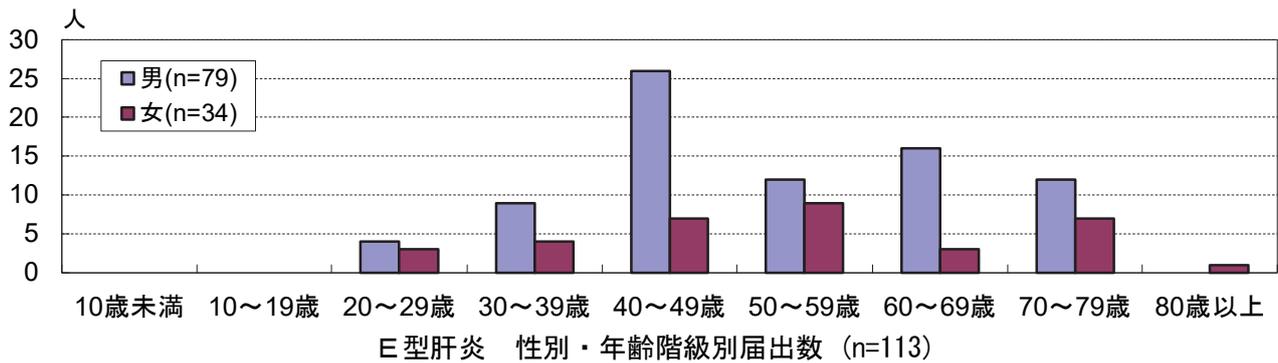
エ 四類感染症

① E型肝炎

2021年は113件の届出があった。性別は男性79人、女性34人、類型は患者81人、無症状病原体保有者32人、年齢階級別では20～29歳7人、30～39歳13人、40～49歳33人、50～59歳21人、60～69歳19人、70～79歳19人、80歳以上1人であった。

推定感染地は国内93件、不明20件であった。推定感染経路は経口感染58件、その他4件、経口感染又はその他1件、不明50件であった。経口感染58件の推定原因食品は、肉類38件、外食1件、不明19件であった。



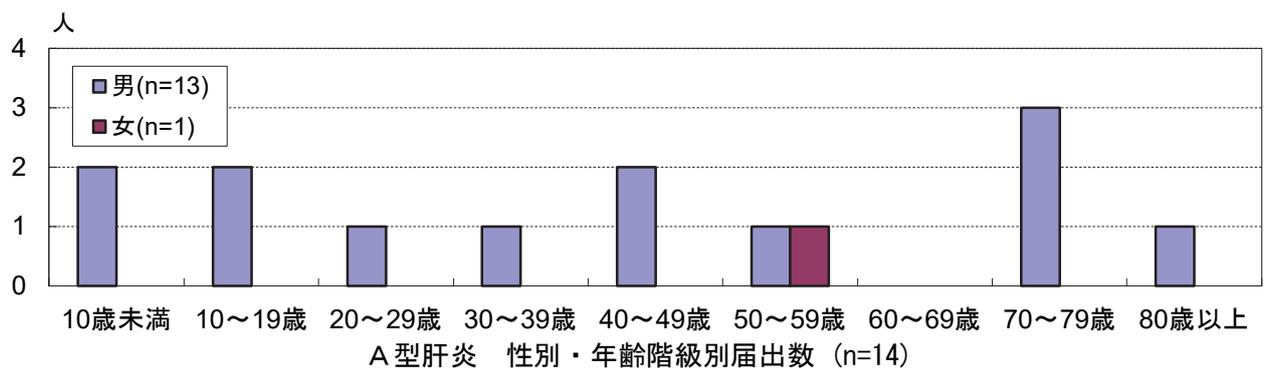
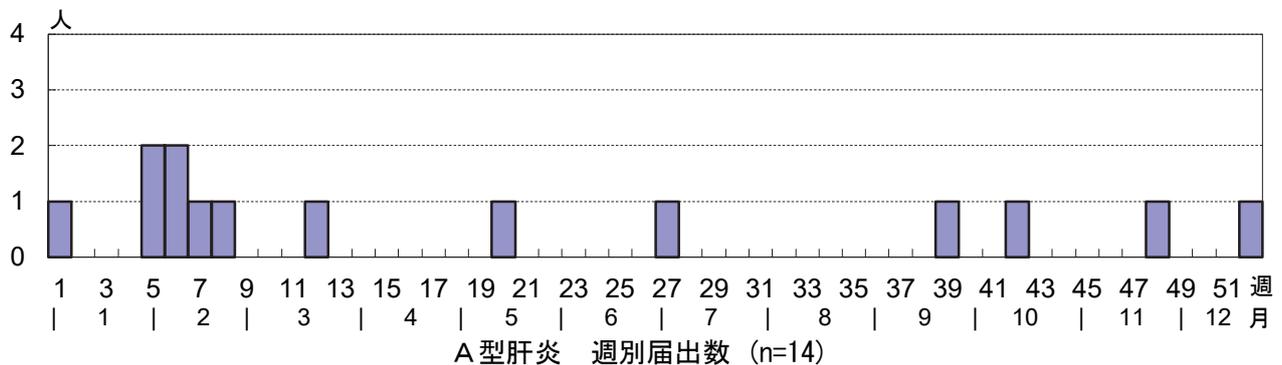


② A型肝炎

2021年は14件の届出があった。性別は男性13人、女性1人で、年齢階級別では10歳未満2人、10～19歳2人、20～29歳1人、30～39歳1人、40～49歳2人、50～59歳2人、70～79歳3人、80歳以上1人であった。

推定感染地は国内13件、不明1件であった。

推定感染経路は飲食物を介した経口感染1件、性的接触3件、家庭内感染2件、糞口感染2件、不明6件であった。経口感染1件の推定原因食品は不明であった。性的接触3件は、全て男性同性間の性的接触であった。



③ エキノコックス症

2021年は1件の届出があった。性別は男性で、年齢階級は70～79歳であった。推定感染地、感染経路共に不明であった。

④ Q熱

2021年は1件の届出があった。性別は男性で、年齢階級は50～59歳であった。推定感染地は米国、感染経路は羊との接触であった。

⑤ つつが虫病

2021年は12件の届出があった。性別は男性10人、女性2人であった。年齢階級別は30～39歳1人、40～49歳2人、60～69歳3人、70～79歳3人、80歳以上3人であった。推定感染地は全て国内で、東京都9件（多摩地区6件、島しょ地区3件）、埼玉県、長野県、静岡県各1件であった。

つつが虫病届出例 (n=12)

受理日	性別	年齢	推定感染地	媒介動物との接触状況
1/4	女	73	東京都(多摩)	畑で農作業
4/22	女	63	長野県	山中で刺される
11/11	男	79	東京都(多摩)	
11/24	男	41	東京都(多摩)	ダニに刺される
11/25	男	44	静岡県	アカツツガムシ、フトゲツツガムシ
11/29	男	82	東京都(多摩)	農作業中
12/1	男	87	東京都(多摩)	自宅前の林
12/6	男	66	埼玉県	仕事で藪の中に入る
12/6	男	84	東京都(多摩)	
12/7	男	70	東京都(島しょ)	自宅庭で畑仕事
12/13	男	68	東京都(島しょ)	仕事中に森で刺される
12/16	男	33	東京都(島しょ)	

⑥ 日本紅斑熱

2021年は4件の届出があった。性別は男性3人、女性1人、年齢階級別は40～49歳1人、50～59歳1人、70～79歳1人、80歳以上1人であった。推定感染地は全て国内で、感染経路は、動物・蚊・昆虫等からの感染3件、その他1件であった。

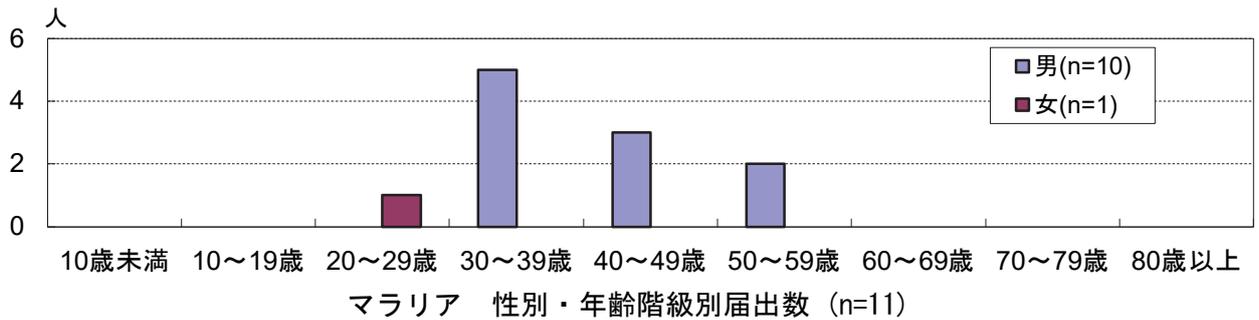
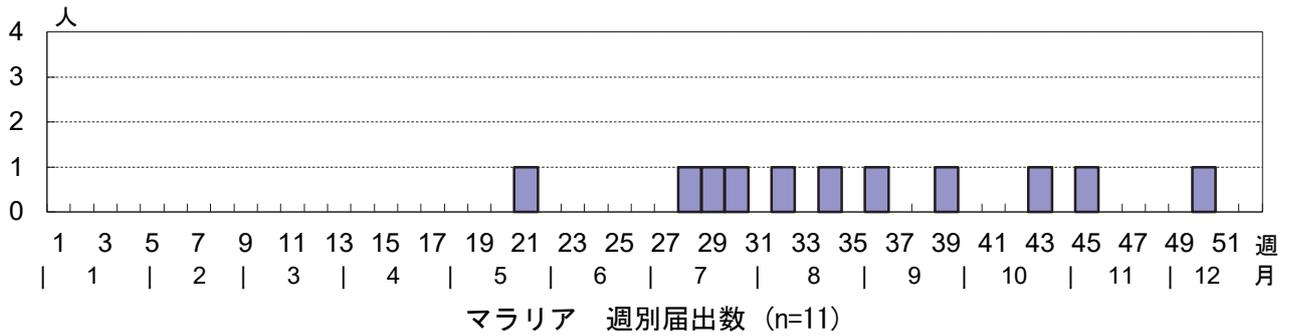
⑦ ボツリヌス症

2021年は1件の届出があった。性別は男性、年齢階級は50～59歳であった。推定感染地は国内であった。感染経路は経口感染（真空パックのうなぎ）で、毒素型はF型であった。

⑧ マラリア

2021年は11件の届出があった。病型は、熱帯熱マラリア7件、卵型マラリア2件、三日熱マラリア1件、不明1件であった。性別は男性10人、女性1人、年齢階級別は20～29歳1人、30～39歳5人、40～49歳3人、50～59歳2人であった。

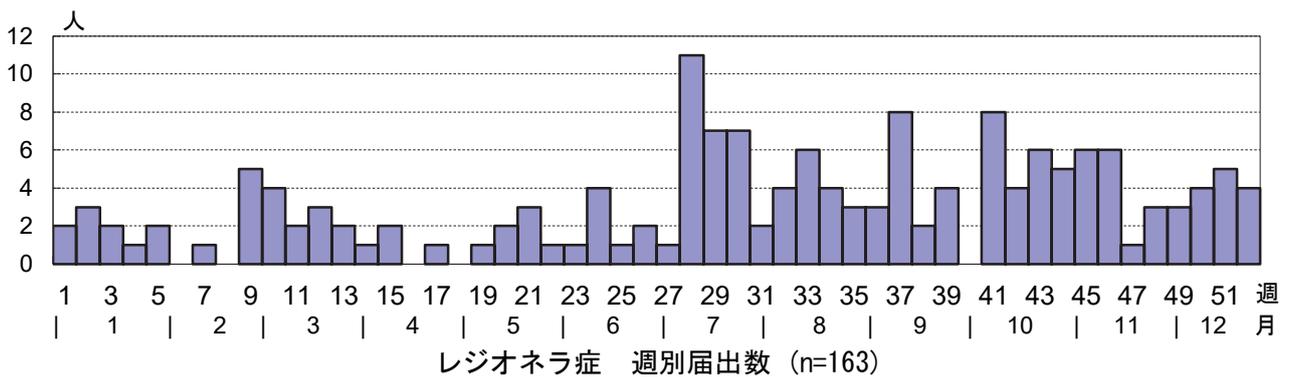
病型別推定感染地は、熱帯熱7件はナイジェリア3件、シエラレオネ2件、ウガンダ、カメルーン各1件、卵型2件はナイジェリア1件、コートジボアール1件、三日熱1件はナイジェリア、不明1件はエチオピアであった。

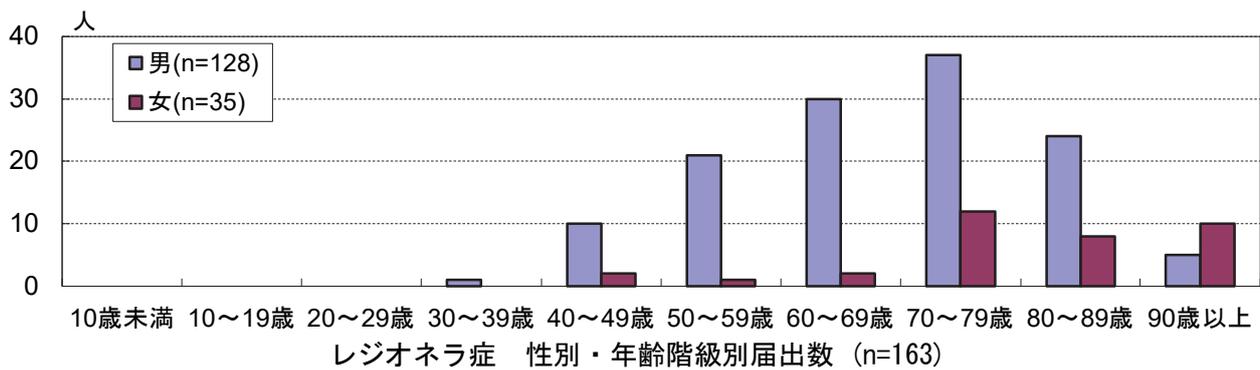


⑨ レジオネラ症

2021年は163件の届出があった。病型は肺炎型154件、ポンティアック熱型9件であった。死亡例は4人報告された。性別は男性128人、女性35人、年齢階級別は30~39歳1人、40~49歳12人、50~59歳22人、60~69歳32人、70~79歳49人、80~89歳32人、90歳以上15人であった。

推定感染地は国内147件、不明16件であった。推定感染経路は、水系感染46件、塵埃感染4件、その他14件、水系感染又は塵埃感染1件、不明98件であった。水系感染のうち、公共浴場施設（温泉を含む）での感染と推定されたのは23件であった。





⑩ レプトスピラ症

2021年は3件の届出があった。性別は全て男性で、年齢階級別は40～49歳2人、60～69歳1人であった。推定感染地は全て国内であった。

レプトスピラ症届出例 (n=3)

受理日	性別	年齢	推定感染地	推定感染経路、接触場所
2/16	男	60	国内	ネズミによる咬傷
10/8	男	47	国内	水系感染
10/27	男	49	国内	ヒルによる咬傷後、水たまりに入る

⑪ その他の四類感染症

以下の疾患は届出がなかった。

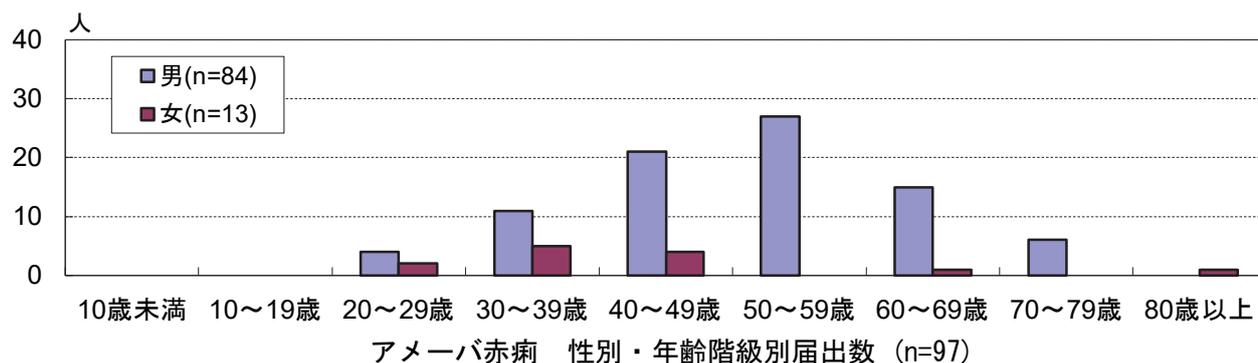
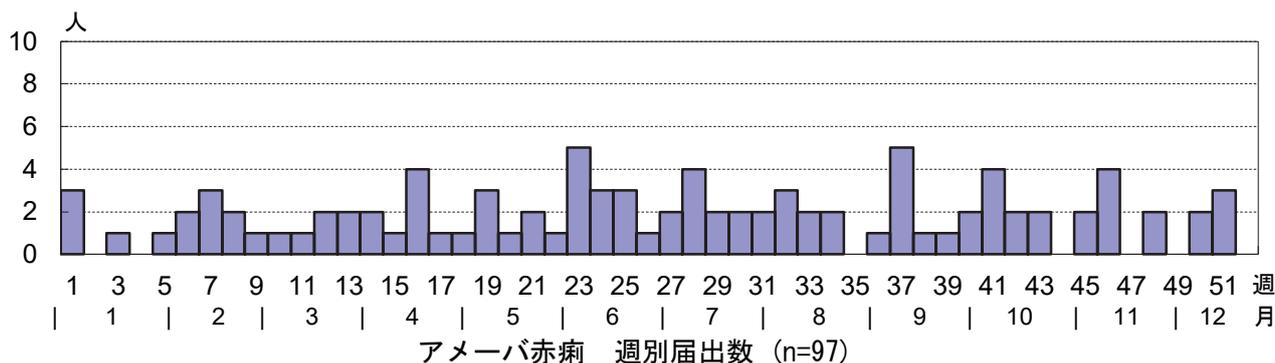
ウエストナイル熱（ウエストナイル脳炎を含む）、黄熱、オウム病、オムスク出血熱、回帰熱、キャサナル森林病、狂犬病、コクシジオイデス症、サル痘、ジカウイルス感染症、重症熱性血小板減少症候群（病原体がフレボウイルス属 SFTS ウイルスであるものに限る）、腎症候性出血熱、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、炭疽、チクングニア熱、デング熱、東部ウマ脳炎、鳥インフルエンザ（H5N1 及び H7N9 を除く）、ニパウイルス感染症、日本脳炎、ハンタウイルス肺症候群、B ウイルス病、鼻疽、ブルセラ症、ベネズエラウマ脳炎、ヘンドラウイルス感染症、発しんチフス、野兔病、ライム病、リッサウイルス感染症、リフトバレー熱、類鼻疽、ロッキー山紅斑熱

オ 五類感染症（全数把握対象）

① アメーバ赤痢

2021年は97件の届出があった。腸管アメーバ症90件、腸管外アメーバ症2件、腸管及び腸管外アメーバ症5件であった。性別は男性84人、女性13人で、年齢階級別では20～29歳6人、30～39歳16人、40～49歳25人、50～59歳27人、60～69歳16人、70～79歳6人、80歳以上1人であった。推定感染地は国内75件、国外6件（韓国、台湾各1件、中国又はフィリピン又はシンガポール、フィリピン又はタイ又はインド、ベトナム又はカンボジア又はインドネシア、カンボジア又はタイ各1件）、不明16件であった。

推定感染経路は、性的接触36件（同性間22件、異性間8件、性別不明6件）、飲食物による経口感染11件、不明50件であった。



② ウイルス性肝炎（E型肝炎及びA型肝炎を除く）

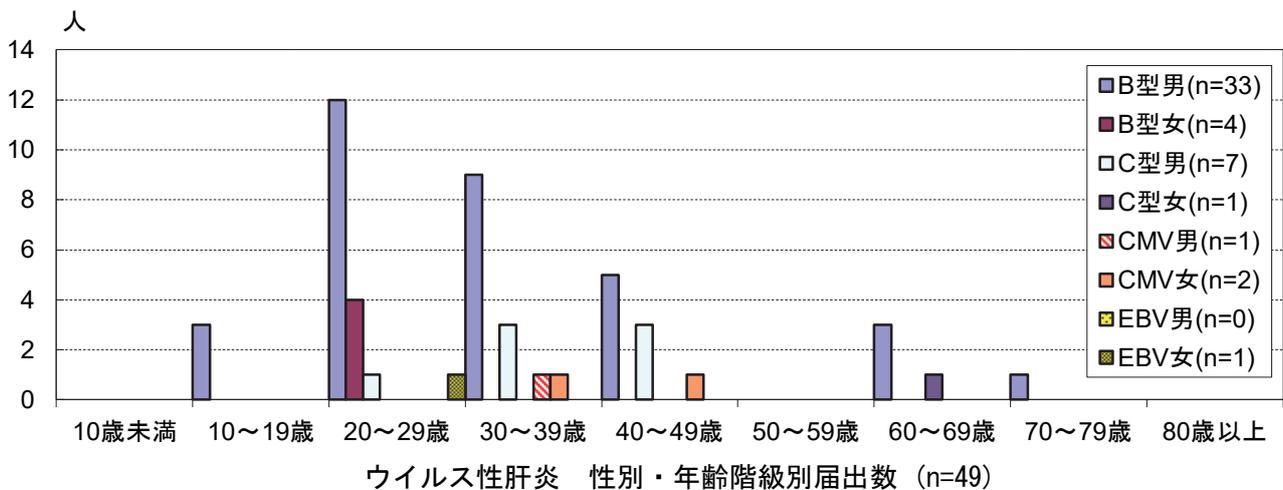
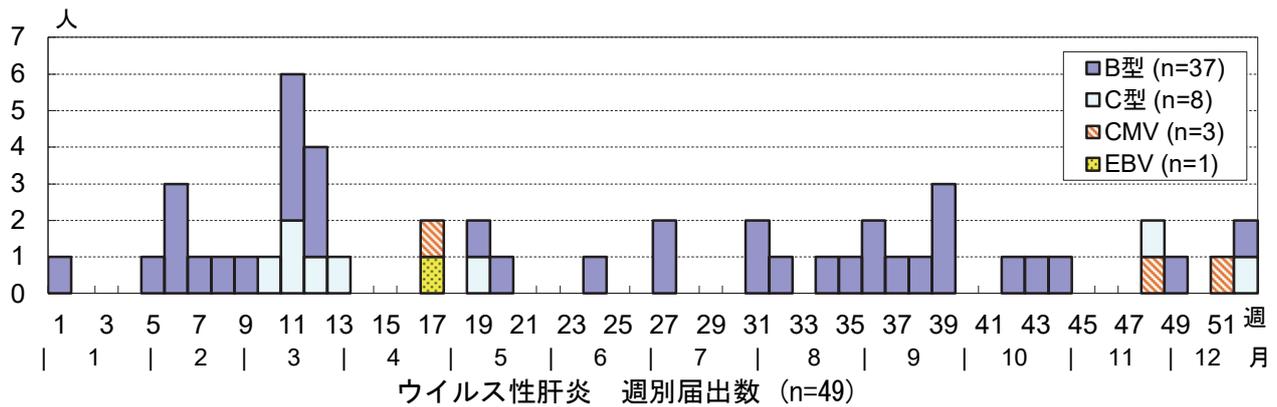
2021年は49件の届出があった。内訳は、B型肝炎37件、C型肝炎8件、サイトメガロウイルス（以下、CMV）肝炎3件、エプスタイン・バールウイルス（以下、EBV）肝炎1件であった。

B型肝炎は37件の届出があった。性別は男性33人、女性4人で、年齢階級別では10～19歳3人、20～29歳16人、30～39歳9人、40～49歳5人、60～69歳3人、70～79歳1人であった。推定感染地は国内33件、不明4件、推定感染経路は性的接触29件（同性間15件、異性間9件、同性間又は異性間1件、性別不明4件）、その他1件、不明7件であった。

C型肝炎は8件の届出があった。性別は男性7人、女性1人で、年齢階級別は20～29歳1人、30～39歳3人、40～49歳3人、60～69歳1人であった。推定感染地は国内6件、不明2件、推定感染経路は性的接触5件（全て同性間）、静注薬物常用又は性的接触（同性間）1件、不明2件であった。

CMV肝炎は3件の届出があった。性別は女性2人、男性1人で、年齢階級別では30～39歳2人、40～49歳1人であった。推定感染地は国内2件、不明1件、推定感染経路は全て不明であった。

EBV肝炎は1件の届出があった。性別は女性で、年齢階級は20～29歳であった。推定感染地は国内、推定感染経路は性的接触（異性間）であった。



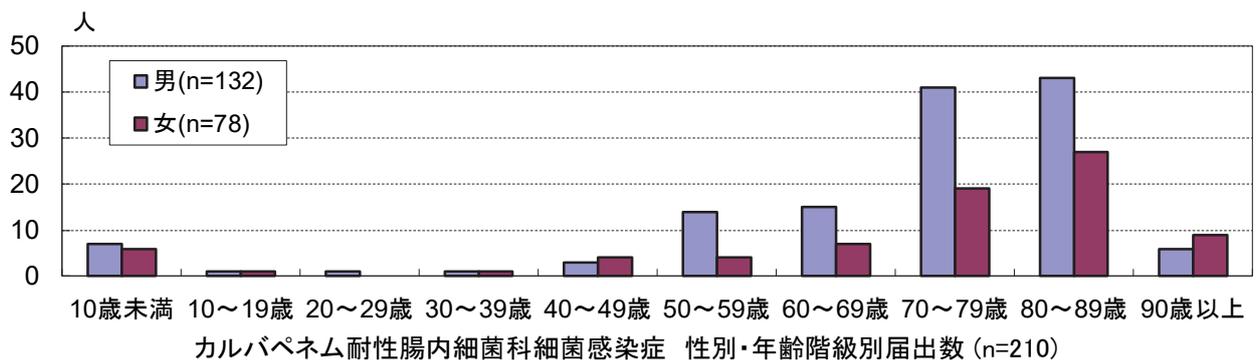
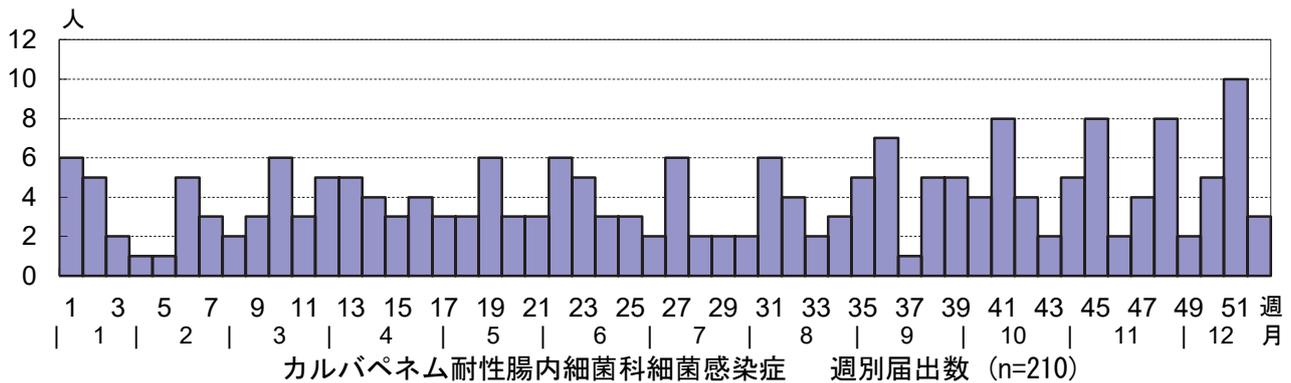
③ カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症

2021年は210件の届出があった。性別は男性132人、女性78人で、年齢階級別では10歳未満13人（うち5歳未満10人）、10～19歳2人、20～29歳1人、30～39歳2人、40～49歳7人、50～59歳18人、60～69歳22人、70～79歳60人、80～89歳70人、90歳以上15人であった。死亡例は6人（70～79歳1人、80～89歳5人）報告された。

推定感染地は国内188件、不明22件であった。

分離された菌種は、*Klebsiella aerogenes* 80件、*Enterobacter cloacae complex* 71件、*Klebsiella pneumoniae* 25件、*Escherichia coli* 7件、*Citrobacter freundii complex* 6件、*Serratia marcescens* 5件、*Klebsiella oxytoca complex* 2件、*Citrobacter braakii*、*Enterobacter hormaechei*、*Hafnia alvei*、*Morganella Morganii*、*Proteus mirabilis* 各1件、*Enterobacter cloacae complex* 及び *Klebsiella aerogenes* 1件、*Enterobacter cloacae complex* 及び *Klebsiella pneumoniae* 1件、*Enterobacter sp.* 6件、*Klebsiella sp.* 1件であった。

*Enterobacter cloacae complex*に含まれる複数の菌種と *Enterobacter cloacae* は生化学的性状のような一般的な検査室での同定検査では区別できないので、集計項目のうち *Enterobacter cloacae* を廃止し、*Enterobacter cloacae complex* に含めた。



④ 急性弛緩性麻痺（急性灰白髄炎を除く。）

2021年は2件の届出があった。性別は女性2人で、年齢階級別では、5歳未満2人であった。推定感染地は全て国内、病原体はライノウイルスB1件、不明1件であった。

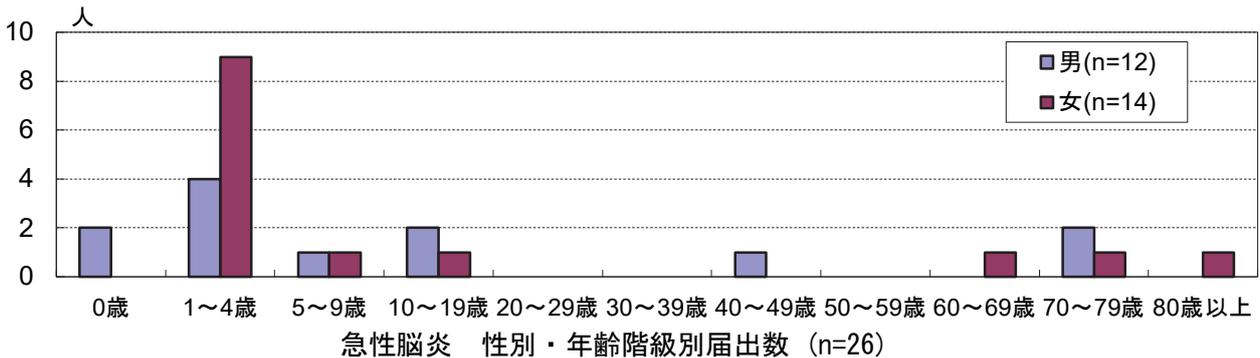
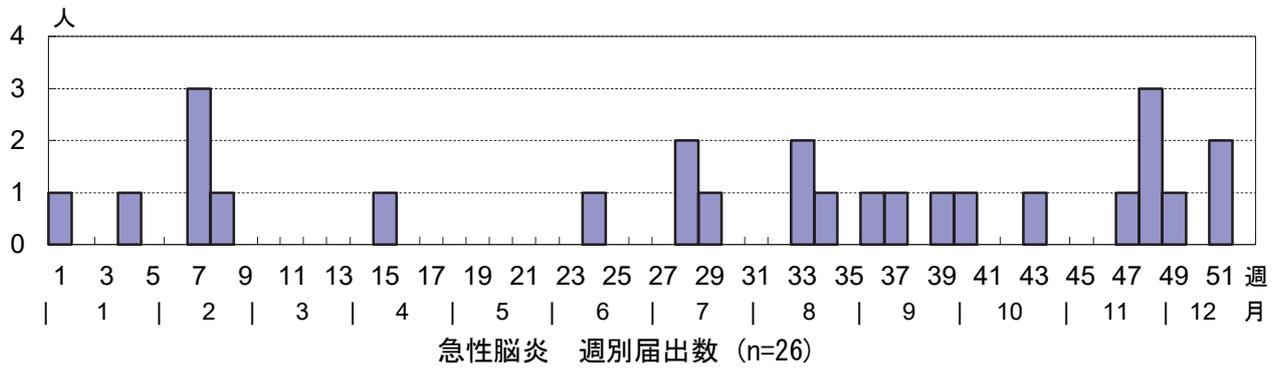
ポリオワクチン接種歴は全て4回であった。

⑤ 急性脳炎（ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介性脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。）

2021年は26件の届出があった。原因と推定された病原体は、ヘルペスウイルス10件（ヒトヘルペスウイルス6型4件、単純ヘルペスウイルス1型3件、単純ヘルペスウイルス型不明2件、単純ヘルペスウイルス2型1件）、RSウイルス2件、EBウイルス、パラインフルエンザウイルス3型各1件、不明12件であった。

性別は男性12人、女性14人で、年齢階級別では10歳未満17人（5歳未満15人）、10～19歳3人、40～49歳1人、60～69歳1人、70～79歳3人、80歳以上1人で、死亡例はなかった。

推定感染地は国内25件、不明1件であった。推定感染経路は飛沫・飛沫核感染7件、経口感染1件、飛沫・飛沫核感染又は接触感染2件、飛沫・飛沫核感染又はその他1件、その他3件、不明12件であった。



⑥ クロイツフェルト・ヤコブ病

2021年は12件の届出があった。性別は男性6人、女性6人で、年齢階級別では60～69歳4人、70～79歳7人、80歳以上1人であった。

孤発性プリオン病・古典型クロイツフェルト・ヤコブ病（以下、CJD）が10件（ほぼ確実7件、疑い3件）、孤発性プリオン病・その他が1件（疑い）、遺伝性プリオン病・家族性CJDが1件（ほぼ確実）であった。

孤発性プリオン病11件の進行性認知症以外の症状は、ミオクローヌス10件、錐体路症状、記憶障害各7件、無動性無言状態、精神・知能障害各6件、筋強剛4件、小脳症状3件、錐体外路症状、視覚異常、臨床的に頑固な不眠、異常感覚各2件、痙性対麻痺1件であった。

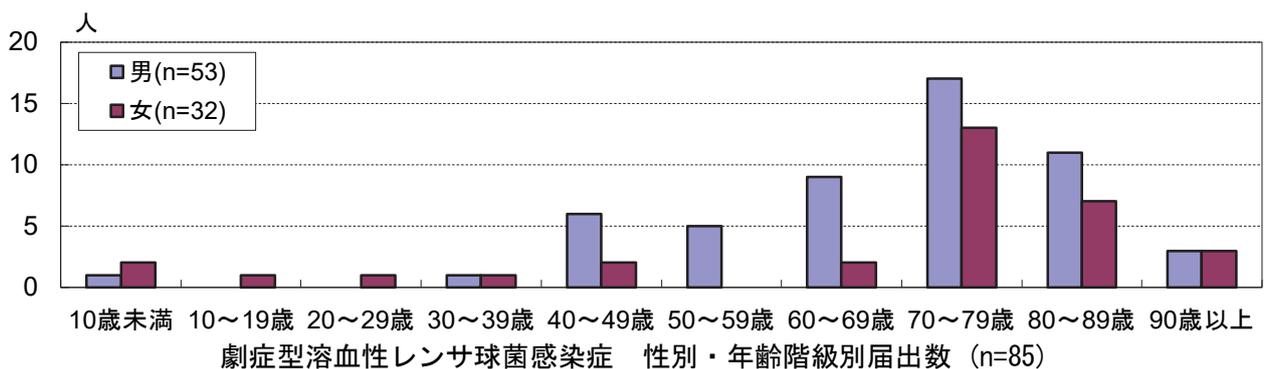
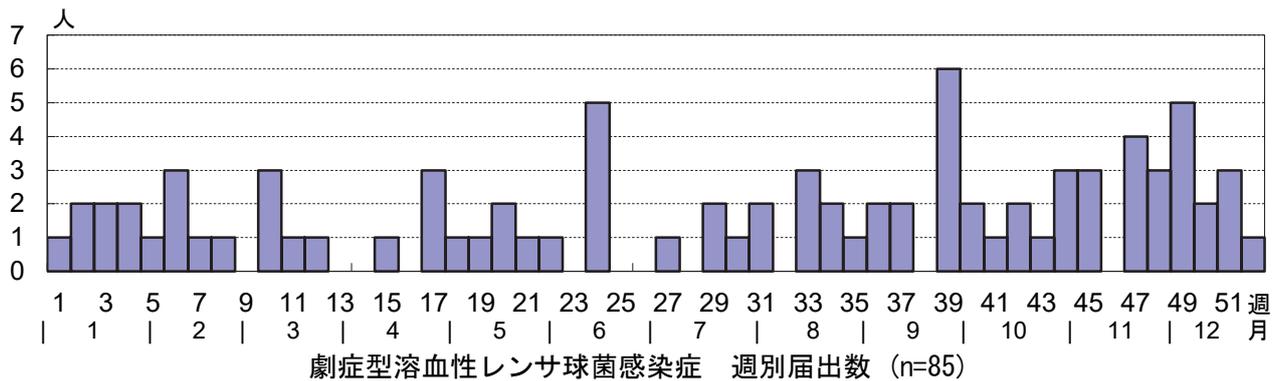
家族性CJD1件の症状は、錐体路症状であった。

⑦ 劇症型溶血性レンサ球菌感染症

2021年は85件の届出があった。性別は男性53人、女性32人で、年齢階級別では5歳未満3人、10～19歳1人、20～29歳1人、30～39歳2人、40～49歳8人、50～59歳5人、60～69歳11人、70～79歳30人、80～89歳18人、90歳以上6人であった。死亡例は14人（40～49歳1人、60～69歳2人、70～79歳3人、80～89歳7人、90歳以上1人）報告された。

推定感染地は国内81件、不明4件であった。推定感染経路は、創傷感染21件、飛沫・飛沫核感染4件、接触感染2件、飛沫・飛沫核感染又は創傷感染、創傷感染又はその他各1件、その他11件、不明45件であった。

血清群は、A群25件（29.4%）、B群28件（32.9%）、C群1件（1.2%）、G群31件（36.5%）であった。



⑧ 後天性免疫不全症候群

2021年は357件の届出があり、AIDS患者63人、HIV感染者294人（指標疾患以外の有症状者26人、無症候性キャリア268人）であった。

AIDS患者63人の内訳は男性61人、女性2人で、年齢階級別では20～29歳10人、30～39歳16人、40～49歳12人、50～59歳18人、60～69歳7人であった。

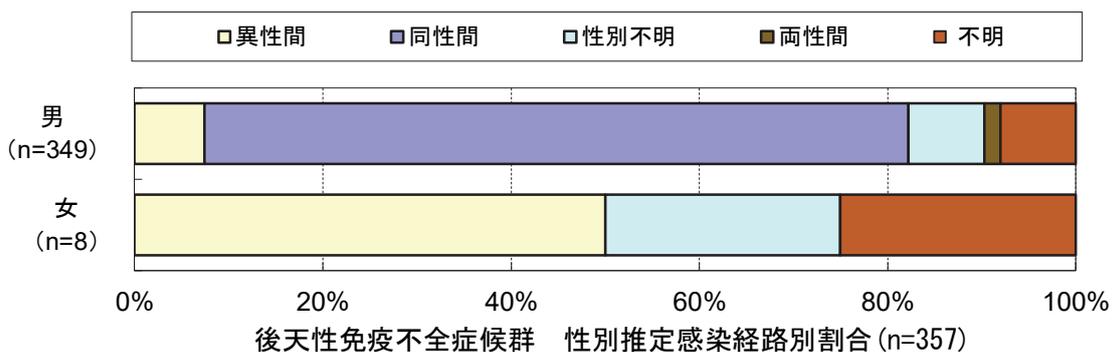
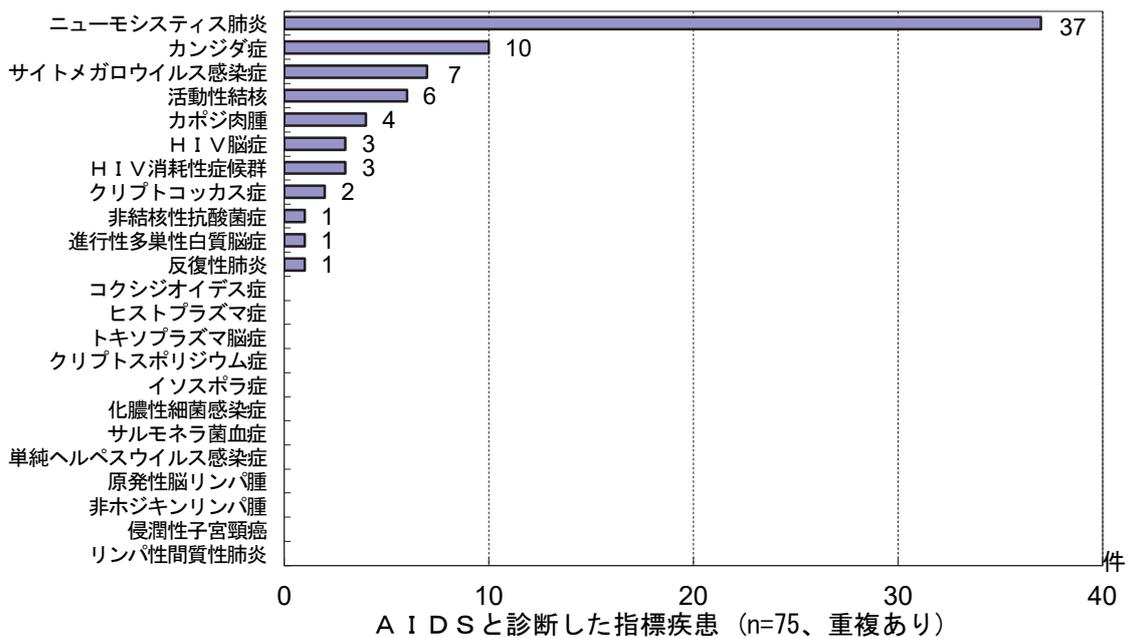
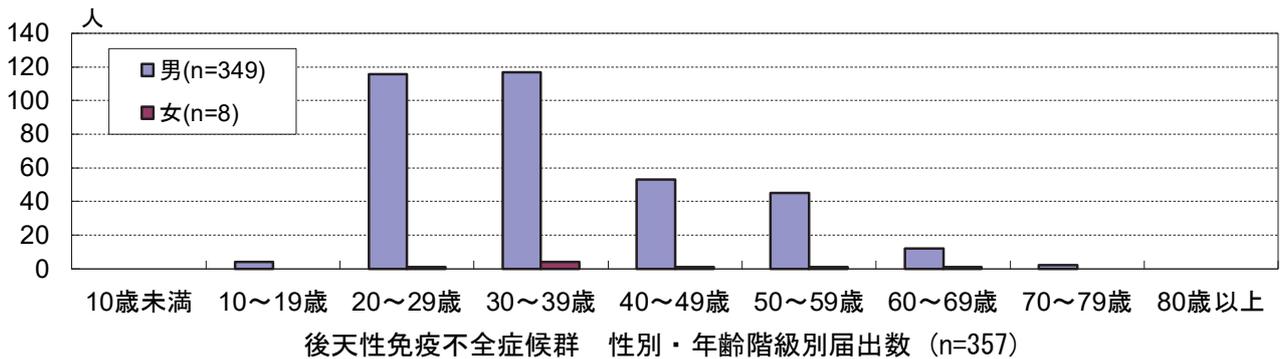
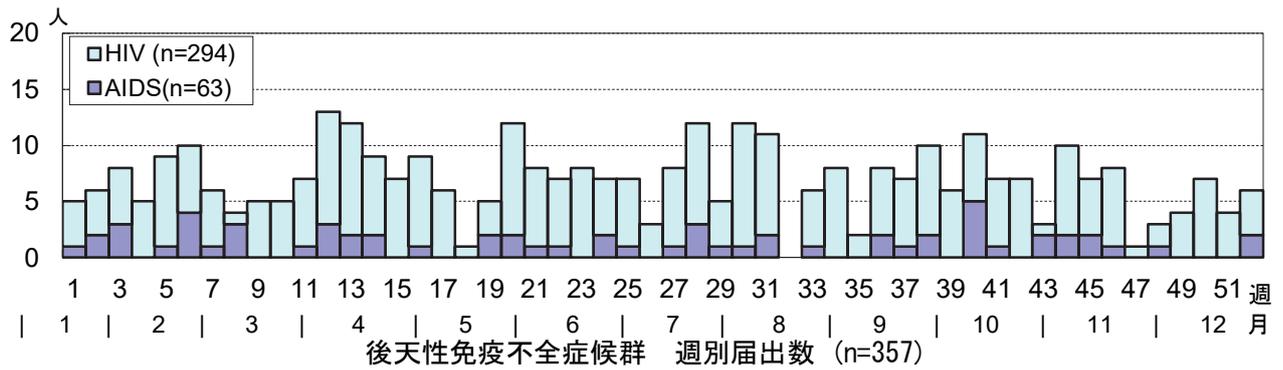
AIDS指標疾患の患者では、ニューモシスティス肺炎（37件）が最多で、次にカンジタ症（10件）が多かった。

HIV感染者のうち無症候性キャリアの268人の内訳は男性262人、女性6人で、年齢階級別では10～19歳4人、20～29歳97人、30～39歳96人、40～49歳38人、50～59歳25人、60～69歳6人、70～79歳2人であった。

推定感染地は国内300件、国外16件（タイ5件、中国3件、韓国、マレーシア、ガーナ、米国、ジャマイカ各1件、渡航先不明3件）、国内又は国外（フィリピン、ベトナム）2件、不明39件であった。

届出のうち外国籍は46人で、AIDS患者9人、HIV感染者37人（指標疾患以外の有症者1人、無症候性キャリア36人）であった。

推定感染経路は性的接触327件（同性間261件、異性間30件、両性間6件、性別不明30件）、不明30件であった。



⑨ ジアルジア症

2021年は8件の届出があった。性別は全て男性で、年齢階級別では20～29歳1人、30～39歳2人、40～49歳2人、60～69歳1人、70～79歳1人、80歳以上1人であった。

推定感染地は全て国内であった。推定感染経路は、性的接触4件（全て同性間）、水系感染1件、経口感染又は水系感染1件、その他2件であった。

ジアルジア症届出例 (n=8)

受理日	性別	年齢	推定感染地	推定感染経路
1/20	男	41	国内	同性間性的接触
2/24	男	72	国内	経口感染又は水系感染
3/9	男	39	国内	同性間性的接触
3/20	男	31	国内	その他（介護施設）
6/4	男	69	国内	同性間性的接触
7/30	男	28	国内	同性間性的接触
10/28	男	88	国内	不明
11/17	男	47	国内	水系感染

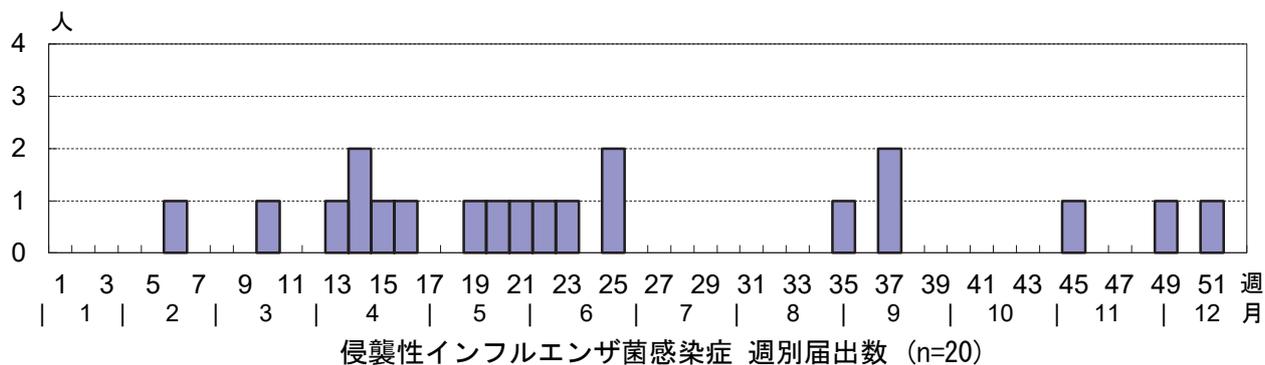
⑩ 侵襲性インフルエンザ菌感染症

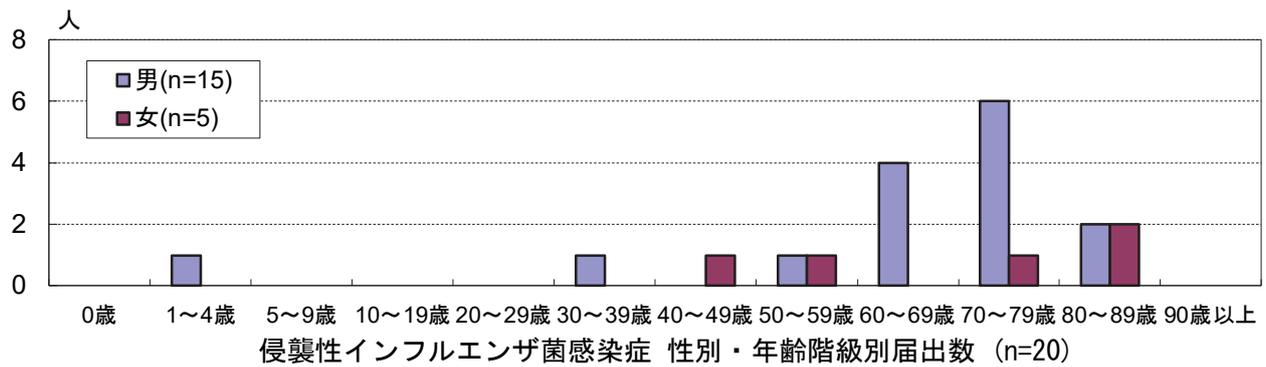
2021年は20件の届出があった。性別は男性15人、女性5人で、年齢階級別では5歳未満1人、30～39歳1人、40～49歳1人、50～59歳2人、60～69歳4人、70～79歳7人、80～89歳4人で、死亡例の報告はなかった。

血清型はf型2件、b型1件、型別不能12件、検査未実施5件であった。

推定感染地は、国内19件、不明1件であった。推定感染経路は、飛沫・飛沫核感染3件、接触感染1件、その他4件、不明12件であった。

Hib ワクチン接種歴は4回が1件（10歳未満）、なし3件、不明16件であった。





⑪ 侵襲性肺炎球菌感染症

2021年は128件の届出があった。性別は男性90人、女性38人であった。年齢階級別では10歳未満33人(0歳7人、1~4歳23人、5~9歳3人)、30~39歳6人、40~49歳3人、50~59歳10人、60~69歳15人、70~79歳33人、80~89歳21人、90歳以上7人で、死亡例は6人報告された。

推定感染地は国内110件、不明18件であった。推定感染経路は飛沫・飛沫核感染30件、その他25件、不明73件であった。

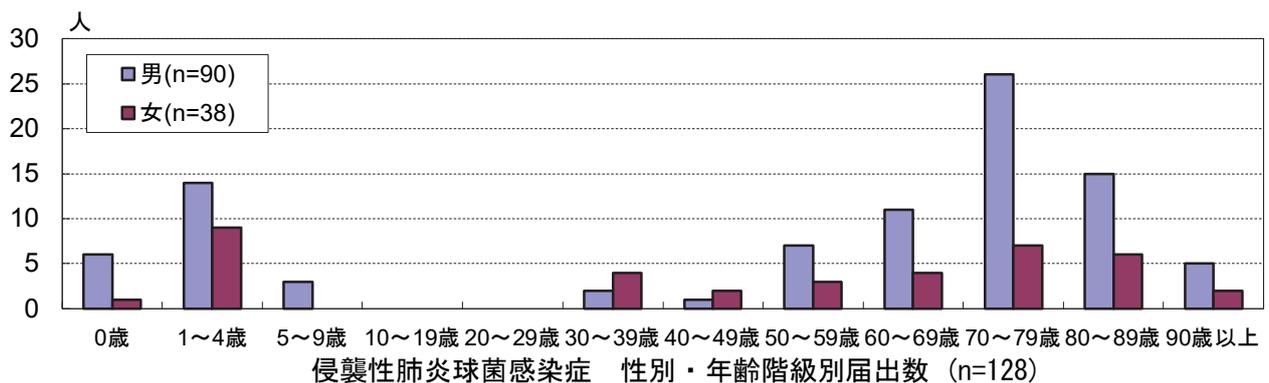
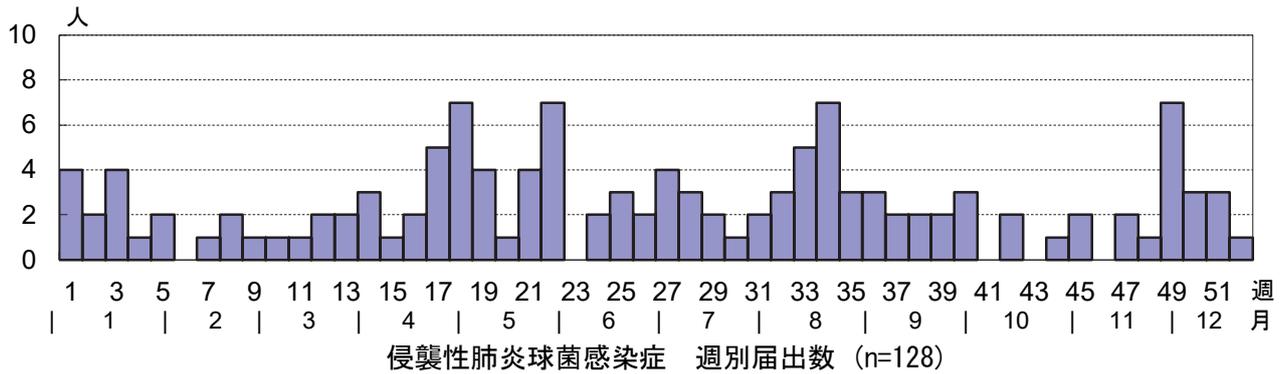
ワクチン接種歴は4回22件、3回7件、2回2件、1回11件、なし31件、不明55件であった。届出のうち、血清型別検査を実施したのは48件で、このうち、血清型が判明したのは46件であった。最も多い血清型は24B型、35B型各7件で、次に3型、7C型各4件、次に10A型、15A型、22F型、34型各3件であった。

年齢階級別・種類別ワクチン接種歴 (n=128)

	13価				23価		13価3回		価数不明				接種歴	接種歴	総計
	1回	2回	3回	4回	1回	23価1回	1回	2回	3回	4回	なし	不明			
5歳未満	2	1	5	18					2	2			30		
5~9歳						2						1	3		
10~64歳												15	8	23	
65歳以上					4		5	1				15	47	72	
合計	2	1	5	18	4	2	5	1	2	2	31	55	128		

侵襲性肺炎球菌感染症 血清型 (n=48)

血清型	届出数	血清型	届出数	血清型	届出数	血清型	届出数
3型	4	10A型	3	19A型	1	31型	1
6B型	1	11A型	1	22F型	3	33F型	1
6C型	1	15A型	3	23A型	1	34型	3
7B型	1	15B型	1	24B型	7	35B型	7
7C型	4	15C型	1	24F型	2	型不明	2

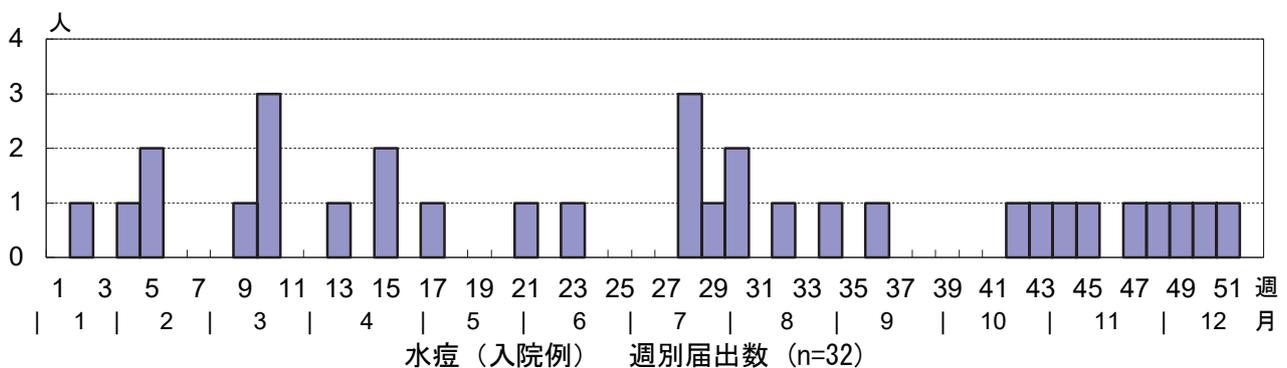


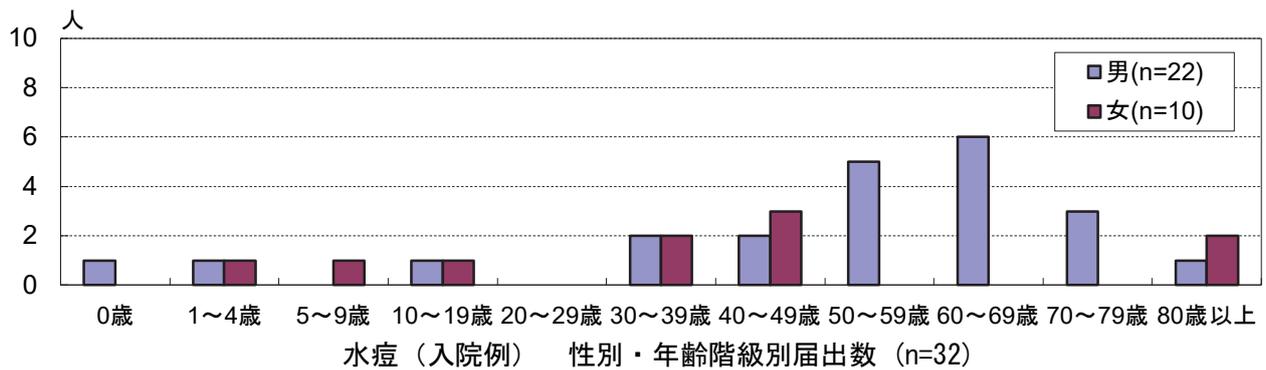
⑫ 水痘（入院例）

2021年は32件の届出があった。性別は男性22人、女性10人で、年齢階級別では5歳未満3人、5～9歳1人、10～19歳2人、30～39歳4人、40～49歳5人、50～59歳5人、60～69歳6人、70～79歳3人、80歳以上3人であった。死亡例の報告はなかった。

推定感染地は国内26件、不明6件で、推定感染経路は、飛沫・飛沫核感染4件、飛沫・飛沫核感染及び接触感染4件、院内感染3件、接触感染2件、不明19件であった。

ワクチン接種歴は2回1件、1回2件、なし15件、不明14件であった。





⑬ 梅毒

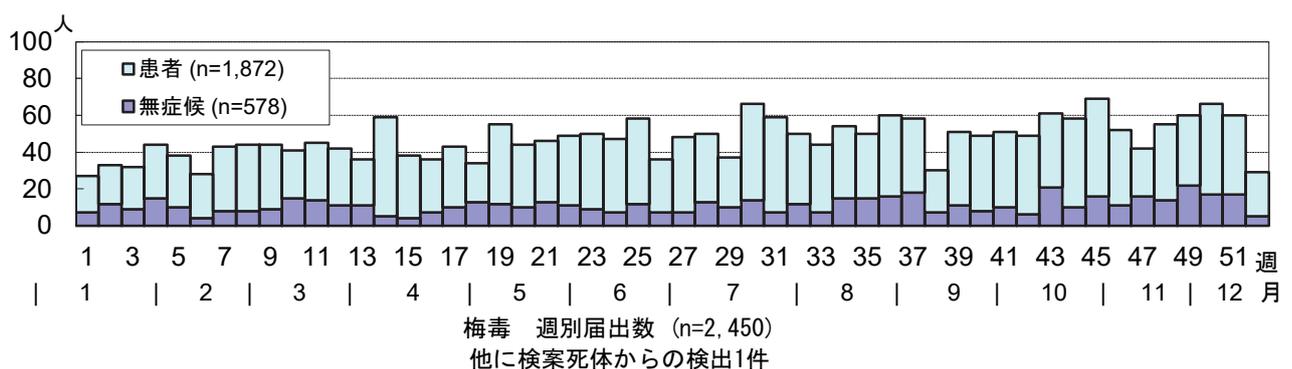
2021年は2,451件の届出があった。病型は、早期顕症梅毒Ⅰ期903件、早期顕症梅毒Ⅱ期939件、晩期顕症梅毒28件、先天梅毒3件、無症候578件であった。性別は男性1,577人、女性874人であった。年齢階級別では0歳3人、10~19歳63人、20~29歳1,028人、30~39歳624人、40~49歳438人、50~59歳218人、60~69歳48人、70~79歳22人、80歳以上7人で、20~49歳の男性が1,294人で全体の52.8%を占めた。妊娠可能年齢の女性(15~49歳)は847人で女性全体の96.9%を占めた。

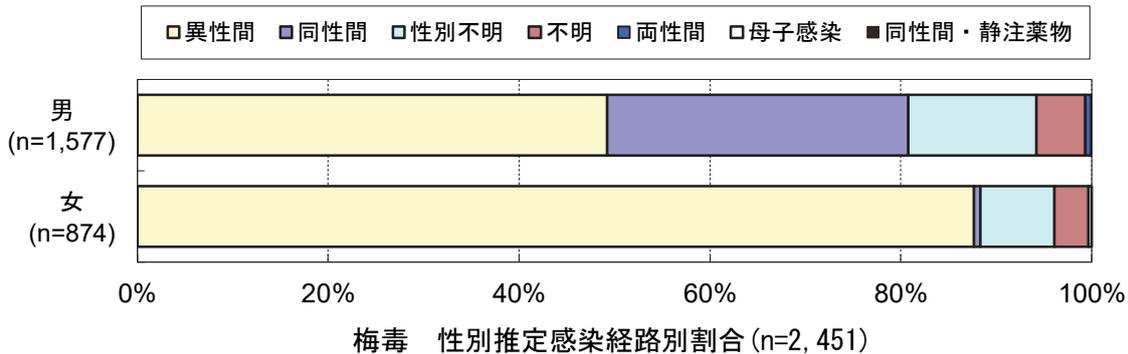
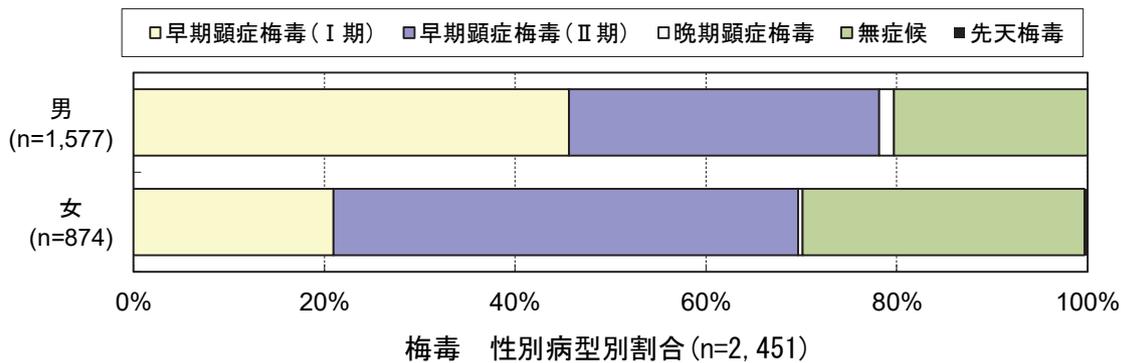
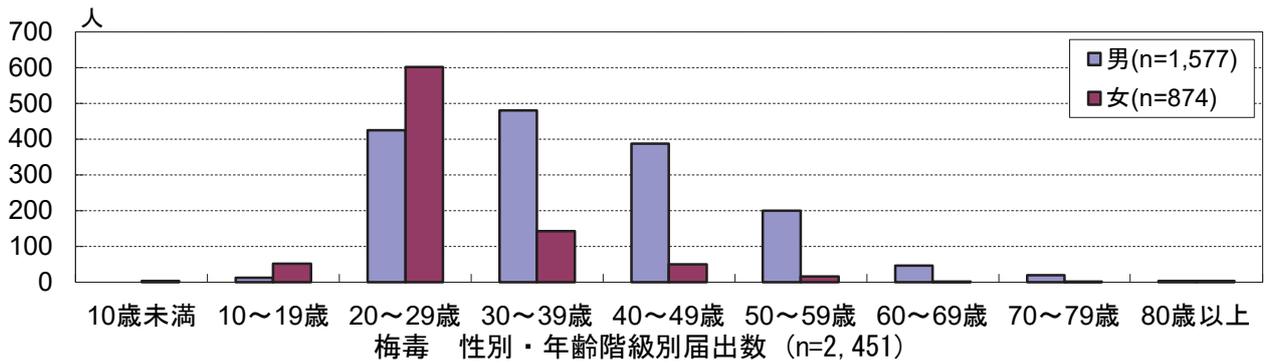
推定感染地は国内2,280件、国外4件(中国2件、ラオス、スウェーデン各1件)、国内又は国外(イギリス、渡航先不明)2件、不明165件であった。

推定感染経路は性的接触2,335件(同性間504件、異性間1,542件、両性間10件、性別不明279件)、異性間又は静注薬物使用1件、母子感染3件、不明112件であった。

HIV感染症合併は272件(男性271件、女性1件)で、感染経路は、男性が性的接触267件(同性間247件、異性間7件、両性間2件、性別不明11件)、不明4件、女性は異性間性的接触であった。

梅毒治療歴有りは337件(男性270件、女性67件)であった。妊娠中は26件であった。直近6か月の性風俗産業の従事者は498件(男性32件、女性466件)で、利用者は418件(男性407件、女性11件)であった。





⑭ 播種性クリプトコックス症

2021年は14件の届出があった。性別は男性12人、女性2人で、年齢階級別では30～39歳3人、40～49歳1人、60～69歳3人、70～79歳3人、80歳以上4人であった。死亡例は2件であった。

推定感染地は国内10件、不明4件であった。推定感染原因は、基礎疾患のあるもの11件（HIV2件、薬剤性肺炎、薬剤性好中球減少症、悪性リンパ腫及び関節リウマチ、腎不全、肝細胞癌及び肝硬変症、肝移植後各1件、不明3件）、鳥類の糞又は免疫不全1件、不明2件であった。基礎疾患のあるもの11件のうち4件はステロイド投与中であった。

⑮ 破傷風

2021年は4件の届出があった。性別は男性2人、女性2人で、年齢階級別では60～69歳1人、80歳以上3人であった。

推定感染地は全て国内（東京都3件、埼玉県1件）で、推定感染経路は全て創傷感染であった。破傷風含有ワクチン接種歴は、なし3件、不明1件であった。

⑩ バンコマイシン耐性腸球菌感染症

2021年は12件の届出があった。性別は男性6人、女性6人で、年齢階級別では5歳未満1人、40～49歳1人、50～59歳1人、60～69歳1人、70～79歳4人、80歳以上4人であった。菌種は全て *Enterococcus faecium* で、耐性遺伝子は *vanA* 4件、*vanB* 4件、検査未実施4件であった。

推定感染地は国内10件、不明2件であった。推定感染原因は、接触感染2件、その他7件、不明3件であった。

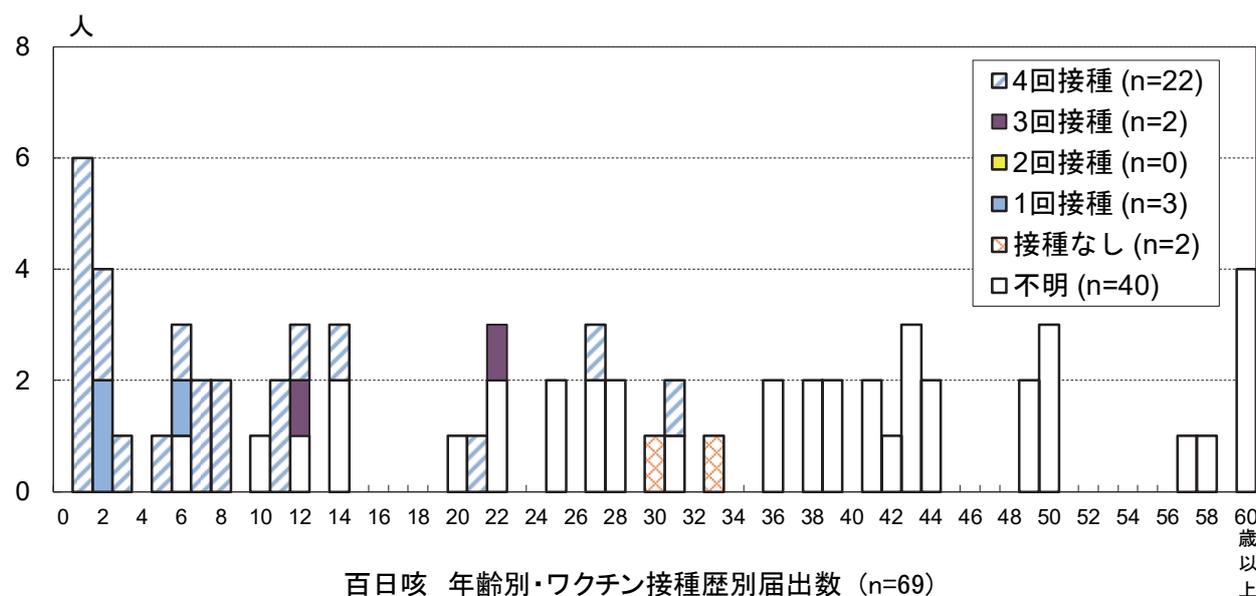
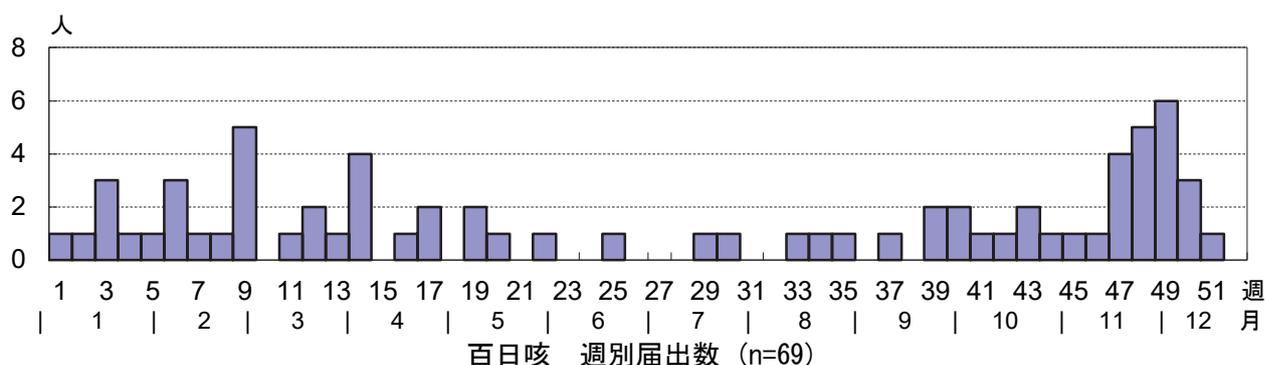
⑪ 百日咳

2021年は69件の届出があった。性別は男性20人、女性49人で、年齢階級別では10歳未満19人（5歳未満11人、5歳～9歳8人）、10～19歳9人、20～29歳12人、30～39歳10人、40～49歳10人、50～59歳5人、60～69歳4人であった。

推定感染地は国内50件、不明19件であった。

百日咳含有ワクチン接種歴は、4回22件、3回2件、1回3件、なし2件、不明40件であった。

診断方法は、抗体検査58件、抗原検査9件、遺伝子検査（PCR法）2件であった。



⑫ 風しん

2021年は2件の届出があり、全て検査診断例（抗体検査）であった。

性別は男性1人、女性1人で、年齢階級別は全て30～39歳であった。女性の感染源は不明であった。

推定感染地は国内 1 件、不明 1 件であった。

風しん含有ワクチン接種歴は、2 回 1 件、不明 1 件であった。

風しん届出例 (n=2)

受理日	性別	年齢	推定感染地	推定感染経路	ワクチン接種歴
2/22	女	32	国内	不明	不明
9/28	男	30	不明	飛沫感染	2 回

⑱ 薬剤耐性アシネトバクター感染症

2021 年は 1 件の届出があり、肺炎の症状があった。性別は女性で、年齢階級別では 70～79 歳であった。推定感染地は国内であった。

菌種は *Acinetobacter baumannii* であった。

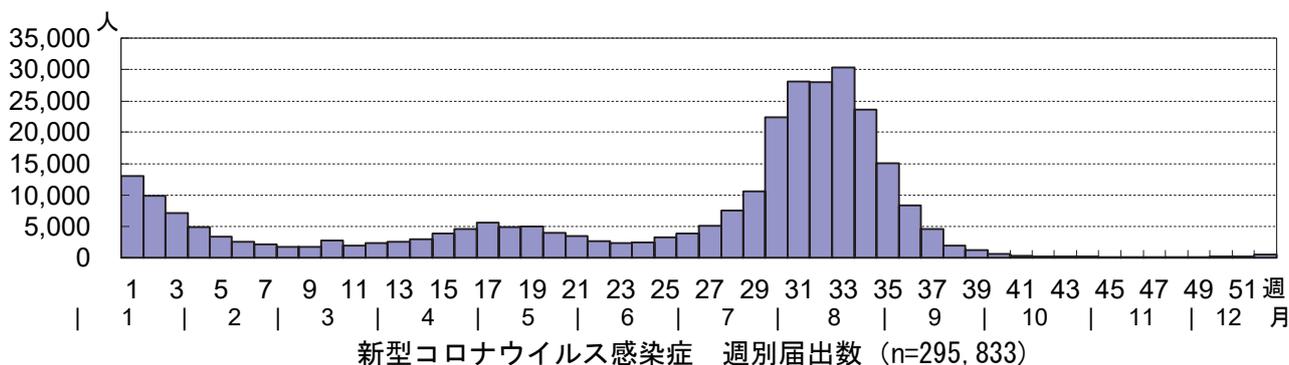
⑳ その他の五類感染症

クリプトスポリジウム症、侵襲性髄膜炎菌感染症、先天性風しん症候群、バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症、麻しんの届出はなかった。

カ 新型インフルエンザ等感染症

① 新型コロナウイルス感染症（病原体がベータコロナウイルス属のコロナウイルス（令和二年一月に、中華人民共和国から世界保健機関に対して、人に伝染する能力を有することが新たに報告されたものに限る。）であるものに限る。）

2020年1月31日に指定感染症と定められた後、2021年2月13日より新型インフルエンザ等感染症に変更された。2022年3月31日現在、新型コロナウイルス感染症等情報把握・管理支援システムHER-SYS上で保健所確認済となっている登録データによると、2021年に295,833件の届出があった。性別は男性163,860人、女性131,973人であった。



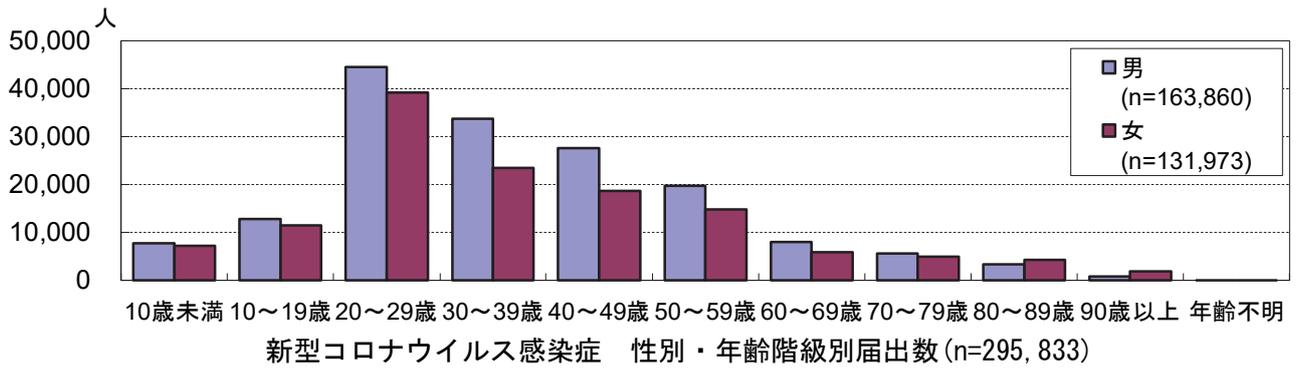


表3-1(1) 一、二、三類感染症 週別患者報告数

2021年第1週～2021年第52週

週	期 間	一 類							二 類						三 類				
		エボラ出血熱	クリミア・コンゴ出血熱	痘そう	南米出血熱	ペスト	マールブルグ病	ラッサ熱	急性灰白髄炎	結核*	ジフテリア	重症急性呼吸器症候群	中東呼吸器症候群	鳥インフルエンザ	鳥インフルエンザ(H5N1)	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス
1	1. 4～ 1.10															1	2		
2	1.11～ 1.17																	2	
3	1.18～ 1.24																4		
4	1.25～ 1.31																		
5	2. 1～ 2. 7																		
6	2. 8～ 2.14																	1	
7	2.15～ 2.21																	1	
8	2.22～ 2.28														1			1	
9	3. 1～ 3. 7																	1	
10	3. 8～ 3.14																	3	
11	3.15～ 3.21																	1	
12	3.22～ 3.28																	4	
13	3.29～ 4. 4																	5	
14	4. 5～ 4.11																	1	
15	4.12～ 4.18																	1	
16	4.19～ 4.25																	4	
17	4.26～ 5. 2																	2	
18	5. 3～ 5. 9																	2	
19	5.10～ 5.16																	2	
20	5.17～ 5.23																	8	
21	5.24～ 5.30																	8	
22	5.31～ 6. 6																	5	
23	6. 7～ 6.13																	9	
24	6.14～ 6.20																	9	
25	6.21～ 6.27																	8	
26	6.28～ 7. 4																	15	
27	7. 5～ 7.11																	12	
28	7.12～ 7.18																	11	
29	7.19～ 7.25																	20	
30	7.26～ 8. 1																	12	
31	8. 2～ 8. 8																	19	
32	8. 9～ 8.15																	6	
33	8.16～ 8.22																	11	
34	8.23～ 8.29																	14	
35	8.30～ 9. 5																	14	
36	9. 6～ 9.12																	7	
37	9.13～ 9.19																	17	
38	9.20～ 9.26																	16	
39	9.27～10. 3																	9	
40	10. 4～10.10																	2	
41	10.11～10.17																	6	
42	10.18～10.24																	7	1
43	10.25～10.31																	9	
44	11. 1～11. 7																	2	
45	11. 8～11.14																	5	
46	11.15～11.21																	3	
47	11.22～11.28																	6	
48	11.29～12. 5																	2	
49	12. 6～12.12																	6	
50	12.13～12.19																	5	
51	12.20～12.26																	5	
52	12.27～ 1. 2																	4	
合 計																2	329	1	

* 結核については、別途「東京都における結核の概況」として報告する。

表3-1(2) 四類感染症 週別患者報告数

2021年第1週～2021年第52週

週	期 間	四 類									
		E型 肝炎	A型 肝炎	エキノ コックス 症	Q 熱	つ つが 虫 病	日 本 紅 斑 熱	ボ ツ リ ヌ ス 症	マ ラ リ ア	レ ジ オ ネ ラ 症	レ プ ト ス ピ ラ 症
1	1. 4～ 1.10	2	1			1				2	
2	1. 11～ 1.17	3								3	
3	1. 18～ 1.24	2								2	
4	1. 25～ 1.31	3								1	
5	2. 1～ 2. 7	3	2							2	
6	2. 8～ 2.14	2	2								
7	2. 15～ 2.21	4	1							1	1
8	2. 22～ 2.28	3	1								
9	3. 1～ 3. 7	3								5	
10	3. 8～ 3.14	2								4	
11	3. 15～ 3.21	8								2	
12	3. 22～ 3.28	2	1							3	
13	3. 29～ 4. 4	5					1			2	
14	4. 5～ 4.11									1	
15	4. 12～ 4.18	5								2	
16	4. 19～ 4.25	2				1					
17	4. 26～ 5. 2	4								1	
18	5. 3～ 5. 9	1									
19	5. 10～ 5.16	4								1	
20	5. 17～ 5.23	4	1							2	
21	5. 24～ 5.30	2		1					1	3	
22	5. 31～ 6. 6									1	
23	6. 7～ 6.13	5			1					1	
24	6. 14～ 6.20	2						1		4	
25	6. 21～ 6.27	1								1	
26	6. 28～ 7. 4	1								2	
27	7. 5～ 7.11		1				1			1	
28	7. 12～ 7.18	2					1		1	11	
29	7. 19～ 7.25	1							1	7	
30	7. 26～ 8. 1	1							1	7	
31	8. 2～ 8. 8	1								2	
32	8. 9～ 8.15	3							1	4	
33	8. 16～ 8.22									6	
34	8. 23～ 8.29								1	4	
35	8. 30～ 9. 5									3	
36	9. 6～ 9.12	1							1	3	
37	9. 13～ 9.19	2								8	
38	9. 20～ 9.26	1								2	
39	9. 27～10. 3	4	1						1	4	
40	10. 4～10.10										1
41	10. 11～10.17									8	
42	10. 18～10.24	1	1							4	
43	10. 25～10.31	2							1	6	1
44	11. 1～11. 7	1								5	
45	11. 8～11.14	1				1	1		1	6	
46	11. 15～11.21	2								6	
47	11. 22～11.28	3				2				1	
48	11. 29～12. 5	2	1			2				3	
49	12. 6～12.12	3				3				3	
50	12. 13～12.19	3				2			1	4	
51	12. 20～12.26	3								5	
52	12. 27～ 1. 2	3	1							4	
	合 計	113	14	1	1	12	4	1	11	163	3

表3-1(3) 全数把握対象の五類感染症等 週別患者報告数

2021年第1週～2021年第52週

週	期 間	五 類															新型				
		ア メー バ 赤 痢	ウ イ ル ス 性 肝 炎 (A 型 ・ E 型 を 除 く)	カ ル バ ベ ネ ム 耐 性 腸 内 細 菌 科 細 菌 感 染 症	急 性 弛 緩 性 麻 痺 (急 性 灰 白 髄 炎 を 除 く)	急 性 脳 炎	ク ロ イ ツ フ ェ ル ト ・ ヤ コ ブ 病	劇 症 型 溶 血 性 レ ン サ 球 菌 感 染 症	後 天 性 免 疫 不 全 症 候 群	ジ ア ル ジ ア 症	侵 襲 性 イ ン フ ル エ ン ザ 菌 感 染 症	侵 襲 性 肺 炎 球 菌 感 染 症	水 痘 (入 院 例)	梅 毒	播 種 性 ク リ プ ト コ ク ス 症	破 傷 風	パ ン コ マ イ シ ン 耐 性 腸 球 菌 感 染 症	百 日 咳	風 し ん	薬 剤 耐 性 ア シ ネ ト バ ク タ ー 感 染 症	新 型 コ ロ ナ ウ イ ル ス 感 染 症
1	1. 4～ 1.10	3	1	6		1	1	1	5		4		27				1			13,017	
2	1. 11～ 1.17			5				2	6		2	1	33				1			9,905	
3	1. 18～ 1.24	1		2				1	2	8	1	4	32	1			3			7,163	
4	1. 25～ 1.31			1		1		2	5		1	1	44				1			4,938	
5	2. 1～ 2. 7	1	1	1				1	9		2	2	38				1			3,374	
6	2. 8～ 2.14	2	3	5				1	3	10		1	28	1			3			2,543	
7	2. 15～ 2.21	3	1	3		3		1	6			1	43				1			2,128	
8	2. 22～ 2.28	2	1	2		1		1	4	1		2	44				1	1		1,754	
9	3. 1～ 3. 7	1	1	3					5			1	44	1			5			1,765	
10	3. 8～ 3.14	1	1	6				3	5	1	1	1	3	41						2,733	
11	3. 15～ 3.21	1	6	3				1	7	1		1	45				1			1,989	
12	3. 22～ 3.28	2	4	5				1	13			2	42				2			2,364	
13	3. 29～ 4. 4	2	1	5				2	12		1	2	1	36			1			2,563	
14	4. 5～ 4.11	2		4				1	9		2	3	59		1		4			3,028	
15	4. 12～ 4.18	1		3	1	1		1	7		1	1	2	38						3,877	
16	4. 19～ 4.25	4		4					9		1	2	37			1	1			4,604	
17	4. 26～ 5. 2	1	2	3				3	6		5	1	43				2			5,578	
18	5. 3～ 5. 9	1		3				1	1	1		7	34	1						4,869	
19	5. 10～ 5.16	3	2	6					1	5		1	4	55			2			4,965	
20	5. 17～ 5.23	1	1	3	1			2	12		1	1	44	2			1			4,027	
21	5. 24～ 5.30	2		3				1	8		1	4	1	46						3,516	
22	5. 31～ 6. 6	1		6				1	7	1	1	7	49			2	1			2,646	
23	6. 7～ 6.13	5		5					8		1	1	50	1	1					2,383	
24	6. 14～ 6.20	3	1	3		1		5	7		2		47			1				2,518	
25	6. 21～ 6.27	3		3					7		2	3	58				1			3,254	
26	6. 28～ 7. 4	1		2				2	3			2	36							3,897	
27	7. 5～ 7.11	2	2	6				1	8			4	48							5,109	
28	7. 12～ 7.18	4		2		2			12			3	3	50						7,500	
29	7. 19～ 7.25	2		2		1		2	5		2	1	37			1	1			10,593	
30	7. 26～ 8. 1	2		2				1	12	1		1	2	66			1			22,337	
31	8. 2～ 8. 8	2	2	6				2	11			2	59	1						28,055	
32	8. 9～ 8.15	3	1	4							3	1	50			1				28,009	
33	8. 16～ 8.22	2		2		2		3	6			5	44			1	1			30,321	
34	8. 23～ 8.29	2	1	3		1		2	8		7	1	54			1	1			23,610	
35	8. 30～ 9. 5		1	5				1	2		1	3	50				1	1	1	15,081	
36	9. 6～ 9.12	1	2	7		1	1	2	8		3	1	60							8,371	
37	9. 13～ 9.19	5	1	1		1		2	7		2	2	58	1			1			4,590	
38	9. 20～ 9.26	1	1	5					10			2	30	1						1,959	
39	9. 27～10. 3	1	3	5		1		6	6		2		51	2			2	1		1,223	
40	10. 4～10.10	2		4		1		2	11			3	49			2	2			660	
41	10. 11～10.17	4		8				1	7				51	1		1	1			380	
42	10. 18～10.24	2	1	4				2	7		2	1	49				1			228	
43	10. 25～10.31	2	1	2		1		1	3	1		1	61				2			204	
44	11. 1～11. 7		1	5				1	3	10		1	1	58	1			1		217	
45	11. 8～11.14	2		8				3	7		1	2	1	69				1		200	
46	11. 15～11.21	4		2					8	1			52				1			168	
47	11. 22～11.28			4		1		4	1		2	1	42		1		4			151	
48	11. 29～12. 5	2	2	8		3		3	3		1	1	55				5			168	
49	12. 6～12.12		1	2		1		5	4		1	7	1	60		1	1	6		187	
50	12. 13～12.19	2		5			1	2	7			3	1	66			3			258	
51	12. 20～12.26	3	1	10		2		3	4		1	3	1	60			1			298	
52	12. 27～ 1. 2		2	3				1	6			1	29							558	
合 計		97	49	210	2	26	12	85	357	8	20	128	32	2,451	14	4	12	69	2	1	295,833

表3-2(1) 一、二、三類感染症 保健所別患者報告数

2021年第1週～2021年第52週

	一 類							二 類							三 類			
	エボラ出血熱	クリミア・コンゴ出血熱	痘そう	南米出血熱	ペスト	マールブルグ病	ラッサ熱	急性灰白髄炎	結核*	ジフテリア	重症急性呼吸器症候群	中東呼吸器症候群	鳥インフルエンザ (H5N1)	鳥インフルエンザ (H7N9)	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス
千代田								/								13		
中央区								/								4		
みなの								/								8		
新宿区								/								11		
文京								/								8		
台東								/								5		
墨田区								/								8		
江東区								/								6		
品川区								/								17	1	
目黒区								/								5		
大田区								/								11		
世田谷								/								28		
渋谷区								/								3		
中野区								/								15		
杉並								/								12		
池袋								/								4		
北区								/							1	13		
荒川区								/								4		
板橋区								/								18		
練馬区								/								17		
足立								/								8		
葛飾区								/								6		
江戸川								/								16		
八王子市								/								16		
町田市								/							1	6		
西多摩								/								11		
南多摩								/								7		
多摩立川								/								19		
多摩府中								/								19		
多摩小平								/								11		
島しょ								/										
合 計								/							2	329	1	

* 結核については、別途「東京都における結核の概況」として報告する。

表3-2(2) 四類感染症 保健所別患者報告数

2021年第1週～2021年第52週

	四 類									
	E型 肝炎	A型 肝炎	エキ ノコ ックス 症	Q 熱	つ つ が 虫 病	日 本 紅 斑 熱	ボ ツ リ ヌ ス 症	マ ラ リ ア	レ ジ オ ネ ラ 症	レ プ ト ス ピ ラ 症
千代田	6								2	
中央区	2			1					4	
みなと	6	2						1	10	
新宿区	4	1			2			5	10	1
文京	12							2	8	
台東	3								1	
墨田区	4	4						1	4	
江東区	3								3	
品川区	7					1			7	
目黒区	2	1	1						5	
大田区	10	1				1			3	
世田谷	4				2				1	
渋谷区	8	1							1	
中野区	1								1	
杉並	2	1							3	
池袋	1								5	
北区	2								3	
荒川区									1	
板橋区	5	2							8	
練馬区	3								4	
足立	3								4	
葛飾区	2							1	6	1
江戸川	3								6	
八王子市	2				1				7	
町田市	2								7	
西多摩	3	1			5				6	
南多摩	2								3	
多摩立川	4								15	
多摩府中	3					2	1		8	1
多摩小平	4							1	17	
島しょ					2					
合 計	113	14	1	1	12	4	1	11	163	3

表3-2(3) 全数把握対象の五類感染症等 保健所別患者報告数

2021年第1週～2021年第52週

	五 類																		新型	
	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎（A型・E型を除く）	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	急性弛緩性麻痺（急性灰白髄炎を除く）	急性脳炎	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例）	梅毒	播種性クリプトコックス症	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	百日咳	風しん	薬剤耐性アシネトバクター感染症	新型コロナウイルス感染症
千代田	9	2	4			2	4			1	1	25					1			3,750
中央区	3		9		1	5	9			2		131				2				6,642
みなと	8	1	25			1	2	13	2	3	11	3	164	1						11,570
新宿区	21	11	8		1	9	175	4		5	4	1029	6				2	1		18,715
文京	5	8	17			1	3	38		10	1	115	3	1	4	3				6,405
台東	1						4					141								4,855
墨田区	1				1		2			3	2	23					1			5,747
江東区	2	1	11			1	1	2		2		20					4			10,175
品川区	2		18		2	8	8			6		44	1				1			9,357
目黒区	1	1	6			1	5		1	4	3	30	1				3			7,758
大田区	4	3	8		3		6		1	3	1	36					2			15,815
世田谷	3	1	7		8	1	1			4	2	33					11			20,893
渋谷区	4	1	2			1	15		1	4	1	101					2			9,296
中野区	1	1	2			1	1	9		1		21								9,092
杉並	4	1	3				3			2		16					2			11,174
池袋	1	2	2				2					198								10,601
北区	2	1	5			1	2		1	4		22					3			6,235
荒川区			1			7	1					20								4,796
板橋区	3	6	20	1	3	2	5	15	2	1	13	35	2				3		1	11,674
練馬区	1				1	1	7		2	3		12								12,438
足立	1		8			1	3		1	3		14				3	13			14,146
葛飾区		1	3				3			5		21						1		10,154
江戸川	3		1		1					2	1	23								14,558
八王子市	5	1	10		1	1	2	4		1	8	2	35			1	4			7,941
町田市	1		3			1	1	1				7					4			6,243
西多摩	1	2	2		1							2		1		1				3,941
南多摩	1		3			2	1		1	1		17				6				6,822
多摩立川	4	2	14			4	6		1	8	2	55		1		1				9,973
多摩府中	4		10		1	4	15	12		4	15	6	35		1	2	2			16,053
多摩小平	1	3	8	1	2	12	6		2	8	3	26								8,901
島しょ																				113
合 計	97	49	210	2	26	12	85	357	8	20	128	32	2,451	14	4	12	69	2	1	295,833

表3-3(1) 一、二、三類感染症 年齢階級別患者報告数

2021年第1週～2021年第52週

	一 類						二 類						三 類						
	エボラ出血熱	クリミア・コンゴ出血熱	痘そう	南米出血熱	ペスト	マールブルグ病	ラッサ熱	急性灰白髄炎	結核*	ジフテリア	重症急性呼吸器症候群	中東呼吸器症候群	鳥インフルエンザ (H5N1)	鳥インフルエンザ (H7N9)	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス
0歳								/									3		
1～4歳								/									28		
5～9歳								/									17		
10～14歳								/									15		
15～19歳								/									27		
20～24歳								/							1		52		
25～29歳								/									39		
30～34歳								/									26		
35～39歳								/									16		
40～44歳								/									17	1	
45～49歳								/									20		
50～54歳								/									17		
55～59歳								/							1		15		
60～64歳								/									8		
65～69歳								/									9		
70～74歳								/									7		
75～79歳								/									6		
80～84歳								/									3		
85～89歳								/									3		
90歳以上								/									1		
合 計								/							2	329	1		

* 結核については、別途「東京都における結核の概況」として報告する。

表3-3(2) 四類感染症 年齢階級別患者報告数

2021年第1週～2021年第52週

	四 類									
	E型 肝炎	A型 肝炎	エキ ノコ ツク ス症	Q熱	つ つが 虫 病	日 本 紅 斑 熱	ボ ツ リ ヌ ス 症	マ ラ リ ア	レ ジ オ ネ ラ 症	レ プ ト ス ピ ラ 症
0歳										
1～4歳		1								
5～9歳		1								
10～14歳		2								
15～19歳										
20～24歳	2	1						1		
25～29歳	5									
30～34歳	4				1			1		
35～39歳	9	1						4	1	
40～44歳	16	1			2	1		2	6	
45～49歳	17	1						1	6	2
50～54歳	12	2				1		1	7	
55～59歳	9			1			1	1	15	
60～64歳	10				1				11	1
65～69歳	9				2				21	
70～74歳	10	1	1		2				27	
75～79歳	9	2			1	1			22	
80～84歳	1	1			2				16	
85～89歳					1	1			16	
90歳以上									15	
合 計	113	14	1	1	12	4	1	11	163	3

表3-3(3) 全数把握対象の五類感染症等 年齢階級別患者報告数

2021年第1週～2021年第52週

	五 類																	新型		
	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎（A型・E型を除く）	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	急性弛緩性麻痺（急性灰白髄炎を除く）	急性脳炎	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例）	梅毒	播種性クリプトコックス症	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	百日咳	風しん	薬剤耐性アシネトバクター感染症	新型コロナウイルス感染症
0歳			6		2		3				7	1	3			1				1,059
1～4歳			4	2	13					1	23	2					11			6,136
5～9歳			3		2						3	1					8			7,761
10～14歳					3		1										9			8,146
15～19歳		3	2				4					2	63							16,104
20～24歳	1	8				1	39					548					5			42,281
25～29歳	5	10	1				78	1				480					7			41,391
30～34歳	7	8	1				72	1	1	1	2	355	1			4	2			30,561
35～39歳	9	6	1				2	49	1		5	2	269	2			6			26,666
40～44歳	14	6	3				3	31	1	1		2	234	1			8			23,517
45～49歳	11	3	4		1		5	23	1		3	3	204			1	2			22,710
50～54歳	13		7				3	22		2	6	2	128				3			19,980
55～59歳	14		11				2	24			4	3	90			1	2			14,521
60～64歳	8	2	6			2	3	8		3	4	5	33	1		1	4			8,504
65～69歳	8	2	16		1	2	8	5	1	1	11	1	15	2	1					5,512
70～74歳	6	1	27		2	1	18	1	1	4	20	2	16	2		1			1	6,013
75～79歳			33		1	6	12	1		3	13	1	6	1		3				4,504
80～84歳			42		1		7			3	11	1	2	2						4,143
85～89歳	1		28			1	11		1	1	10		3	2	2	3				3,627
90歳以上			15				6				7	2	2		1	1				2,671
不明																				26
合 計	97	49	210	2	26	12	85	357	8	20	128	32	2,451	14	4	12	69	2	1	295,833

(2) 小児科・内科疾患

ア インフルエンザ

2021年の報告数は43人、定点当たり0.11人で、極めて少ない。ここ10年の定点当たりの報告数の平均は240.81人であり、当然のことながら、ここ10年では最も少ない報告数であった。

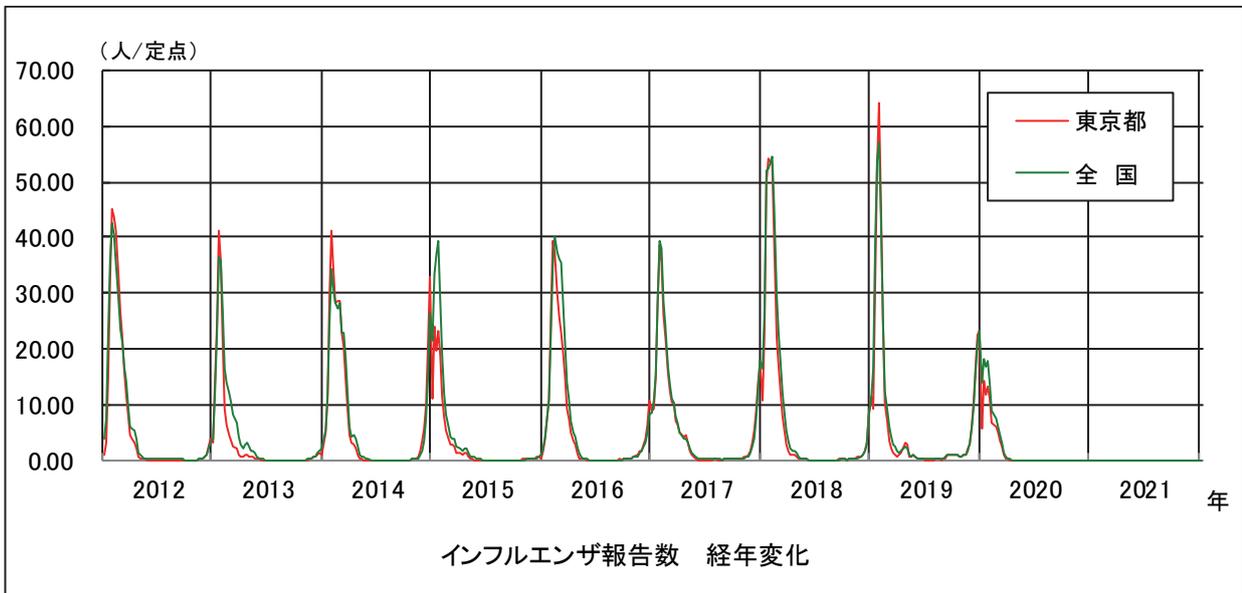
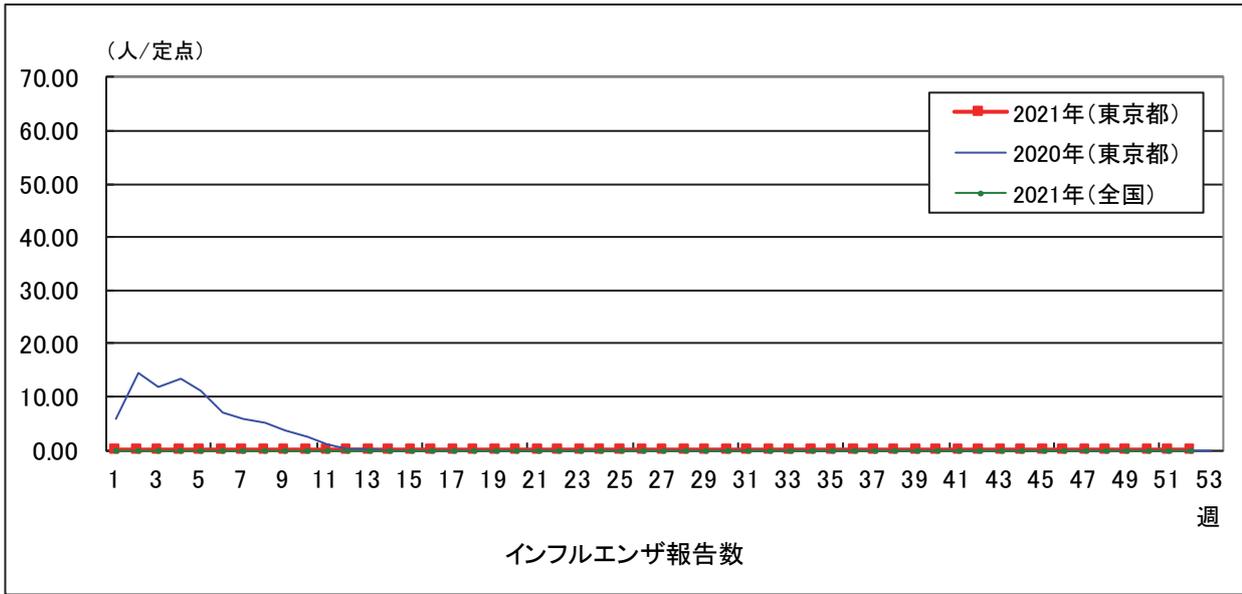
2019/20シーズンの流行は、2019年49週(12.2~12.8)には10.34人と10.0人を超え、52週(12.23~12.29)には23.19人に達し、2020年2週(1.6~1.12)には14.42人となったが、暖冬や新型コロナウイルス感染症(COVID-19)への予防行動が活発になった影響などもあってか、流行警報発令基準(定点あたり30.0人以上)に達することなく、2020年6週(2.3~2.9)には6.87人と10.0人を割り、11週(3.9~3.15)に0.89人と1.0人以下となり流行は終息に向かった。

2020/21シーズンは、散発的な報告はあったものの、流行期を迎えても都内の週別報告数は1~5人、定点当たり0.00~0.01人の間で推移した。2021年にはいっても傾向は変わらず、1週(1.4~1.10)から5週(2.1~2.7)まで0.01人だったが、以後も散発的な報告に留まった。

2021/22シーズンは、流行期を迎えても都内の週別報告数は散発的な報告にとどまった。

2021年の保健所別定点当たり患者報告数で最も多かったのはみなとの0.56、次いで池袋の0.50人であったが、管内の定点から患者の報告がなかった保健所もあった。

年齢階級別に患者報告数をみると1歳未満0人(0%)、1歳~10歳未満14人(32.6%)、10歳~20歳未満6人(14.0%)、20歳~60歳未満18人(41.9%)、60歳以上5人(11.6%)であった。



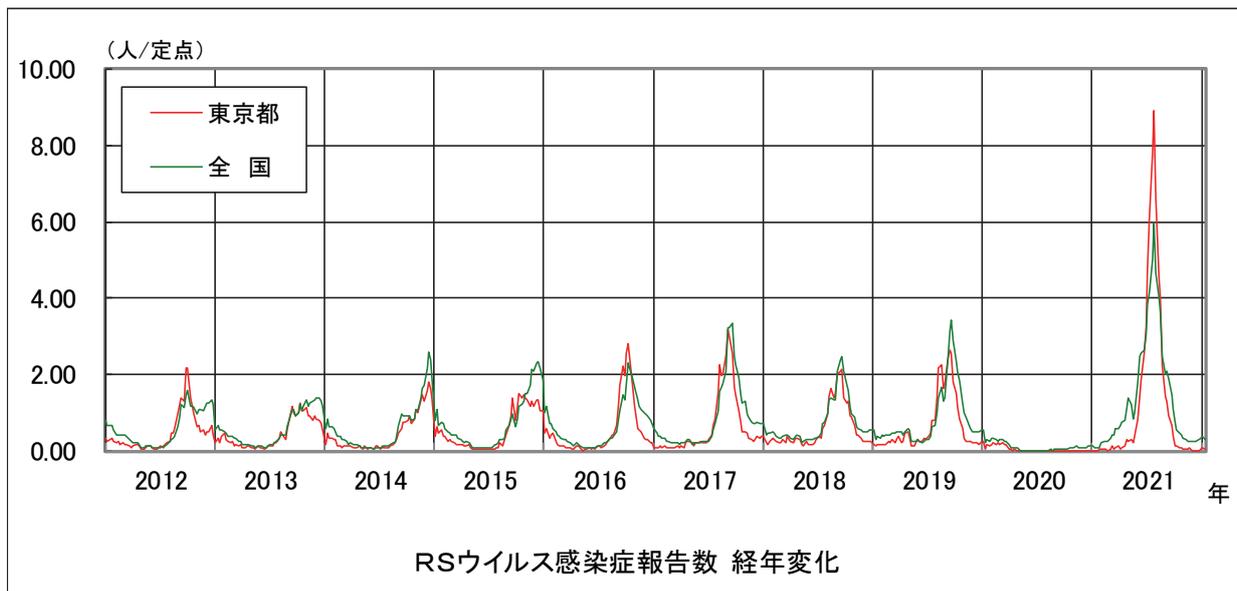
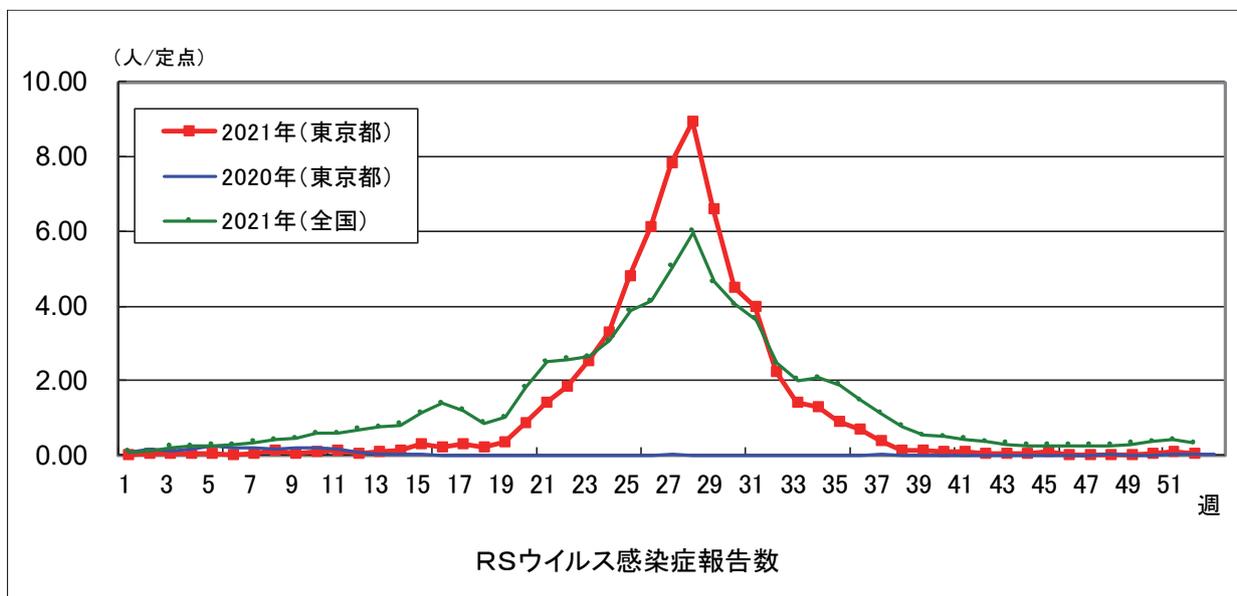
イ RS ウイルス感染症

2021年の報告数は16,189人、定点当たりの報告数は62.94人であった。ここ10年の定点当たりの報告数の平均は29.07人であり、2021年の報告数は2003年の調査開始以降、最も多い報告数であった。

週別定点当たりの報告数では21週（5.24～5.30）に1.43人と1.0人を超え、28週（7.12～7.18）には8.92人とピークを迎え、35週（8.30～9.5）には0.91人と1.0人を下回った。

保健所別定点当たりの報告数で最も多かったのは荒川区の175.83人であった。

年齢階級別報告数では6か月未満が830人(5.1%)、6か月～12か月未満が1,722人(10.6%)、1歳代が5,142人(31.8%)、2歳代が4,291人(26.5%)と2歳以下で74.0%を占めている。



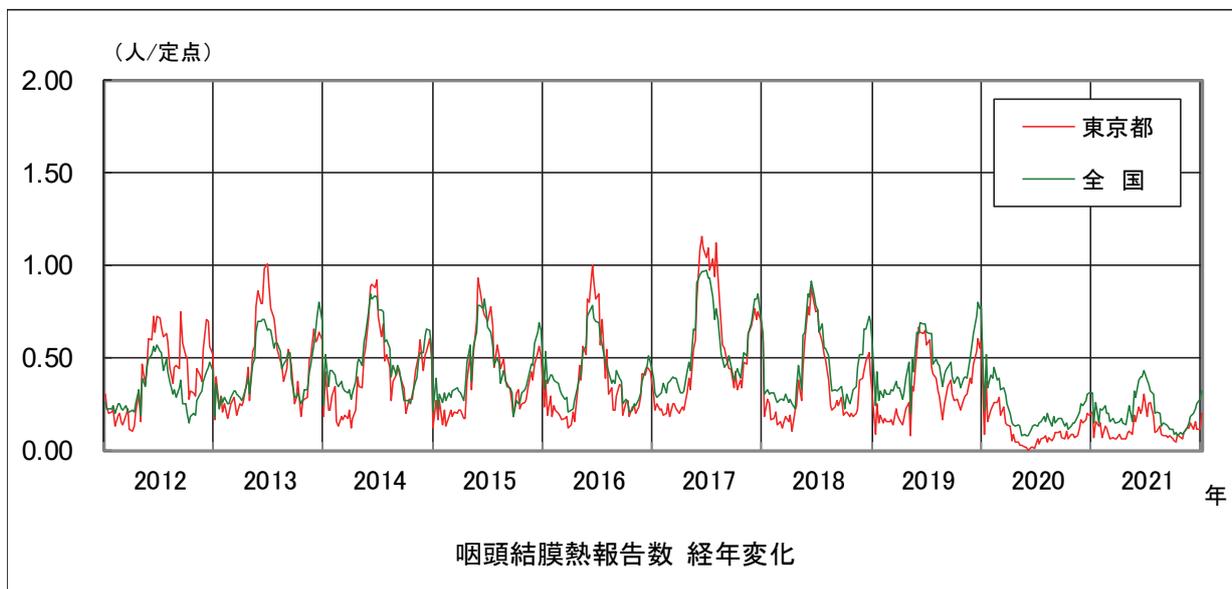
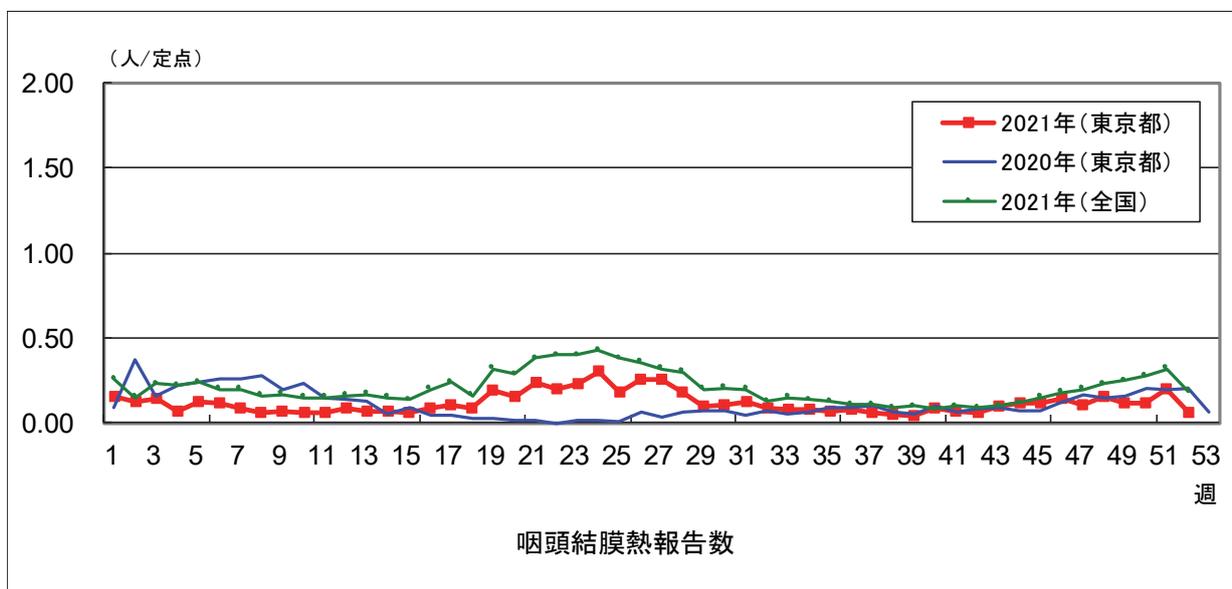
ウ 咽頭結膜熱

2021年の報告数は1,596人、定点当たりの報告は6.19人であった。ここ10年の定点当たりの報告数の平均は18.20人であり2021年の報告数はここ10年では2020年に次いで少ない報告数であった。

週別定点当たりの報告数は年間を通じて0.05人以上で、ときに0.10人を超える週もあったが、19週(5.10～5.16)から31週(8.2～8.8)にかけて、0.10人を持続的に超えていた。ピークは24週(6.14～6.20)の0.30人であった。

保健所別定点当たり報告数で最も多かったのは多摩小平の16.05人、次いで台東の15.00人、足立区の13.96人、大田区の12.62人であった。

年齢階級別報告数では1歳代が643人(40.3%)と最も多く、5歳代以下で92.9%を占めている。

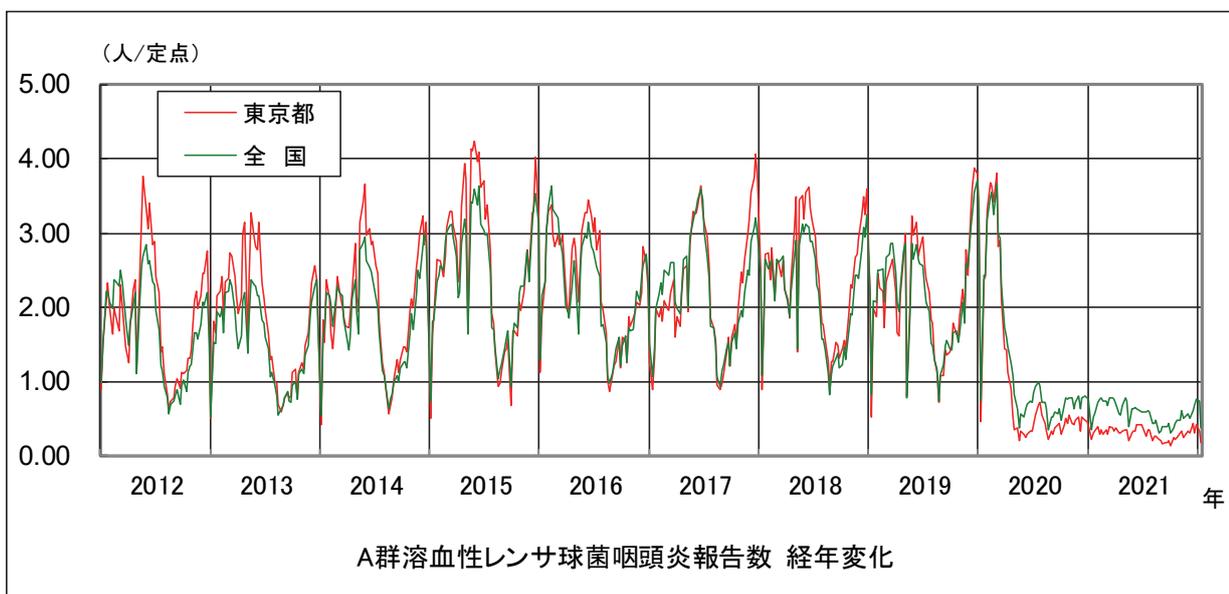
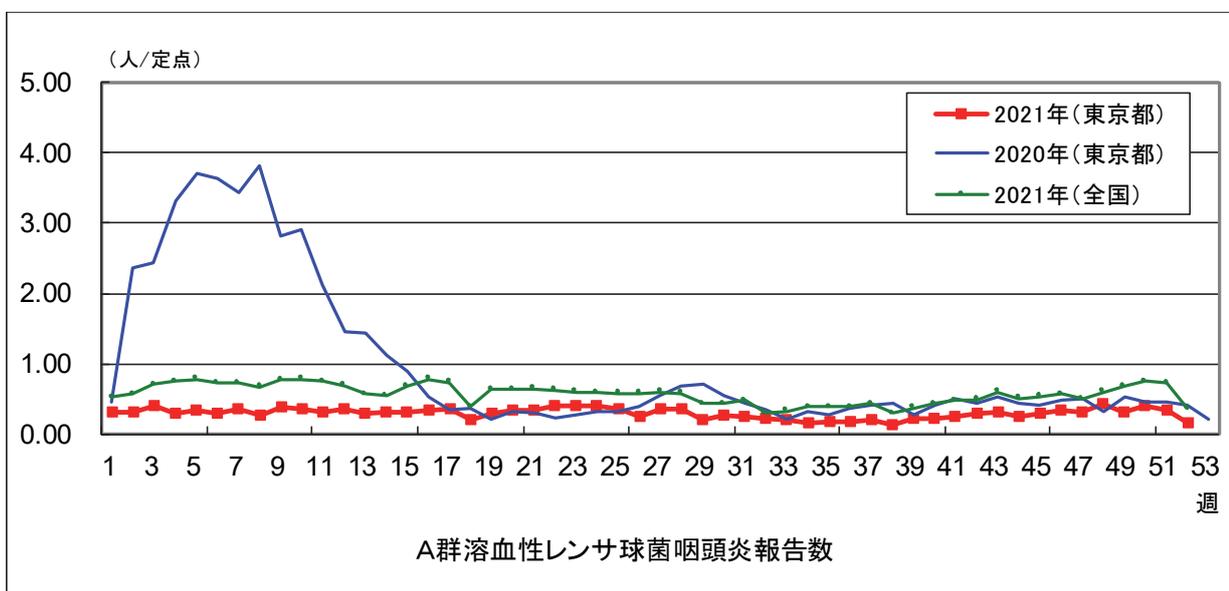


エ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

2021年の報告数は4,014人であり、定点当たりの報告数は15.58人であった。ここ10年の定点当たりの報告数の平均は97.30人であり、2021年の報告数はここ10年では最も少ない報告数であった。

週別定点当たりの報告数では特にピークは見られず、年間を通じて0.14人～0.43人の間で推移した。保健所別定点当たり報告数で最も多かったのは町田市の51.38人、次いで練馬区の41.62人であった。

年齢階級別報告数では3歳代が443人(11.0%)、4歳代が472人(11.8%)、5歳代が426人(10.6%)と、3歳代から5歳代で33.4%を占めている。



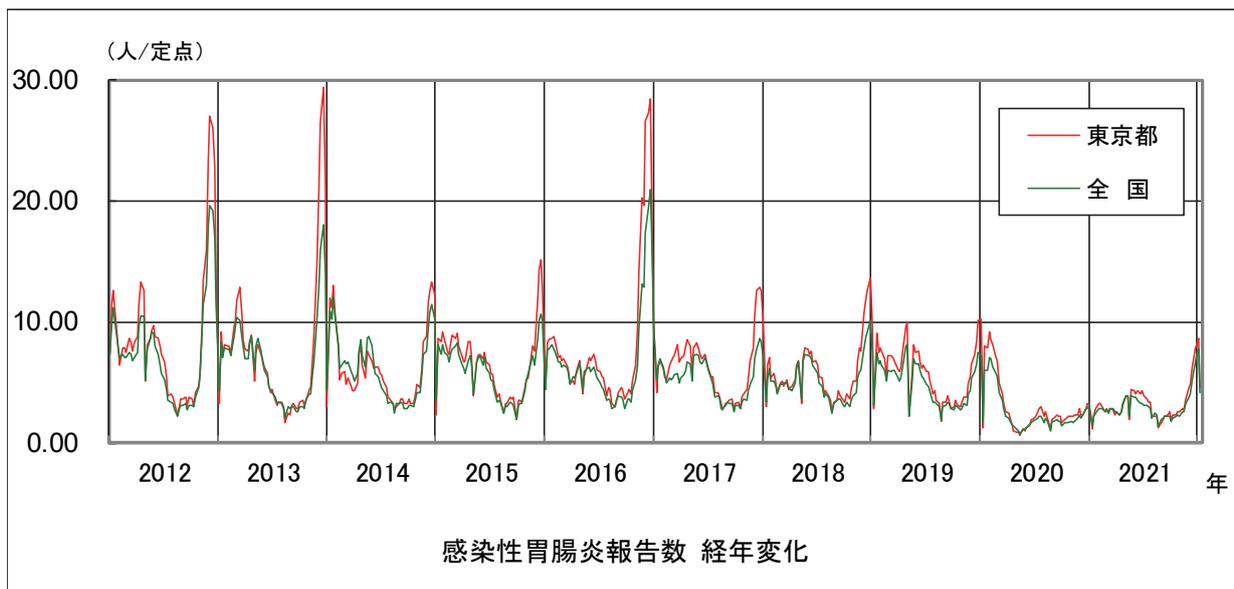
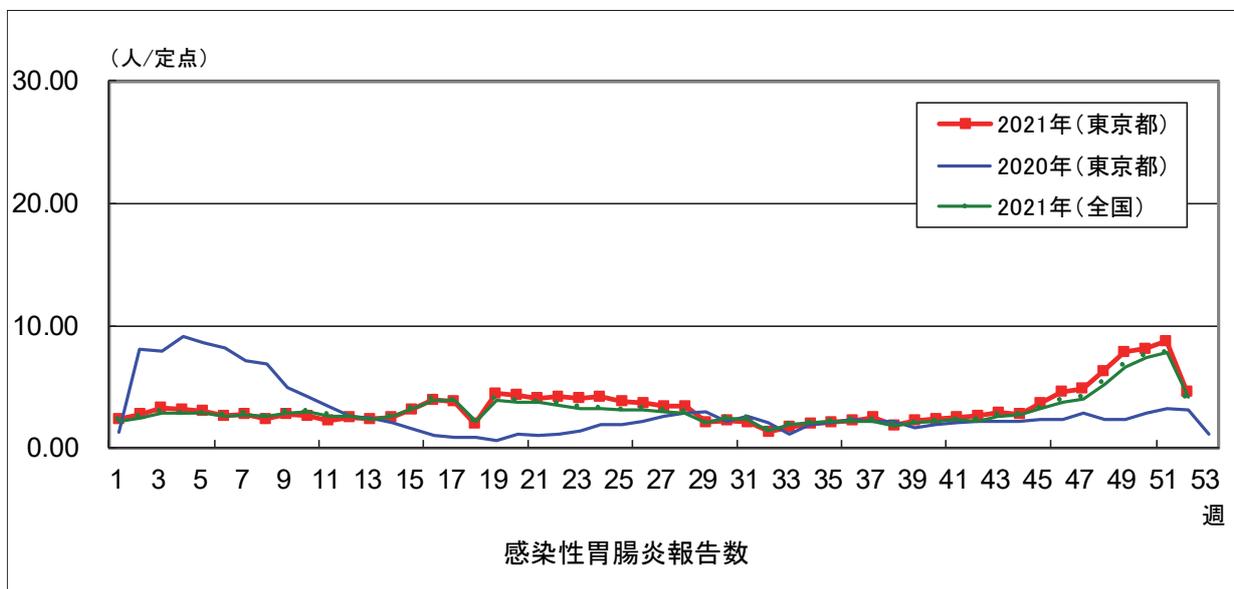
オ 感染性胃腸炎

2021年の報告数は45,400人、定点当たりの報告数は176.04人であった。ここ10年の定点当たりの報告数の平均320.95人であり、2021年の報告数は2020年に次いで少ない報告数であった。

週別定点当たりの報告では、19週（5.10～5.16）から24週（6.14～6.20）にかけてと、46週（11.15～11.21）から52週（12.27～1.2）にかけて4.0人を超える山があり、ピークは51週（12.20～12.26）の8.74人であった。

保健所別定点当たり報告数で最も多かったのは台東の546.42人であった。

年齢階級別報告数では1歳代が7,428人（16.4%）であった。



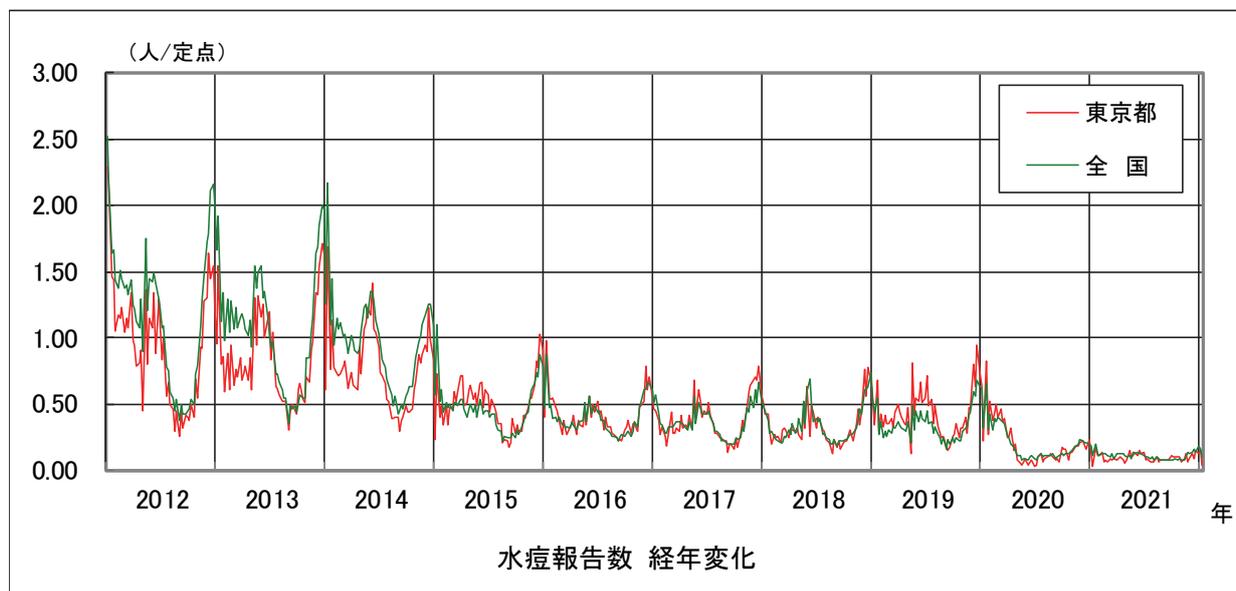
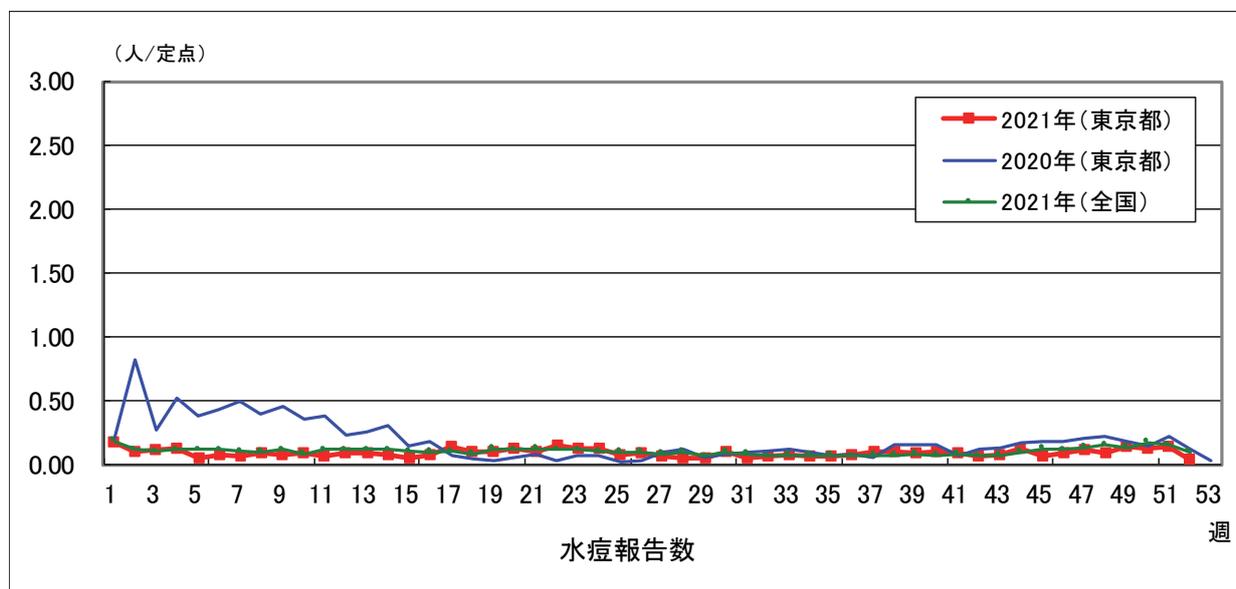
カ 水痘

2021年の報告数は1,287人、定点当たりの報告数は4.99人であった。ここ10年の定点当たりの報告数の平均は25.54人であり、2021年の報告数はこの10年では最も少ない報告数であった。

週別定点当たりの報告数では、ピークは1週（1.4～1.10）の0.18人で、年間を通じて0.20人未満で推移した。

保健所別定点当たり報告数で最も多かったのは墨田区の8.80人であった。

年齢階級別報告数では5歳代が146人（11.3%）、6歳代が140人（10.9%）だった。



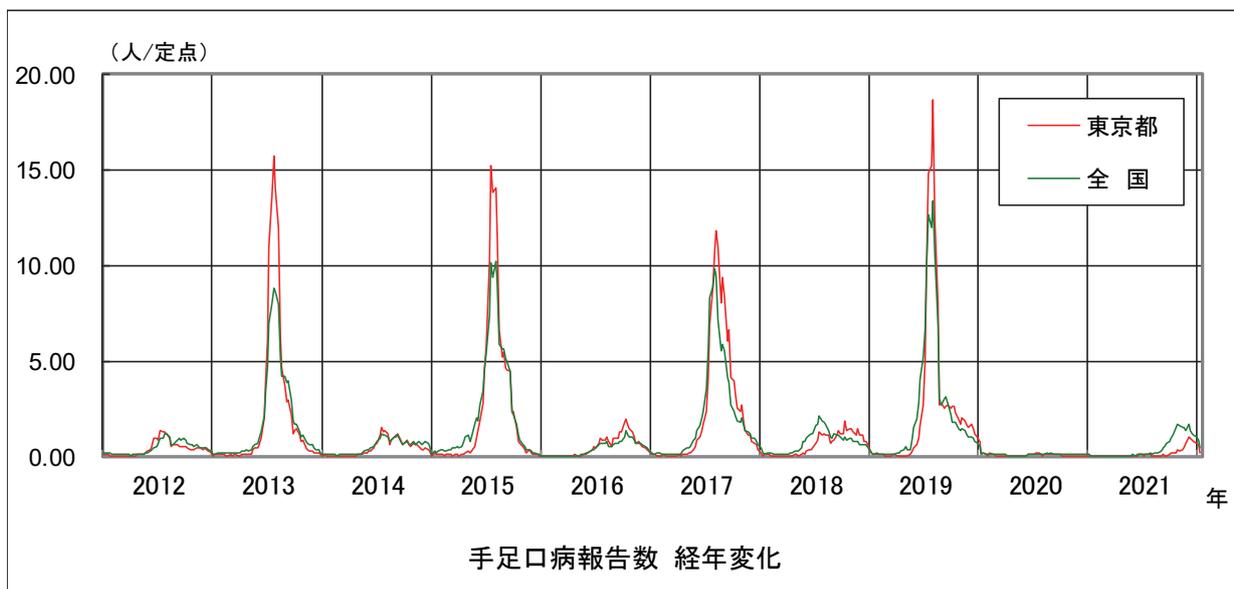
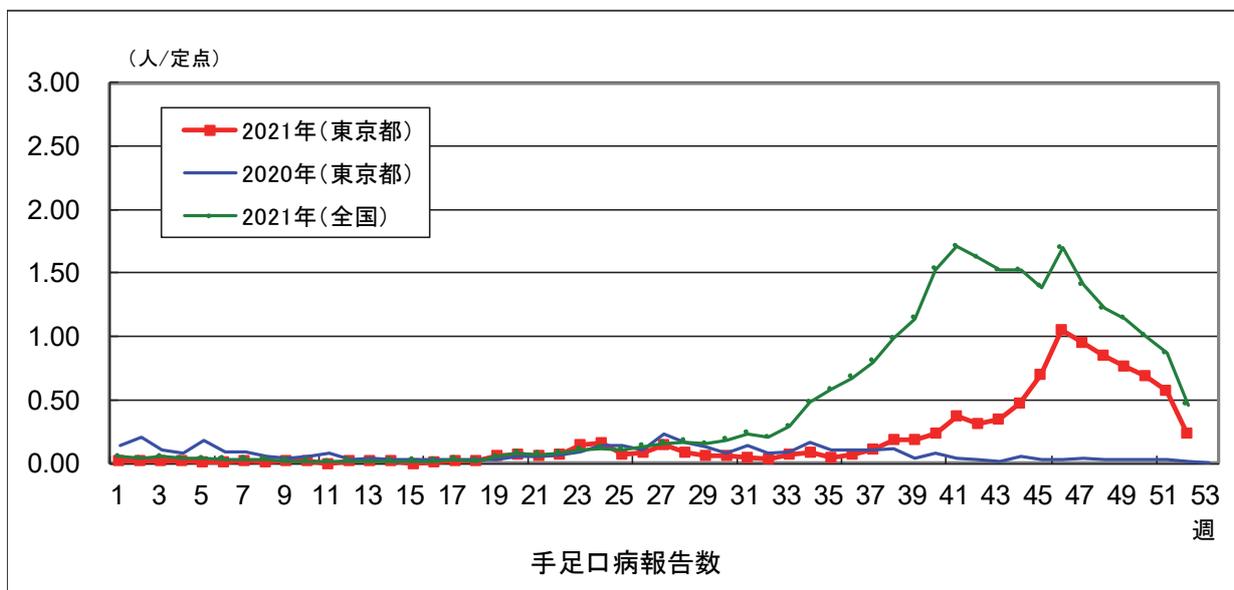
キ 手足口病

2021年の報告数は2,542人、定点当たりの報告数は9.82人であった。ここ10年の定点当たりの報告数の平均は62.04人であった。近年では2010年以降1年ごとに報告の多い年と少ない年を繰り返しており、2020年は報告数が少ない年にあたっていたが、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に対する感染予防対策の影響もあってか、定点当たりの報告数は圧倒的に少ない報告数であった。2021年は報告数が多い年にあたり、2020年よりは報告数が増加したが、引き続きCOVID-19に対する感染予防対策の影響もあって、ここ10年でみると、2020年に次いで少ない報告数であった。

週別定点当たりの報告数では、年初から0.00～0.15前後で推移していたが、38週（9.20～9.26）に0.18人とやや増えたあと増加傾向を示し、ピークは46週（11.15～11.21）の1.05人であった。

保健所別定点当たり報告数で最も多かったのは、目黒区の22.40人で、次いでみなとが22.00人であった。

年齢階級別報告数では1歳代が1,181人(46.5%)と最も多かった。



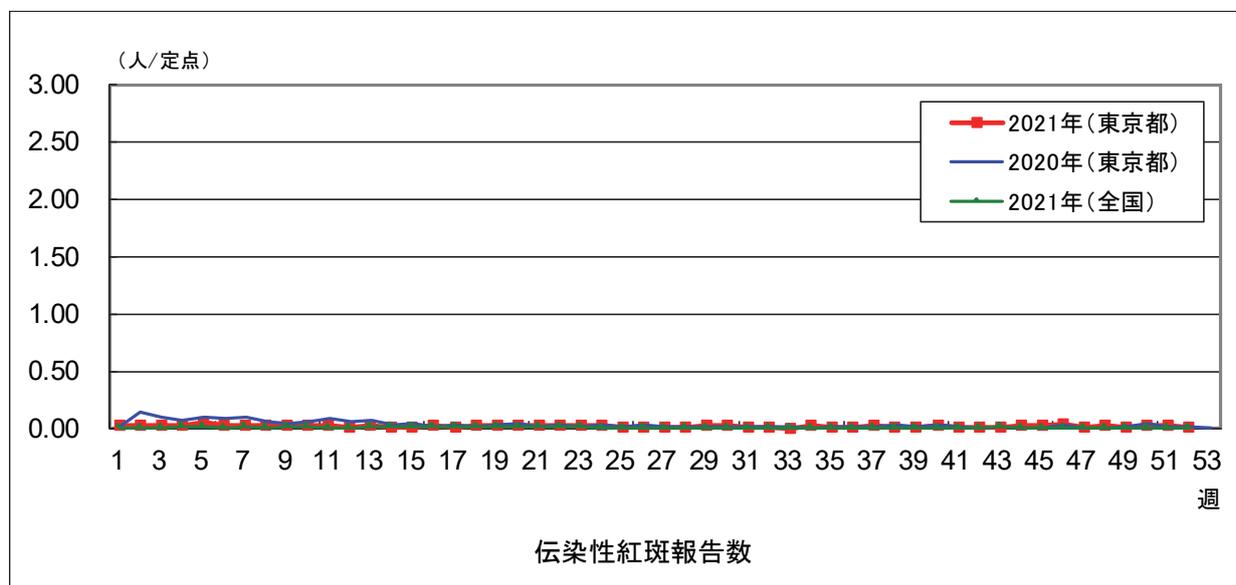
ク 伝染性紅斑

2021年の報告数は265人、定点当たりの報告数は1.03人であった。ここ10年の定点当たりの報告の平均は15.33人であり、2021年の定点当たりの報告数はこの10年では最も少ない報告数であった。

週別定点当たりの報告数は、年間を通して0.05人以下で推移した。

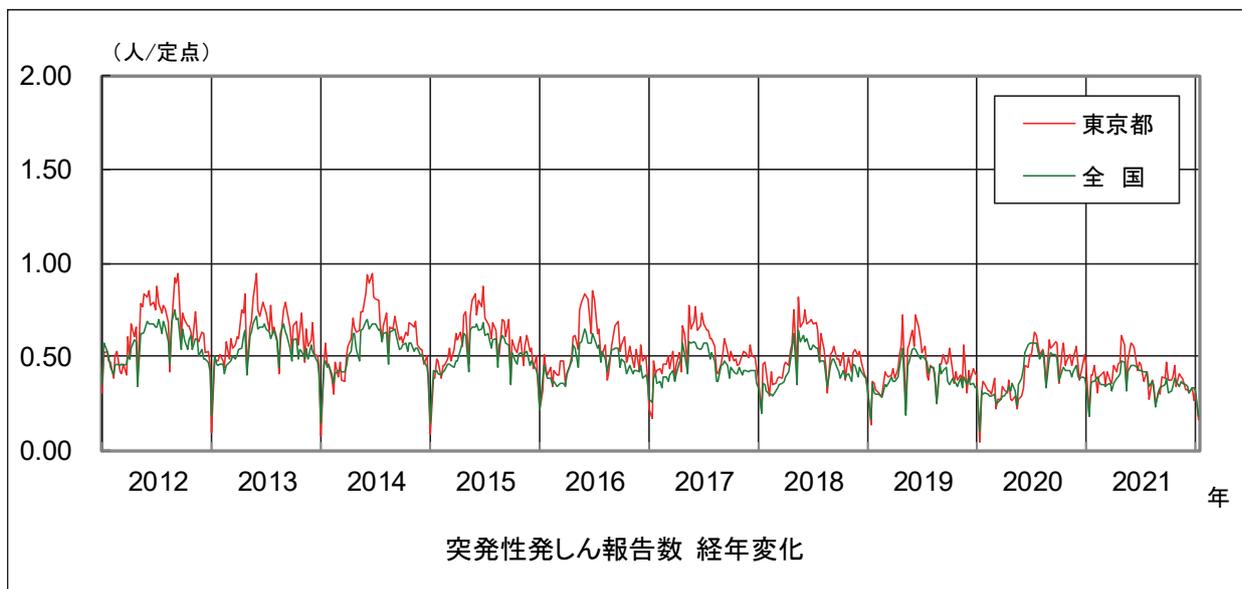
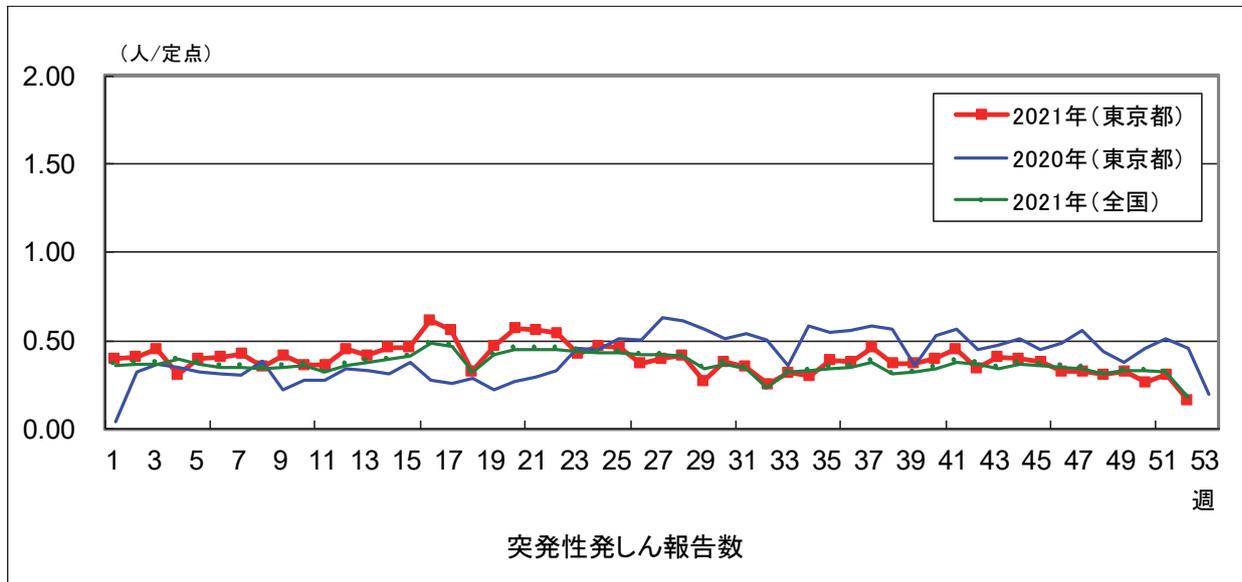
保健所別定点当たり報告数で最も多かったのは板橋区の2.90人であった。

年齢階級別報告数では1歳代が51人（19.2%）、2歳代が41人（15.5%）と多かった。



ケ 突発性発しん

2021年の報告数は5,291人、定点当たりの報告数は20.53人であった。ここ10年の定点当たりの報告数の平均は27.22人であり、2021年の定点当たりの報告数はここ10年では最も少ない報告数であった。週別定点当たりの報告数では例年通りやや夏季に多い傾向はみられるが季節変動は少なかった。保健所別定点当たり報告数で最も多かったのは台東の42.58人であった。年齢階級別報告数では1歳代が2,776人（52.5%）と最も多かった。



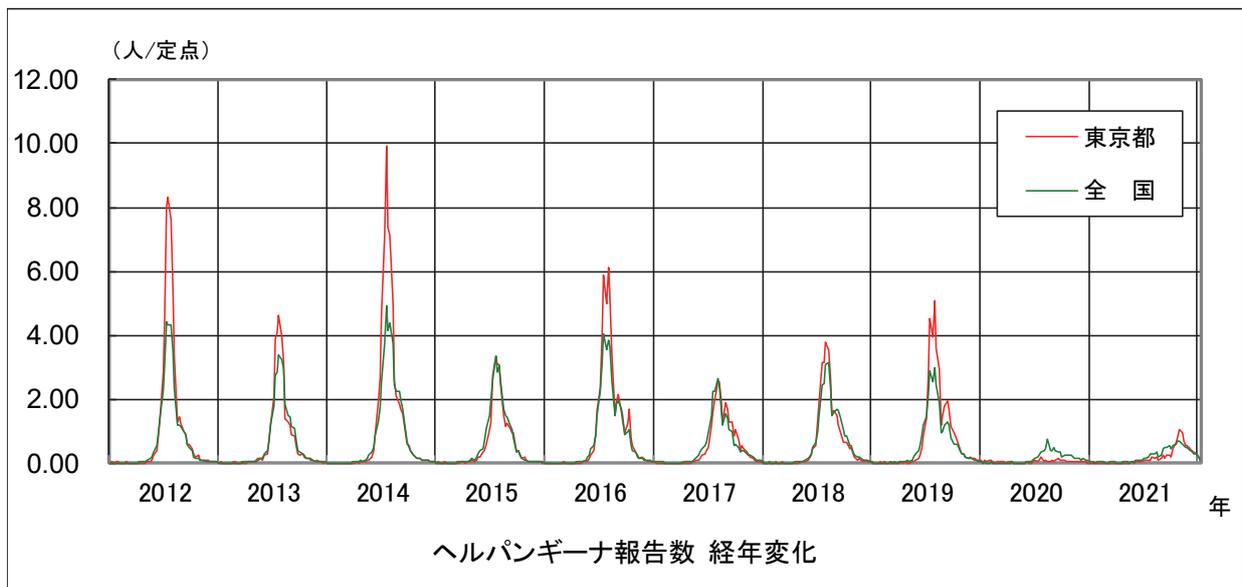
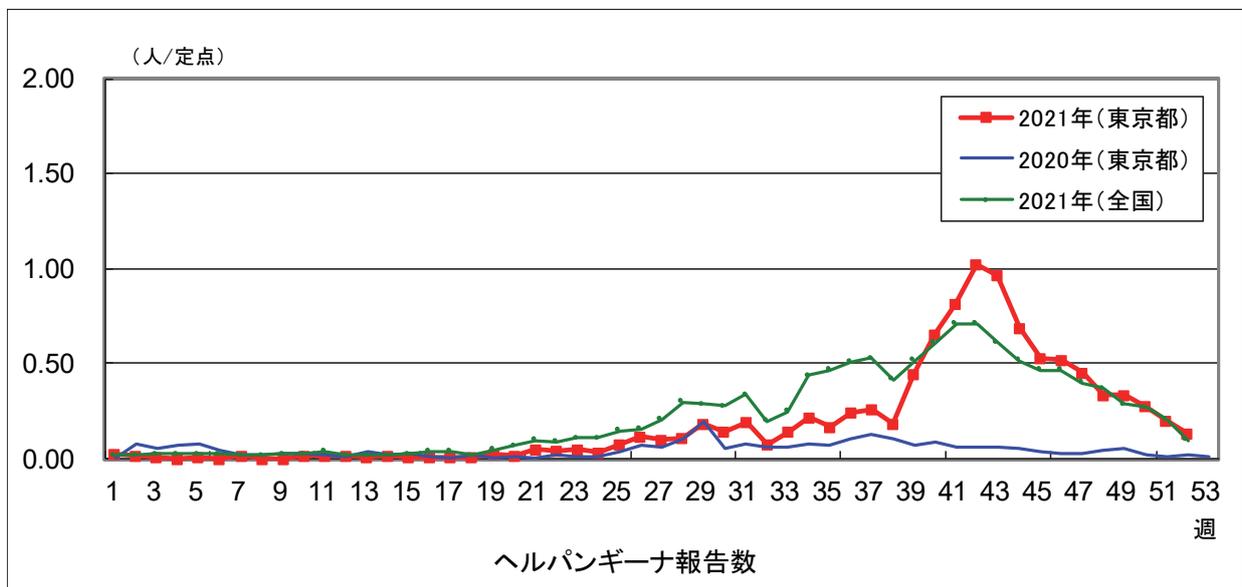
コ ヘルパンギーナ

2021年の報告数は2,595人、定点当たりの報告数は10.03人であった。ここ10年の定点当たりの平均は33.67人であり、2021年の定点当たりの報告数はここ10年では2020年に次いで少ない報告数であった。

週別定点当たりの報告数では、2020年から引き続き0.3未満で推移していたが、39週（9.27～10.3）に0.45人とやや増えたあと増加傾向を示し、ピークは42週（10.18～10.24）の1.03人であった。

保健所別定点当たり報告数で最も多かったのは八王子市の42.77人であった。

年齢階級別報告数では1歳代が799人（30.8%）と最も多く、次いで2歳代が753人（29.0%）であった。



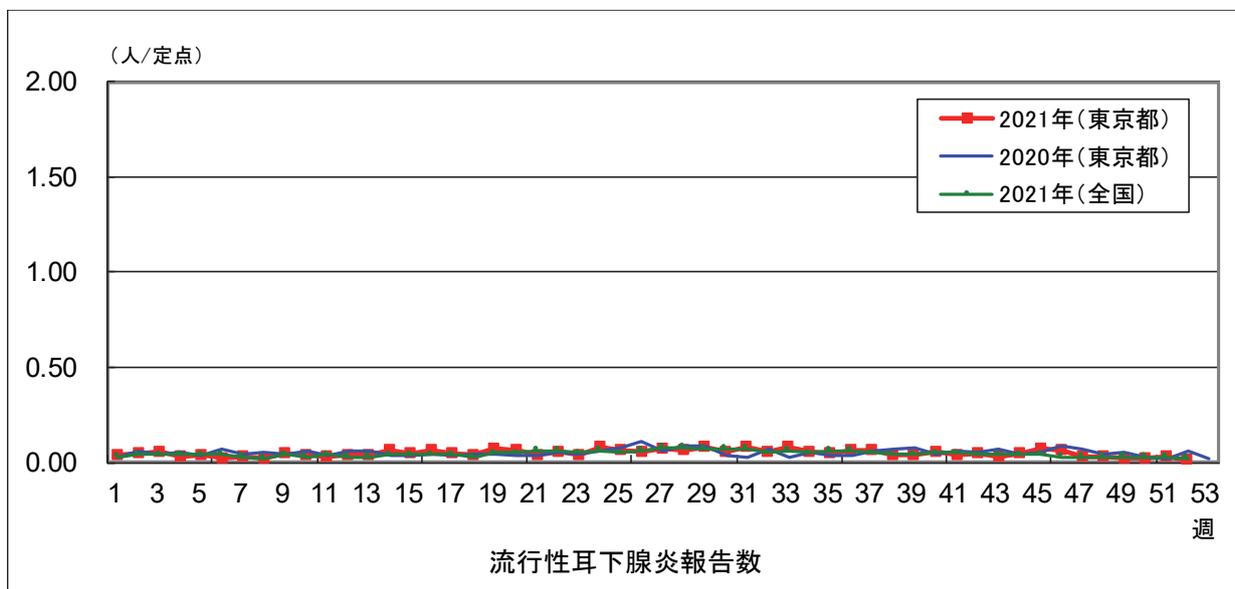
サ 流行性耳下腺炎

2021年の報告数651人、定点当たりの報告数は2.53人であった。ここ10年の定点当たりの報告数の平均は11.00人であり、2021年の報告数はここ10年で最も少ない報告数であった。ここ10年では2016年に大きな流行があった。

週別定点当たりの報告数では季節変動は明らかではない。年間を通して0.10人未満で推移した。

保健所別定点当たり報告数で最も多かったのは中央区の5.00人、次いで八王子市の4.73人であった。

年齢階級別報告数では5歳代が105人（16.1%）と最も多かった。

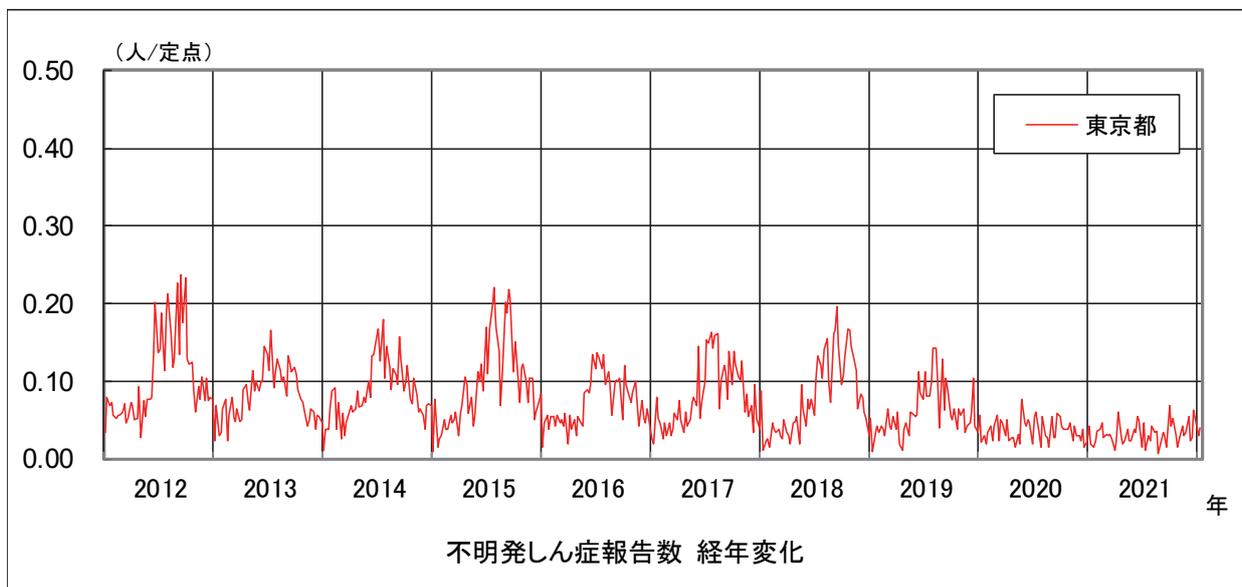
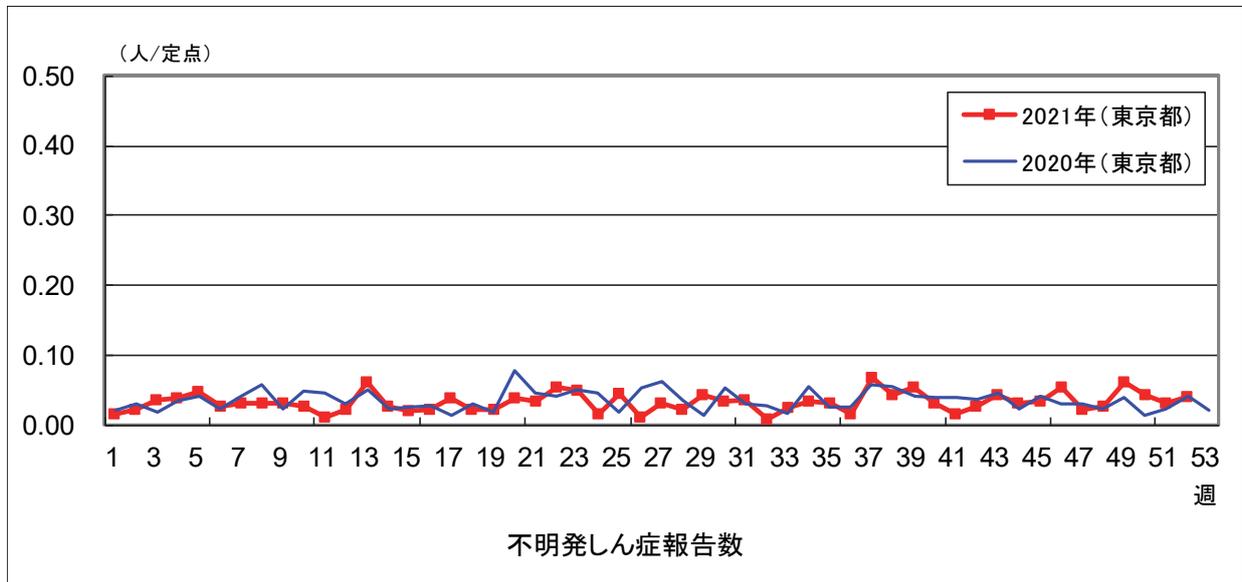


シ 不明発しん症

2021年の報告数は443人であり、定点当たりの報告は1.72人であった。ここ10年の定点当たりの報告数の平均は3.81人であり、2021年の報告数はここ10年で最も少ない報告数であった。

週別定点当たりの報告数では、2021年は季節変動は顕著ではなかった。年間を通して0.01人から0.07人の間で推移した。

保健所別定点当たり報告数で最も多かったのは多摩府中の4.61、次いで葛飾区の4.25人であった。年齢階級別報告数では1歳代が132人（29.8%）と最も多かった。



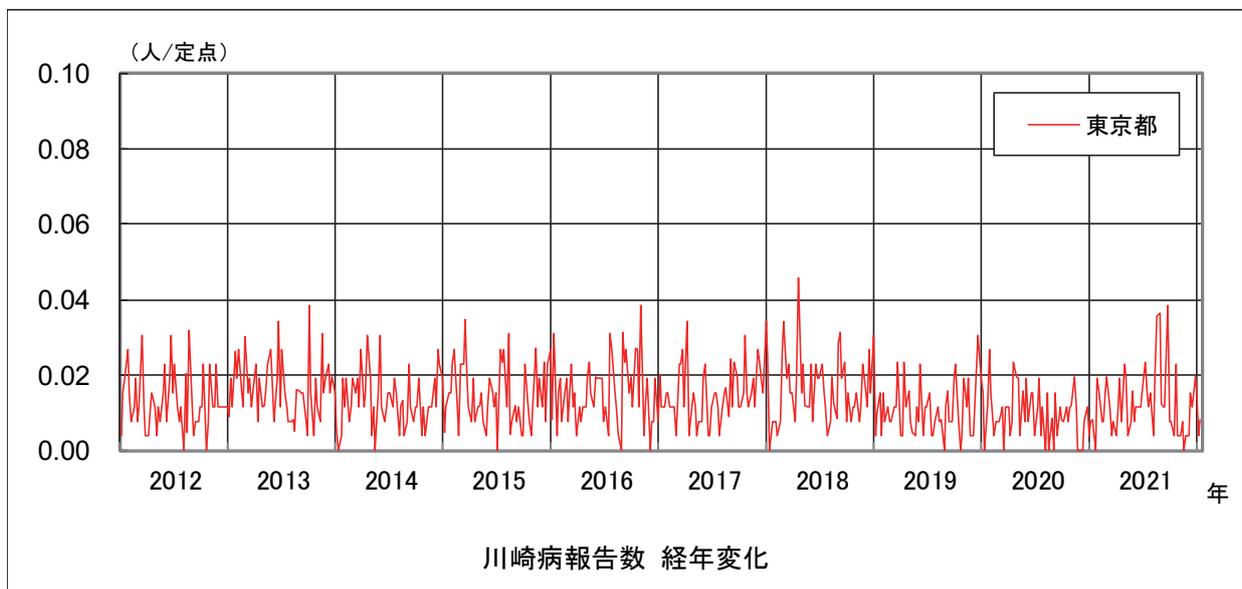
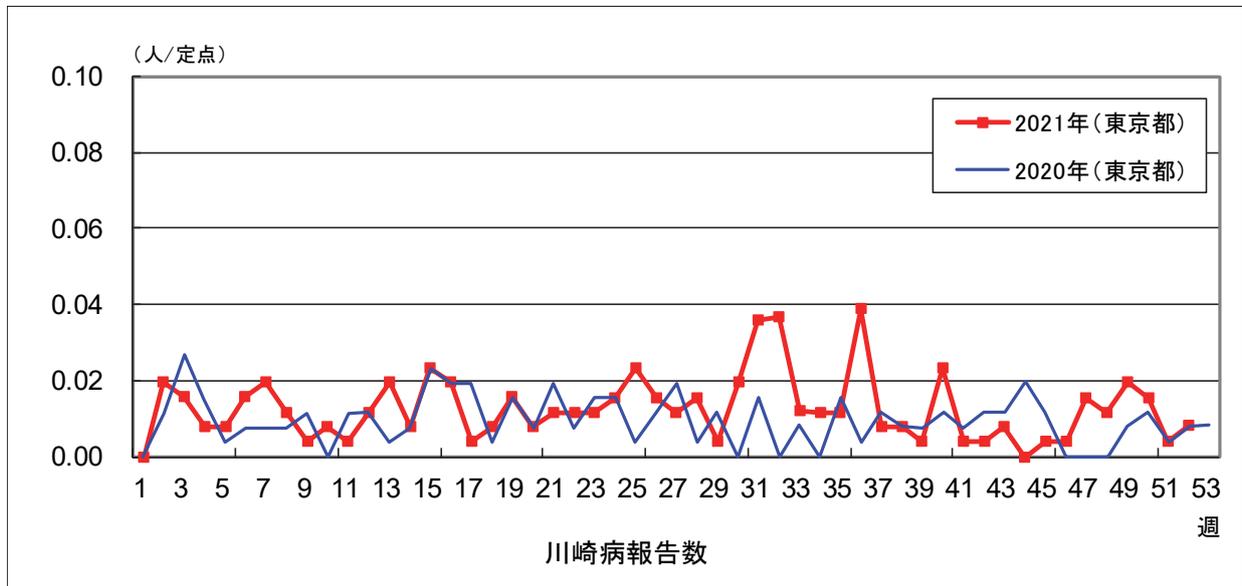
ス 川崎病

2021年の報告数は168人であり、定点当たりの報告数は0.65人であった。ここ10年の定点当たりの報告数の平均は0.71人であり、2021年は、ここ10年でみると少なめの報告数であった。

週別定点当たりの報告数では例年と同様に季節変動は明確でない。

保健所別定点当たり報告数で最も多かったのは杉並区の4.32人であった。

年齢階級別報告数では1歳代が58人（34.5%）と最も多かった。



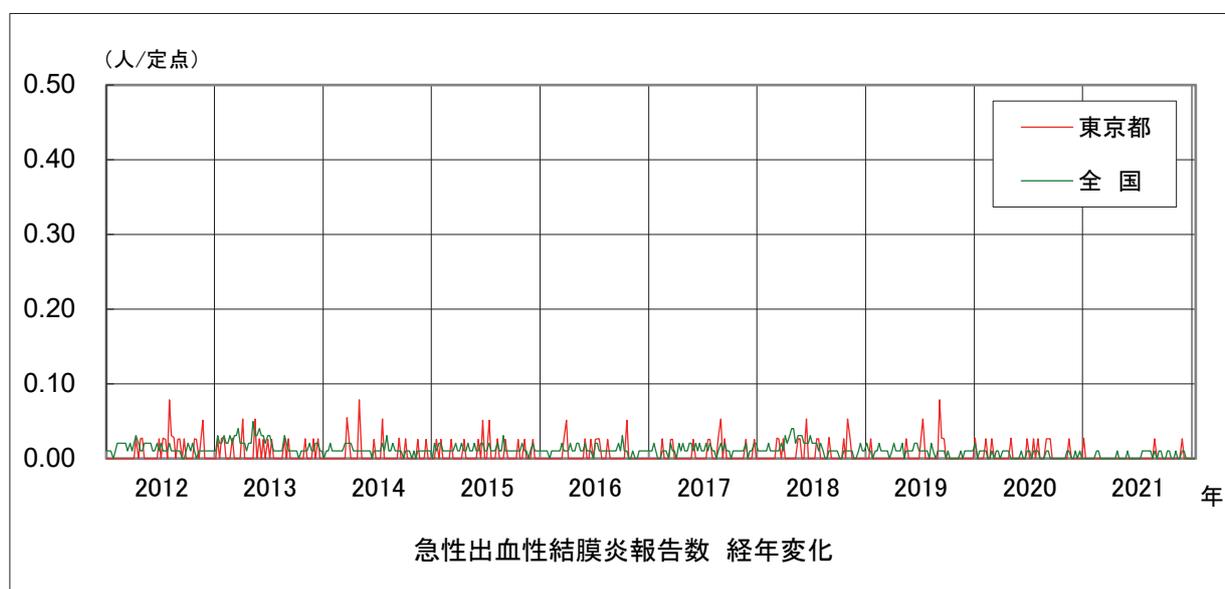
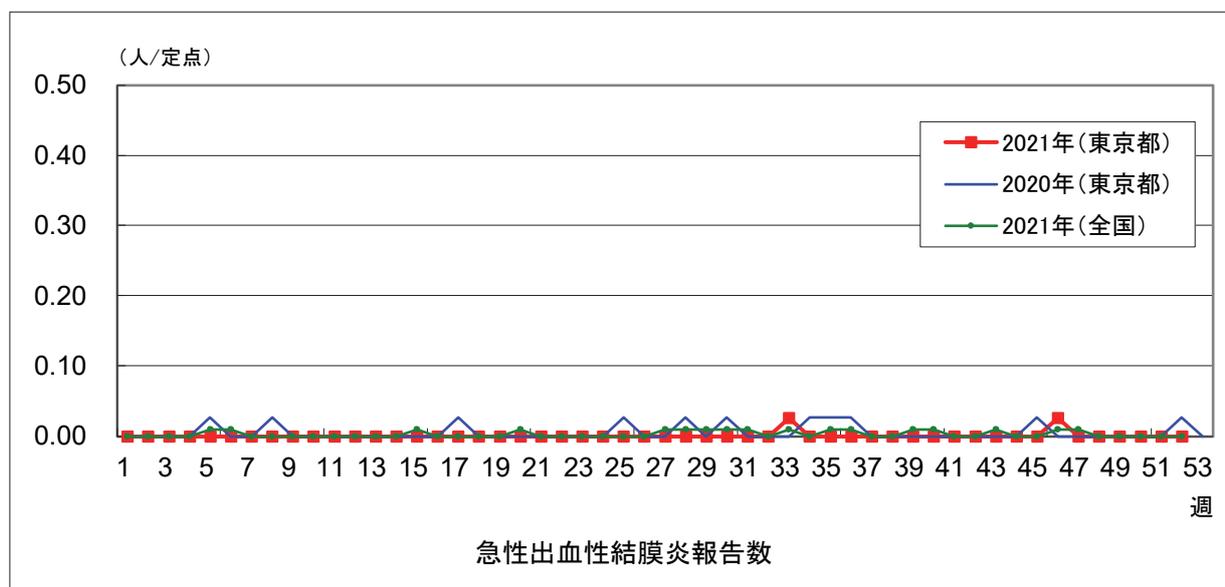
(3) 眼科疾患

ア 急性出血性結膜炎

2021年の報告数は2人、定点当たり0.05人だった。過去10年間の平均年間報告数12.40人、定点当たり0.33人よりも少数であった。

患者発生数の推移には1年を通じてあまり特徴がなく、2021年は各週1人以下であった。全国的にも低いレベルで分散した発生が続いており、東京も同様だった。

二次医療圏別では眼科定点のある12医療圏のうち、報告のあったのは2医療圏で、西多摩圏が1人、北多摩西部圏が1人であった。報告年齢は、20歳以上の成人だけで100%を占めた。

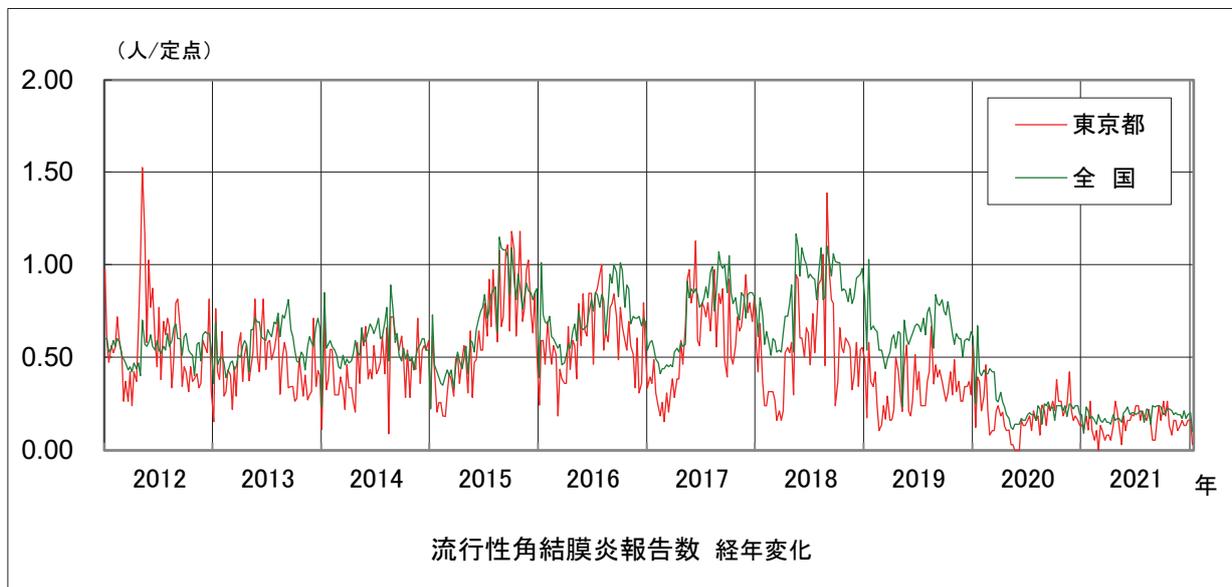
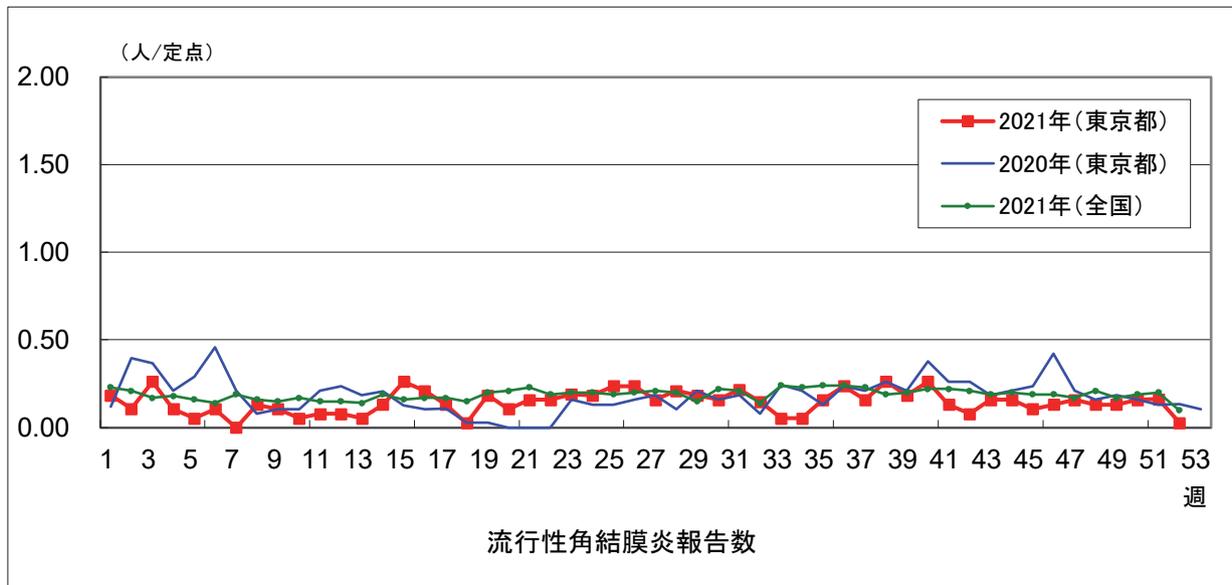


イ 流行性角結膜炎

2021年の報告数は284人、定点当たり7.51人だった。過去10年間の平均年間報告数897.60人、定点当たり23.52人よりも少数であった。過去10年間では最低となった。

患者発生数は、3週（1.18～1.24）・15週（4.12～4.18）・38週（9.20～9.26）・40週（10.4～10.10）が10人と多く、その他はほぼ平坦化していた。

二次医療圏別では、定点あたり報告数では区中央部圏22.50人、区西北部圏12.20人、南多摩圏11.25人と多かった。報告年齢は20歳から49歳が164人と57.7%を占め、20歳以上の成人だけで235人（82.7%）だった。10歳未満は26人（9.2%）で、各年齢層に分布していた。



(4) 基幹定点医療機関における週報告疾患

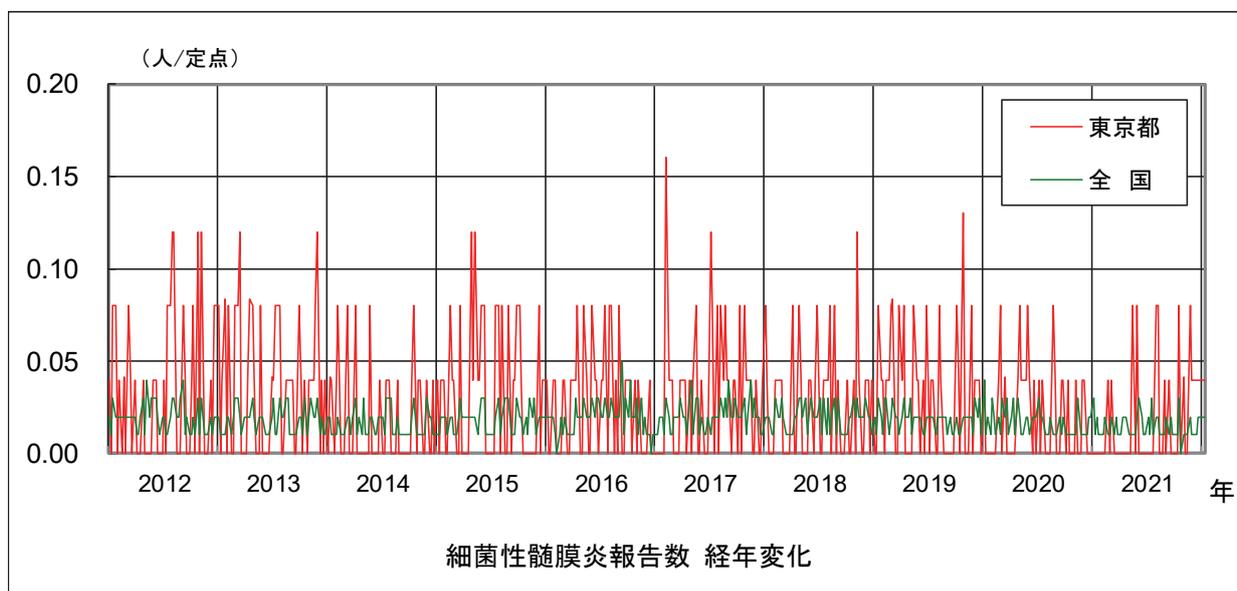
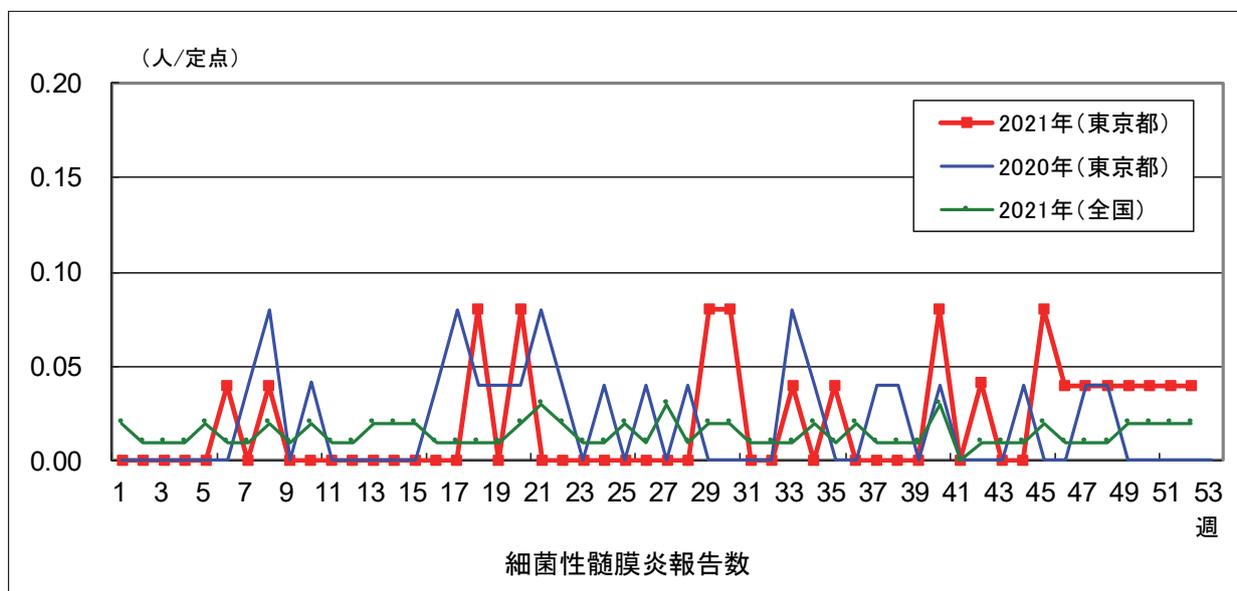
ア 細菌性髄膜炎

2021年の報告数は24人、定点当たり報告数は0.96人であった。ここ10年の定点当たりの報告数の平均は1.38人であり、2021年は、ここ10年でみると2014年に次いで少ない報告数であった。

週別定点当たりの報告数では年間を通じて散発しており季節変動は明らかではない。

保健所別定点当たり報告数で最も多かったのは世田谷区の4.50人であった。

年齢階級別報告数では6か月未満が11人(45.8%)、12か月未満が4人(16.7%)であった。



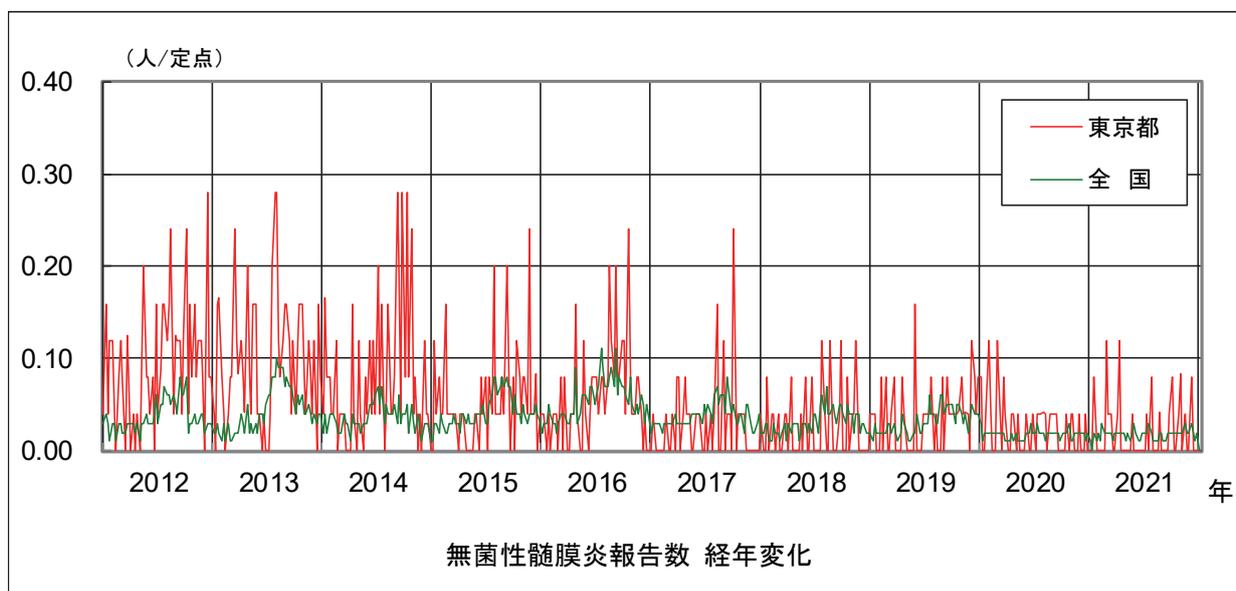
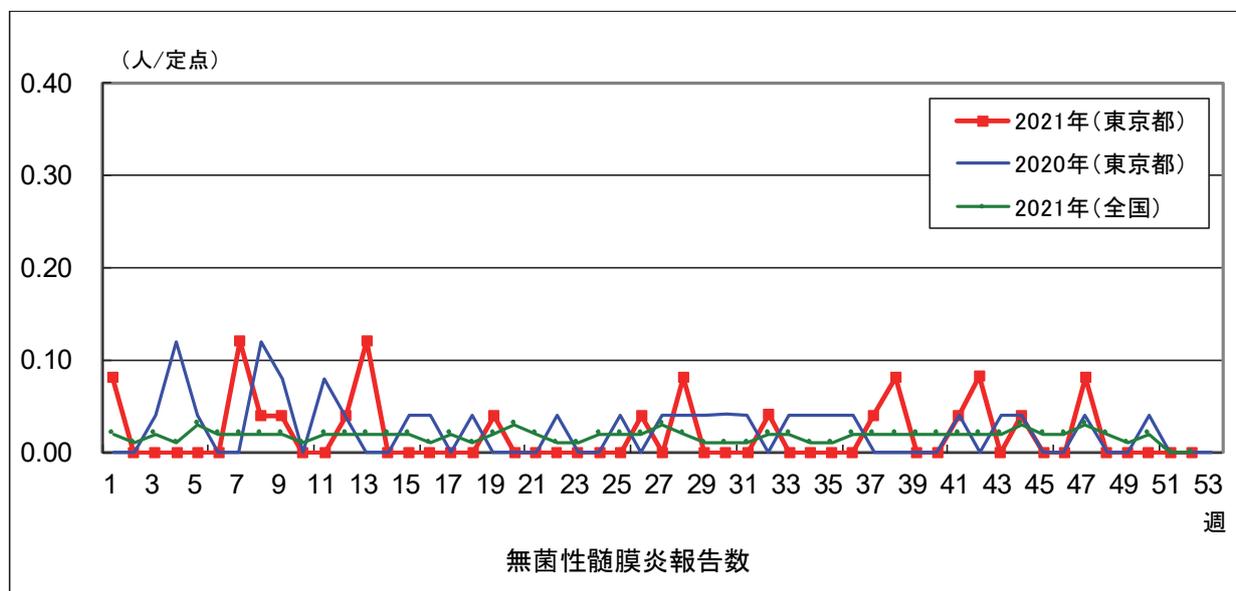
イ 無菌性髄膜炎

2021年の報告数は25人、定点当たり1.01人であった。ここ10年の定点当たりの報告数の平均は2.71人であり、2021年は、ここ10年では最も少ない報告数であった。

週別定点当たりの報告数では年間を通じて散発しており明らかな季節変動は見られなかった。

保健所別定点当たり報告数で最も多かったのは世田谷区の4.00人であった。

年齢階級別報告数では60歳以上が11人（44.0%）であった。



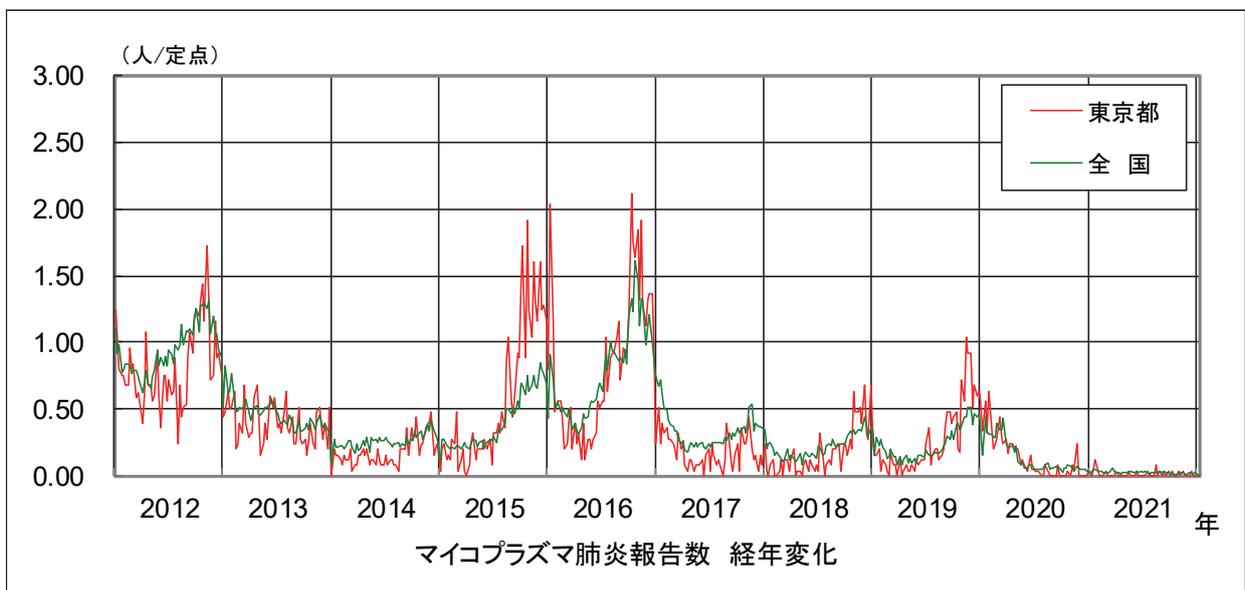
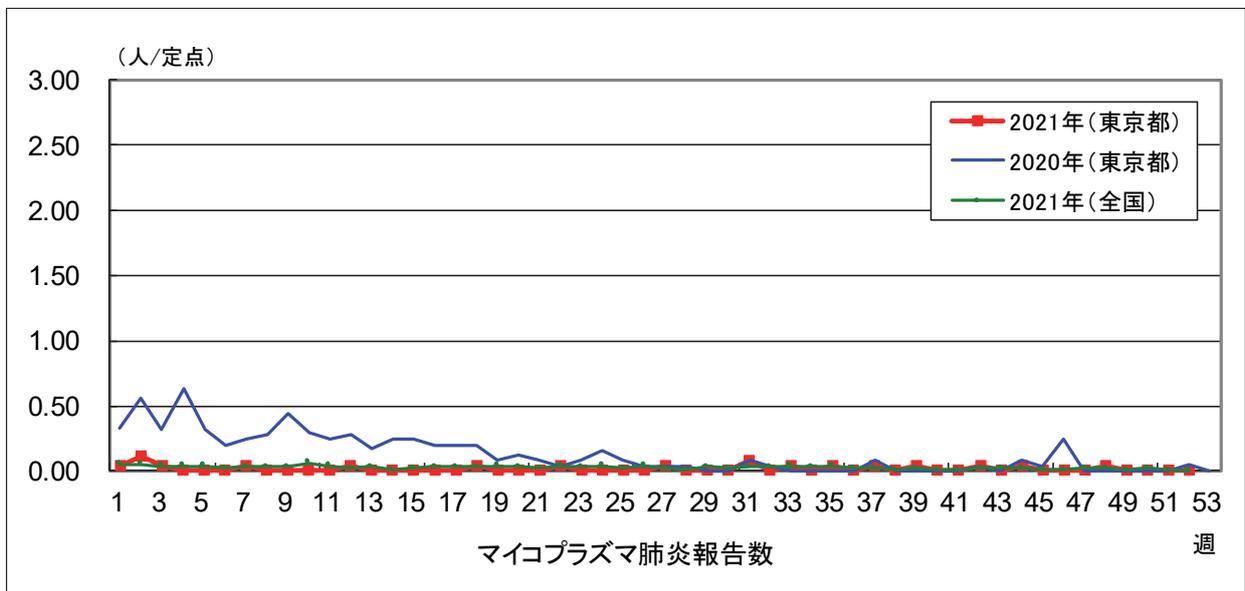
ウ マイコプラズマ肺炎

2021年の報告数は19人、定点当たりの報告数は0.76人であった。ここ10年の定点当たりの報告数の平均は18.59人であり、2021年はここ10年では最も少ない報告数であった。近年では2011年と2012年、および2015年と2016年に大きな流行が見られた。

週別定点当たりの報告数では年間を通じて散発しており明らかな季節変動は見られなかった。

保健所別定点当たり報告数で最も多かったのは、みなとの12.00人であった。

年齢階級別報告数では1歳未満の報告はなく、60歳以上が8人（42.1%）であった。



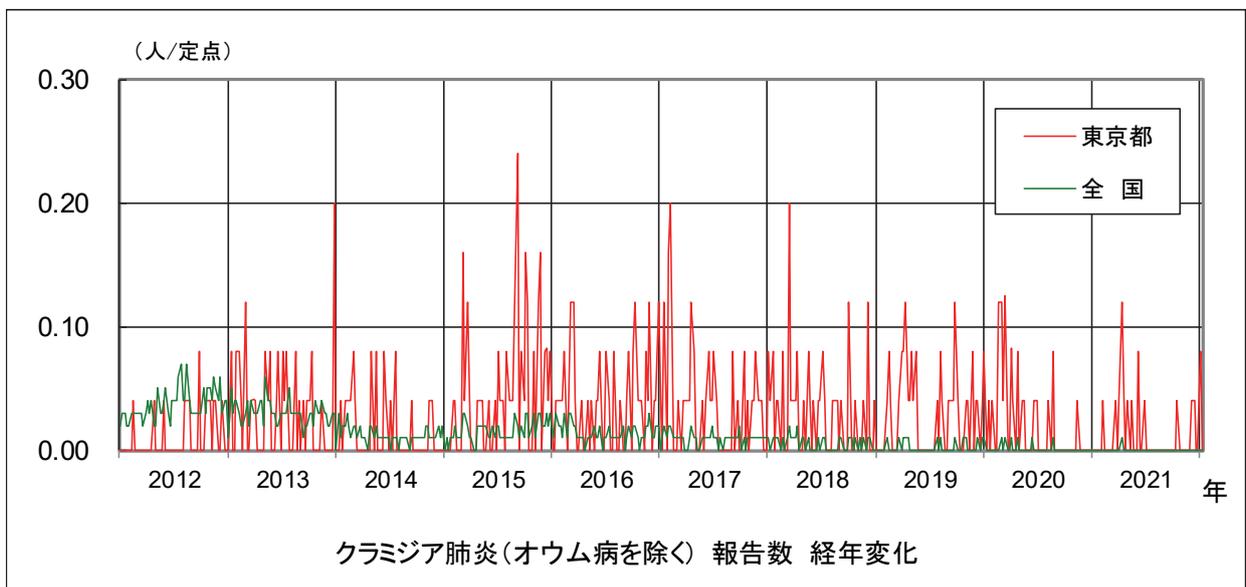
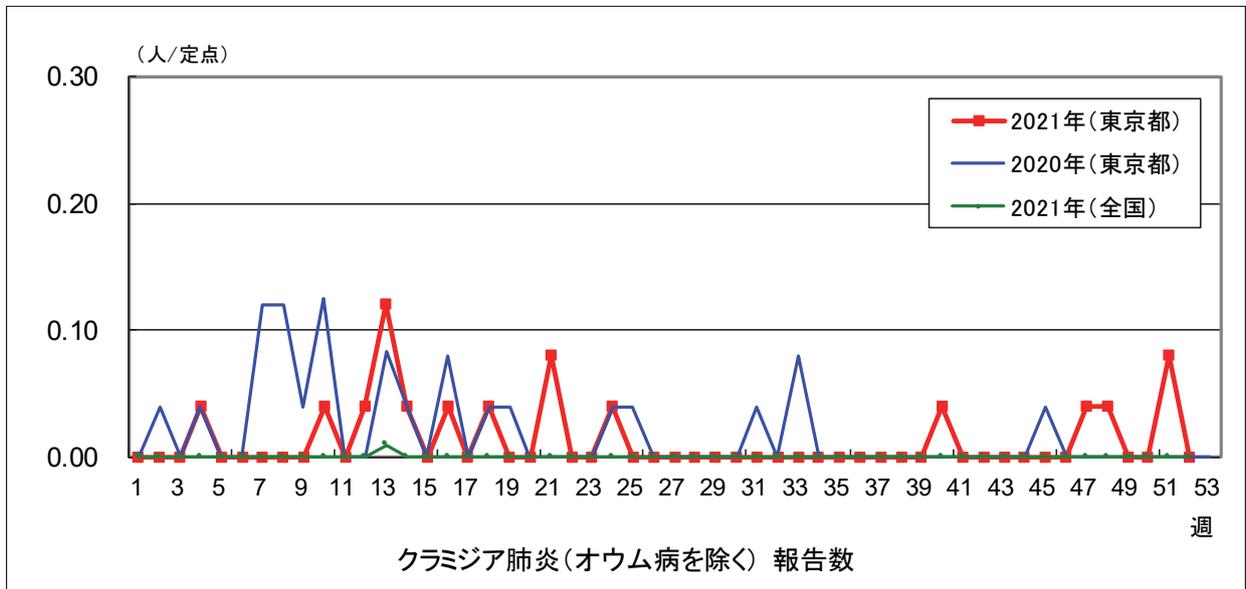
エ クラミジア肺炎（オウム病を除く）

2021年の報告数は17人であり、定点当たりの報告数は0.68人であった。ここ10年の定点当たりの報告数の平均は1.41人であり、少なめの報告数であった。

週別定点当たりの報告数では年間を通じて散発的に発生しており明らかな季節性は見られなかった。

保健所別定点当たり報告数で最も多かったのは、みなとの13.00人であった。

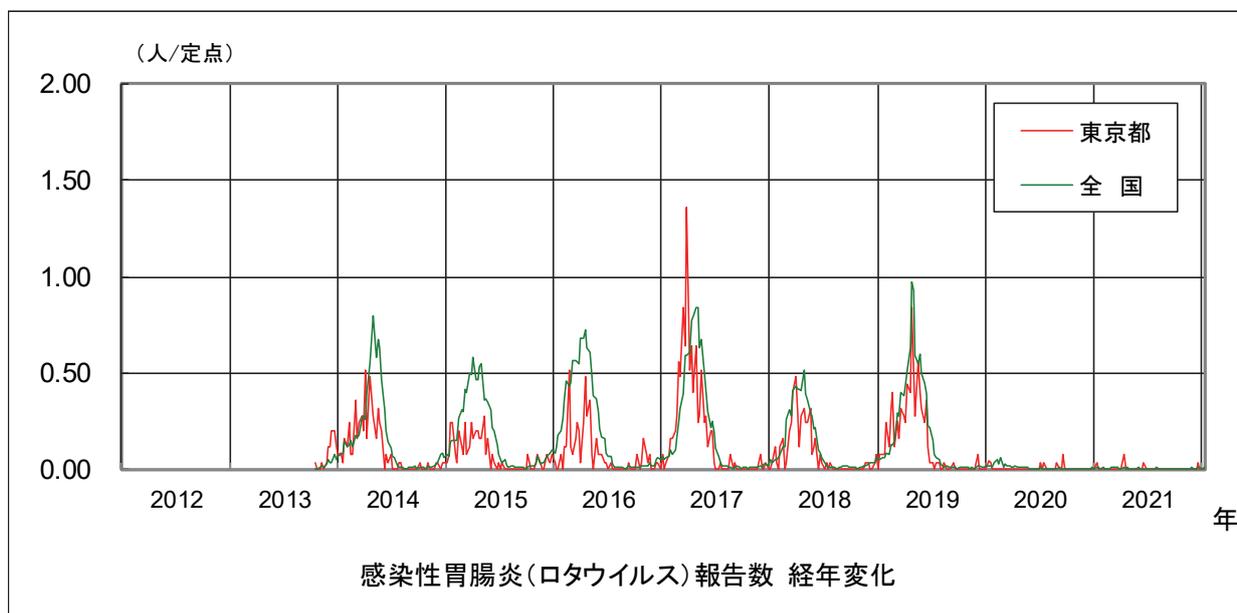
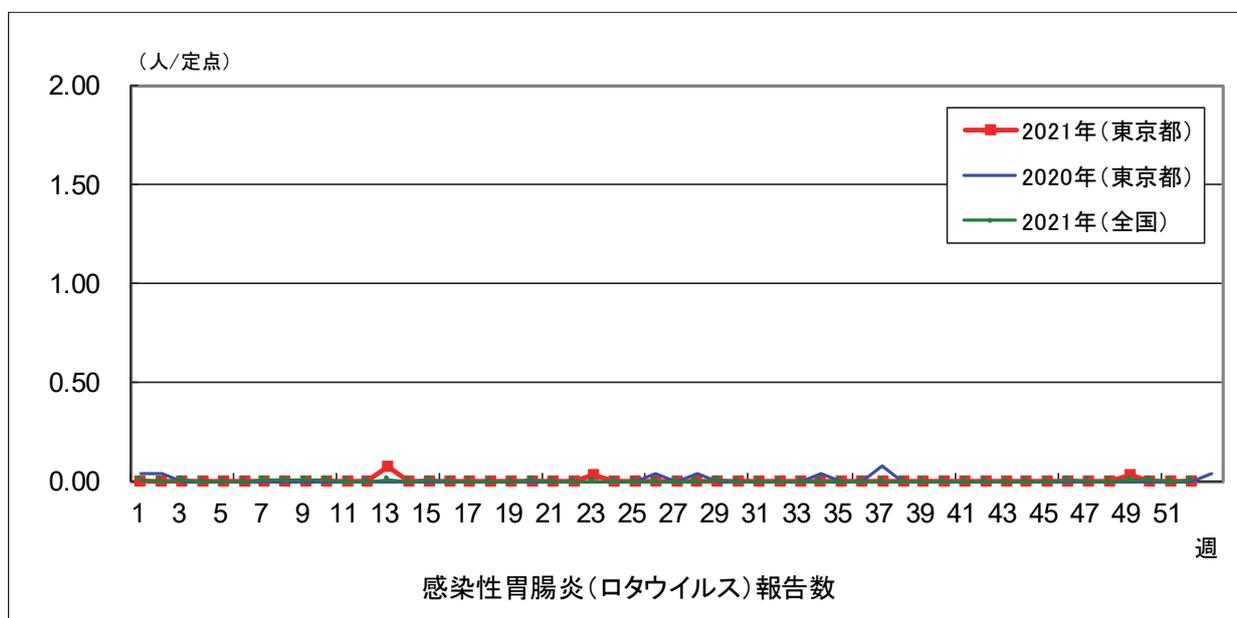
年齢階級別報告数では70歳代が5人（29.4%）、80歳以上が5人（29.4%）であった。



オ 感染性胃腸炎（ロタウイルスによる）

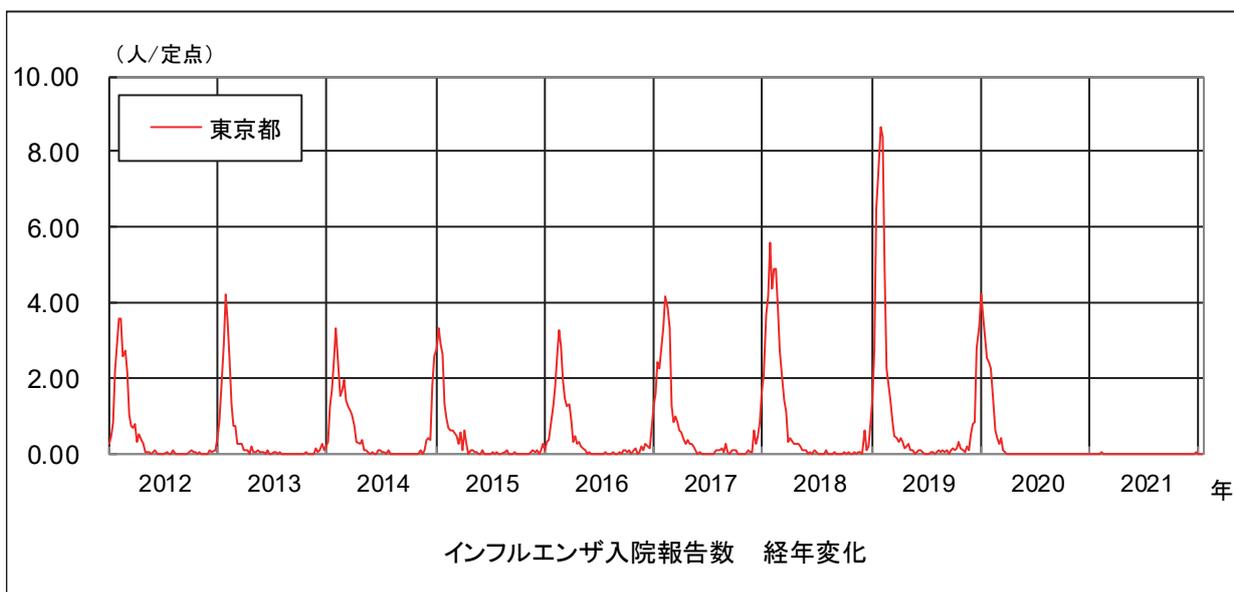
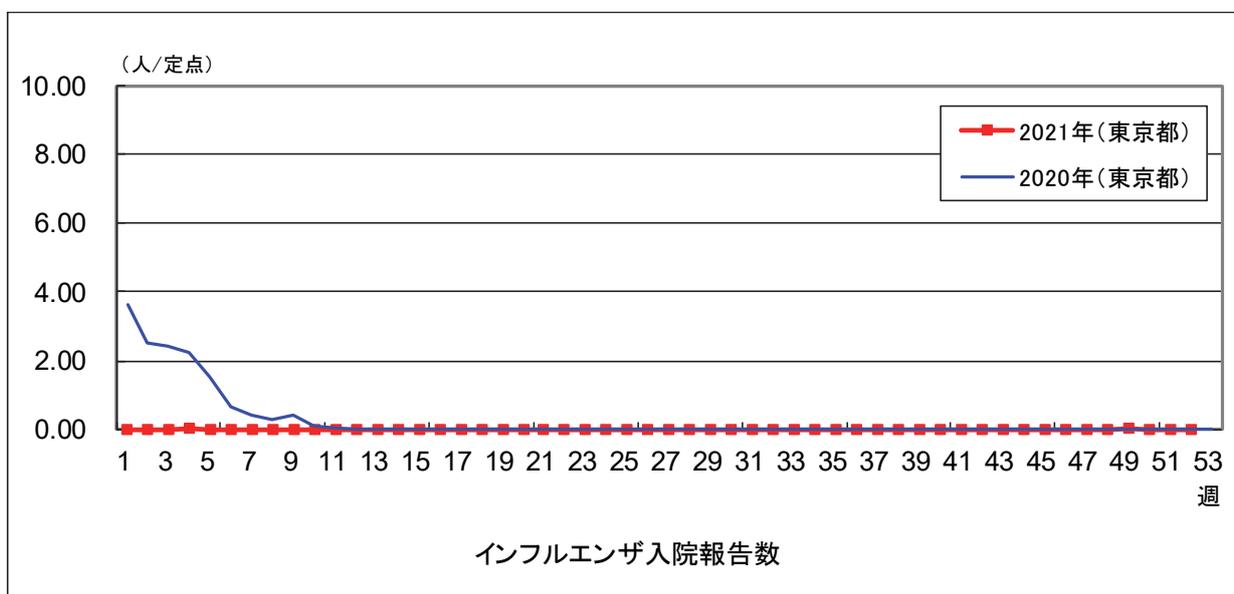
2021年の報告数は4人であり、定点当たりの報告数は0.16人であった。報告は2013年42週より開始されているが、報告開始以降、最も少ない報告数であった。

週別定点当たりの報告数では、明らかな季節性は見られなかった。



カ インフルエンザ入院

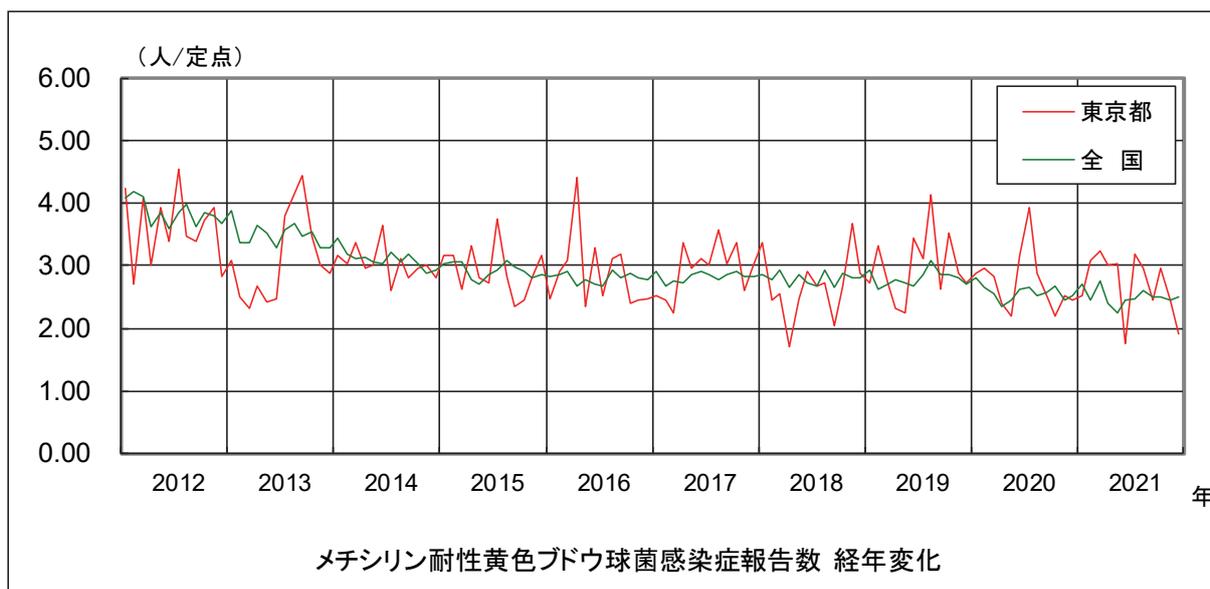
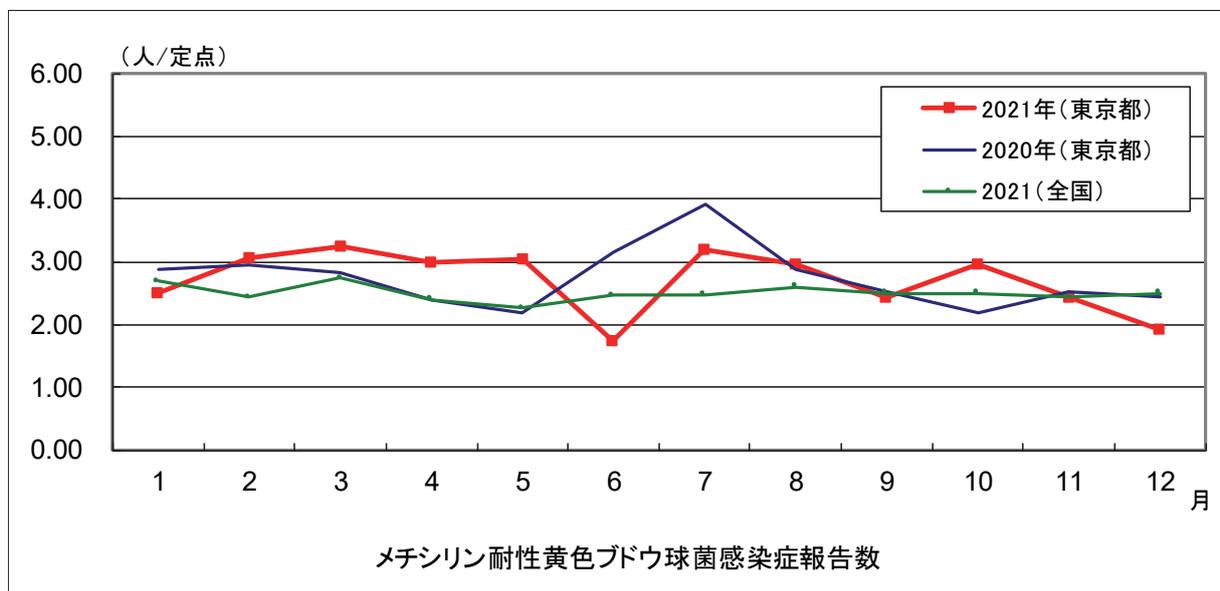
2021年の報告数は2人で、定点当たりの報告数は0.08人であった。2011年36週より報告が開始されたが、2011年の調査開始以降、最も少ない報告数となった。



(5) 基幹定点医療機関における月報告疾患

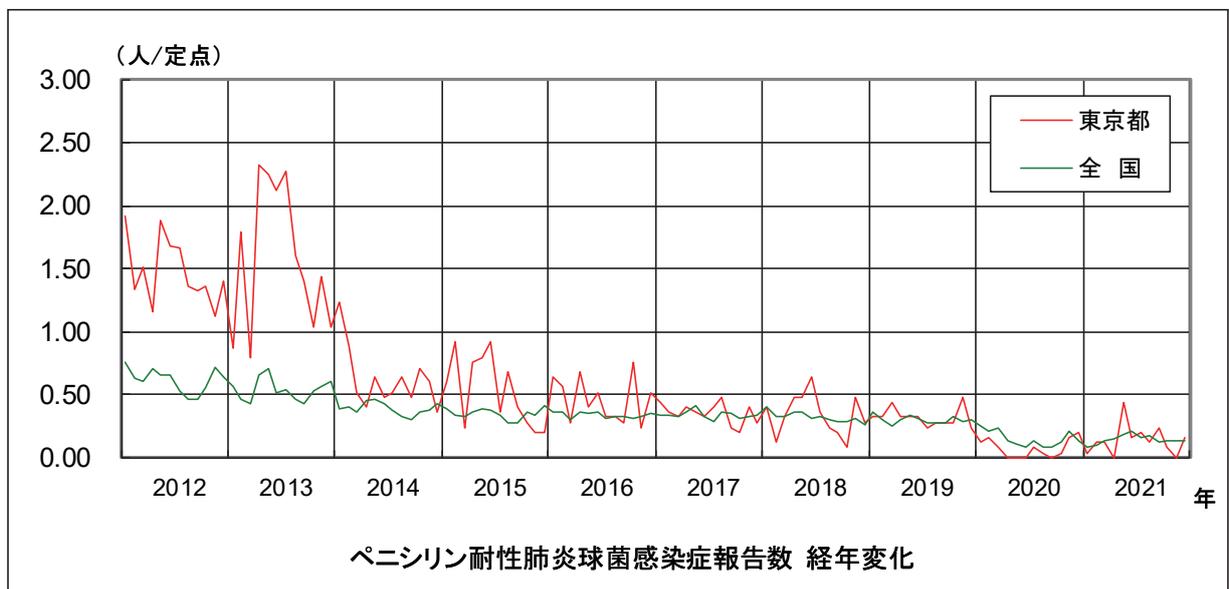
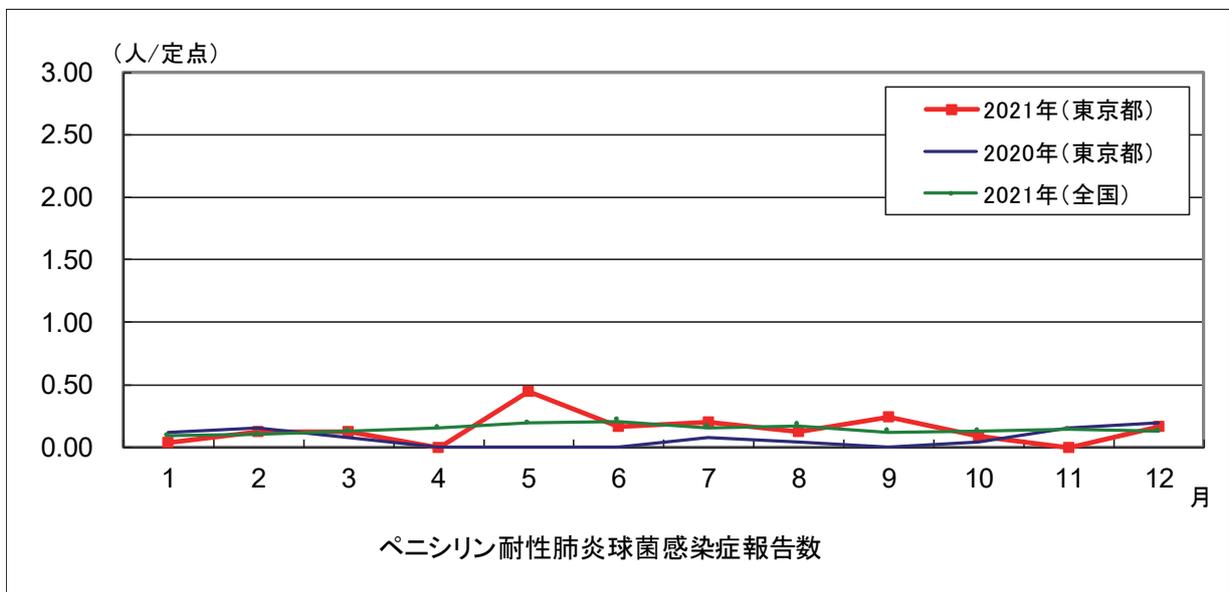
ア メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA) 感染症

2021年の報告数は814人、定点当たりの報告数は32.56人であった。ここ10年の定点当たりの報告数の平均は35.55人であり、2021年はここ10年でみると2018年に次いで少ない報告数であった。



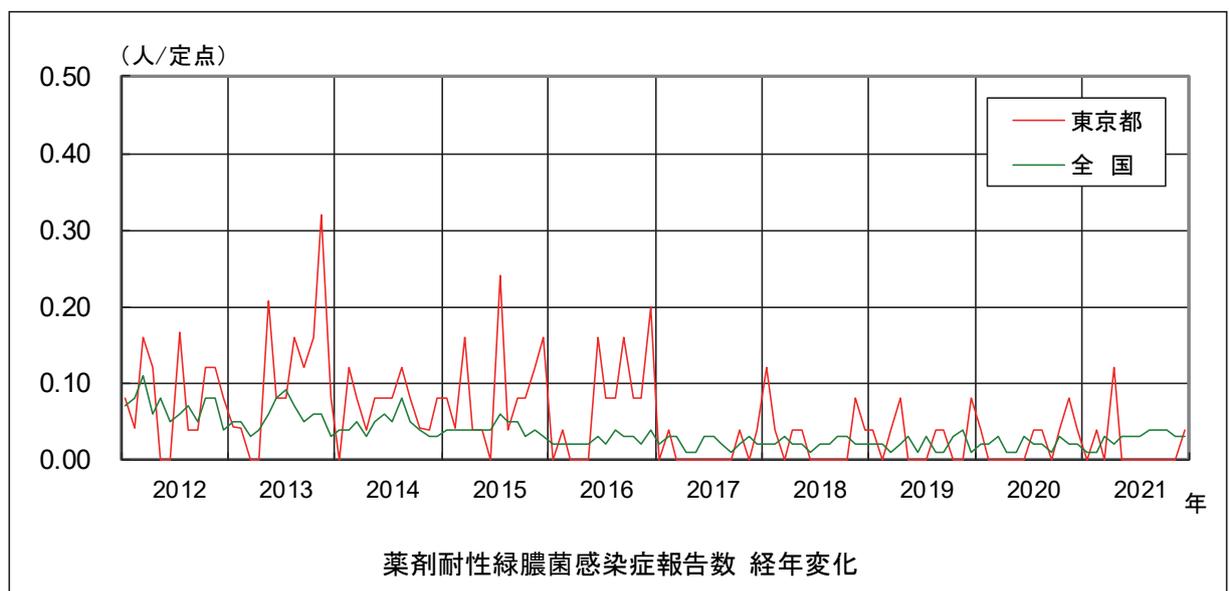
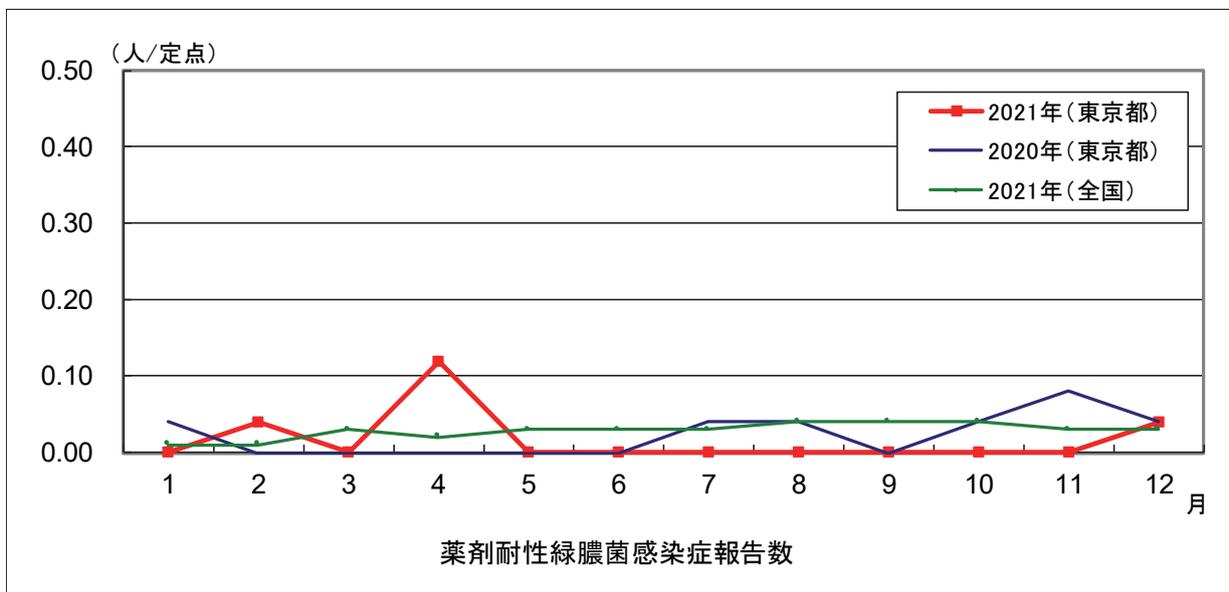
イ ペニシリン耐性肺炎球菌感染症

2021年の報告数は42人、定点当たりの報告数は1.68人であった。ここ10年の定点当たりの報告数の平均は7.07人であり、2021年は2020年に次いで少ない報告数であった。



ウ 薬剤耐性緑膿菌感染症

2021年の報告数は5人、定点当たりの報告数は0.20人であった。ここ10年の定点当たりの報告数の平均は0.64人であり、2021年はここ10年では2017年に次いで少ない報告数であった。



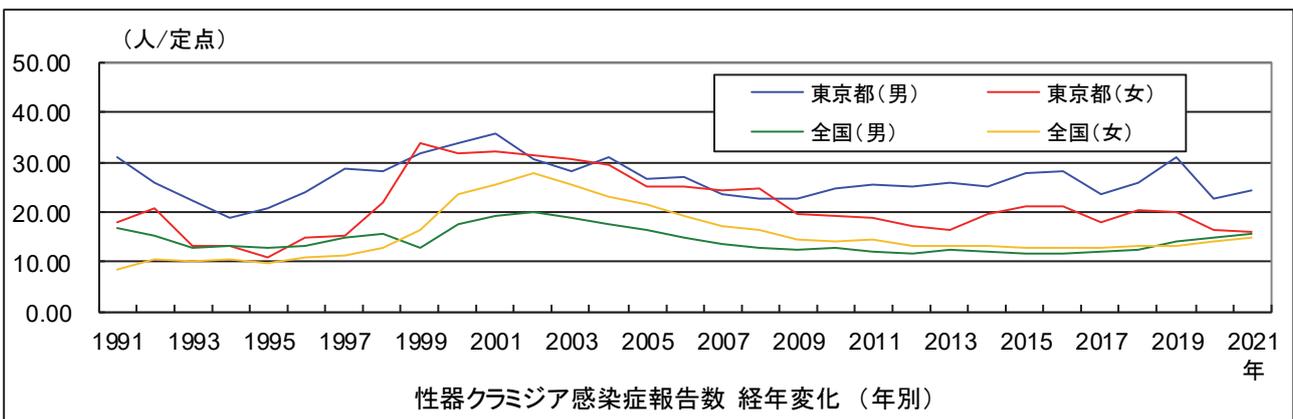
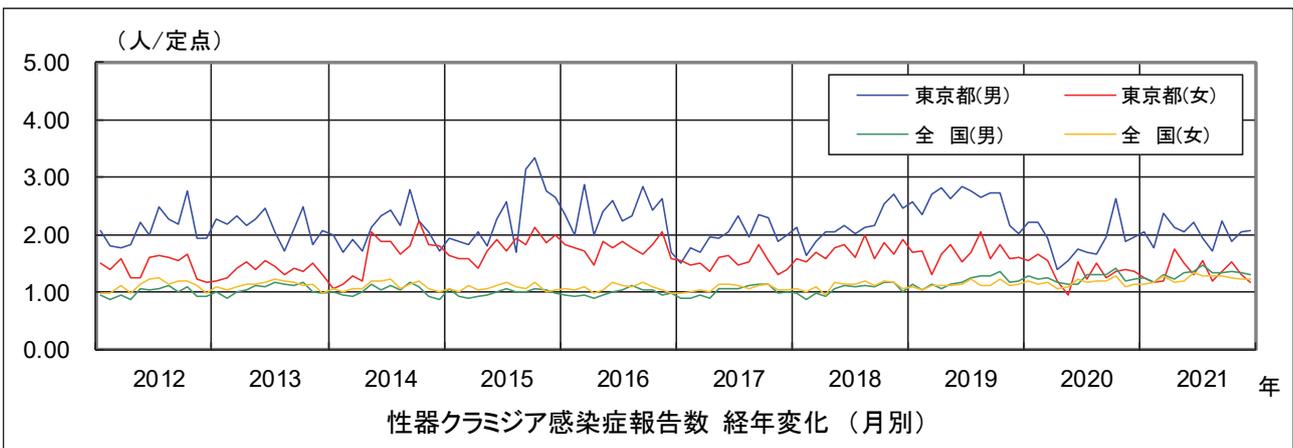
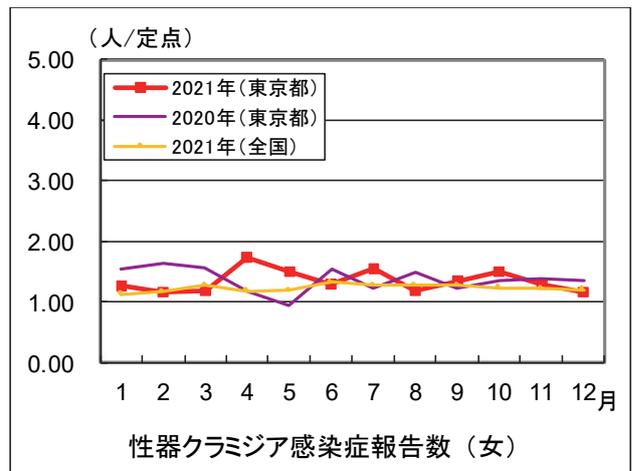
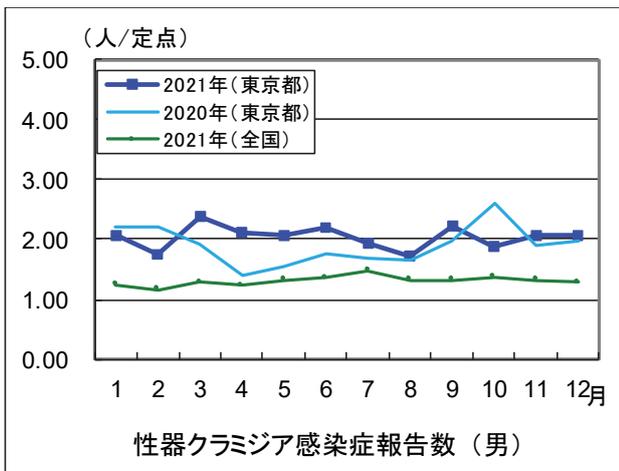
(6) 性感染症

ア 性器クラミジア感染症

年間患者報告数は2,225人、定点当たり40.69人で、前年比1.04とわずかに増加した。男性の報告数は1,339人、定点当たり24.50人(前年比1.07)、女性の報告数886人、定点当たり16.20人(前年比0.98)であった。

月別報告数では、男性は3月が最多で128人、2月と8月が最少で95人、女性では4月が最多で96人、2月と12月が最少で63人だった。

性別年齢階級別では、男性は25～29歳の271人(20.2%)で最多で、20歳代と30歳代で男性全体の68.4%を占めた。女性は20～24歳の279人(31.5%)が最多で、20歳代と30歳代で女性全体の81.5%を占めた。10～14歳の女性が1名報告された。

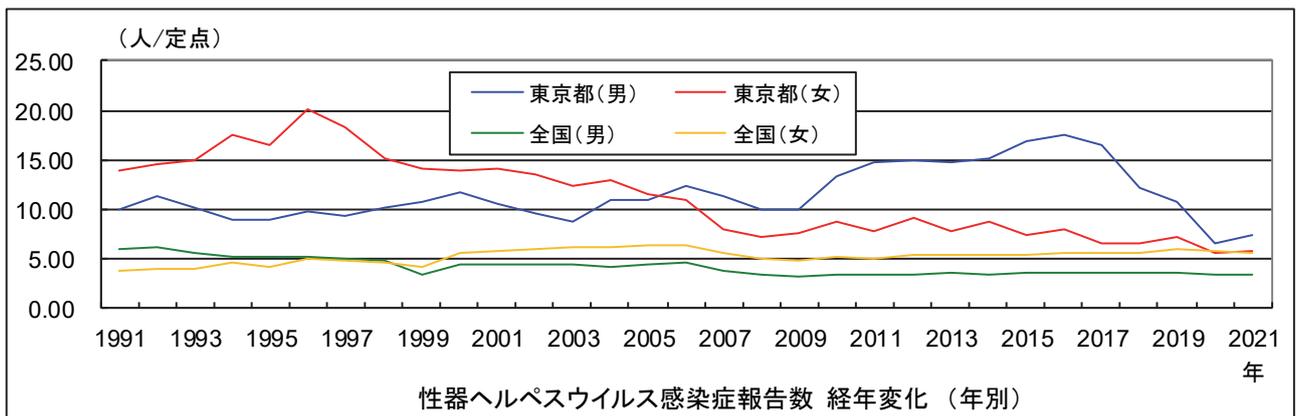
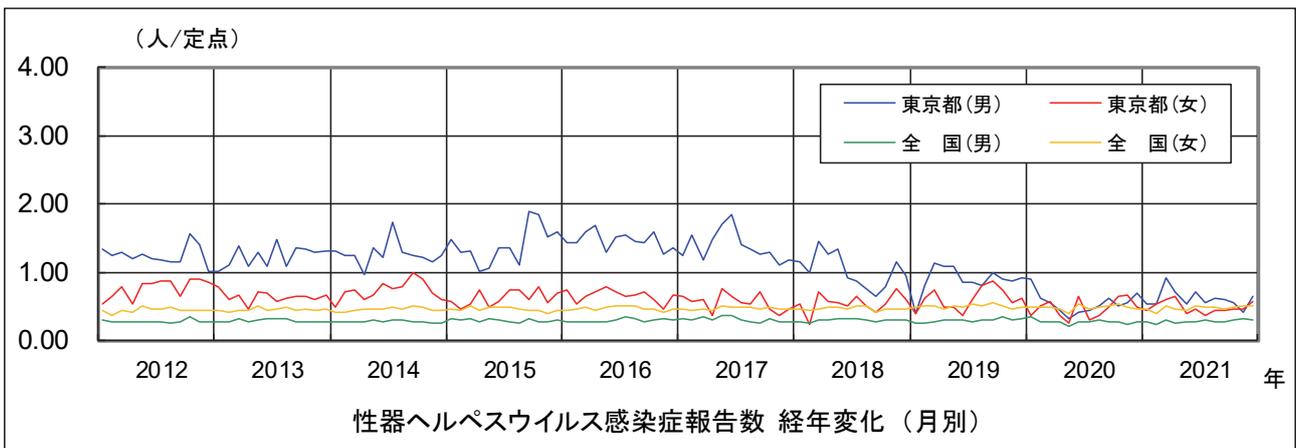
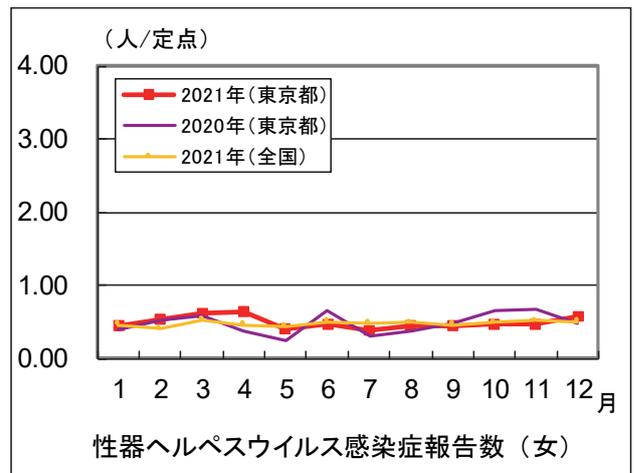
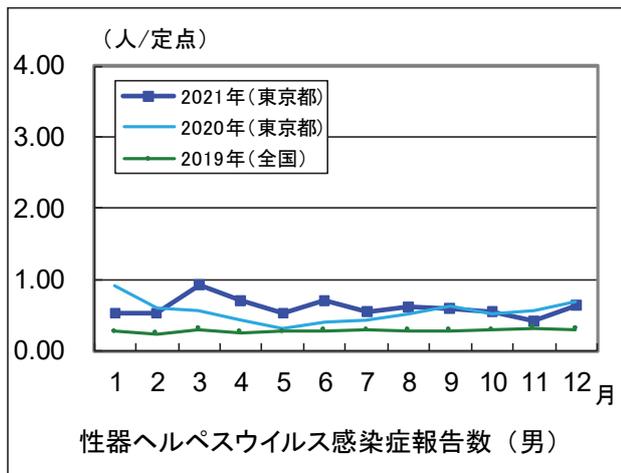


イ 性器ヘルペス感染症

年間患者報告数は718人、定点当たり13.14人で、前年比1.07とわずかに増加した。男性の報告数は400人、定点当たり7.32（前年比1.11）、女性の報告数318人、定点当たり5.82人（前年比1.02）であった。

月別報告数では、男性は3月が最多で50人、11月が最少で23人、女性では4月が最多で35人、7月が最少で21人だった。

性別年齢階級別では、男性は35～39歳の67人（16.8%）が最多で、20歳代と30歳代が男性全体の54.0%を占めた。女性は25～29歳の76人（23.9%）が最多で、20歳代と30歳代で女性全体の67.9%を占めた。10～14歳の男性が1名、女性が1名報告された。

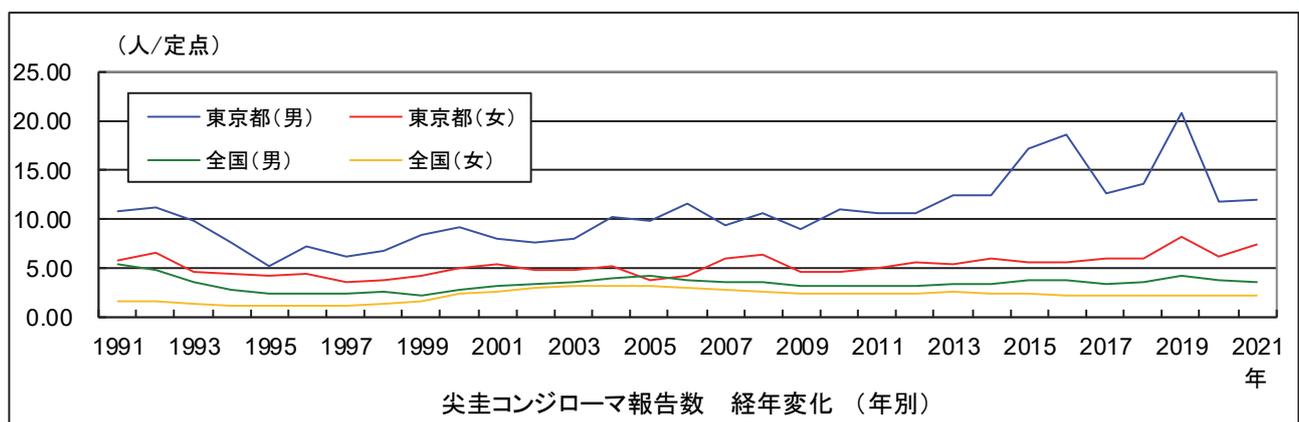
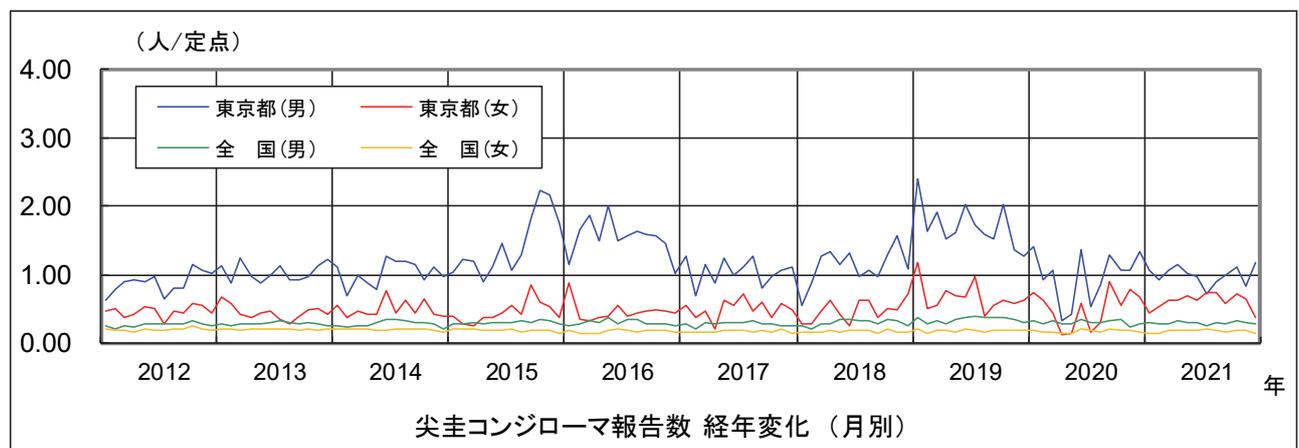
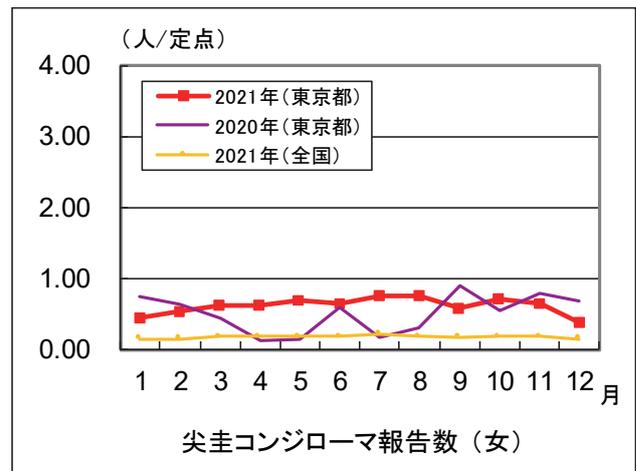
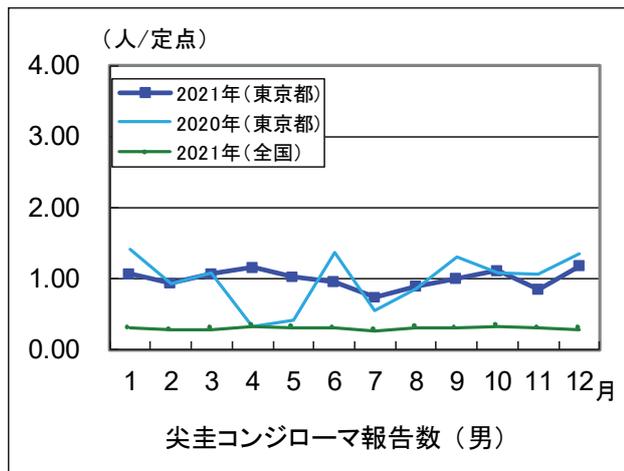


ウ 尖圭コンジローマ

年間患者報告数は1,056人、定点当たり19.31人で、前年比1.09とわずかに増加した。男性の報告数は653人、定点当たり11.95（前年比1.02）、女性の報告数403人、定点当たり7.36人（前年比1.22）であった。

月別報告数では、男性は12月が最多で64人、7月が最少で40人、女性では7月と8月が最多で41人、12月が最少で20人だった。

性別年齢階級別では、男性は25～29歳の129人（19.8%）が最多で、20歳代と30歳代が男性全体の62.5%を占めた。女性は25～29歳の139人（34.5%）が最多で、20歳代と30歳代で女性全体の86.8%を占めた。

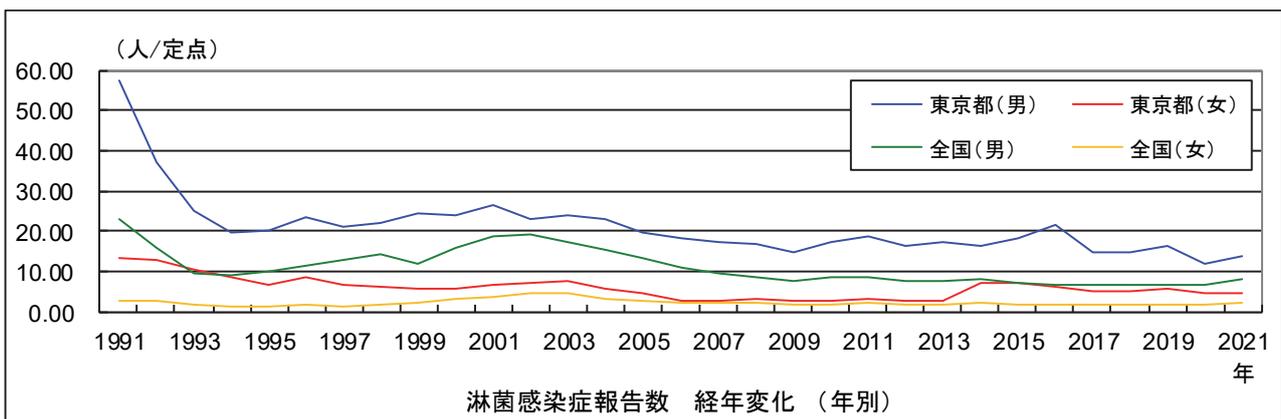
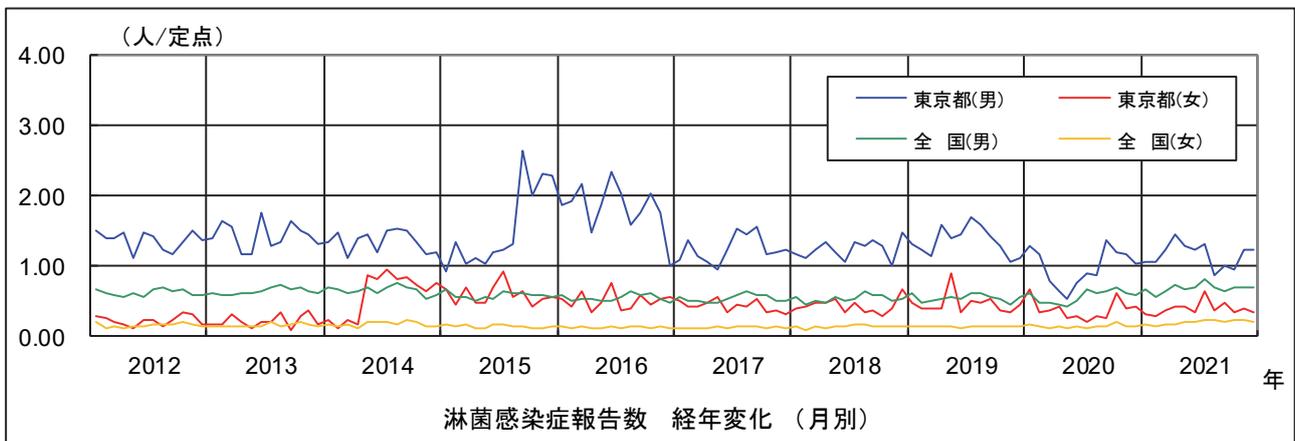
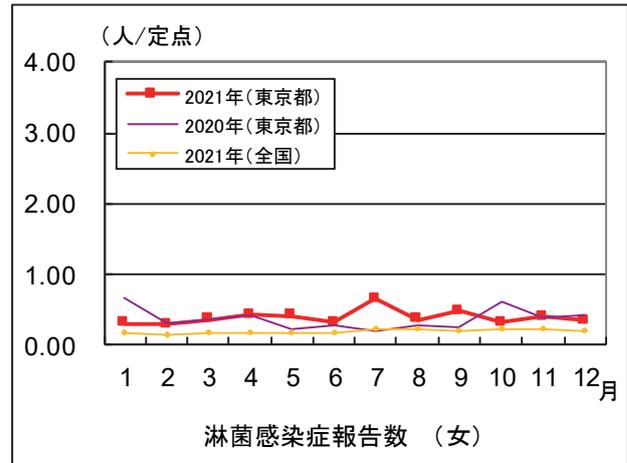
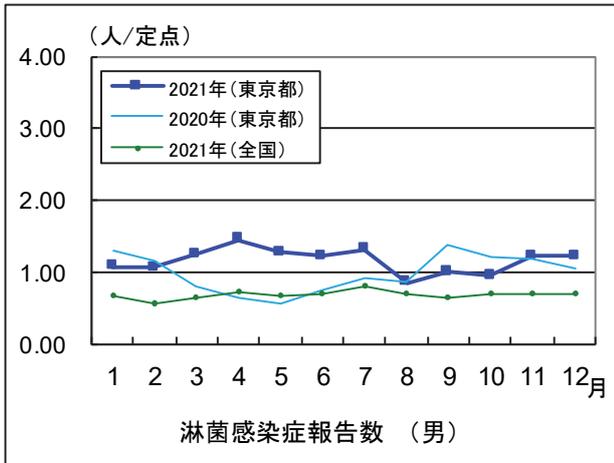


エ 淋菌感染症

年間患者報告数は1,018人、定点当たり18.62人で、前年比1.15と増加した。男性の報告数は758人、定点当たり13.87（前年比1.18）、女性の報告数260人、定点当たり4.75人（前年比1.06）であった。

月別報告数では、男性は4月が最多で80人、8月が最少で47人、女性では7月が最多で36人、2月が最少で16人だった。

性別年齢階級別では、男性は25～29歳の143人（18.9%）が最多で、20歳代と30歳代が男性全体の67.0%を占めた。女性は20～24歳の94人（36.2%）が最多で、20歳代と30歳代で女性全体の70.0%を占めた。



オ 臙トリコモナス症

臙トリコモナス症は、東京都が独自に定点把握疾患に定めている。年間患者報告数は 95 人、定点当たり 1.74 人、前年比 0.93 で、過去 10 年で最も少ない報告数だった。また性感染症 5 疾患の中で臙トリコモナス症が唯一昨年より減少した。男性の報告数は 1 人、定点当たり 0.02 人（前年比 0.20）、女性の報告数 94 人、定点当たり 1.72 人（前年比 0.97）であった。

男性は届出数が少なく、年齢階級や季節による特徴は評価できなかった。

女性の月別報告数は、3 月が最多で 15 人、12 月が最少で 3 人だった。女性は 25～29 歳の 21 人（22.3%）が最多で、20 歳代、30 歳代で女性全体の 62.8%を占めた。

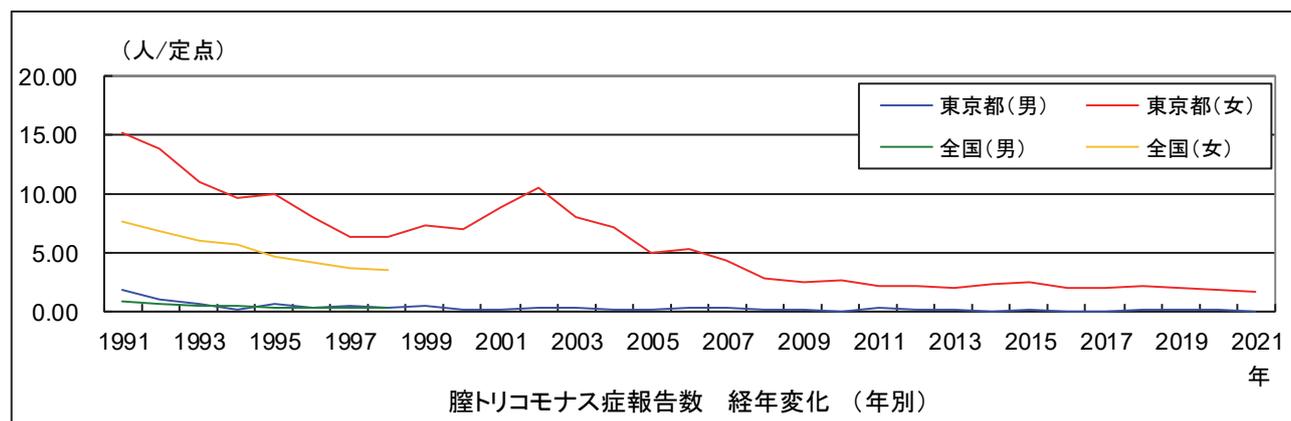
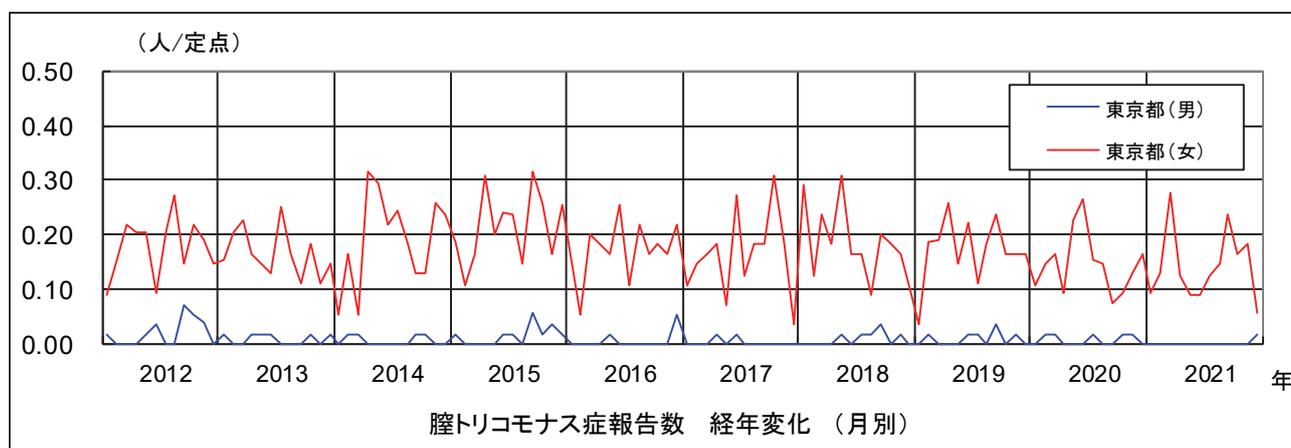
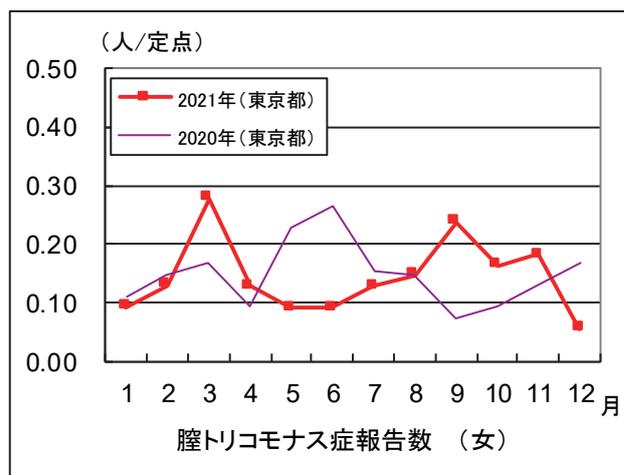
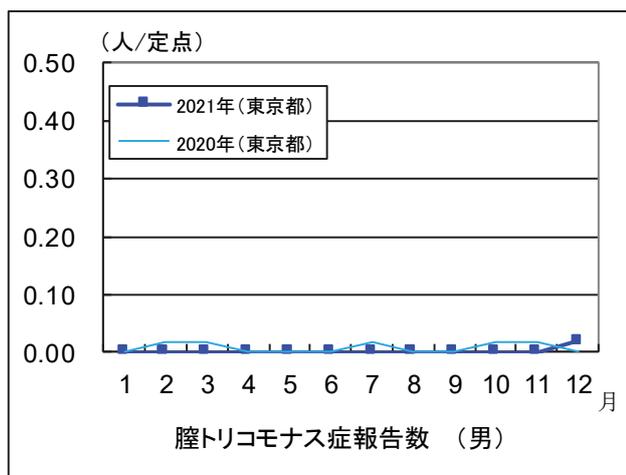


表4-1(1) 週別患者報告数(インフルエンザ・小児科) 2021年第1週~第52週

週	期 間	報告 定点 数 (イン フル エン ザ)	イン フル エン ザ	報 告 定 点 数 (小 児 科)	R S ウ イ ル ス 感 染 症	咽 頭 結 膜 熱	A 球 菌 咽 頭 炎 溶 血 性 レ ン サ	感 染 性 胃 腸 炎	水 痘	手 足 口 病	伝 染 性 紅 斑	突 発 性 発 し ん	ヘル パン ギー ナ	流 行 性 耳 下 腺 炎
1	1. 4~ 1.10	404	3	256	1	40	79	606	45	5	5	102	6	9
2	1.11~ 1.17	410	4	259	9	33	84	728	28	6	8	105	4	13
3	1.18~ 1.24	409	5	256	13	37	102	852	29	7	8	116	2	14
4	1.25~ 1.31	409	5	257	12	19	76	835	34	7	7	78		8
5	2. 1~ 2. 7	406	5	255	11	33	88	773	15	4	12	101	2	10
6	2. 8~ 2.14	408		257	4	31	73	687	20	4	5	104		6
7	2.15~ 2.21	407	2	254	16	22	90	721	17	6	8	107	5	8
8	2.22~ 2.28	411		258	33	16	72	624	23	4	6	91	1	5
9	3. 1~ 3. 7	409	1	256	17	17	99	724	20	6	8	107	1	12
10	3. 8~ 3.14	412	2	260	25	15	94	704	24	5	8	95	5	11
11	3.15~ 3.21	407		257	30	15	82	601	18		5	92	5	8
12	3.22~ 3.28	410	1	257	15	22	93	661	24	6	2	117	5	11
13	3.29~ 4. 4	412		259	25	17	78	620	25	5	6	108	2	10
14	4. 5~ 4.11	413	1	259	37	17	82	662	20	6	4	119	5	17
15	4.12~ 4.18	413		260	76	15	83	826	13		3	121	2	13
16	4.19~ 4.25	402		257	62	24	88	1,014	20	3	6	158	2	16
17	4.26~ 5. 2	404		257	81	27	91	999	37	6	4	145	3	13
18	5. 3~ 5. 9	404		258	58	22	52	520	27	5	6	85	3	11
19	5.10~ 5.16	403		257	95	49	77	1,147	28	16	8	122	6	18
20	5.17~ 5.23	406	1	259	219	41	88	1,129	34	20	7	148	5	16
21	5.24~ 5.30	406		258	368	61	87	1,058	28	16	6	145	13	10
22	5.31~ 6. 6	405		257	472	52	106	1,101	39	18	8	140	12	15
23	6. 7~ 6.13	405		258	655	59	105	1,052	33	37	6	110	13	9
24	6.14~ 6.20	405		259	850	78	108	1,106	35	40	5	121	9	20
25	6.21~ 6.27	411		259	1238	48	94	1,003	21	18	3	120	19	16
26	6.28~ 7. 4	412		259	1581	66	67	949	23	22	4	96	30	15
27	7. 5~ 7.11	410		258	2022	67	92	888	17	37	2	103	26	19
28	7.12~ 7.18	411		258	2302	48	93	874	16	21	2	108	29	16
29	7.19~ 7.25	412		259	1710	26	51	559	16	14	7	71	48	21
30	7.26~ 8. 1	409	1	257	1160	28	70	574	27	15	5	97	36	15
31	8. 2~ 8. 8	399		252	1009	32	65	546	15	12	1	89	48	20
32	8. 9~ 8.15	383		246	546	22	54	328	18	10	4	62	19	14
33	8.16~ 8.22	397		247	350	20	52	423	20	17		79	35	19
34	8.23~ 8.29	407		258	337	20	43	520	19	22	6	77	57	14
35	8.30~ 9. 5	410		258	235	19	44	567	19	12	2	101	43	13
36	9. 6~ 9.12	409		258	176	20	44	598	20	19	4	99	64	17
37	9.13~ 9.19	410		260	99	16	50	665	28	30	5	121	68	16
38	9.20~ 9.26	410	1	260	35	13	36	503	27	47	4	97	49	10
39	9.27~10. 3	412		262	37	12	61	604	26	50	1	98	117	11
40	10. 4~10.10	413		260	26	23	58	618	26	62	5	103	170	15
41	10.11~10.17	411	1	257	20	17	65	666	25	95	3	116	209	11
42	10.18~10.24	411		260	10	15	78	679	17	81	4	89	267	13
43	10.25~10.31	411		259	14	25	84	751	22	90	4	106	250	8
44	11. 1~11. 7	413		260	13	31	63	727	33	123	7	103	179	12
45	11. 8~11.14	409		257	21	31	78	953	17	181	6	98	136	18
46	11.15~11.21	412	1	261	5	38	88	1,193	24	275	11	85	136	16
47	11.22~11.28	413		261	6	29	80	1,276	32	249	1	84	118	8
48	11.29~12. 5	410		259	5	40	112	1,635	24	222	6	79	87	7
49	12. 6~12.12	410		258	3	30	79	2,021	37	197	2	85	86	6
50	12.13~12.19	412	6	260	14	30	106	2,117	33	180	7	68	72	6
51	12.20~12.26	411	1	260	19	52	88	2,272	38	151	7	79	53	8
52	12.27~ 1. 2	399	2	249	12	16	42	1,141	11	58	1	41	33	4
合 計			43		16,189	1,596	4,014	45,400	1,287	2,542	265	5,291	2,595	651

表4-1(2) 週別患者報告数(小児科・眼科・基幹) 2021年第1週~第52週

週	期 間	報告定点数 (小児科)	不明発しん症	川崎病	眼科			基幹					インフルエンザ入院			
					報告定点数	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	報告定点数	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	感染性胃腸炎 (ロタウイルスによる)	報告定点数	インフルエンザ入院	
1	1. 4~ 1.10	256	4		38		7	25		2	1				25	0
2	1.11~ 1.17	259	6	5	37		4	25			3				25	0
3	1.18~ 1.24	256	9	4	38		10	25			1				25	0
4	1.25~ 1.31	257	10	2	38		4	25				1			25	1
5	2. 1~ 2. 7	255	12	2	38		2	25							25	0
6	2. 8~ 2.14	257	7	4	38		4	25	1						25	0
7	2.15~ 2.21	254	8	5	37			25		3	1				25	0
8	2.22~ 2.28	258	8	3	38		5	25	1	1					25	0
9	3. 1~ 3. 7	256	8	1	38		4	25		1					25	0
10	3. 8~ 3.14	260	7	2	38		2	25				1			25	0
11	3.15~ 3.21	257	3	1	38		3	25							25	0
12	3.22~ 3.28	257	6	3	38		3	25		1	1	1			25	0
13	3.29~ 4. 4	259	16	5	38		2	25		3		3	2		25	0
14	4. 5~ 4.11	259	7	2	38		5	25				1			25	0
15	4.12~ 4.18	260	5	6	38		10	25							25	0
16	4.19~ 4.25	257	6	5	38		8	25				1			25	0
17	4.26~ 5. 2	257	10	1	38		5	25							25	0
18	5. 3~ 5. 9	258	6	2	38		1	25	2		1	1			25	0
19	5.10~ 5.16	257	6	4	38		7	25		1					25	0
20	5.17~ 5.23	259	10	2	38		4	25	2						25	0
21	5.24~ 5.30	258	9	3	38		6	25				2			25	0
22	5.31~ 6. 6	257	14	3	38		6	25			1				25	0
23	6. 7~ 6.13	258	13	3	37		7	25					1		25	0
24	6.14~ 6.20	259	4	4	38		7	25				1			25	0
25	6.21~ 6.27	259	12	6	38		9	25							25	0
26	6.28~ 7. 4	259	3	4	38		9	25		1					25	0
27	7. 5~ 7.11	258	8	3	38		6	24			1				24	0
28	7.12~ 7.18	258	6	4	38		8	25		2					25	0
29	7.19~ 7.25	259	11	1	38		7	25	2						25	0
30	7.26~ 8. 1	257	9	5	38		6	25	2						25	0
31	8. 2~ 8. 8	252	9	9	37		8	25			2				25	0
32	8. 9~ 8.15	246	2	9	34		5	24		1					24	0
33	8.16~ 8.22	247	6	3	38	1	2	25	1		1				25	0
34	8.23~ 8.29	258	9	3	38		2	24							24	0
35	8.30~ 9. 5	258	8	3	38		6	25	1		1				25	0
36	9. 6~ 9.12	258	4	10	38		9	25							25	0
37	9.13~ 9.19	260	18	2	38		6	25		1	1				25	0
38	9.20~ 9.26	260	11	2	38		10	25		2					25	0
39	9.27~10. 3	262	14	1	38		7	25			1				25	0
40	10. 4~10.10	260	8	6	38		10	25	2			1			25	0
41	10.11~10.17	257	4	1	38		5	25		1					25	0
42	10.18~10.24	260	7	1	38		3	24	1	2	1				24	0
43	10.25~10.31	259	11	2	38		6	25							25	0
44	11. 1~11. 7	260	8		38		6	25		1	1				25	0
45	11. 8~11.14	257	9	1	38		4	25	2						25	0
46	11.15~11.21	261	14	1	38	1	5	25	1						25	0
47	11.22~11.28	261	6	4	38		6	25	1	2		1			25	0
48	11.29~12. 5	259	7	3	38		5	25	1		1	1			25	0
49	12. 6~12.12	258	16	5	38		5	25	1				1		25	1
50	12.13~12.19	260	11	4	38		6	25	1						25	0
51	12.20~12.26	260	8	1	37		6	25	1			2			25	0
52	12.27~ 1. 2	249	10	2	37		1	25	1						25	0
合 計			443	168	38	2	284		24	25	19	17	4			2

表4-2(1) 週別定点当たり患者報告数(インフルエンザ・小児科) 2021年第1週~第52週

週	期間	報告 定点数 (イン フル エン ザ)	イン フル エン ザ	報告 定点数 (小児科)	R S ウ イ ル ス 感 染 症	咽 頭 結 膜 熱	A 球 菌 咽 頭 炎 レ ン サ	感 染 性 胃 腸 炎	水 痘	手 足 口 病	伝 染 性 紅 斑	突 発 性 発 し ん	ヘル パン ギ ー ナ	流 行 性 耳 下 腺 炎
1	1. 4~ 1.10	404	0.01	256	0.00	0.16	0.31	2.37	0.18	0.02	0.02	0.40	0.02	0.04
2	1.11~ 1.17	410	0.01	259	0.03	0.13	0.32	2.81	0.11	0.02	0.03	0.41	0.02	0.05
3	1.18~ 1.24	409	0.01	256	0.05	0.14	0.40	3.33	0.11	0.03	0.03	0.45	0.01	0.05
4	1.25~ 1.31	409	0.01	257	0.05	0.07	0.30	3.25	0.13	0.03	0.03	0.30		0.03
5	2. 1~ 2. 7	406	0.01	255	0.04	0.13	0.35	3.03	0.06	0.02	0.05	0.40	0.01	0.04
6	2. 8~ 2.14	408		257	0.02	0.12	0.28	2.67	0.08	0.02	0.02	0.40		0.02
7	2.15~ 2.21	407	0.00	254	0.06	0.09	0.35	2.84	0.07	0.02	0.03	0.42	0.02	0.03
8	2.22~ 2.28	411		258	0.13	0.06	0.28	2.42	0.09	0.02	0.02	0.35	0.00	0.02
9	3. 1~ 3. 7	409	0.00	256	0.07	0.07	0.39	2.83	0.08	0.02	0.03	0.42	0.00	0.05
10	3. 8~ 3.14	412	0.00	260	0.10	0.06	0.36	2.71	0.09	0.02	0.03	0.37	0.02	0.04
11	3.15~ 3.21	407		257	0.12	0.06	0.32	2.34	0.07		0.02	0.36	0.02	0.03
12	3.22~ 3.28	410	0.00	257	0.06	0.09	0.36	2.57	0.09	0.02	0.01	0.46	0.02	0.04
13	3.29~ 4. 4	412		259	0.10	0.07	0.30	2.39	0.10	0.02	0.02	0.42	0.01	0.04
14	4. 5~ 4.11	413	0.00	259	0.14	0.07	0.32	2.56	0.08	0.02	0.02	0.46	0.02	0.07
15	4.12~ 4.18	413		260	0.29	0.06	0.32	3.18	0.05		0.01	0.47	0.01	0.05
16	4.19~ 4.25	402		257	0.24	0.09	0.34	3.95	0.08	0.01	0.02	0.61	0.01	0.06
17	4.26~ 5. 2	404		257	0.32	0.11	0.35	3.89	0.14	0.02	0.02	0.56	0.01	0.05
18	5. 3~ 5. 9	404		258	0.22	0.09	0.20	2.02	0.10	0.02	0.02	0.33	0.01	0.04
19	5.10~ 5.16	403		257	0.37	0.19	0.30	4.46	0.11	0.06	0.03	0.47	0.02	0.07
20	5.17~ 5.23	406	0.00	259	0.85	0.16	0.34	4.36	0.13	0.08	0.03	0.57	0.02	0.06
21	5.24~ 5.30	406		258	1.43	0.24	0.34	4.10	0.11	0.06	0.02	0.56	0.05	0.04
22	5.31~ 6. 6	405		257	1.84	0.20	0.41	4.28	0.15	0.07	0.03	0.54	0.05	0.06
23	6. 7~ 6.13	405		258	2.54	0.23	0.41	4.08	0.13	0.14	0.02	0.43	0.05	0.03
24	6.14~ 6.20	405		259	3.28	0.30	0.42	4.27	0.14	0.15	0.02	0.47	0.03	0.08
25	6.21~ 6.27	411		259	4.78	0.19	0.36	3.87	0.08	0.07	0.01	0.46	0.07	0.06
26	6.28~ 7. 4	412		259	6.10	0.25	0.26	3.66	0.09	0.08	0.02	0.37	0.12	0.06
27	7. 5~ 7.11	410		258	7.84	0.26	0.36	3.44	0.07	0.14	0.01	0.40	0.10	0.07
28	7.12~ 7.18	411		258	8.92	0.19	0.36	3.39	0.06	0.08	0.01	0.42	0.11	0.06
29	7.19~ 7.25	412		259	6.60	0.10	0.20	2.16	0.06	0.05	0.03	0.27	0.19	0.08
30	7.26~ 8. 1	409	0.00	257	4.51	0.11	0.27	2.23	0.11	0.06	0.02	0.38	0.14	0.06
31	8. 2~ 8. 8	399		252	4.00	0.13	0.26	2.17	0.06	0.05	0.00	0.35	0.19	0.08
32	8. 9~ 8.15	383		246	2.22	0.09	0.22	1.33	0.07	0.04	0.02	0.25	0.08	0.06
33	8.16~ 8.22	397		247	1.42	0.08	0.21	1.71	0.08	0.07		0.32	0.14	0.08
34	8.23~ 8.29	407		258	1.31	0.08	0.17	2.02	0.07	0.09	0.02	0.30	0.22	0.05
35	8.30~ 9. 5	410		258	0.91	0.07	0.17	2.20	0.07	0.05	0.01	0.39	0.17	0.05
36	9. 6~ 9.12	409		258	0.68	0.08	0.17	2.32	0.08	0.07	0.02	0.38	0.25	0.07
37	9.13~ 9.19	410		260	0.38	0.06	0.19	2.56	0.11	0.12	0.02	0.47	0.26	0.06
38	9.20~ 9.26	410	0.00	260	0.13	0.05	0.14	1.93	0.10	0.18	0.02	0.37	0.19	0.04
39	9.27~10. 3	412		262	0.14	0.05	0.23	2.31	0.10	0.19	0.00	0.37	0.45	0.04
40	10. 4~10.10	413		260	0.10	0.09	0.22	2.38	0.10	0.24	0.02	0.40	0.65	0.06
41	10.11~10.17	411	0.00	257	0.08	0.07	0.25	2.59	0.10	0.37	0.01	0.45	0.81	0.04
42	10.18~10.24	411		260	0.04	0.06	0.30	2.61	0.07	0.31	0.02	0.34	1.03	0.05
43	10.25~10.31	411		259	0.05	0.10	0.32	2.90	0.08	0.35	0.02	0.41	0.97	0.03
44	11. 1~11. 7	413		260	0.05	0.12	0.24	2.80	0.13	0.47	0.03	0.40	0.69	0.05
45	11. 8~11.14	409		257	0.08	0.12	0.30	3.71	0.07	0.70	0.02	0.38	0.53	0.07
46	11.15~11.21	412	0.00	261	0.02	0.15	0.34	4.57	0.09	1.05	0.04	0.33	0.52	0.06
47	11.22~11.28	413		261	0.02	0.11	0.31	4.89	0.12	0.95	0.00	0.32	0.45	0.03
48	11.29~12. 5	410		259	0.02	0.15	0.43	6.31	0.09	0.86	0.02	0.31	0.34	0.03
49	12. 6~12.12	410		258	0.01	0.12	0.31	7.83	0.14	0.76	0.01	0.33	0.33	0.02
50	12.13~12.19	412	0.01	260	0.05	0.12	0.41	8.14	0.13	0.69	0.03	0.26	0.28	0.02
51	12.20~12.26	411	0.00	260	0.07	0.20	0.34	8.74	0.15	0.58	0.03	0.30	0.20	0.03
52	12.27~ 1. 2	399	0.01	249	0.05	0.06	0.17	4.58	0.04	0.23	0.00	0.16	0.13	0.02
	平均		0.00		1.21	0.12	0.30	3.39	0.10	0.19	0.02	0.39	0.19	0.05

表4-2(2) 週別定点当たり患者報告数(小児科・眼科・基幹) 2021年第1週~第52週

週	期 間	報告定点数 (小児科)	不明発しん症	川崎病	報告定点数 (眼科)	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	報告定点数 (基幹)	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	感染性胃腸炎 (ロタウイルスによる)	報告定点数 (基幹)	インフルエンザ入院
2	1. 11~ 1. 17	259	0.02	0.02	37		0.11	25			0.12			25	
3	1. 18~ 1. 24	256	0.04	0.02	38		0.26	25			0.04			25	
4	1. 25~ 1. 31	257	0.04	0.01	38		0.11	25				0.04		25	0.04
5	2. 1~ 2. 7	255	0.05	0.01	38		0.05	25						25	
6	2. 8~ 2. 14	257	0.03	0.02	38		0.11	25	0.04					25	
7	2. 15~ 2. 21	254	0.03	0.02	37			25		0.12	0.04			25	
8	2. 22~ 2. 28	258	0.03	0.01	38		0.13	25	0.04	0.04				25	
9	3. 1~ 3. 7	256	0.03	0.00	38		0.11	25		0.04				25	
10	3. 8~ 3. 14	260	0.03	0.01	38		0.05	25				0.04		25	
11	3. 15~ 3. 21	257	0.01	0.00	38		0.08	25						25	
12	3. 22~ 3. 28	257	0.02	0.01	38		0.08	25		0.04	0.04	0.04		25	
13	3. 29~ 4. 4	259	0.06	0.02	38		0.05	25		0.12		0.12	0.08	25	
14	4. 5~ 4. 11	259	0.03	0.01	38		0.13	25				0.04		25	
15	4. 12~ 4. 18	260	0.02	0.02	38		0.26	25						25	
16	4. 19~ 4. 25	257	0.02	0.02	38		0.21	25				0.04		25	
17	4. 26~ 5. 2	257	0.04	0.00	38		0.13	25						25	
18	5. 3~ 5. 9	258	0.02	0.01	38		0.03	25	0.08		0.04	0.04		25	
19	5. 10~ 5. 16	257	0.02	0.02	38		0.18	25		0.04				25	
20	5. 17~ 5. 23	259	0.04	0.01	38		0.11	25	0.08					25	
21	5. 24~ 5. 30	258	0.03	0.01	38		0.16	25				0.08		25	
22	5. 31~ 6. 6	257	0.05	0.01	38		0.16	25			0.04			25	
23	6. 7~ 6. 13	258	0.05	0.01	37		0.19	25					0.04	25	
24	6. 14~ 6. 20	259	0.02	0.02	38		0.18	25				0.04		25	
25	6. 21~ 6. 27	259	0.05	0.02	38		0.24	25						25	
26	6. 28~ 7. 4	259	0.01	0.02	38		0.24	25		0.04				25	
27	7. 5~ 7. 11	258	0.03	0.01	38		0.16	24			0.04			24	
28	7. 12~ 7. 18	258	0.02	0.02	38		0.21	25		0.08				25	
29	7. 19~ 7. 25	259	0.04	0.00	38		0.18	25	0.08					25	
30	7. 26~ 8. 1	257	0.04	0.02	38		0.16	25	0.08					25	
31	8. 2~ 8. 8	252	0.04	0.04	37		0.22	25			0.08			25	
32	8. 9~ 8. 15	246	0.01	0.04	34		0.15	24		0.04				24	
33	8. 16~ 8. 22	247	0.02	0.01	38	0.03	0.05	25	0.04		0.04			25	
34	8. 23~ 8. 29	258	0.03	0.01	38		0.05	24						24	
35	8. 30~ 9. 5	258	0.03	0.01	38		0.16	25	0.04		0.04			25	
36	9. 6~ 9. 12	258	0.02	0.04	38		0.24	25						25	
37	9. 13~ 9. 19	260	0.07	0.01	38		0.16	25		0.04	0.04			25	
38	9. 20~ 9. 26	260	0.04	0.01	38		0.26	25		0.08				25	
39	9. 27~ 10. 3	262	0.05	0.00	38		0.18	25			0.04			25	
40	10. 4~ 10. 10	260	0.03	0.02	38		0.26	25	0.08			0.04		25	
41	10. 11~ 10. 17	257	0.02	0.00	38		0.13	25		0.04				25	
42	10. 18~ 10. 24	260	0.03	0.00	38		0.08	24	0.04	0.08	0.04			24	
43	10. 25~ 10. 31	259	0.04	0.01	38		0.16	25						25	
44	11. 1~ 11. 7	260	0.03		38		0.16	25		0.04	0.04			25	
45	11. 8~ 11. 14	257	0.04	0.00	38		0.11	25	0.08					25	
46	11. 15~ 11. 21	261	0.05	0.00	38	0.03	0.13	25	0.04					25	
47	11. 22~ 11. 28	261	0.02	0.02	38		0.16	25	0.04	0.08		0.04		25	
48	11. 29~ 12. 5	259	0.03	0.01	38		0.13	25	0.04		0.04	0.04		25	
49	12. 6~ 12. 12	258	0.06	0.02	38		0.13	25	0.04				0.04	25	0.04
50	12. 13~ 12. 19	260	0.04	0.02	38		0.16	25	0.04					25	
51	12. 20~ 12. 26	260	0.03	0.00	37		0.16	25	0.04			0.08		25	
52	12. 27~ 1. 2	249	0.04	0.01	37		0.03	25	0.04					25	
	平 均		0.03	0.01		0.00	0.14		0.02	0.02	0.01	0.01	0.00		0.00

表5-1(1) 保健所別患者報告数(インフルエンザ・小児科) 2021年第1週~第52週

	設置定点数(インフルエンザ)	インフルエンザ	設置定点数(小児科)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎
千代田	4		3	135	8	8	102	9	8		24	1	3
中央区	5	1	3	107	9	11	1,009	17	63	8	81	64	15
みなと	9	5	6	578	13	40	718	15	132	4	89	47	21
新宿区	12	2	8	633	71	177	978	20	52	3	71	53	7
文京	7		4	179	16	21	573	24	41	4	121	12	13
台東	7		4	310	60	31	2,178	24	64	5	170	18	18
墨田区	8		5	269	15	20	383	44	32	5	91	32	3
江東区	14		9	651	28	102	2,372	53	132	10	183	64	12
品川区	12		8	401	23	77	1,073	31	55	3	156	179	4
目黒区	8		5	448	9	38	846	27	112	10	84	36	17
大田区	21		13	1172	164	203	3,158	54	91	25	321	146	47
世田谷	25		16	941	66	161	2,360	69	171	23	190	160	46
渋谷区	7		4	191	3	12	523	12	34	1	46	45	2
中野区	10		6	215	15	129	846	26	73	5	183	12	11
杉並	17		11	449	85	113	1,604	27	127	12	177	52	16
池袋	8	4	5	411	37	13	436	8	45	1	23	64	1
北区	11	3	7	349	27	47	855	27	35	5	240	61	3
荒川区	7		4	684	24	105	1,012	18	27	4	146	63	5
板橋区	16		10	302	17	63	1,355	46	110	29	114	17	14
練馬区	21	3	13	740	91	534	2,531	56	212	21	289	154	37
足立	20	1	13	1003	181	146	2,037	44	48	9	275	86	28
葛飾区	13		8	79	4	57	1,209	43	86	8	148	83	12
江戸川	19	2	12	1204	79	259	2,265	40	78	6	209	195	35
八王子市	18		11	865	106	237	3,258	74	85	6	224	468	50
町田市	13	1	8	121	11	411	1,571	55	29	11	145	104	36
西多摩	14	1	8	78	47	83	976	41	19	2	105	98	11
南多摩	14		9	763	59	92	1,164	55	95	5	181	54	28
多摩立川	21	2	14	734	40	162	1,851	80	132	9	230	97	39
多摩府中	33	13	21	1043	65	231	2,956	157	195	16	494	89	66
多摩小平	23	5	15	1123	222	431	3,187	89	159	15	477	41	47
島しょ	2		1	11	1		14	2			4		4
合計	419	43	264	16,189	1,596	4,014	45,400	1,287	2,542	265	5,291	2,595	651
定点当たり報告数		0.11		62.94	6.19	15.58	176.04	4.99	9.82	1.03	20.53	10.03	2.53
前年定点当たり報告数		81.86		2.20	5.84	51.33	154.79	10.05	3.98	1.80	21.76	2.61	2.67
当年/前年		0.00		28.56	1.06	0.30	1.14	0.50	2.46	0.57	0.94	3.84	0.95

表5-1(2) 保健所別患者報告数(小児科・眼科・基幹) 2021年第1週~第52週

	設置定点数(小児科)	不明発しん症	川崎病	設置定点数(眼科)	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	設置定点数(基幹)	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	(オウム病を除く) クラミジア肺炎	(ロタウイルスによる) 感染性胃腸炎	インフルエンザ入院
千代田	3	9	2				2	1	4	1			
中央区	3	2	2	1		16							
みなと	6	1	9				1			12	13		1
新宿区	8	5	19	2		2	2	1	5	4			
文京	4	5	2	1		28	1						
台東	4	4	3										
墨田区	5	7	1	1		8	1	1	3			1	
江東区	9	14	6	1		2							
品川区	8	2	2	1		11							
目黒区	5	2	1	1		3							
大田区	13	44	14	2		4	1						
世田谷	16	57	6	2		19	2	9	8				
渋谷区	4	5	1	1		6	1	1	2				
中野区	6	2	4	1		4							
杉並	11	39	45	1			2					1	
池袋	5		3	1		23	1						
北区	7	2	2	1		4							
荒川区	4		1	1		4							
板橋区	10	29	2	2		18	1						
練馬区	13	8	3	2		28							
足立	13	4	2	2		12							
葛飾区	8	34	1	1		4	1				1		
江戸川	12	5	8	2		14							
八王子市	11	10	1	2		31	1						
町田市	8	11	5	1		13							
西多摩	8	15	2	1	1	2	1						
南多摩	9	2	1	1		1							
多摩立川	14	14	3	2	1	9	1					1	
多摩府中	21	86	13	3		15	3	11	3	2	3	1	
多摩小平	15	25	4	2		3	2						1
島しょ	1						1						
合計	264	443	168	39	2	284	25	24	25	19	17	4	2
定点当たり報告数		1.72	0.65		0.05	7.51		0.96	1.01	0.76	0.68	0.16	0.08
前年定点当たり報告数		1.91	0.51		0.29	9.62		1.00	1.28	6.79	1.01	0.32	14.28
当年/前年		0.90	1.29		0.18	0.78		0.96	0.78	0.11	0.67	0.50	0.01

表5-2(1) 保健所別定点当たり患者報告数(インフルエンザ・小児科)

2021年1週～第52週

	設置定点数(インフルエンザ)	インフルエンザ	設置定点数(小児科)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発疹	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎
千代田	4		3	45.00	2.67	2.67	34.00	3.00	2.67		8.00	0.33	1.00
中央区	5	0.20	3	35.67	3.00	3.67	338.33	5.67	21.00	2.67	27.00	21.33	5.00
みなと	9	0.56	6	96.33	2.17	6.67	119.67	2.50	22.00	0.67	14.83	7.83	3.50
新宿区	12	0.18	8	90.43	10.17	25.50	140.36	2.86	7.43	0.43	10.21	7.60	1.00
文京	7		4	44.75	4.00	5.25	143.25	6.00	10.25	1.00	30.25	3.00	3.25
台東	7		4	77.50	15.00	7.75	546.42	6.00	16.00	1.25	42.58	4.50	4.50
墨田区	8		5	53.80	3.05	4.05	76.95	8.80	6.40	1.05	18.25	6.40	0.60
江東区	14		9	72.33	3.11	11.33	263.56	5.89	14.67	1.11	20.33	7.11	1.33
品川区	12		8	50.13	2.88	9.63	134.13	3.88	6.88	0.38	19.50	22.38	0.50
目黒区	8		5	89.60	1.80	7.60	169.20	5.40	22.40	2.00	16.80	7.20	3.40
大田区	21		13	90.15	12.62	15.62	242.92	4.15	7.00	1.92	24.69	11.23	3.62
世田谷	25		16	59.25	4.17	10.12	148.85	4.37	10.74	1.45	11.99	10.02	2.92
渋谷区	7		4	47.75	0.75	3.00	135.50	3.00	9.00	0.25	11.67	11.42	0.50
中野区	10		6	35.83	2.50	21.50	141.00	4.33	12.17	0.83	30.50	2.00	1.83
杉並	17		11	41.81	7.82	10.51	149.43	2.56	11.85	1.13	16.41	4.80	1.50
池袋	8	0.50	5	87.28	7.68	2.60	88.58	1.60	9.40	0.20	4.70	13.07	0.25
北区	11	0.30	7	49.86	3.93	6.74	123.52	3.93	5.00	0.81	34.69	8.81	0.48
荒川区	7		4	175.83	6.00	27.00	264.83	4.50	7.00	1.00	37.33	15.83	1.33
板橋区	16		10	30.20	1.70	6.30	135.33	4.60	11.00	2.90	11.39	1.70	1.40
練馬区	21	0.15	13	59.49	7.05	41.62	195.15	4.31	16.31	1.62	22.43	11.86	2.85
足立	20	0.05	13	77.23	13.96	11.25	156.81	3.38	3.69	0.69	21.19	6.62	2.15
葛飾区	13		8	9.88	0.50	7.13	151.13	5.38	10.75	1.00	18.50	10.38	1.50
江戸川	19	0.11	12	100.38	6.63	21.71	189.77	3.35	6.52	0.52	17.49	16.29	2.94
八王子市	18		11	79.03	10.00	22.48	307.42	6.98	7.79	0.56	21.38	42.77	4.73
町田市	13	0.08	8	15.13	1.38	51.38	196.38	6.88	3.63	1.38	18.13	13.00	4.50
西多摩	14	0.07	8	9.84	5.88	10.46	122.77	5.16	2.38	0.25	13.20	12.27	1.38
南多摩	14		9	85.06	6.57	10.25	129.64	6.13	10.58	0.56	20.15	6.07	3.13
多摩立川	21	0.10	14	52.43	2.86	11.69	133.41	5.74	9.43	0.65	16.60	6.93	2.82
多摩府中	33	0.42	21	59.26	3.50	12.50	159.01	8.41	10.18	0.85	26.69	4.74	3.59
多摩小平	23	0.23	15	83.37	16.05	31.07	229.74	6.43	11.47	1.10	34.40	2.99	3.40
島しょ	2		1	11.00	1.00		14.00	2.00			4.00		4.00
定点当たり報告数		0.11		62.94	6.19	15.58	176.04	4.99	9.82	1.03	20.53	10.03	2.53
前年定点当たり報告数		81.86		2.20	5.84	51.33	154.79	10.05	3.98	1.80	21.76	2.61	2.67
当年/前年		0.00		28.56	1.06	0.30	1.14	0.50	2.46	0.57	0.94	3.84	0.95

表5-2(2) 保健所別定点当たり患者報告数(小児科・眼科・基幹)

2021年第1週～第52週

	小児科			眼科			基幹						
	設置定点数	不明発しん症	川崎病	設置定点数	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	設置定点数	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	感染性胃腸炎 (ロタウイルスによる)	インフルエンザ入院
千代田	3	3.00	0.67				2	0.50	2.00	0.50			
中央区	3	0.67	0.67	1		16.00							
みなと	6	0.17	1.50				1			12.00	13.00		1.00
新宿区	8	0.71	2.71	2		2.00	2	0.50	2.50	2.00			
文京	4	1.25	0.50	1		28.00	1						
台東	4	1.00	0.75										
墨田区	5	1.40	0.20	1		8.00	1	1.00	3.00			1.00	
江東区	9	1.56	0.67	1		2.00							
品川区	8	0.25	0.25	1		11.00							
目黒区	5	0.40	0.20	1		3.00							
大田区	13	3.38	1.08	2		2.00	1						
世田谷	16	3.59	0.38	2		9.50	2	4.50	4.00				
渋谷区	4	1.25	0.33	1		6.00	1	1.00	2.00				
中野区	6	0.33	0.67	1		4.00							
杉並	11	3.72	4.32	1			2					0.50	
池袋	5		0.78	1		23.00	1						
北区	7	0.29	0.31	1		4.00							
荒川区	4		0.25	1		4.00							
板橋区	10	2.89	0.20	2		9.00	1						
練馬区	13	0.62	0.23	2		14.00							
足立	13	0.31	0.15	2		6.00							
葛飾区	8	4.25	0.13	1		4.00	1				1.00		
江戸川	12	0.42	0.67	2		7.00							
八王子市	11	0.93	0.10	2		15.50	1						
町田市	8	1.38	0.63	1		13.00							
西多摩	8	1.89	0.25	1	1.00	2.00	1						
南多摩	9	0.22	0.11	1		1.00							
多摩立川	14	1.01	0.21	2	0.50	4.50	1					1.00	
多摩府中	21	4.61	0.75	3		5.00	3	3.67	1.00	0.67	1.00	0.33	
多摩小平	15	1.81	0.29	2		1.50	2						0.50
島しょ	1						1						
定点当たり報告数		1.72	0.65		0.05	7.51		0.96	1.01	0.76	0.68	0.16	0.08
前年定点当たり報告数		1.91	0.51		0.29	9.62		1.00	1.28	6.79	1.01	0.32	14.28
当年/前年		0.90	1.29		0.18	0.78		0.96	0.78	0.11	0.67	0.50	0.01

表6 年齢階級別患者報告数(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹) 2021年第1週～第52週

	インフルエンザ	R S ウイルス感染症	咽頭結膜熱	A 球菌咽頭炎 群溶血性レンサ	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎
6か月未満		830	6	2	300	10	20		43	9	
12か月未満		1,722	127	62	2,643	41	198	19	1,333	145	3
1歳	5	5,142	643	285	7,428	95	1,181	51	2,776	799	27
2歳	4	4,291	381	351	6,065	91	652	41	693	753	35
3歳	1	2,436	171	443	4,837	93	204	32	233	448	65
4歳	1	1,088	107	472	4,028	129	92	30	114	163	85
5歳		458	47	426	3,259	146	69	32	58	88	105
6歳	1	109	27	352	2,353	140	41	13	20	46	75
7歳	2	24	18	305	1,795	128	11	12	6	50	68
8歳		23	10	266	1,608	123	11	12	7	18	63
9歳		7	12	173	1,435	94	9	9	2	14	51
10～14歳	2	8	16	536	3,978	168	16	11	5	40	65
15～19歳	4	1	2	76	971	13	1	1		6	5
20～29歳	4	50	29	265	4,700	16	37	2	1	16	4
30～39歳	3										
40～49歳	5										
50～59歳	6										
60～69歳											
70～79歳	2										
80歳以上	3										
合計	43	16,189	1,596	4,014	45,400	1,287	2,542	265	5,291	2,595	651

注：小児科定点把握対象疾病の「20～29歳」は「20歳以上」と読みかえる。

	不明発しん症	川崎病	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	（オウム病を除く） クラミジア肺炎	（ロタウイルス） 感染性胃腸炎	インフルエンザ入院
6か月未満	13	6			11	3				
12か月未満	60	20		1	4					
1歳	132	58		4	2	2			1	
2歳	63	42		2	2					
3歳	32	23		5		1	3		2	
4歳	42	8		2		1				
5歳	24	5		2						
6歳	20	1		2						
7歳	4			4						
8歳	7	3		2	1					
9歳	3	2		2						
10～14歳	15			8			1	2	1	
15～19歳	6			15	1	1				
20～29歳	22			62	1	3		1		
30～39歳			1	64		1	3	1		
40～49歳			1	38		1	2	1		
50～59歳				27		1	2			
60～69歳				24		1		2		1
70～79歳				20	3	4	4	5		
80歳以上					1	6	4	5		1
合計	443	168	2	284	24	25	19	17	4	2

注：小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読みかえる。

注：眼科定点把握対象疾患の「70～79歳」は「70歳以上」と読みかえる。

表7-1 二次医療圏別患者報告数(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹)

2021年第1週～第52週

	設置定点数 (インフルエンザ)	インフルエンザ	設置定点数 (小児科)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌 咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎
1 区中央部圏	32	6	20	1309	106	111	4,580	89	308	21	485	142	70
2 区南部圏	33		21	1573	187	280	4,231	85	146	28	477	325	51
3 区西南部圏	40		25	1580	78	211	3,729	108	317	34	320	241	65
4 区西部圏	39	2	25	1297	171	419	3,428	73	252	20	431	117	34
5 区西北部圏	56	10	35	1802	172	657	5,177	137	402	56	666	296	55
6 区東北部圏	40	1	25	1766	209	308	4,258	105	161	21	569	232	45
7 区東部圏	41	2	26	2124	122	381	5,020	137	242	21	483	291	50
8 西多摩圏	14	1	8	78	47	83	976	41	19	2	105	98	11
9 南多摩圏	45	1	28	1749	176	740	5,993	184	209	22	550	626	114
10 北多摩西部圏	21	2	14	734	40	162	1,851	80	132	9	230	97	39
11 北多摩南部圏	33	13	21	1043	65	231	2,956	157	195	16	494	89	66
12 北多摩北部圏	23	5	15	1123	222	431	3,187	89	159	15	477	41	47
13 島しょ圏	2		1	11	1		14	2			4		4
合計	419	43	264	16,189	1,596	4,014	45,400	1,287	2,542	265	5,291	2,595	651

	設置定点数 (小児科)	不明発しん症	川崎病	設置定点数 (眼科)	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	設置定点数 (基幹)	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	感染性胃腸炎 (ロタウイルスによる)	インフルエンザ入院
1 区中央部圏	20	21	18	2		44	4	1	4	13	13		1
2 区南部圏	21	46	16	3		15	1						
3 区西南部圏	25	64	8	4		28	3	10	10				
4 区西部圏	25	46	68	4		6	4	1	5	4		1	
5 区西北部圏	35	39	10	6		73	2						
6 区東北部圏	25	38	4	4		20	1				1		
7 区東部圏	26	26	15	4		24	1	1	3			1	
8 西多摩圏	8	15	2	1	1	2	1						
9 南多摩圏	28	23	7	4		45	1						
10 北多摩西部圏	14	14	3	2	1	9	1					1	
11 北多摩南部圏	21	86	13	3		15	3	11	3	2	3	1	
12 北多摩北部圏	15	25	4	2		3	2						1
13 島しょ圏	1						1						
合計	264	443	168	39	2	284	25	24	25	19	17	4	2

表7-2 二次医療圏別定点当たり患者報告数(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹)

2021年第1週～第52週

	設置定点数 (インフルエンザ)	インフルエンザ	設置定点数 (小児科)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌 咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎
1 区中央部圏	32	0.19	20	65.45	5.31	5.55	229.31	4.45	15.41	1.05	24.27	7.10	3.51
2 区南部圏	33		21	74.90	8.90	13.33	201.48	4.05	6.95	1.33	22.71	15.48	2.43
3 区西南部圏	40		25	63.66	3.15	8.49	150.76	4.36	12.85	1.37	12.91	9.69	2.63
4 区西部圏	39	0.05	25	54.58	7.18	17.71	144.76	3.09	10.62	0.85	18.14	4.91	1.43
5 区西北部圏	56	0.18	35	52.49	4.96	18.97	148.78	3.95	11.49	1.62	19.17	8.46	1.58
6 区東北部圏	40	0.03	25	70.88	8.39	12.35	171.03	4.22	6.45	0.84	22.85	9.32	1.81
7 区東部圏	41	0.05	26	81.71	4.71	14.71	193.68	5.28	9.32	0.82	18.64	11.20	1.93
8 西多摩圏	14	0.07	8	9.84	5.88	10.46	122.77	5.16	2.38	0.25	13.20	12.27	1.38
9 南多摩圏	45	0.02	28	62.67	6.39	26.93	217.26	6.69	7.50	0.80	20.02	22.44	4.15
10 北多摩西部圏	21	0.10	14	52.43	2.86	11.69	133.41	5.74	9.43	0.65	16.60	6.93	2.82
11 北多摩南部圏	33	0.42	21	59.26	3.50	12.50	159.01	8.41	10.18	0.85	26.69	4.74	3.59
12 北多摩北部圏	23	0.23	15	83.37	16.05	31.07	229.74	6.43	11.47	1.10	34.40	2.99	3.40
13 島しょ圏	2		1	11.00	1.00		14.00	2.00			4.00		4.00

	設置定点数 (小児科)	不明発しん症	川崎病	設置定点数 (眼科)	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	設置定点数 (基幹)	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	(オウム病を除く) クラミジア肺炎	(ロタウイルスによる) 感染性胃腸炎	インフルエンザ入院
1 区中央部圏	20	1.06	0.90	2		22.50	4	0.25	1.00	3.25	3.25		0.25
2 区南部圏	21	2.19	0.76	3		5.00	1						
3 区西南部圏	25	2.58	0.32	4		7.08	3	3.33	3.33				
4 区西部圏	25	1.96	2.89	4		2.17	4	0.25	1.25	1.00		0.25	
5 区西北部圏	35	1.12	0.30	6		12.20	2						
6 区東北部圏	25	1.53	0.16	4		5.08	1				1.00		
7 区東部圏	26	1.01	0.58	4		6.00	1	1.00	3.00			1.00	
8 西多摩圏	8	1.89	0.25	1	1.00	2.00	1						
9 南多摩圏	28	0.83	0.26	4		11.25	1						
10 北多摩西部圏	14	1.01	0.21	2	0.50	4.50	1					1.00	
11 北多摩南部圏	21	4.61	0.75	3		5.00	3	3.67	1.00	0.67	1.00	0.33	
12 北多摩北部圏	15	1.81	0.29	2		1.50	2						0.50
13 島しょ圏	1						1						

表8-1 月別患者報告数(基幹)

2021年1月~12月

	報告定点数	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	薬剤耐性緑膿菌感染症
1月	25	63	1	
2月	25	77	3	1
3月	25	81	3	
4月	25	75		3
5月	25	76	11	
6月	25	44	4	
7月	25	80	5	
8月	25	74	3	
9月	25	61	6	
10月	25	74	2	
11月	25	61		
12月	25	48	4	1
合計		814	42	5

表8-2 月別定点当たり患者報告数(基幹)

2021年1月~12月

	報告定点数	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	薬剤耐性緑膿菌感染症
1月	25	2.52	0.04	
2月	25	3.08	0.12	0.04
3月	25	3.24	0.12	
4月	25	3.00		0.12
5月	25	3.04	0.44	
6月	25	1.76	0.16	
7月	25	3.20	0.20	
8月	25	2.96	0.12	
9月	25	2.44	0.24	
10月	25	2.96	0.08	
11月	25	2.44		
12月	25	1.92	0.16	0.04
平均		2.71	0.14	0.02
合計		32.56	1.68	0.20
前年合計		32.92	0.88	0.28
当年/前年		0.99	1.91	0.71

表8-3 月別・性別患者報告数(基幹) 2021年1月~12月

	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		薬剤耐性緑膿菌感染症	
	男	女	男	女	男	女
1月	36	27	1			
2月	36	41	2	1		1
3月	34	47	3			
4月	42	33			2	1
5月	49	27	9	2		
6月	29	15	1	3		
7月	50	30	3	2		
8月	50	24	1	2		
9月	35	26	3	3		
10月	49	25	1	1		
11月	38	23				
12月	31	17	3	1	1	
合計	479	335	27	15	3	2

表8-4 性別・年齢階級別患者報告数(基幹) 2021年1月~12月

	メチシリン耐性 黄色ブドウ球菌感染症		ペニシリン耐性 肺炎球菌感染症		薬剤耐性 緑膿菌感染症	
	男	女	男	女	男	女
0歳	43	49	4	2		
1~4歳	27	13	5	6		
5~9歳	37	57		1	1	
10~14歳	6	7		2		
15~19歳	3	3				
20~24歳	11	4		1		
25~29歳	10	3				
30~34歳	7	5				1
35~39歳	3	5				
40~44歳	14	7	1			
45~49歳	9	9	2		1	
50~54歳	18	12	2	1		
55~59歳	21	17				
60~64歳	36	12	2			
65~69歳	32	8				
70歳以上	202	124	11	2	1	1
合計	479	335	27	15	3	2
定点当たり報告数	19.16	13.40	1.08	0.60	0.12	0.08
前年定点当たり報告数	20.20	12.72	0.56	0.32	0.12	0.16
当年/前年	0.95	1.05	1.93	1.88	1.00	0.50

表9-1 月別患者報告数(性感染症)

2021年1月~12月

	報告 定点数	性器 クラミジア 感染症	性器 ヘルペス ウイルス 感染症	尖圭 コンジロー マ	淋菌 感染症	臈 トリコモ ナス症
1月	54	179	53	82	75	5
2月	54	158	58	79	73	7
3月	54	192	83	92	87	15
4月	55	213	74	97	104	7
5月	55	195	51	94	93	5
6月	55	192	64	88	85	5
7月	55	192	51	81	108	7
8月	55	161	58	90	67	8
9月	55	197	57	87	82	13
10月	55	187	55	100	70	9
11月	55	184	48	82	89	10
12月	54	175	66	84	85	4
合計		2,225	718	1,056	1,018	95

表9-2 月別定点当たり患者報告数(性感染症)

2021年1月~12月

	報告 定点数	性器 クラミジア 感染症	性器 ヘルペス ウイルス 感染症	尖圭 コンジロー マ	淋菌 感染症	臈 トリコモ ナス症
1月	54	3.31	0.98	1.52	1.39	0.09
2月	54	2.93	1.07	1.46	1.35	0.13
3月	54	3.56	1.54	1.70	1.61	0.28
4月	55	3.87	1.35	1.76	1.89	0.13
5月	55	3.55	0.93	1.71	1.69	0.09
6月	55	3.49	1.16	1.60	1.55	0.09
7月	55	3.49	0.93	1.47	1.96	0.13
8月	55	2.93	1.05	1.64	1.22	0.15
9月	55	3.58	1.04	1.58	1.49	0.24
10月	55	3.40	1.00	1.82	1.27	0.16
11月	55	3.35	0.87	1.49	1.62	0.18
12月	54	3.24	1.22	1.56	1.57	0.07
平均		3.39	1.10	1.61	1.55	0.14
合計		40.69	13.14	19.31	18.62	1.74
前年合計		39.31	12.31	17.72	16.25	1.86
当年/前年		1.04	1.07	1.09	1.15	0.93

表9-3 月別・性別患者報告数(性感染症) 2021年1月~12月

	報告 定点 数	性器クラミジア 感染症		性器ヘルペス ウイルス感染症		尖圭 コンジローマ		淋菌感染症		膣トリコモナス症	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
1月	54	111	68	29	24	58	24	58	17		5
2月	54	95	63	29	29	50	29	57	16		7
3月	54	128	64	50	33	58	34	67	20		15
4月	55	117	96	39	35	63	34	80	24		7
5月	55	113	82	29	22	56	38	70	23		5
6月	55	121	71	39	25	53	35	67	18		5
7月	55	107	85	30	21	40	41	72	36		7
8月	55	95	66	34	24	49	41	47	20		8
9月	55	123	74	33	24	55	32	55	27		13
10月	55	104	83	30	25	61	39	52	18		9
11月	55	113	71	23	25	46	36	67	22		10
12月	54	112	63	35	31	64	20	66	19	1	3
合 計		1,339	886	400	318	653	403	758	260	1	94

表9-4 月別・性別定点当たり患者報告数(性感染症) 2021年1月~12月

	報告 定点 数	性器クラミジア 感染症		性器ヘルペス ウイルス感染症		尖圭 コンジローマ		淋菌感染症		膣トリコモナス症	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
1月	54	2.06	1.26	0.54	0.44	1.07	0.44	1.07	0.31		0.09
2月	54	1.76	1.17	0.54	0.54	0.93	0.54	1.06	0.30		0.13
3月	54	2.37	1.19	0.93	0.61	1.07	0.63	1.24	0.37		0.28
4月	55	2.13	1.75	0.71	0.64	1.15	0.62	1.45	0.44		0.13
5月	55	2.05	1.49	0.53	0.40	1.02	0.69	1.27	0.42		0.09
6月	55	2.20	1.29	0.71	0.45	0.96	0.64	1.22	0.33		0.09
7月	55	1.95	1.55	0.55	0.38	0.73	0.75	1.31	0.65		0.13
8月	55	1.73	1.20	0.62	0.44	0.89	0.75	0.85	0.36		0.15
9月	55	2.24	1.35	0.60	0.44	1.00	0.58	1.00	0.49		0.24
10月	55	1.89	1.51	0.55	0.45	1.11	0.71	0.95	0.33		0.16
11月	55	2.05	1.29	0.42	0.45	0.84	0.65	1.22	0.40		0.18
12月	54	2.07	1.17	0.65	0.57	1.19	0.37	1.22	0.35	0.02	0.06

表9-5 保健所別、二次医療圏別患者報告数(性感染症)

2021年1月~12月

	設置 定 点 数	性器クラミジア 感染症		性器ヘルペス ウイルス感染症		尖圭 コンジローマ		淋菌感染症		膣トリコモナス症	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
千代田	2	47	1	8	1	17	4	28			1
中央区	3	39	17	42	11	11	5	15	2		3
みなと	2	68	61	43	7	79	6	27	7		4
新宿区	7	257	106	129	104	363	289	177	47		3
文京	1	47	1	4		7		18			
台東	2	8	78	1	21	4	15	9	110		27
墨田区	2	52	6	8	1	14	3	33	2		1
江東区	2	188	7	53	3	32		80	1		
品川区	1	6	3	9	1	15		13	2		
大田区	2	19	16				1	2	3		2
渋谷区	5	283	107	42	69	56	31	114	12		5
中野区	2	87	4	2	4	7	2	56			5
杉並	2	26	11	4	2	4		17	1		
池袋	3	136	61	33	30	25	9	125	17		7
北区	1	6				8		2			
荒川区	1		21				1		2	1	1
板橋区	2	13	45	2	9	4	6	8	7		
足立	2	2	38		3		2	4	3		7
江戸川	2	48	94	19	13	6	8	26	16		6
八王子市	4		65		24		11		6		10
町田市	1		18		6		2		3		
多摩立川	2	3	123		9		8		19		12
多摩府中	3	4		1		1		4			
多摩小平	1		3								
合 計	55	1,339	886	400	318	653	403	758	260	1	94
定点当たり報告数		24.50	16.20	7.32	5.82	11.95	7.36	13.87	4.75	0.02	1.72
前年定点当たり報告数		22.81	16.50	6.62	5.68	11.66	6.05	11.76	4.49	0.09	1.77
当年/前年		1.07	0.98	1.11	1.02	1.02	1.22	1.18	1.06	0.20	0.97
区中央部圏	10	209	158	98	40	118	30	97	119		35
区南部圏	3	25	19	9	1	15	1	15	5		2
区西南部圏	5	283	107	42	69	56	31	114	12		5
区西部圏	11	370	121	135	110	374	291	250	48		8
区西北部圏	6	155	106	35	39	37	15	135	24		7
区東北部圏	3	2	59		3		3	4	5	1	8
区東部圏	6	288	107	80	17	52	11	139	19		7
南多摩圏	5		83		30		13		9		10
北多摩西部圏	2	3	123		9		8		19		12
北多摩南部圏	3	4		1		1		4			
北多摩北部圏	1		3								

表9-6 保健所別、二次医療圏別定点当たり患者報告数(性感染症)

2021年1月~12月

	設置 定点数	性器クラミジア 感染症		性器ヘルペス ウイルス感染症		尖圭 コンジローマ		淋菌感染症		臍トリコモナス症	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
千代田	2	23.50	0.50	4.00	0.50	8.50	2.00	14.00			0.50
中央区	3	14.83	6.33	15.67	3.67	4.17	1.67	5.50	0.67		1.00
みなと	2	34.00	30.50	21.50	3.50	39.50	3.00	13.50	3.50		2.00
新宿区	7	36.71	15.14	18.43	14.86	51.86	41.29	25.29	6.71		0.43
文京	1	47.00	1.00	4.00		7.00		18.00			
台東	2	4.00	39.00	0.50	10.50	2.00	7.50	4.50	55.00		13.50
墨田区	2	28.50	3.00	4.50	0.50	7.50	1.50	18.50	1.00		0.50
江東区	2	94.00	3.50	26.50	1.50	16.00		40.00	0.50		
品川区	1	6.00	3.00	9.00	1.00	15.00		13.00	2.00		
大田区	2	9.50	8.00				0.50	1.00	1.50		1.00
渋谷区	5	56.60	21.40	8.40	13.80	11.20	6.20	22.80	2.40		1.00
中野区	2	43.50	2.00	1.00	2.00	3.50	1.00	28.00			2.50
杉並	2	13.00	5.50	2.00	1.00	2.00		8.50	0.50		
池袋	3	45.33	20.33	11.00	10.00	8.33	3.00	41.67	5.67		2.33
北区	1	6.00				8.00		2.00			
荒川区	1		21.00				1.00		2.00	1.00	1.00
板橋区	2	6.50	22.50	1.00	4.50	2.00	3.00	4.00	3.50		
足立	2	1.00	19.00		1.50		1.00	2.00	1.50		3.50
江戸川	2	24.00	47.00	9.50	6.50	3.00	4.00	13.00	8.00		3
八王子市	4		16.25		6.00		2.75		1.50		2.50
町田市	1		18.00		6.00		2.00		3.00		
多摩立川	2	1.50	61.50		4.50		4.00		9.50		6.00
多摩府中	3	1.33		0.33		0.33		1.33			
多摩小平	1		3.00								
合計	55	1,339	886	400	318	653	403	758	260	1	94
定点当たり報告数		24.50	16.20	7.32	5.82	11.95	7.36	13.87	4.75	0.02	1.72

区中央部圏	10	21.50	16.16	10.06	4.03	12.11	3.04	9.99	12.10		3.60
区南部圏	3	8.33	6.33	3.00	0.33	5.00	0.33	5.00	1.67		0.67
区西南部圏	5	56.60	21.40	8.40	13.80	11.20	6.20	22.80	2.40		1.00
区西部圏	11	33.64	11.00	12.27	10.00	34.00	26.45	22.73	4.36		0.73
区西北部圏	6	25.83	17.67	5.83	6.50	6.17	2.50	22.50	4.00		1.17
区東北部圏	3	0.67	19.67		1.00		1.00	1.33	1.67	0.33	2.67
区東部圏	6	48.80	17.93	13.43	3.03	8.77	1.83	23.60	3.20		1.17
南多摩圏	5		16.60		6.00		2.60		1.80		2.00
北多摩西部圏	2	1.50	61.50		4.50		4.00		9.50		6.00
北多摩南部圏	3	1.33		0.33		0.33		1.33			
北多摩北部	1		3.00								

表9-7 年齢階級別患者報告数(性感染症) 2021年1月~12月

	性器クラミジア感染症		性器ヘルペスウイルス感染症		尖圭コンジローマ		淋菌感染症		膣トリコモナス症	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
0歳										
1~4歳										
5~9歳										
10~14歳		1	1	1						
15~19歳	21	68	3	7	3	24	12	17		5
20~24歳	227	279	33	65	74	131	141	94	1	16
25~29歳	271	206	62	76	129	139	143	48		21
30~34歳	238	157	54	44	106	56	113	18		12
35~39歳	180	80	67	31	99	24	111	22		10
40~44歳	178	42	51	20	89	14	99	27		9
45~49歳	96	28	44	21	56	7	51	12		11
50~54歳	67	16	37	22	36	5	38	10		6
55~59歳	27	8	23	10	30	1	25	8		3
60~64歳	24	1	8	8	16	1	14	3		1
65~69歳	5		4	2	6		5			
70歳以上	5		13	11	9	1	6	1		
合計	1,339	886	400	318	653	403	758	260	1	94

表10 検査結果別報告数(基幹) 2021年1週~52週

病原体	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	合計
<i>Streptococcus agalactiae</i>	5					5
<i>Listeria monocytogenes</i>	3					3
<i>Escherichia coli</i> K1	1					1
<i>Klebsiella pneumoniae</i>	1					1
<i>Staphylococcus aureus</i>	1					1
other bacteria	3					3
<i>Varicella-zoster virus</i>		5				5
<i>Herpes simplex virus 2</i>		1				1
<i>Mycoplasma pneumoniae</i>			17			17
<i>Chlamyphila pneumoniae</i>				15		15
<i>Chlamydia trachomatis</i>				2		2
Rotavirus group unknown					4	4
negative	3	7				10
記載無し	7	12	2			21
合計	24	25	19	17	4	89

第 2 章

東京都感染症発生動向調査事業における病原体情報

1 ウイルス検査結果

(1) 小児科・内科・基幹病原体定点医療機関からの搬入検体

ア インフルエンザ

① 2020/2021 年シーズンのインフルエンザウイルス検出状況

インフルエンザウイルスの流行シーズンは、毎年 9 月（第 36 週）を境にシーズン分けがされており、2021 年第 1 週～第 35 週は 2020/2021 年シーズン、2021 年第 36 週～第 52 週は 2021/2022 年シーズンとなる。2020/2021 年シーズン（2020 年第 36 週～2021 年第 35 週）は、インフルエンザ病原体定点医療機関より 38 検体が搬入された。2019/2020 年シーズンの同期間（519 件）に比べ、著しく検体数が減少していた。遺伝子検査及びウイルス分離検査では、インフルエンザウイルスは検出されなかった。

② 2021/2022 年シーズンのインフルエンザウイルス検出状況

2021/2022 年シーズン（2021 年第 36 週～2022 年第 13 週）は、インフルエンザ病原体定点医療機関より 15 検体が搬入された。2019/2020 年シーズンの同期間（506 件）に比べ、2020/2021 年シーズンの同期間（29 件）と同様に著しく検体数が減少していた。遺伝子検査及びウイルス分離検査では、インフルエンザウイルスは検出されなかった。

③ その他のウイルスの検出状況

インフルエンザウイルスの検査と同時にエンテロウイルス、アデノウイルス等の遺伝子検査を行った。2020/2021 年シーズンは 38 検体が搬入され、エンテロウイルス 1 件、ライノウイルス 10 件、アデノウイルス 2 件が検出された（図 1a）。2021/2022 年シーズンでは 15 検体が搬入され、エンテロウイルス 4 件、ライノウイルス 2 件が検出された（図 1b）。

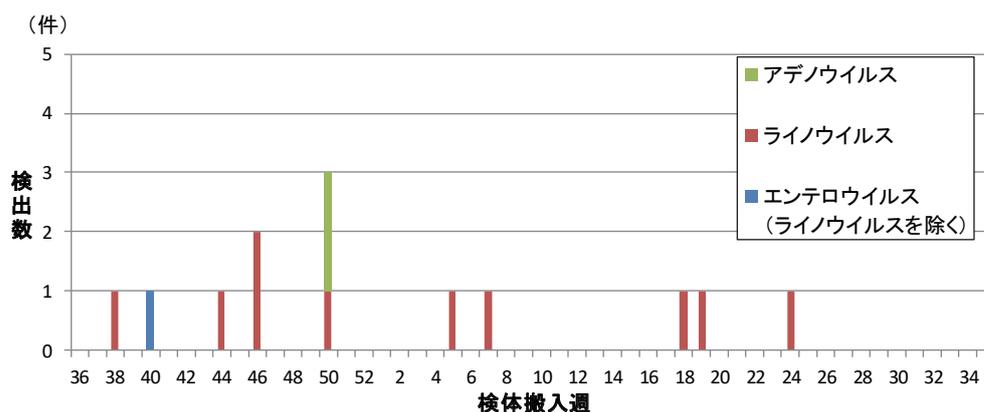


図 1a. 2020/2021 年シーズンのエンテロウイルス、アデノウイルス遺伝子検出数

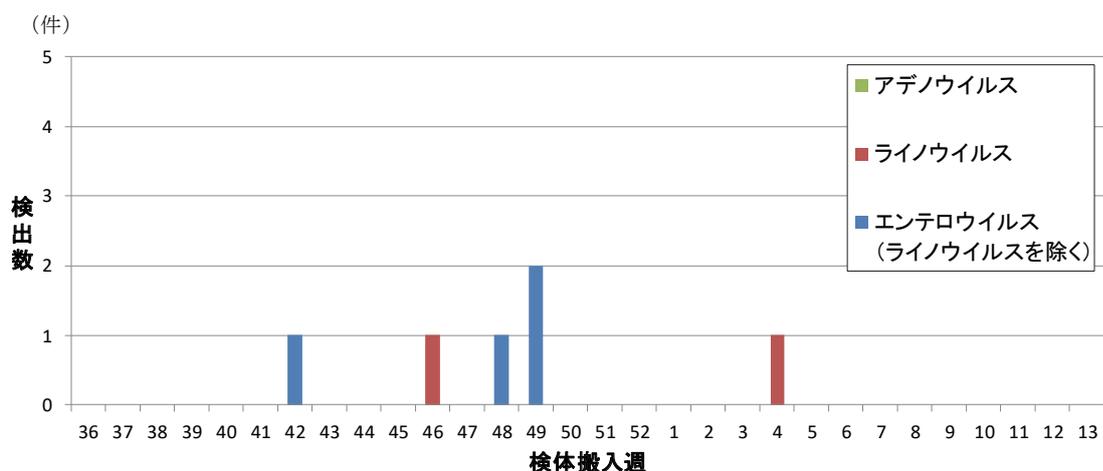


図 1b. 2021/2022 年シーズンのエンテロウイルス、アデノウイルス遺伝子検出数
(2022 年 3 月末現在)

イ RS ウイルス感染症

小児科定点医療機関で RS ウイルス感染症と診断され、当センターに搬入された患者検体 57 件について RS ウイルス等の遺伝子検査及びウイルス分離試験を実施した。57 件中 51 件から RS ウイルス遺伝子 (A 型 12 件、B 型 39 件) が出された。さらに RS ウイルス A 型 8 株、B 型 25 株がそれぞれ分離された (表 1、図 2)。2021 年は RS ウイルス感染症に関わる検体搬入及びウイルス検出が多かった。検出時期は 4 月から 7 月をピークとし冬季には検出されなかった。

表 1. RS ウイルス感染症患者検体から検出されたウイルスの内訳

	遺伝子検出数	分離件数
RSウイルスA型	12	8
RSウイルスB型	39	25
陰性	6	24

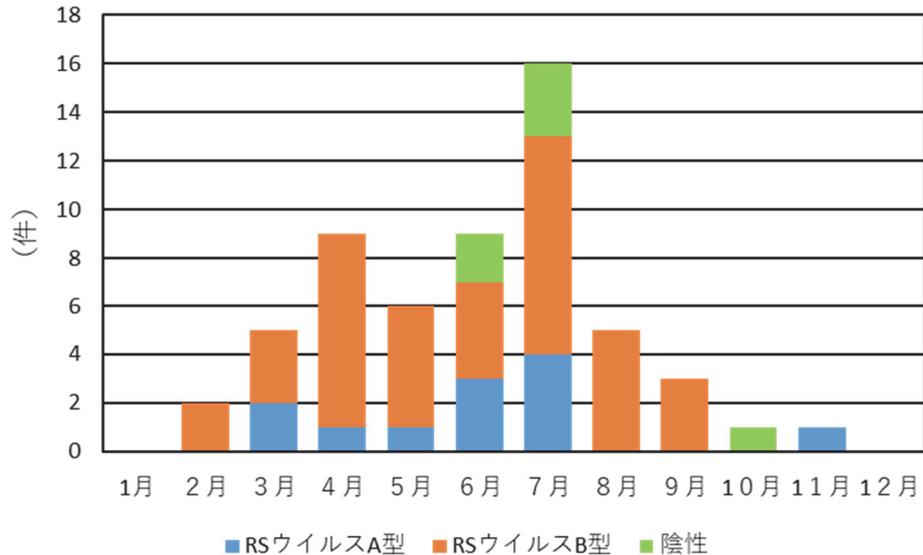


図 2. RS ウイルス感染症患者検体からのウイルス検出状況

ウ 咽頭結膜熱

小児科定点医療機関で咽頭結膜熱と診断され、当センターに搬入された患者検体 42 件についてアデノウイルス等の遺伝子検査及びウイルス分離試験を実施した。42 件中 17 件からアデノウイルス遺伝子（2 型：10 件、1 型：2 件、5 型：5 件）が検出された。また、5 件からライノウイルスが、5 件からコクサッキーウイルス A4 型がそれぞれ検出された（表 2）。加えて、アデノウイルス 1 型：1 件、2 型：4 件、5 型：1 件の他、コクサッキーウイルス A4 型：4 件、RS ウイルス A 型：1 件、B 型：1 件がそれぞれ分離された。

表 2. 咽頭結膜熱患者検体から検出されたウイルスの内訳（重複検出を含む）

	遺伝子検出数	分離件数
アデノウイルス1型	2	1
アデノウイルス2型	10	4
アデノウイルス5型	5	1
ライノウイルス	5	
コクサッキーウイルスA4型	5	4
RSウイルスA型		1
RSウイルスB型		1
陰性	18	30

2021 年に咽頭結膜熱と診断された検体由来のウイルス検出は二峰性であり、1 月～6 月はアデノウイルスが主に検出され、9 月以降はコクサッキー A4 型が主に検出された。咽頭結膜熱は「プール熱」とも呼ばれ一般に夏に発生が多いとされるが、2021 年も夏季の検査数が少ない傾向がみられた（図 3）。

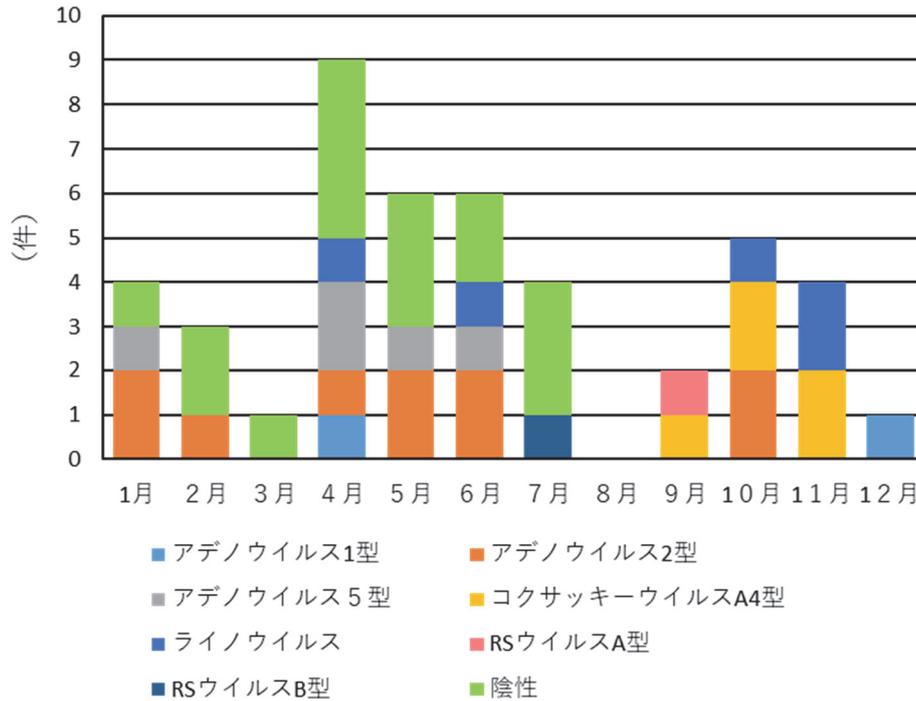


図 3. 咽頭結膜熱患者検体からのウイルス検出状況(重複検出を含む)

エ 感染性胃腸炎

感染性胃腸炎は流行時期に合わせ、毎年第 36 週から翌年の第 35 週までの 1 年間を流行シーズンとしているため、2021 年第 1 週～第 35 週は 2020/2021 年シーズン、第 36 週～第 53 週は 2021/2022 年シーズンとなる。

小児科定点医療機関及び基幹定点医療機関において感染性胃腸炎と診断され、当センターに搬入された患者検体について、小児科定点の検体についてはノロウイルス、サポウイルス、A 群ロタウイルス、アデノウイルス及びアストロウイルス、基幹定点の検体では A 群ロタウイルス及び C 群ロタウイルスの遺伝子検査を実施した。

小児科定点医療機関から搬入された 52 件について検査を実施した結果、18 件からノロウイルス等が検出された。内訳は、ノロウイルスが最も多く 14 件、サポウイルスが 1 件、アストロウイルスが 3 件であった。ノロウイルスの遺伝子型については GII.2 や GII.4 が多い傾向がみられた (表 3、図 4)。

基幹定点医療機関から搬入された 1 件について検査を実施した結果、A 群ロタウイルスが検出され、遺伝子型は G3P[8]であった。

表 3. 感染性胃腸炎患者から検出されたウイルス遺伝子の内訳（小児科定点）

検出遺伝子	検出数
ノロウイルス GⅠ.5	1
ノロウイルス GⅠ.7	1
ノロウイルス GⅡ.2	7
ノロウイルス GⅡ.4	5
サポウイルス	1
アストロウイルス	3
計	18

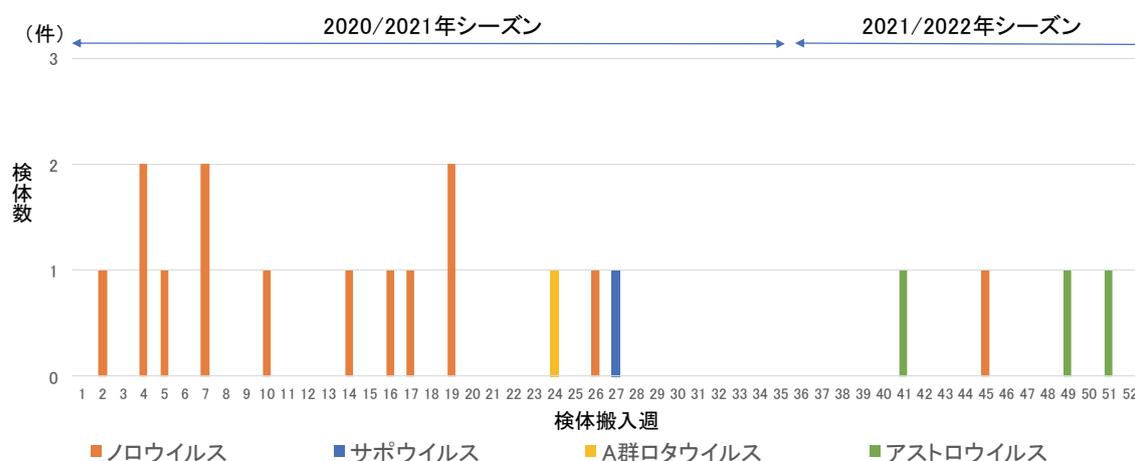


図 4. 感染性胃腸炎患者検体からのウイルス遺伝子検出状況

オ 水痘

小児科定点医療機関で水痘と診断され当センターに搬入された患者検体 7 件について、水痘帯状疱疹ウイルス等の遺伝子検査及びウイルス分離試験を実施した。7 検体中 3 件から当該遺伝子が検出された（表 4、図 5）。

表 4. 水痘患者検体から検出されたウイルスの内訳

	遺伝子検出数	分離件数
水痘帯状疱疹ウイルス	3	
陰性	4	7

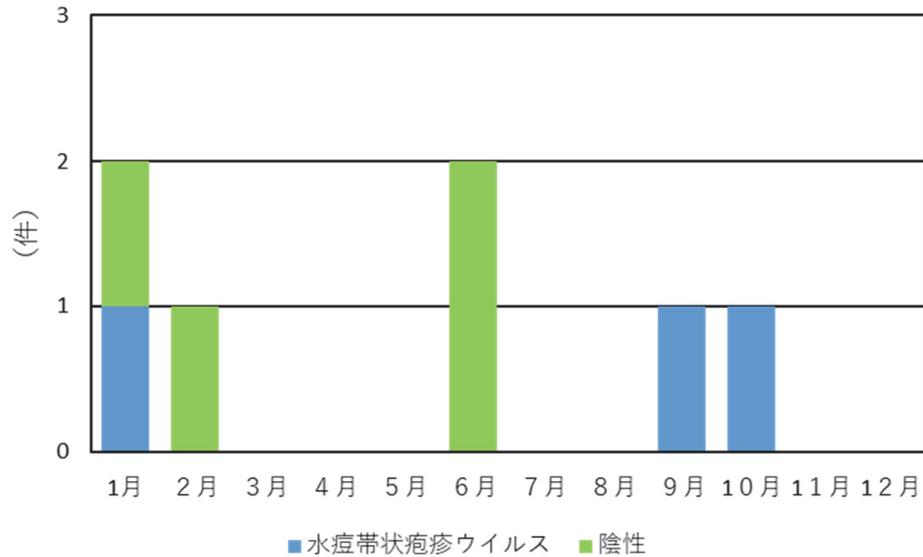


図 5. 水痘患者検体からのウイルス検出状況

カ 手足口病

小児科定点医療機関で手足口病と診断され、当センターに搬入された患者検体 20 件について、エンテロウイルス等の遺伝子検査及びウイルス分離試験を実施した。検出されたエンテロウイルスはコクサッキーウイルス A4 型が 1 件、A6 型が 10 件であった。またヒトヘルペスウイルス 6 型遺伝子が 1 件検出された。分離試験ではコクサッキーウイルス A6 型が 5 株分離された（表 5、図 6）。また、2021 年は例年と検出時期が異なり、当該ウイルス検出のピークは 10 月以降であった。

表 5. 手足口病患者検体から検出されたウイルスの内訳

	遺伝子検出数	分離件数
コクサッキーウイルスA4型	1	
コクサッキーウイルスA6型	10	5
ヒトヘルペスウイルス6型	1	
陰性	9	15

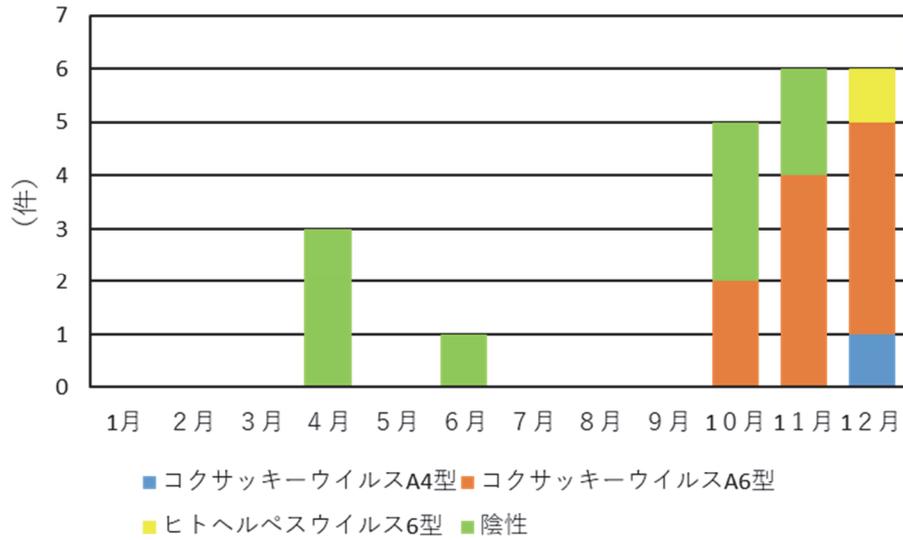


図6. 手足口病患者検体からのウイルス検出状況

キ 伝染性紅斑

小児科定点医療機関で伝染性紅斑と診断され、当センターに搬入された患者検体3件についてヒトパルボウイルス B19 等の遺伝子検査及びウイルス分離試験を実施した。3 検体中1 件からライノウイルス遺伝子が検出されたが、ヒトパルボウイルス B19 ウイルスは検出されなかった（表6、図7）。

表6. 伝染性紅斑患者検体から検出されたウイルスの内訳

	遺伝子検出数	分離件数
ヒトパルボウイルスB19	0	
ライノウイルス	1	
陰性	2	3

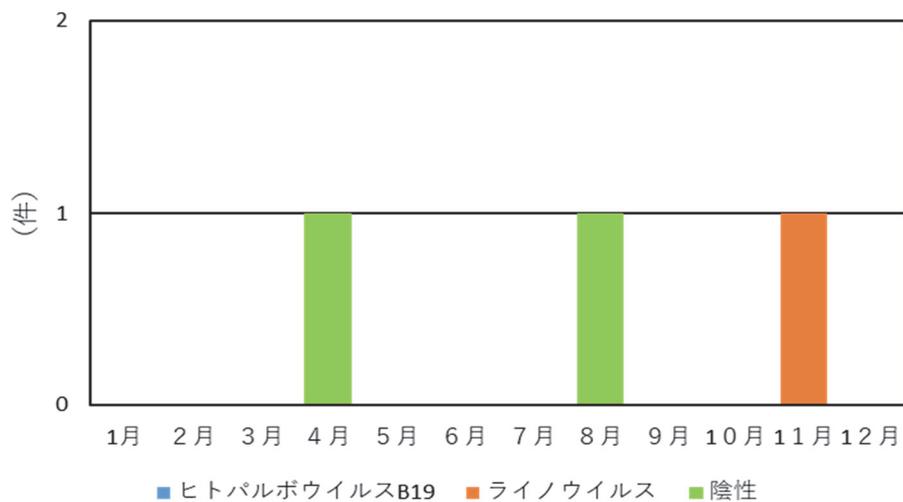


図7. 伝染性紅斑患者検体からのウイルス検出状況

ク 突発性発しん

小児科定点医療機関で突発性発しんと診断され、当センターに搬入された患者検体 23 件について遺伝子検査及びウイルス分離試験を実施した。23 件中 12 件からヒトヘルペスウイルス 6 型、3 件からヒトヘルペスウイルス 7 型が検出された（表 7）。検査数は少ないものの、ほぼ一年を通じてヒトヘルペスウイルス 6 型が検出された（図 8）。

表 7. 突発性発しんの患者から検出されたウイルスの内訳

	遺伝子検出数	分離件数
ヒトヘルペスウイルス6型	12	
ヒトヘルペスウイルス7型	3	
陰性	8	23

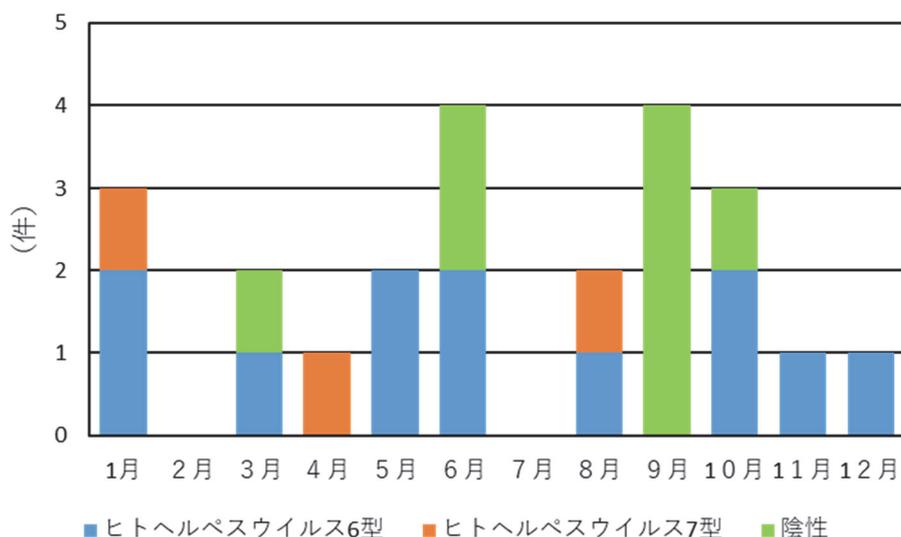


図 8. 突発性発しん患者検体からのウイルス検出状況

ケ ヘルパンギーナ

小児科定点医療機関でヘルパンギーナと診断され、当センターに搬入された患者検体 8 件についてエンテロウイルス等の遺伝子検査及びウイルス分離試験を実施した。その結果、コクサッキーウイルス A4 型：1 件、A6 型：1 件、ライノウイルス：2 件のウイルス遺伝子がそれぞれ検出された。加えて RS ウイルス B 型、単純ヘルペスウイルス 1 型、ヒトヘルペスウイルス 6 型ウイルス遺伝子がそれぞれ 1 件検出された（表 8、図 9）。またコクサッキーウイルス A4 型、単純ヘルペスウイルス 1 型がそれぞれ 1 株ずつ分離された。（重複検出を含む）

表 8. ヘルパンギーナ患者検体から検出されたウイルスの内訳

	遺伝子検出数	分離件数
コクサッキーウイルスA4型	1	1
コクサッキーウイルスA6型	1	
ライノウイルス	2	
RSウイルスB型	1	
単純ヘルペスウイルス1型	1	1
ヒトヘルペスウイルス6型	1	
陰性	2	6

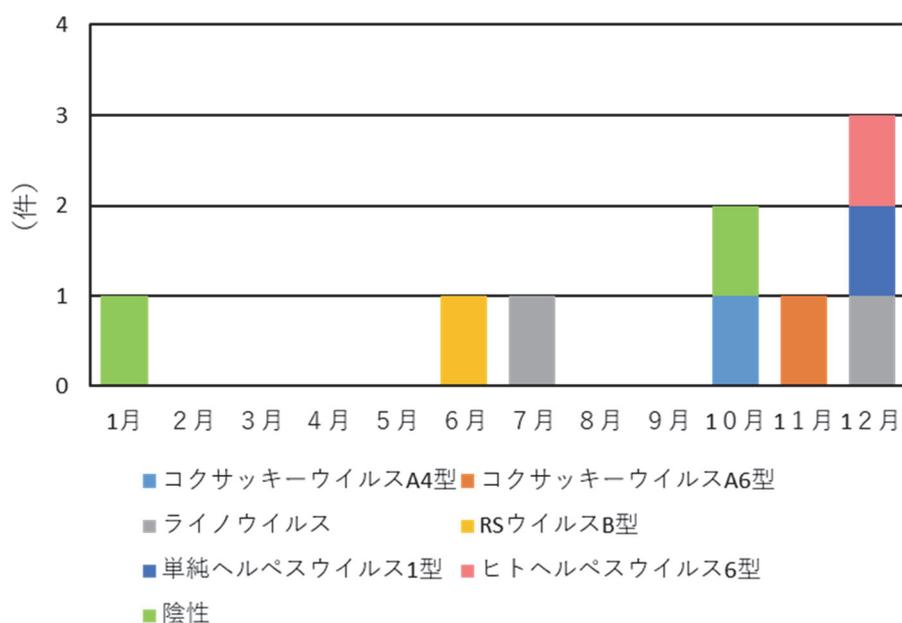


図 9. ヘルパンギーナ患者検体からのウイルス検出状況

コ 流行性耳下腺炎

小児科定点医療機関で流行性耳下腺炎と診断され、当センターに搬入された患者検体 17 件についてムンプスウイルス等の遺伝子検査及びウイルス分離試験を実施した。このうち 1 件から EB ウィルス遺伝子、1 件からサイトメガロウイルス遺伝子がそれぞれ検出されたが、ムンプスウイルスは年間を通じて検出されなかった（表 9、図 10）。

表 9. 流行性耳下腺炎の患者から検出されたウイルスの内訳

	遺伝子検出数	分離件数
ムンプスウイルス	0	
EBウイルス	1	
サイトメガロウイルス	1	
陰性	15	17

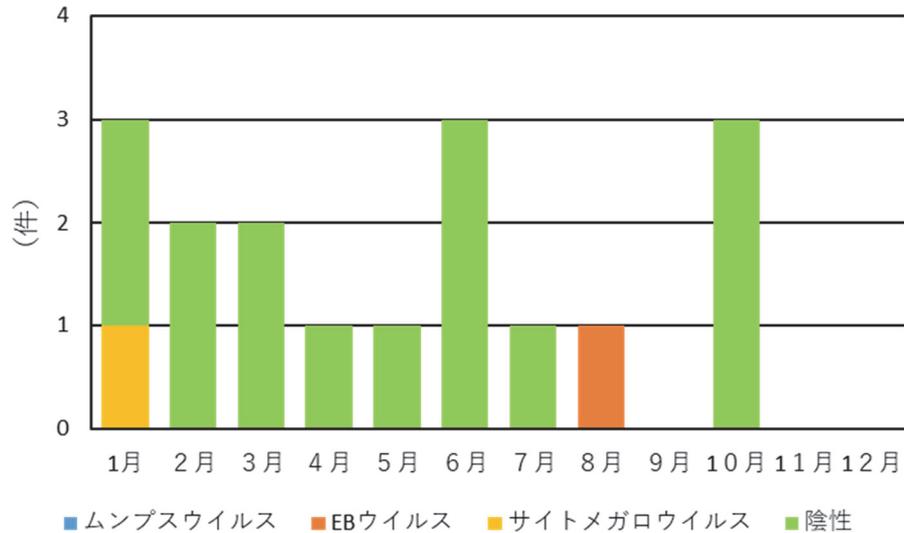


図 10. 流行性耳下腺炎患者検体からのウイルス検出状況

サ 不明発しん症

小児科定点医療機関で不明発しん症と診断され、当センターに搬入された患者検体 45 件について麻疹ウイルス、風しんウイルス、ヒトパルボウイルス B19、ヒトヘルペスウイルス 6 型・7 型、エンテロウイルス、アデノウイルス等の遺伝子検査及びウイルス分離試験を実施した。

遺伝子検査では、23 件のウイルス遺伝子が検出された。最も多く検出されたのはライノウイルスの 8 件であり、次いでヒトヘルペスウイルス 6 型：7 件であり、7 型：4 件であった。加えて、コクサッキーウイルス A4 型：2 件、A6 型：1 件、ヒトパルボウイルス B19 型：1 件が検出された。また、麻疹・風しんウイルスについては検出されなかった。ウイルス分離試験では、コクサッキーウイルス A4 型：1 件、A6 型：1 件に加え、遺伝子検査で検出されなかったアデノウイルス 1 型、RS ウイルス B 型がそれぞれ 1 株分離された（表 10、図 11）。

表 10. 不明発しん症患者検体から検出されたウイルスの内訳

	遺伝子検出数	分離件数
ヒトヘルペスウイルス6型	7	
ヒトヘルペスウイルス7型	4	
ヒトパルボウイルスB19型	1	
ライノウイルス	8	
コクサッキーウイルスA4型	2	1
コクサッキーウイルスA6型	1	1
アデノウイルス1型		1
RSウイルスB型		1
陰性	22	41

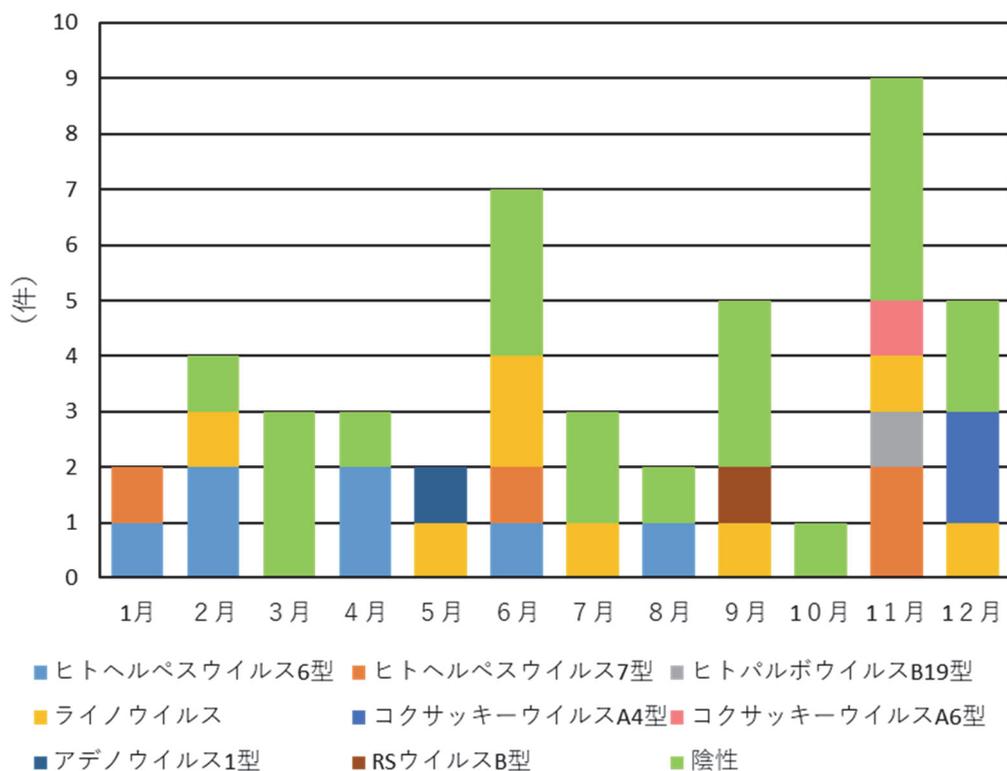


図 11. 不明発しん症患者検体からの月別ウイルス検出状況（重複検出を含む）

シ 川崎病

小児科定点医療機関で川崎病と診断され、当センターに搬入された患者検体 6 件についてアデノウイルス、エンテロウイルス等の遺伝子検査及びウイルス分離試験を実施した。その結果、遺伝子検査でライノウイルスが 1 件検出された。

ス 無菌性髄膜炎

基幹定点医療機関で無菌性髄膜炎と診断され、当センターに搬入された患者検体 14 件についてエンテロウイルス等の遺伝子検査及びウイルス分離試験を実施したが、ウイルス遺伝子は検出されず、分離試験に関してもウイルスのは検出されなかった（表 11、図 12）。

表 11. 無菌性髄膜炎患者検体から検出されたウイルスの内訳

	遺伝子検出数	分離件数
陰 性	14	14

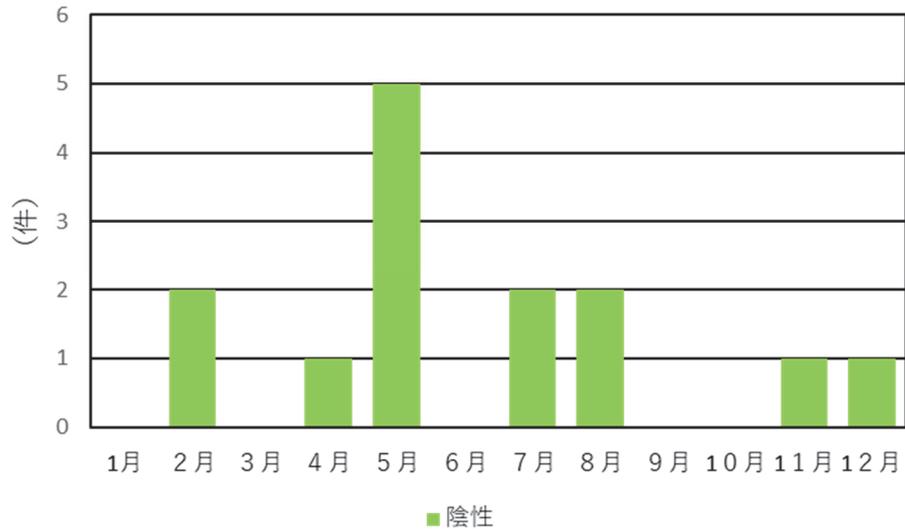


図 12. 無菌性髄膜炎患者検体からのウイルス検出状況

(2) 眼科病原体定点医療機関からの搬入検体

ア 流行性角結膜炎

定点医療機関で流行性角結膜炎と診断され当センターに搬入された患者検体は5月に1件が搬入されたのみであった。この1件について、アデノウイルス及びエンテロウイルスの遺伝子検査及び分離検査を実施したが、ウイルス遺伝子は検出されず、分離試験に関してもウイルスは検出されなかった。

(3) 性感染症 (STI) 病原体定点医療機関からの搬入検体

ア 性器ヘルペスウイルス感染症

STI 病原体定点医療機関から4件（主として性器ヘルペスウイルス感染症を疑う患者の陰部尿道擦過物、又は水疱内容物）が搬入された。このうち、2件から HSV-2 型の遺伝子が検出された。

イ 尖圭コンジローマ

STI 病原体定点医療機関から当センターへ搬入された患者検体はなかった。

ウ ウイルス性尿道炎

STI 病原体定点医療機関から当センターへ搬入された患者検体はなかった。

(4) 積極的疫学調査による搬入検体

ア 二類感染症

① 中東呼吸器症候群 (MERS コロナウイルス)

都内医療機関で MERS コロナウイルス感染疑いと診断され、保健所を通じて当センターに搬入された患者検体はなかった。

② 鳥インフルエンザ (A/H5N1 亜型、A/H7N9 亜型)

都内医療機関で鳥インフルエンザウイルス感染疑いと診断され、保健所を通じて当センターに搬入

された患者検体はなかった。

イ 四類感染症

① A 型肝炎

医療機関で A 型肝炎と診断され、当センターに搬入された患者検体 13 件について遺伝子検査を実施した。6 件から A 型肝炎ウイルス遺伝子が検出され、これらについて遺伝子解析を行った結果、遺伝子型はすべて IA 型であった。

② E 型肝炎

医療機関で E 型肝炎と診断され、当センターに搬入された患者検体 62 件について遺伝子検査を実施した。22 件から E 型肝炎ウイルス遺伝子が検出され、これらについて遺伝子解析を行った結果、遺伝子型は 3 型が 21 件、4 型が 1 件であった。

③ 蚊媒介感染症（ Dengue 熱、チクングニア熱、ジカウイルス感染症）

都内の医療機関で Dengue 熱と診断、または Dengue 熱等の蚊媒介感染症疑いと診断され、保健所を通じて当センターに搬入された患者検体 1 件（血液 1 件）について検査を実施した。その結果、Dengue ウイルス遺伝子等の蚊媒介感染症に関わるウイルス遺伝子は検出されなかった。

④ リケッチア等関連疾患（Q 熱、つづが虫病、日本紅斑熱、発しんチフス、ライム病）

都内の医療機関でリケッチア関連疾患疑いと診断され、保健所を通じて当センターに患者検体 18 件（つづが虫病 9 件、日本紅斑熱 3 件、ライム病 5 件、リケッチア等関連疾患疑い 1 件）が搬入された。つづが虫患者の急性期血液 9 検体中 4 件から *Orientia tsutsugamushi* の遺伝子を検出し、内訳は Kawasaki 株様遺伝子 3 件、Kuroki 株様遺伝子 1 件であった。また、日本紅斑熱疑いの検体のうち 1 件から *Rickettsia japonica* 遺伝子が検出された。その他、リケッチア症を疑われた 1 検体からはヒトに病原性のあるリケッチアの遺伝子は検出されなかった。ライム病を疑う 5 件（ペア血清）について抗体検査を実施したところ、ライム病ボレリアに対する IgG 抗体の上昇は認められず、血清中からボレリア属遺伝子も検出されなかった。

ウ 五類感染症（全数把握疾患）

① 急性脳炎

都内の医療機関で急性脳炎と診断され、保健所を通じて当センターに搬入された患者検体 4 件についてエンテロウイルスの遺伝子検査を実施したところ、エンテロウイルスは検出されず、1 件から EB ウイルスが検出されなかった。

② 水痘（入院を要するもの）

都内の医療機関で水痘と診断され入院に至った事例で、保健所を通じて当センターに搬入された患者検体 5 件について水痘帯状疱疹ウイルス（VZV）の遺伝子検査を行ったところ、4 件から VZV 遺伝子が検出された。

③ 急性弛緩性麻痺

2021年に都内の医療機関で急性弛緩性麻痺と診断され、保健所を通じて当センターに搬入された患者検体はなかった。

④ 麻しん及び風しん

都内医療機関で麻しん、あるいは風しん（疑い含む）と診断され、保健所を通じて当センターに搬入された患者検体 35 件について麻しんウイルス及び風しんウイルスの遺伝子検査を実施した。その結果、麻しんウイルス遺伝子が 1 件から検出され、遺伝子型別を行ったところ A 型であった。一方、風しんウイルス遺伝子は検出されなかった。

また、麻しん及び風しんウイルスが陰性となった検体については、病原体レファレンス事業によりヒトパルボウイルス B19 等の遺伝子検索も実施した。その結果、ヒトパルボウイルス B19 が 1 件検出された。

エ 指定感染症等

2019年に中国武漢において発生した新型コロナウイルス感染症（COVID-19）は世界的な流行をみせ、いまだ収束に至っておらず、2021年2月3日の感染症法改正により、「新型インフルエンザ等感染症」に分類された。2020年1月より検査を開始し、2021年は61,113件の検査を実施した。

2 細菌検査結果

(1) 四類感染症の病原体検索

ア レジオネラ症

患者由来株 5 株(5 事例)が搬入された。血清型別試験を実施した結果、1 群が 4 株、2 群が 1 株であった。また、患者喀痰 1 件が搬入された。分離培養と遺伝子検査を実施した結果、培養陰性、遺伝子陽性であった。

(2) 五類感染症(全数把握対象)の病原体検索

ア カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症

患者由来株 50 株(48 事例)が搬入された。菌株の内訳は、*Klebsiella pneumoniae* が最も多く 19 株、次いで *Escherichia coli* が 6 株、*Klebsiella aerogenes* が 4 株、*Citrobacter freundii* が 4 株、*Serratia marcescens* が 3 株、*Enterobacter cloacae* が 3 株であった。その他、*Proteus mirabilis* など 11 株が搬入された。

PCR 法による β -ラクタマーゼ遺伝子の検出を実施した結果、NDM 遺伝子保有株が 2 株であった。また、IMP-1 遺伝子保有株が 13 株、CTX-M-1 group 遺伝子保有株が 14 株、CTX-M-9 group 遺伝子保有株が 4 株、EBC 遺伝子保有株が 2 株、CIT 遺伝子保有株が 6 株、DHA 遺伝子保有株が 1 株、ACC 遺伝子保有株が 1 株であった。また、検査したいずれの耐性遺伝子も保有していなかった株は 7 株であった。

イ 劇症型溶血性レンサ球菌感染症

劇症型溶血性レンサ球菌感染症由来株として搬入された患者由来株は 92 株(87 事例)で、Lancefield 分類による群別の結果、A 群が 28 株、B 群が 30 株、C 群及び F 群が各 1 株、G 群が 32 株であった。

A 群レンサ球菌のうち 26 株が *Streptococcus pyogenes* であり、残り 2 株は *S. dysgalactiae* subsp. *equisimilis* (SDSE)と *S. constellatus* であった。B 群レンサ球菌 30 株は、すべて *S. agalactiae* であり、C 群及び G 群レンサ球菌は、いずれも SDSE であり、F 群レンサ球菌は *S. constellatus* であった(表 12)。

S. pyogenes 及び *S. agalactiae* については血清型別を行った。*S. pyogenes* の T 血清型別の結果、B3264 型が 4 株で、次いで 11 型及び 14/49 型が各 2 株ずつなどであり、型別不能が 16 株であった。*S. agalactiae* 30 株の血清型は、Ib 型が 11 株と最も多く、次いで V 型:4 株、Ia 型及び III 型が各 3 株などであった(表 13)。

S. pyogenes 及び SDSE については、M タンパク又は M 様タンパクをコードする遺伝子により型別を行う emm 型別を実施した。その結果、*S. pyogenes* では、81 型が 9 株と最も多く、次いで 89 型:5 株、9 型及び 49 型が各 3 株ずつなどであった。T 血清型別不能であった 16 株のうち 6 株は emm81 型であった(表 14)。

また、SDSE 34 株では、stG485 型が 8 株と最も多く、次いで stG245 型:6 株、stG6792 型が 5 株などであった(表 15)。

表 12. 劇症型溶血性レンサ球菌感染症由来株の群別及び菌種名

菌種名	Lancefield 分類 群別					計
	A	B	C	F	G	
<i>S. pyogenes</i>	26					26
<i>S. agalactiae</i>		30				30
<i>S. dysgalactiae</i> ssp. <i>equisimilis</i>	1		1		32	34
<i>S. constellatus</i>	1			1		2
計	28	30	1	1	32	92

表 13. B 群レンサ球菌 (*S. agalactiae*) の血清型

血清型									計
Ia	Ib	II	III	IV	V	VI	VII	型別不能	
3	11	2	3	2	4	1	2	2	30

表 14. *Streptococcus pyogenes* の T 血清型及び emm 型

emm 型	T 型						計
	1	11	22	14/49	B3264	UT	
1	1						1
6						1	1
9						3	3
11		1				1	2
44		1					1
49						3	3
58						1	1
81			1	2		6	9
89					4	1	5
計	1	2	1	2	4	16	26

表 15. *S. dysgalactiae* ssp. *equismilis* の emm 型

emm 型							計
stG6	stG245	stG485	stG653	stG6792	stG4222	その他*	
4	6	8	2	5	4	5	34

*その他(各 1 株): stC5345, stC74A, stG10, stG2574, stG62647

ウ 侵襲性インフルエンザ菌感染症

患者由来のインフルエンザ菌 20 株(18 事例)が搬入された。それぞれについて免疫血清及び PCR 法による莢膜血清型別試験を実施した結果、b 型が 1 株(1 事例)、f 型が 3 株(2 事例)、および無莢膜型が 16 株(15 事例)であった。

エ 薬剤耐性アシネトバクター感染症

搬入された本疾患患者由来株は *Acinetobacter baumannii* 1 株(1 事例)であり、PCR 法による耐性遺伝子の検出を実施した結果、OXA-51-like β -ラクタマーゼをコードする遺伝子とプロモーター活性を有する挿入遺伝子領域 (ISAbal) 保有株が 1 株、OXA-51-like β -ラクタマーゼをコードする遺伝子保有株が 1 株であった。

オ 侵襲性肺炎球菌感染症

患者由来の肺炎球菌 51 株(48 事例)が搬入された。それぞれについて抗血清を用いた莢膜膨化法による血清型別試験を実施した結果は表 16 の通りであった。同一事例由来の菌株は同一の血清型であった。

表 16. 肺炎球菌の血清型別結果

血清型	事例数	血清型	事例数	血清型	事例数
24B	7	22F	3	11A	1
35B	6	23A	2	15B	1
3	4	24F	2	15C	1
15A	3	33F	2	19A	1
34	3	6B	1	31	1
7C	3	6B	1	35F	1
10A	3	7B	1	判別不能	1

カ バンコマイシン耐性腸球菌（VRE）感染症

搬入された菌株は患者由来 11 株(11 事例)であり、全て *Enterococcus faecium* であった。

PCR 法によるバンコマイシン耐性遺伝子の検出を実施した結果、*vanA* 遺伝子保有株が 5 株、*vanB* 遺伝子保有株が 5 株であった。また、検査したいずれの耐性遺伝子も保有していなかった株は 1 株であった。

(3) 五類感染症（定点把握対象）の病原体検索

ア A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎

都内の定点医療機関から A 群溶血性レンサ球菌感染症患者由来咽頭スワブが 10 件搬入された。

搬入されたスワブから 10 株の A 群溶血性レンサ球菌が分離され、T 血清型別試験を実施した。その結果、TB3264 型が 4 株と最も多く、次いで T1 型が 2 株であり、その他、T3 型、T4 型、T12 型、T28 株がそれぞれ 1 株ずつであった。

イ 感染性胃腸炎

小児科病原体定点から搬入された感染性胃腸炎疑いの患者糞便 3 件について腸管系の細菌検査を実施した。その結果、全て陰性であった。

ウ メチシリン耐性黄色ブドウ球菌（MRSA）感染症

定点医療機関の MRSA 感染症患者由来検体から分離された MRSA 98 株について、コアグラゼ型別試験を実施した結果、I 型:2 株、II 型:2 株、III 型:45 株、V 型:1 株、VII 型:39 株であり、型別不能は 9 株であった。

(4) 性感染症 (STI) 病原体定点医療機関からの搬入検体

2021年1月から12月に都内4ヶ所の性感染症病原体定点医療機関 (STI 定点) より 282 検体が搬入された。搬入検体の内訳は、男性：尿 250 例、女性：スワブ 23 例、尿 1 例の合計 24 例、性別不明：尿 8 例であった (表 17)。

ア クラミジア・トラコマチスおよび淋菌

尿およびスワブ 278 検体についてクラミジア・トラコマチスおよび淋菌の遺伝子検査を実施した。性別および年齢階級別の病原体検査成績を表 18 に示した。クラミジア・トラコマチスについては、男性 104 例 (42.6%)、女性 14 例 (70.0%) が陽性を示した。淋菌は男性 57 例 (22.8%)、女性 2 例 (10.0%) が陽性を示した。クラミジアと淋菌の遺伝子が共に検出されたのは、男性 21 例 (8.4%)、女性 2 例 (10.0%) であった。淋菌遺伝子が検出された 60 例のうち 23 例 (38.3%) から淋菌が分離された。

性別および臨床診断別の病原体検査結果を表 18 に示した。男性では、性器クラミジア感染症と診断された 234 例中 99 例 (42.3%) からクラミジア・トラコマチス遺伝子が検出され、46 例 (18.4%) から淋菌遺伝子が検出され、うち 19 例から淋菌が分離された。性器クラミジア感染症+淋菌感染症と診断された 5 例中 2 例 (40.0%) から淋菌遺伝子が検出された。また、淋菌感染症と診断された 11 例中 5 例 (45.4%) からクラミジア・トラコマチス遺伝子が検出され、9 例 (81.8%) から淋菌遺伝子が検出され、うち 4 例から淋菌が分離された。女性では、性器クラミジア感染症と診断された 19 例中 14 例 (73.7%) からクラミジア・トラコマチス遺伝子が検出された。

イ 膣トリコモナス

膣トリコモナスが疑われた女性のスワブ 4 例について遺伝子検査を行った結果、4 例とも膣トリコモナス遺伝子が検出された。

表 17. 性別および年齢階級別の病原体検査結果

性別	年齢階級	検体数	遺伝子検査陽性			分離培養陽性
			クラミジア・トラコマチス	淋菌	膣トリコモナス	淋菌
男性	10 歳代	4	2	1		
	20 歳代	98	42	26		13
	30 歳代	79	38	18		4
	40 歳代	41	13	9		4
	50 歳代	19	5	2		2
	60 歳代	6	4	1		
	70 歳代	2				
	80 歳代	1				
	計	250	104	57		23
女性	10 歳代	1				
	20 歳代	13	9	1	1	
	30 歳代	8	5	1	2	
	40 歳代	2			1	
	計	24	14	2	4	
不明	20 歳代	1	1			
	40 歳代	5	2	1		
	50 歳代	1				
	60 歳代	1				
	計	8	3	1		
合計		282	121	60	4	23

表 18. 性別および臨床診断別の病原体検査結果

	臨床診断 (疑い例含む)	検体数	遺伝子検査陽性			分離培養陽性
			クラミジア・トラコマチス	淋菌	膣トリコモナス	淋菌
男性	性器クラミジア感染症	234	99	46		19
	性器クラミジア感染症 + 淋菌感染症	5	0	2		0
	淋菌感染症	11	5	9		4
	計	250	104	57		23
女性	性器クラミジア感染症	19	14	2		0
	淋菌感染症	1	0	0		0
	膣トリコモナス症	4			4	
	計	24	14	2	4	0
不明	性器クラミジア感染症	8	3	1		0
	計	8	3	1		0
合計		282	121	60	4	23

ウ クラミジア・トラコマチスの血清型別遺伝子検査

クラミジア・トラコマチスは、血清型に基づいて A~L 型に分類され、アフリカやアジア等のトラコーマ流行地において多く検出されるトラコーマ型の A~C 型、トラコーマ非流行地で主に検出される性器クラミジア感染症型の D~K 型、鼠径リンパ肉芽腫症の起原菌となる L 型がある。

遺伝子検査陽性の 31 例のうち、遺伝子解析により 26 例の血清型を型別した。血清型別判定の内訳を表 19 に示した。

日本を含む諸外国で主要な血清型とされている D/Da、E、F の 3 つの型の合計は 65.4%であった。この他、トラコーマ型の B/Ba 型、性器クラミジア感染症型の G、H、J/Ja、K 型がそれぞれ検出されたが、鼠径リンパ肉芽腫症型 (L 型) は検出されなかった。なお、遺伝子検査陽性の 5 例については、血清型別に用いるターゲット部位の核酸増幅が行えず、血清型が不明となった。

表 19. クラミジア・トラコマチスの血清型別結果

	血清型								合計
	B 及び Ba	D 及び Da	E	F	G	H	J 及び Ja	K	
検体数	1	8	4	5	2	2	2	2	26
(%)	(3.8)	(30.8)	(15.4)	(19.2)	(7.7)	(7.7)	(7.7)	(7.7)	(100.0)

エ 淋菌分離株の薬剤感受性試験

分離された淋菌 7 株の薬剤感受性試験の結果を表 20 に示した。ペニシリン、テトラサイクリンに対しては全株が中等度耐性 (それぞれ 0.12µg/ml、0.5µg/ml) 以上の株であった。シプロフロキサシンに対する耐性株 (≥1µg/ml) は 5 株 (71.4%)、セフロキシムに対する中等度 (2µg/ml) 以上の耐性株は 1 株 (14.3%) であった。セフォタキシム、セフトリアキソン、スペクチノマイシンに対しては全株が感受性を示した。

表 20. 淋菌分離株 (7 株) の薬剤感受性

薬剤感受性	ペニシリン	テトラサイクリン	シプロフロキサシン	セフロキシム	セフォタキシム	セフトリアキソン	スペクチノマイシン
	PCG	TC	CPFX	CXM	CTX	CTRX	SPCM
耐性	2	2	5	0	0	0	0
(%)	(28.6)	(28.6)	(71.4)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)
中等度耐性	5	5	0	1	0	0	0
(%)	(71.4)	(71.4)	(0.0)	(14.3)	(0.0)	(0.0)	(0.0)
感受性	0	0	2	6	7	7	7
(%)	(0.0)	(0.0)	(28.6)	(85.7)	(100.0)	(100.0)	(100.0)

第 3 章

資 料

1 東京都感染症発生動向調査定点医療機関名簿

小児科 (264 定点)

2021年12月31日 現在

保健所名	医療機関名	氏名	郵便番号	所在地	電話番号	備考
千代田	滝医院	滝 正彦	102-0074	千代田区九段南4-3-1	03-3264-3101	
千代田	加賀医院	加賀 一兄	101-0051	千代田区神田神保町1-35	03-3291-9951	
千代田	東京通信病院	小野 正恵	102-8798	千代田区富士見2-14-23	03-5214-7111	○*
中央区	小坂こども元気クリニック	小坂 和輝	104-0052	中央区月島3-30-3	03-5547-1191	
中央区	わたなべこどもクリニック	渡邊 浩志	104-0052	中央区月島1-8-1 アイ・マークタワー202	03-5548-2511	
中央区	埼玉小児科医院	埼玉 佳生	103-0007	中央区日本橋浜町2-20-2	03-3666-6035	
みなと	ぼれぼれクリニック	三浦 麻子	108-0074	港区高輪1-5-21 ルート高輪ビル4F	03-5422-7626	○
みなと	とようら小児科	豊浦 多喜雄	108-0023	港区芝浦3-11-5 第三協栄ビル2階	03-5442-8872	
みなと	小田原医院	行岡 紀子	106-0045	港区麻布十番3-11-12	03-3451-4595	
みなと	白金タワークリニック	小出 浩史	108-0072	港区白金1-17-1-106	03-5789-3882	
みなと	南青山おおつかクリニック	大塚 伸行	107-0062	港区南青山4-9-17	03-5786-3288	
みなと	東京都済生会中央病院	小児科外来	108-0073	港区三田1-4-17	03-3451-8211	○*
新宿区	岡田小児科クリニック	岡田 和子	169-0072	新宿区大久保1-5-15	03-3200-1236	
新宿区	村橋医院	村橋 眞	162-0042	新宿区早稲田町73	03-3203-3538	
新宿区	オリエンタル診療所	近 裕	161-0031	新宿区西落合2-20-1	03-3565-3411	
新宿区	牛山医院	牛山 允	169-0075	新宿区高田馬場4-11-5	03-5386-3167	
新宿区	(社)聖母会 聖母病院 小児科	猪野 雅孝	161-8521	新宿区中落合2-5-1	03-3951-1111	○*
新宿区	星野こどもクリニック	星野 洋	161-0032	新宿区中落合2-16-26	03-5988-7133	
新宿区	国立国際医療研究センター 病院	七野 浩之	162-8655	新宿区戸山1-21-1	03-3202-7181	
文京	保坂こどもクリニック	保坂 篤人	112-0001	文京区白山5-27-12	03-3946-0641	
文京	石原医院	藤原 陽子	112-0006	文京区小日向1-6-6	03-3941-8526	
文京	大塚診療所	大塚 宜一	113-0034	文京区湯島3-31-6	03-3831-2294	
文京	吉村小児科	内海 裕美	112-0012	文京区大塚2-18-6	03-3943-3806	
台東	いりやキッズクリニック	浅野 由美子	110-0004	台東区下谷3-11-12	03-5808-0415	
台東	柴田小児科医院	柴田 雄介	111-0036	台東区松ヶ谷3-16-4	03-3841-2291	
台東	クローバーこどもクリニック	眞々田 容子	111-0051	台東区蔵前4-20-4 蔵前4ビル1F	03-5825-9608	
台東	小川こどもクリニック	小川 淳子	111-0053	台東区浅草橋1-25-5 小川ハイム201	03-3861-2429	
墨田区	増田小児科	増田 理枝子	130-0005	墨田区東駒形1-19-8	03-3622-9641	
墨田区	鈴木こどもクリニック	鈴木 洋	131-0031	墨田区墨田4-45-1	03-3619-4970	○
墨田区	平野医院	平野 圭	131-0043	墨田区立花6-1-14-1F	03-3611-2947	
墨田区	唐澤医院	唐澤 賢祐	130-0023	墨田区立川1-12-13	03-3631-2336	
墨田区	にしじま小児科	西島 由美	131-0046	墨田区京島1-6-3	03-3619-9585	
江東区	竹内小児科医院	竹内 透	135-0011	江東区扇橋2-1-3 ET21ビル2F	03-5606-0303	
江東区	笠井小児クリニック	笠井 秀明	136-0072	江東区大島9-5-1 コアシティ東大島103	03-3636-2577	
江東区	のずえ小児科	野末 富男	135-0062	江東区東雲1-9-11-102	03-5560-6071	
江東区	までのこうじクリニック	萬里小路 直樹	135-0016	江東区東陽3-27-32 玉河ビル2階	03-5683-5519	
江東区	たけうちこどもクリニック	竹内 敏雄	135-0061	江東区豊洲4-9-13 東京フロントコート132号	03-3533-2415	

(注) 備考欄に「○」の表示がある医療機関は、小児科病原体定点を兼ねる医療機関である。
備考欄に「*」の表示がある医療機関は、基幹定点を兼ねる医療機関である。
2021年12月31日時点において、小児科264定点のうち2医療機関が未選定である。

保健所名	医療機関名	氏名	郵便番号	所在地	電話番号	備考
江東区	城田小児科医院	城田 和彦	135-0048	江東区門前仲町1-6-9	03-3641-4056	
江東区	亀戸キッズクリニック	杉本 佳乃	136-0071	江東区亀戸2-42-5 くらまえ三洋ビル2F	03-5875-3387	
江東区	正木医院	正木 忠明	136-0073	江東区北砂7-1-25	03-3644-5794	○
江東区	なおやこどもクリニック	坂口 直哉	136-0074	江東区東砂7-19-13 ベルコモン南砂2F	03-5653-0708	
品川区	千葉医院	千葉 光雄	140-0001	品川区北品川2-20-6	03-3471-3493	
品川区	宮平医院	宮平 寛	141-0031	品川区西五反田4-22-3	03-3491-0366	
品川区	林小児科内科医院	林 紋子	140-0014	品川区大井3-6-12 NAビル2F	03-3777-7127	
品川区	村井こどもクリニック	村井 孝安	142-0053	品川区中延5-8-19	03-3782-3415	
品川区	鈴の木こどもクリニック	鈴木 博	142-0041	品川区戸越1-3-1 夢のこども館	03-5759-5605	
品川区	田辺小児科医院	田辺 充子	142-0064	品川区旗の台6-30-1	03-3785-9003	
品川区	藤川医院	藤川 敏	140-0014	品川区大井7-29-2	03-3771-1764	
品川区	吉原医院	吉原 幸子	142-0041	品川区戸越5-8-5	03-3781-4030	
目黒区	自由が丘メディカルプラザ	高嶋 能文	152-0035	目黒区自由が丘2-11-16 日能研自由が丘ビル2F	03-5731-3565	
目黒区	目黒通りこどもクリニック	藤田 秀樹	153-0064	目黒区下目黒6-1-27 アメニティハウス 2F	03-6303-1091	
目黒区	田口医院	田口 豊	152-0003	目黒区碑文谷6-7-4 KYレジデンス	03-3714-0188	
目黒区	井手小児科	井手 郁	152-0002	目黒区目黒本町6-17-27	03-5704-3819	
目黒区	仲村医院	仲村 和子	153-0053	目黒区五本木1-8-9	03-3712-7776	
大田区	かげ山小児科	景山 敦	146-0082	大田区池上7-14-11	03-3752-8182	
大田区	井上小児科医院	井上 清文	143-0023	大田区山王3-30-2	03-3771-2514	
大田区	宮下クリニック	宮下 守	143-0014	大田区大森中3-35-9	03-5764-1003	
大田区	田園小児科クリニック	高橋 茂	145-0071	大田区田園調布5-36-3	03-3722-0765	
大田区	鶴の木さくらクリニック	岡 哲康	146-0091	大田区鶴の木1-16-19	03-3758-3387	
大田区	原口小児科クリニック	原口 道夫	144-0032	大田区北糞谷1-11-8	03-3742-1517	
大田区	森岡小児科医院	森岡 新	144-0056	大田区西六郷1-19-15	03-3738-5918	
大田区	加藤内科小児科医院	加藤 瑞規	146-0093	大田区矢口1-19-25	03-3759-6169	
大田区	神川小児科クリニック	神川 晃	144-0044	大田区本羽田1-6-22	03-3741-5005	
大田区	斎藤医院	斎藤 洋子	143-0025	大田区南馬込5-26-7	03-3772-2791	
大田区	どうどうクリニック	小柳 英樹	146-0081	大田区仲池上1-31-13	03-5747-2333	○
大田区	うちやまこどもクリニック	内山 浩志	146-0085	大田区久が原3-36-13-3F	03-3753-7172	
大田区	木村こどもクリニック	木村 方美	144-0045	大田区南六郷2-27-1	03-3733-9080	
世田谷	いなみ小児科	稲見 誠	154-0002	世田谷区下馬3-10-7	03-3421-4885	
世田谷	吉川小児科	吉川 弘二	156-0043	世田谷区松原3-28-8-2階	03-5329-4153	
世田谷	橋本小児科医院	橋本 倫太郎	157-0072	世田谷区祖師谷3-37-5	03-3482-4668	○
世田谷	かねみつ小児クリニック	金光 岳文	157-0062	世田谷区南鳥山4-7-14	03-5384-3355	
世田谷	小林クリニック	小林 俊夫	157-0067	世田谷区喜多見2-10-3-101	03-3416-7119	
世田谷	山口小児科内科	山口 義哉	158-0091	世田谷区中町4-35-6	03-3702-6180	
世田谷	永井小児科内科医院	永井 雄一	158-0081	世田谷区深沢6-20-14	03-5707-0624	
世田谷	田宮小児科医院	田宮 貞和	156-0052	世田谷区経堂5-21-3	03-3427-7974	
世田谷	うめはらこどもクリニック	梅原 実	154-0004	世田谷区太子堂3-38-18	03-6809-7878	
世田谷	つだ小児科クリニック	津田 正彦	154-0017	世田谷区世田谷4-5-8 アルス世田谷ネクステージ1F	03-5477-7736	
世田谷	えんどう小児科クリニック	遠藤 大一	156-0045	世田谷区桜上水1-7-10 クールセリシエ1F	03-6379-7127	

(注) 備考欄に「○」の表示がある医療機関は、小児科病原体定点を兼ねる医療機関である。

保健所名	医療機関名	氏名	郵便番号	所在地	電話番号	備考
世田谷	三宅小児科	三宅 健	156-0057	世田谷区上北沢4-21-13	03-3302-2771	
世田谷	直宮医院	直宮 晃一	155-0031	世田谷区北沢3-11-14	03-3468-2867	
世田谷	臼井医院	臼井 弘人	157-0066	世田谷区成城5-7-12	03-3482-2253	
世田谷	用賀クリニック	川崎 浩司	158-0096	世田谷区玉川台2-22-16 パークヒル用賀Ⅲ 1F	03-3709-6255	
世田谷	藤井医院	藤井 秀樹	158-0083	世田谷区奥沢1-38-19	03-3728-0383	
渋谷区	坂本クリニック	坂本 純一	151-0073	渋谷区笹塚1-31-11 ピラージュ笹塚 1-101	03-3469-3926	
渋谷区	医療法人社団 育心会 稲垣クリニック	稲垣 稔	151-0053	渋谷区代々木5-7-17-1F	03-5453-1399	
渋谷区	かざえキッズクリニック	川上 一恵	151-0072	渋谷区幡ヶ谷3-81-7	03-3376-1662	
渋谷区	内藤小児科内科医院	内藤 章文	150-0022	渋谷区恵比寿南2-5-9	03-3713-2526	
中野区	やよい町子ども医院	春原 大介	164-0013	中野区弥生町1-8-11	03-6300-4790	
中野区	江原町小児科耳鼻科	金 慶彰	165-0023	中野区江原町3-35-8	03-5988-7705	
中野区	田沼内科・小児科医院	田沼 美昭	164-0012	中野区本町6-23-3	03-3380-2622	
中野区	小池小児科医院	小池 林太郎	165-0033	中野区若宮1-43-11	03-3330-0743	
中野区	宇野医院	宇野 真二	164-0001	中野区中野1-6-2	03-3369-2090	
中野区	しばたこども&アレルギー クリニック	柴田 淳	164-0003	中野区東中野5-1-1 ユニオンタワー3F	03-3360-5569	
杉並	立正佼成会附属佼成病院	倉山 亮太	166-0012	杉並区和田2-25-1	03-3383-1281	○*
杉並	柿田医院	柿田 豊	167-0022	杉並区下井草2-23-5	03-3395-3602	
杉並	長沼内科医院	長沼 裕一郎	166-0015	杉並区成田東3-36-8	03-3311-1803	
杉並	中里医院	中里 恵美子	167-0043	杉並区上荻4-2-3	03-3390-5258	
杉並	はら医院	原 みさ子	168-0062	杉並区方南2-28-3	03-3317-0380	
杉並	松野医院	松野 哲彦	166-0001	杉並区阿佐谷北3-42-10	03-3330-4656	
杉並	宮下小児科医院	佐々木 礼子	166-0016	杉並区成田西3-20-3	03-3392-3855	
杉並	くめかわ小児科クリニック	桑川 好男	168-0063	杉並区和泉4-51-14 エクセレント和泉2F	03-3317-7701	
杉並	岩崎小児科医院	岩崎 由紀夫	166-0012	杉並区和田3-49-7	03-5377-0015	
杉並	セキこどもクリニック	関 兼英	166-0004	杉並区阿佐谷南2-1-27	03-3318-1625	
杉並	高井戸こどもクリニック	柳垣 繁	168-0071	杉並区高井戸西1-27-22	03-3331-6644	
池袋	金澤医院	金澤 義之	170-0003	豊島区駒込3-5-7	03-3910-4952	
池袋	みなと小児科	湊 通嘉	171-0043	豊島区要町 3-22-10-301	03-3973-5080	
池袋	田村医院	田村 仁	170-0011	豊島区池袋本町1-45-16	03-3971-4922	
池袋	平井医院	平井 貴志	171-0032	豊島区雑司が谷1-26-10	03-3971-8064	
池袋	南長崎こみ山医院	込山 賢次	171-0052	豊島区南長崎3-14-17	03-3953-0086	
北区	斉藤小児科医院	斉藤 十紀	114-0003	北区豊島2-8-6	03-3911-0569	2021年1月31日まで
	すこやかこどもクリニック浮間	金井 慎一	115-0051	北区浮間3-1-40 藤原ビル1階	03-5918-9421	2021年2月1日から
北区	ほくとクリニック	金子 清志	115-0045	北区赤羽2-9-6	03-3901-4926	
北区	富士見診療所	越田 利弘	114-0031	北区十条仲原3-1-5	03-3900-5354	
北区	かとうクリニック	加藤 隆司	115-0043	北区神谷1-12-9	03-3913-1103	○
北区	中山医院	伊藤 佳子	114-0016	北区上中里1-17-8	03-3910-6805	
北区	桑畑医院	桑畑 圭子	114-0003	北区豊島2-6-1	03-3919-0700	
北区	はんだこどもクリニック	繁田 龍雄	115-0045	北区赤羽2-69-4 クリニックプラザ21 2F	03-3901-7433	
荒川区	すずき小児科医院	鈴木 博之	116-0012	荒川区東尾久3-1-9	03-3892-1266	2021年5月31日まで
	鈴木こどもクリニック	北爪 勉	116-0011	荒川区西尾久3-21-5 AYビル1F	03-5855-3030	2021年6月1日から

(注) 備考欄に「○」の表示がある医療機関は、小児科病原体定点を兼ねる医療機関である。

備考欄に「*」の表示がある医療機関は、基幹定点を兼ねる医療機関である。

保健所名	医療機関名	氏名	郵便番号	所在地	電話番号	備考
荒川区	まつおかこどもクリニック	松岡 郁美	116-0002	荒川区荒川2-4-1 荒川メディカルビル1F・2F	03-5604-1567	
荒川区	いなばキッズクリニック	稲葉 八興	116-0003	荒川区南千住4-7-1 BiVi南千住3D	03-5604-1710	
荒川区	加藤小児科内科医院	加藤 薫	116-0014	荒川区東日暮里5-44-1-1F	03-3803-3377	
板橋区	共助会医院	堀内 敏行	174-0051	板橋区小豆沢2-26-8	03-3966-2577	
板橋区	上原内科医院	上原 章	173-0004	板橋区板橋3-6-11	03-5375-9981	
板橋区	石川医院	宮川 美知子	174-0071	板橋区常盤台1-61-3	03-3960-3940	
板橋区	井上医院	井上 文正	175-0092	板橋区赤塚4-17-11	03-5968-5777	
板橋区	杉内医院	杉内 孝謙	175-0094	板橋区成増3-17-16	03-3930-2331	
板橋区	こうのファミリーケア・クリニック	河野 嘉英	174-0056	板橋区志村3-20-26-1F	03-3965-1649	
板橋区	あべこどもクリニック	阿部 和子	175-0082	板橋区高島平1-28-5 KAZZビル2F	03-3559-8115	
板橋区	えがおこどもクリニック	渡部 浩平	174-0063	板橋区前野町3-31-3	03-5994-7250	
板橋区	鈴木医院	鈴木 育夫	173-0023	板橋区大山町10-10	03-3956-1788	
板橋区	よりふじ医院	依藤 壽	173-0031	板橋区大谷口北町27-4	03-3956-1255	
練馬区	岩崎小児科医院	岩崎 章宣	178-0061	練馬区大泉学園町8-7-17	03-3867-5501	
練馬区	秋田医院	秋田 博伸	176-0013	練馬区豊玉中4-10-3	03-3991-1151	
練馬区	飯島医院	飯島 健志	179-0072	練馬区光が丘7-3-6	03-3976-6087	
練馬区	うすきクリニック	臼杵 一	178-0064	練馬区南大泉4-47-9 コンフォート南大泉1F	03-3924-0443	
練馬区	牧田医院	牧田 郁夫	176-0002	練馬区桜台1-45-15 ブランエノワール1階2階	03-3948-0600	○
練馬区	沼口整形外科・小児科	沼口 俊平	179-0072	練馬区光が丘5-2-5-102	03-3976-0131	○
練馬区	浅村こどもクリニック	浅村 信二	177-0041	練馬区石神井町2-8-21 星ビル2F	03-5372-6686	
練馬区	上石神井サン・クリニック	小西 佐知子	177-0044	練馬区上石神井3-6-34	03-5910-3888	
練馬区	佐藤皮膚科小児科クリニック	佐藤 徳枝	177-0045	練馬区関町北1-22-10 SATO 1st building 2階	03-3928-2767	
練馬区	のと小児科クリニック	能登 信孝	179-0083	練馬区平和台4-12-6	03-5945-9855	
練馬区	マサキ小児科アレルギー科	正木 拓朗	178-0063	練馬区東大泉2-5-10	03-3923-1515	
練馬区	わたなべこどもクリニック	渡辺 克也	176-0023	練馬区中村北4-5-2	03-3990-9998	
練馬区	わたなべこどもクリニック	渡辺 久幸	178-0063	練馬区東大泉1-26-16	03-5947-3577	
足立区	和田小児科医院	和田 紀之	121-0812	足立区西保木間2-15-23	03-3884-2301	○
足立区	曙町クリニック	泉田 京子	120-0023	足立区千住曙町41-2-107	03-3879-9116	
足立区	日比谷医院	日比谷 一郎	121-0011	足立区中央本町5-5-27	03-3889-4601	
足立区	ちばこどもクリニック	千葉 康之	121-0801	足立区東伊興1-12-16	03-3857-0222	
足立区	三原小児科医院	三原 章	123-0857	足立区本木北町14-6	03-3890-0205	
足立区	勝楽堂病院	芦田 光則	120-0032	足立区千住柳町5-1	03-3881-0137	
足立区	梅津クリニック	梅津 亮二	120-0005	足立区綾瀬3-15-20 遠藤ビル2F	03-5616-8214	
足立区	中島小児科	中島 正樹	120-0015	足立区足立4-41-6	03-3852-5241	
足立区	中西医院	中西 隆	123-0852	足立区関原3-44-7	03-3852-1122	
足立区	千葉小児科内科医院	千葉 昭典	121-0061	足立区花畑7-14-9	03-3850-8523	
足立区	しみず医院	清水 博史	121-0823	足立区伊興3-18-21	03-5691-1212	
足立区	師田内科小児科	師田 基	121-0801	足立区東伊興3-2-7	03-3897-7320	
足立区	木村小児科クリニック	木村 康子	121-0816	足立区梅島3-32-24 第一矢野新ビル2階	03-3889-1187	
葛飾区	伊藤メディカルクリニック	伊藤 民恵	124-0006	葛飾区堀切4-57-5	03-3602-4205	
葛飾区	高橋小児科医院	高橋 紀久雄	124-0023	葛飾区東新小岩5-17-1	03-3692-3021	

(注) 備考欄に「○」の表示がある医療機関は、小児科病原体定点を兼ねる医療機関である。

保健所名	医療機関名	氏名	郵便番号	所在地	電話番号	備考
葛飾区	菊島小児科医院	菊島 秀丸	124-0013	葛飾区東立石3-24-16	03-3697-1556	
葛飾区	的場医院	伊藤 隆一	125-0042	葛飾区金町6-13-9	03-3607-0517	
葛飾区	永寿堂医院	松永 貞一	125-0061	葛飾区亀有3-43-5	03-3604-2101	○
葛飾区	白井医院	白井 泰生	124-0024	葛飾区新小岩1-37-11	03-3653-5774	
葛飾区	三尾医院	三尾 仁	125-0041	葛飾区東金町3-16-12	03-3607-2917	
葛飾区	かめありこどもクリニック	角田 由里	125-0061	葛飾区亀有3-14-9 プリムローズ島田2階	03-3602-3206	
江戸川	南小岩クリニック	渡邊 直哉	133-0056	江戸川区南小岩7-5-18	03-3657-2982	
江戸川	小松川医院	田崎 ゆき	132-0025	江戸川区松江3-12-13	03-3651-0057	
江戸川	久田医院	久田 和子	132-0035	江戸川区平井1-27-5	03-3681-0081	
江戸川	みやのこどもクリニック	宮野 孝一	134-0085	江戸川区南葛西2-18-27	03-3869-4133	
江戸川	なかにし小児科クリニック	中西 茂則	134-0088	江戸川区西葛西5-1-8 トーショービル1F	03-3675-6678	
江戸川	医療法人社団向日葵会 まつしま病院	山脇 真智	132-0031	江戸川区松島1-41-29	03-3653-5541	
江戸川	はるやま小児科・アレルギー科	春山 次男	133-0065	江戸川区南篠崎町2-10-1 カームコート1F	03-3679-1188	
江戸川	千葉クリニック	千葉 友幸	132-0024	江戸川区一之江8-19-6 彦新ビル1階	03-3651-8833	○
江戸川	星田小児科クリニック	星田 宏	134-0083	江戸川区中葛西2-3-10	03-3680-2028	
江戸川	本橋医院	本橋 俊和	132-0024	江戸川区一之江8-15-1 エクセルイッチノエ1A	03-5662-8755	
江戸川	ながきこどもクリニック	永木 幸子	133-0051	江戸川区北小岩6-15-5 小岩メディカルセンター新館3F	03-5612-0661	
江戸川	アンヌ小児科	布上 孝志	133-0071	江戸川区東松本1-14-9	03-3672-1071	
八王子市	加地医院	加地 はるみ	193-0816	八王子市大楽寺町137	042-651-5341	○
八王子市	まつもと小児・ アレルギークリニック	松本 勉	192-0364	八王子市南大沢2-2 パオレ5F	042-679-6051	
八王子市	のま小児科	野間 清司	192-0916	八王子市みなみ野3-1-8	042-632-7327	
八王子市	京王八王子クリニック	末松 隆二	192-0046	八王子市明神町4-7-14 八王子ONビル2F	042-645-7878	
八王子市	北野小児科	畑岸 達也	192-0906	八王子市北野町545-3 きたのタウン6F	042-645-8715	
八王子市	小児科加藤醫院	加藤 直樹	192-0919	八王子市七国4-9-3	042-632-7950	
八王子市	なかよしこどもクリニック	朝長 香	192-0355	八王子市堀之内2-6-5 森本ビル201	042-679-6778	
八王子市	こどもクリニック南大沢	保坂 暁子	192-0364	八王子市南大沢2-27 フレスコ南大沢4F	042-670-8700	
八王子市	はしもと小児科	橋本 政樹	193-0942	八王子市梶田町557-3	042-668-8555	
八王子市	こども診療所	小島 直樹	192-0054	八王子市小門町10-3	042-625-0023	2021年3月31日まで
八王子市	ノアこどもクリニック	森脇 弘隆	192-0903	八王子市万町175-1	042-624-8888	2021年6月1日から
八王子市	スマイルこどもクリニック	三輪 久美子	193-0832	八王子市散田町5-4-20	042-661-5529	
町田市	風の子こどもクリニック	風張 眞由美	194-0015	町田市金森東1-25-29 金森メディカルプラザA-2	042-851-8630	
町田市	はやしクリニック	林 泉彦	194-0035	町田市忠生2-28-7	042-793-3055	○
町田市	やもりこどもクリニック	矢守 利次	195-0057	町田市真光寺2-37-11 鶴川台メディカルヴィレッジ 総合棟1F-A	042-737-3675	
町田市	しのはら小児科クリニック	石黒 寛之	194-0003	町田市小川1-2-8	042-795-3003	
町田市	キッズクリニック智	渡邊 智子	194-0211	町田市相原町1652-1	042-700-6315	
町田市	豊川小児科内科医院	豊川 達記	194-0001	町田市つくし野2-18-18	042-795-4465	
町田市	村野小児科・アレルギー科	村野 浩太郎	196-0063	町田市野津田町1083	042-735-5777	
町田市	やすだこどもクリニック	保田 由喜治	194-0032	町田市本町田920-1	042-725-9056	

(注) 備考欄に「○」の表示がある医療機関は、小児科病原体定点を兼ねる医療機関である。

保健所名	医療機関名	氏名	郵便番号	所在地	電話番号	備考
西多摩	笹本医院	笹本 光信	198-0084	青梅市住江町58	0428-24-3955	
西多摩	わかくさ医院	道佛 雅克	205-0001	羽村市小作台2-7-16	042-579-0311	
西多摩	星野小児科内科クリニック	星野 誠	197-0822	あきる野市小川東1-19-20-1	042-559-7332	○
西多摩	鈴木内科	鈴木 道彦	190-0163	あきる野市館谷156	042-596-2307	
西多摩	ばば子どもクリニック	馬場 一徳	205-0011	羽村市五ノ神352-22	042-555-3788	
西多摩	ナルケンキッズクリニック	成井 研治	198-0036	青梅市河辺町4-20-4	0428-21-0252	
西多摩	大堀医院	大堀 洋一	198-0023	青梅市今井5-2440-159	0428-31-9098	
西多摩	東福生むさしの台クリニック	川島 雅之	197-0013	福生市武蔵野台1-1-7 センチュリー武蔵野台1F	042-539-1223	
南多摩	須賀小児科	須賀 康正	191-0031	日野市高幡328	042-593-7888	
南多摩	佐々木クリニック	進藤 朝子	191-0062	日野市多摩平1-8-10	042-585-2591	
南多摩	こどもクリニックしみず	清水 伸泰	206-0034	多摩市鶴牧1-24-1 新都心センタービル3F	042-373-0512	○
南多摩	桜井医院	櫻井 健彦	206-0811	稲城市押立1254-1	042-378-3224	
南多摩	牛尾医院	牛尾 方信	191-0043	日野市平山6-5-13	042-591-2001	
南多摩	おおしろクリニック	大城 清彦	191-0016	日野市神明3-6-16 アメニティ明和館1F-1	042-589-6780	
南多摩	唐木田こどもクリニック	飛田 正俊	206-0035	多摩市唐木田1-53-9 唐木田センタービル2C	042-355-8505	
南多摩	まえはら小児科	前原 幸治	206-0011	多摩市関戸4-72 聖蹟桜ヶ丘オーバ5F	042-374-5028	
南多摩	平尾内科クリニック	竹田 有為子	206-0823	稲城市平尾3-7-26	042-331-8221	
多摩立川	野上医院	五十嵐 弥生	190-0021	立川市羽衣町2-42-7	042-522-6010	○
多摩立川	内野産婦人科外科小児科	内野 孝子	186-0002	国立市東1-8-6 メディカルセンター	042-580-0112	
多摩立川	藤田医院	藤田 仁	208-0031	武蔵村山市岸1-25-1	042-560-0363	○
多摩立川	太陽こども病院	木内 巻男	196-0003	昭島市松原町1-2-1	042-544-7511	
多摩立川	医療法人社団瑞涼会 くぼしまこどもクリニック	久保嶋 慎二	185-0024	国分寺市泉町2-9-3 ハートフルビル西晴3F	042-300-1801	
多摩立川	まつなクリニック	目黒 隆毅	190-0034	立川市西砂町6-6-16	042-520-1234	
多摩立川	さいわいこどもクリニック	宮田 章子	190-0002	立川市幸町1-11-3	042-536-7280	○
多摩立川	大田医院	大田 眞也	196-0022	昭島市中神町1237	042-541-0311	
多摩立川	マシユマロこどもクリニック	富士川 善直	185-0003	国分寺市戸倉4-45-5	042-320-1155	
多摩立川	くろさわ子ども&内科クリニック	黒澤 サト子	180-0011	国分寺市本多3-7-25	042-323-9630	○
多摩立川	大久保医院	新井 ゆみ	186-0011	国立市谷保7224	042-572-7775	
多摩立川	有村クリニック	有村 章	207-0014	東大和市南街4-10-6	042-590-0377	
多摩立川	さくらこどもクリニック	野口 幸男	207-0023	東大和市上北台3-393-1	042-566-8177	
多摩立川	伊奈平南クリニック	田中 こずえ	208-0023	武蔵村山市伊奈平4-4-1	042-560-1311	
多摩府中	ささもとこどもクリニック	笹本 和広	182-0036	調布市飛田給1-41-5 T・Oビル2F	042-498-4153	
多摩府中	いしいこどもクリニック	石井 敏夫	182-0021	調布市調布ヶ丘3-19-12	042-483-0101	2021年2月1日から
多摩府中	松本医院	三室 知子	180-0002	武蔵野市吉祥寺東町1-23-3	0422-22-5755	
多摩府中	おぎわらこどもクリニック	荻原 篤	180-0006	武蔵野市中町3-3-2	0422-60-5177	
多摩府中	きたのこどもクリニック	内藤 英紀	181-0003	三鷹市北野4-12-17 きたのメディカルパーク1階	0422-70-4150	
多摩府中	若林医院	若林 研司	181-0001	三鷹市井の頭4-16-10	0422-43-0526	
多摩府中	まつおか小児クリニック	松岡 典子	183-0034	府中市寿町2-4-42 ユーブ府中3F	042-319-1020	○
多摩府中	東小金井駅前こどもクリニック	道下 崇史	184-0002	小金井市梶野町5-3-25-209 クリオ東小金井パークフロント	042-387-1030	

(注) 備考欄に「○」の表示がある医療機関は、小児科病原体定点を兼ねる医療機関である。

保健所名	医療機関名	氏名	郵便番号	所在地	電話番号	備考
多摩府中	石戸谷小児科	石戸谷 尚子	201-0012	狛江市中和泉1-1-1 狛江YSビル4F	03-3430-1070	
多摩府中	長谷川小児科医院	長谷川 正子	180-0001	武蔵野市吉祥寺北町2-8-5	0422-22-6804	
多摩府中	渡辺こどもクリニック	渡邊 直幸	181-0013	三鷹市下連雀9-5-1 泰成マンション1F	0422-41-1550	
多摩府中	つちや小児科	土屋 正己	181-0013	三鷹市下連雀4-16-11	0422-40-1488	
多摩府中	さくらんぼこどもクリニック	三日市 薫	183-0026	府中市南町4-43-1	042-340-8288	
多摩府中	おき医院	隠岐 直紀	183-0011	府中市白糸台5-24-1	042-354-1277	
多摩府中	日野クリニック	日野 佳昭	183-0034	府中市住吉町2-15-9	042-330-3600	
多摩府中	すみれクリニック	繁友 律子	183-0021	府中市片町3-26-14	042-401-8461	
多摩府中	野々田小児科内科	野々田 真	183-0013	府中市小柳町3-32-26	042-369-2561	
多摩府中	佐々木こどもクリニック	佐々木 伸彦	182-0006	調布市西つつじヶ丘3-37-2 横田ファイブ107	042-487-2433	
多摩府中	麻生こどもクリニック	麻生 泰二	182-0026	調布市小島町1-5-6 アールアンドエスビル3F	042-480-7810	
多摩府中	三枝耳鼻咽喉科・小児科医院	三枝 歌子	184-0004	小金井市本町5-19-32 三枝ビル2F	042-381-8221	
多摩府中	神保クリニック小児科	神保 修	201-0003	狛江市和泉本町1-2-13	03-3430-2818	
多摩小平	清水小児科内科医院	清水 達也	187-0001	小平市大沼町4-43-32	042-343-2255	
多摩小平	わかばこどもクリニック	渡邊 孫衛	189-0024	東村山市富士見町3-13-14	042-390-2700	
多摩小平	大塚小児科アレルギー科 クリニック	大塚 武	203-0053	東久留米市本町3-1-23	042-479-7300	
多摩小平	すぎはらこどもクリニック	杉原 聡	188-0004	西東京市西原町5-1-17	042-451-8680	
多摩小平	斉藤小児科内科クリニック	斉藤 喜親	202-0004	西東京市下保谷4-2-21	042-421-7201	
多摩小平	鈴木小児科内科医院	鈴木 昌和	187-0045	小平市学園西町2-11-28	042-341-0353	○
多摩小平	中山小児科医院	中山 康子	187-0011	小平市鈴木町1-30-20	042-322-1231	
多摩小平	ちあきこどもクリニック	辻 千秋	187-0034	小平市栄町2-3-7	042-349-2012	
多摩小平	武こどもクリニック	深堀 俊彦	189-0013	東村山市栄町2-32-20-201	042-397-3374	○
多摩小平	あきつこどもクリニック	村上 綾子	189-0001	東村山市秋津町4-31-16	042-390-1150	
多摩小平	いくせ医院	木村 憲人	203-0013	東久留米市新川町1-4-18 わかさとビル1F	042-471-2304	
多摩小平	ひばりこどもクリニック	高山 順	188-0001	西東京市谷戸町3-11-9 長谷川ビル1F	042-438-8824	
多摩小平	すくすくkidsクリニック	高田 佳宜	188-0012	西東京市南町5-9-17	042-451-3027	
多摩小平	花園医院	幾瀬 貫	204-0022	清瀬市松山3-5-14	042-491-0315	2021年1月1日から
島しょ	大島医療センター	清水 忠典	100-0101	大島町元町3-2-9	04992-2-2345	

(注) 備考欄に「○」の表示がある医療機関は、小児科病原体定点を兼ねる医療機関である。

2022年変更医療機関

2022年4月1日 現在

保健所名	医療機関名	氏名	郵便番号	所在地	電話番号	備考
大田区	木村こどもクリニック	木村 方美	144-0045	大田区南六郷2-27-1	03-3733-9080	2022年3月31日まで
杉並	はら医院	原 みさ子	168-0062	杉並区方南2-28-3	03-3317-0380	2022年3月31日まで
	かなやファミリークリニック	金谷 翼	168-0062	杉並区方南2-28-3	03-3317-0380	2022年4月1日から
練馬区	マサキ小児科アレルギー科	正木 拓朗	178-0063	練馬区東大泉2-5-10	03-3923-1515	2022年1月31日まで
多摩立川	大久保医院	新井 ゆみ	186-0011	国立市谷保7224	042-572-7775	2022年1月31日まで
	ヒバリこどもクリニック	青木 菜穂	186-0003	国立市富士見台3-1-15 2F	042-505-6017	2022年2月1日から
多摩小平	花園医院	幾瀬 貫	204-0022	清瀬市松山3-5-14	042-491-0315	2021年12月31日まで
	廣橋小児科・内科医院	廣橋 尚武	204-0021	清瀬市元町1-5-3	042-493-7400	2022年1月1日から
多摩小平	ひばりこどもクリニック	高山 順	188-0001	西東京市谷戸町3-11-9 長谷川ビル1F	042-438-8824	2022年3月31日まで
	ひばりが丘やまね 小児科アレルギー科	山根 慎治	188-0001	西東京市谷戸町2-1-41 ひばりが丘南メイツカステア1F	042-469-3636	2022年4月1日から
多摩小平	中山小児科医院	中山 康子	187-0011	小平市鈴木町1-30-20	042-322-1231	2022年3月31日まで

内科 (155定点)

2021年12月31日 現在

保健所名	医療機関名	氏名	郵便番号	所在地	電話番号	備考
千代田	神田診療所	高橋 淳	101-0047	千代田区内神田2-8-14	03-3256-0086	
中央区	松本内科院	松本 章一	104-0031	中央区京橋2-11-5-5F	03-4405-7480	
中央区	中央内科クリニック	村松 弘康	103-0013	中央区日本橋人形町2-7-8	03-3668-0088	
みなと	馬場クリニック	馬場 繁二	106-0045	港区麻布十番2-13-2	03-3454-7788	
みなと	もとやまクリニック	元山 幹雄	108-0072	港区白金1-8-9	03-3473-2866	
みなと	新田町ビル診療所	坪田 淳	108-0014	港区芝5-34-6 新田町ビル2F	03-3451-2619	
新宿区	高橋医院	高橋 秀和	169-0074	新宿区北新宿3-21-8	03-3371-8064	
新宿区	早稲田クリニック	小西 洋之	162-0045	新宿区馬場下町10 早稲田レストハウス2F	03-3208-2007	
新宿区	石井外科	石井 正彌	162-0065	新宿区住吉町8-2	03-3351-9338	
新宿区	磯貝クリニック	磯貝 祐貴子	169-0051	新宿区西早稲田2-4-8	03-3232-1776	
文京	八千代診療所	井上 博和	113-0001	文京区白山1-5-8	03-3811-4519	
文京	森谷医院	森谷 茂樹	113-0022	文京区千駄木5-43-11	03-3821-0128	
文京	大橋内科クリニック	大橋 誠	113-0024	文京区西片2-15-11	03-5842-8670	
台東	関戸クリニック	関戸 俊樹	111-0035	台東区西浅草2-14-3	03-3844-8666	
台東	城所医院	城所 功文	110-0014	台東区北上野2-26-5	03-3844-0510	○
台東	かとう医院	加藤 元浩	110-0003	台東区根岸3-12-14	03-5603-7161	
墨田区	大室医院	大室 博之	130-0012	墨田区太平3-2-7	03-3622-0629	
墨田区	東京曳舟病院	古城 資久	131-0032	墨田区東向島2-27-1	03-5655-1120	
墨田区	さとう内科クリニック	佐藤 和子	130-0004	墨田区本所4-13-3-1F	03-5819-6505	○
江東区	小林クリニック	小林 昭夫	136-0072	江東区大島4-1-6-105	03-3684-0481	
江東区	みやたけクリニック	宮武 俊秀	136-0074	江東区東砂4-23-6	03-5677-3232	
江東区	大陽ビルクリニック	中木 基江	135-0016	江東区東陽3-23-6 大陽ビル102	03-5635-5715	
江東区	望月内科クリニック	望月 俊男	135-0005	江東区高橋13-2 ヴィラロイヤル森下1F	03-5669-1531	
江東区	辰巳中央診療所	鳴海 章人	135-0053	江東区辰巳1-9-49-102	03-3521-0163	
品川区	白井クリニック	白井 寛	140-0014	品川区大井2-4-1	03-3771-7265	
品川区	さとうクリニック	佐藤 慶一	140-0004	品川区南品川2-17-25	03-3450-0010	
品川区	遠藤医院	遠藤 紀雄	141-0021	品川区上大崎2-24-13-305	03-3492-6422	
品川区	青柳医院	青柳 豊	142-0042	品川区豊町1-4-15	03-3788-0801	
目黒区	駒場クリニック	下津浦 末博	153-0041	目黒区駒場2-4-5	03-6279-7557	
目黒区	清水クリニック	清水 嘉一	153-0051	目黒区上目黒5-19-40	03-3715-3290	
目黒区	阿部医院	清水 恵一郎	152-0032	目黒区平町2-5-7	03-3717-2288	
大田区	テクノポートクリニック	宮島 良征	144-0035	大田区南蒲田2-16-1 トキメックビル別館2F	03-5703-5522	
大田区	馬込中央診療所	寺門 節雄	143-0027	大田区中馬込1-5-8	03-3775-5631	
大田区	北條医院	北條 稔	143-0016	大田区大森北3-4-5	03-3768-0066	○
大田区	井出内科クリニック	井出 雅生	146-0092	大田区下丸子3-13-11	03-3757-2484	
大田区	松坂医院	松坂 聡	144-0047	大田区萩中1-6-28	03-3741-0985	
大田区	溝谷医院	溝谷 弘成	143-0012	大田区大森東2-1-4	03-3763-7371	
大田区	並木医院	並木 敦也	145-0065	大田区東雪谷5-27-13	03-3720-8041	
大田区	せせらぎクリニック多摩川	富塚 太郎	145-0071	大田区田園調布1-33-3	03-5755-5207	
世田谷	亀井内科神経内科クリニック	亀井 敦行	158-0083	世田谷区奥沢4-15-7	03-3726-1108	2021年1月31日まで
	菅澤医院	菅澤 正明	158-0091	世田谷区中町4-31-13	03-3701-1650	2021年2月1日から
世田谷	世田谷北部病院	下田 重人	157-0062	世田谷区南烏山2-9-17	03-3308-5221	○
世田谷	幸野メディカルクリニック	幸野 敬子	157-0072	世田谷区祖師谷3-30-28	03-3483-1808	

(注) 備考欄に「○」の表示がある医療機関は、内科病原体定点を兼ねる医療機関である。

保健所名	医療機関名	氏名	郵便番号	所在地	電話番号	備考
世田谷	竹川内科医院	竹川 享	156-0051	世田谷区宮坂1-41-20	03-3706-2341	
世田谷	医療法人社団 シンセリテイ いなみ内科クリニック	稲見 真木子	154-0024	世田谷区三軒茶屋1-13-7 三茶JOYビル2F	03-3413-1730	
世田谷	こうらクリニック	兒浦 利哉	154-0021	世田谷区豪徳寺1-23-22	03-3425-2333	
世田谷	高橋医院	高橋 由光	158-0094	世田谷区玉川3-23-22	03-3700-0232	
世田谷	荏原医院	荏原 包臣	158-0097	世田谷区用賀4-13-11	03-3700-0135	
世田谷	西島内科クリニック	西島 敬之郎	157-0068	世田谷区宇奈根3-1-21	03-5494-2020	
渋谷区	小林医院	小林 晴二郎	151-0064	渋谷区上原1-23-1	03-3467-3577	
渋谷区	しおぎき内科	塩崎 正英	150-0002	渋谷区渋谷1-7-5 青山セブンハイツ2F	03-5485-3123	○
渋谷区	渡辺クリニック	渡辺 豊	151-0071	渋谷区本町3-10-3-202	03-3375-7361	
中野区	大場診療所	渡辺 茂	165-0034	中野区大和町3-40-6	03-3330-0073	
中野区	山田クリニック	山田 千津子	165-0026	中野区新井2-6-10	03-3386-0415	
中野区	東中野クリニック	飯国 紀一郎	164-0003	中野区東中野1-58-12	03-3361-2732	
中野区	溝口医院	溝口 雅康	164-0013	中野区弥生町2-12-9	03-3372-0035	
杉並	藤多クリニック	藤多 和義	167-0043	杉並区上荻1-9-1	03-3392-8811	
杉並	富士見丘医院	加茂 隆	168-0082	杉並区久我山5-20-1	03-3332-2401	○
杉並	河合内科クリニック	河合 章	167-0043	杉並区上荻3-1-11	03-3399-8563	
杉並	内山クリニック	内山 克己	168-0063	杉並区和泉3-6-2	03-5355-3535	
杉並	石井こども・内科循環器科 クリニック	石井 哲哉	166-0014	杉並区松ノ木1-6-21	03-3314-5677	
杉並	清水内科クリニック	清水 聡	166-0003	杉並区高円寺南1-7-4	03-3318-2431	
池袋	武藤クリニック	武藤 敬	171-0051	豊島区长崎1-22-11	03-3957-7065	
池袋	山下診療所大塚	山下 巖	170-0004	豊島区北大塚2-13-1 GHYビル5F	03-3910-6711	
池袋	目白おかの内科	岡野 晃	171-0031	豊島区目白3-16-15 茜ビル1F	03-5988-3363	
北区	青木内科クリニック	青木 薫	114-0024	北区西ヶ原1-46-17 旭レヂデンス1F	03-5961-1855	
北区	共和堂医院	増田 幹生	114-0001	北区東十条2-5-1	03-3911-0665	
北区	王子神谷齋藤クリニック	齋藤 広重	114-0003	北区豊島8-24-4	03-3911-5433	
北区	医療法人社団景星会赤羽 赤羽東口病院	河 一京	115-0045	北区赤羽1-38-5	03-3902-2131	
荒川区	水野クリニック	水野 武昭	116-0002	荒川区荒川1-49-2 サクラハイツ2F	03-3891-0219	
荒川区	飯土用内科	飯土用 誠也	116-0002	荒川区荒川3-23-13	03-3891-5858	
荒川区	東京リバーサイド病院	坂井 暢子	116-0003	荒川区南千住8-4-4	03-5850-0311	
板橋区	平山医院	平山 貴度	174-0064	板橋区中台1-46-3	03-3932-3598	
板橋区	岡部医院	岡部 洋太郎	173-0004	板橋区板橋3-37-1	03-3961-0416	
板橋区	天木診療所	天木 聡	174-0053	板橋区清水町47-7	03-3961-3913	○
板橋区	高島平東口クリニック	梅原 有弘	175-0082	板橋区高島平8-5-10 MAビル3F	03-3933-1213	
板橋区	伊藤内科小児科クリニック	伊藤 景樹	175-0094	板橋区成増1-17-10	03-3930-5114	
板橋区	多比良医院	多比良 清	175-0094	板橋区成増4-13-2	03-3975-8139	
練馬区	川邊内科	川邊 敏之	177-0044	練馬区上石神井2-26-15	03-3920-6810	○
練馬区	練馬第一診療所	矢田 毅	179-0083	練馬区平和台4-20-16	03-3933-8957	
練馬区	すずしろ診療所	黒部 信一	176-0001	練馬区練馬1-15-1 堀越ビル2階	03-3557-1131	
練馬区	金谷クリニック	金谷 斎	179-0072	練馬区光が丘2-4-11-102	03-3979-2331	
練馬区	豊島医院	豊島 良一	177-0041	練馬区石神井町1-22-8	03-3996-0014	
練馬区	若井内科・呼吸器科	若井 安理	178-0061	練馬区大泉学園町7-15-16 ハナフサ第一ビル3階	03-5933-2011	
練馬区	長嶺医院	稲田 直行	178-0063	練馬区東大泉7-7-9	03-3922-6122	

(注) 備考欄に「○」の表示がある医療機関は、内科病原体定点を兼ねる医療機関である。

保健所名	医療機関名	氏名	郵便番号	所在地	電話番号	備考
練馬区	水谷内科呼吸器科クリニック	水谷 清二	178-0063	練馬区東大泉6-51-4 TKマンション1F	03-3867-8141	
足立	城北診療所	山村 彰義	123-0852	足立区関原2-38-21	03-3840-5474	
足立	久勝医院	久勝 章司	120-0013	足立区弘道2-1-3	03-3889-4714	
足立	健愛クリニック	鈴木 篤	120-0023	足立区千住曙町37-8	03-5813-1805	
足立	山一ビル内科クリニック	有野 亨	121-0815	足立区島根3-8-1	03-3884-8888	
足立	天沼医院	天沼 満	121-0812	足立区西保木間4-5-14-2	03-3883-8855	
足立	佐々木医院	佐々木 照	120-0005	足立区綾瀬2-26-17	03-5680-0566	
足立	旭医院	青木 哲	120-0026	足立区千住旭町9-15	03-3888-3508	
葛飾区	吉川内科医院	吉川 昌一	125-0063	葛飾区白鳥3-31-2-101	03-3602-8723	
葛飾区	遠藤医院	遠藤 啓一郎	125-0052	葛飾区柴又3-12-18	03-3607-1636	
葛飾区	富田医院	富田 秀人	124-0022	葛飾区奥戸5-1-18	03-3692-3026	
葛飾区	久保島医院	久保嶋 康仁	124-0001	葛飾区小菅2-25-10	03-3602-2746	
葛飾区	猪口医院	猪口 幸子	125-0052	葛飾区柴又4-6-14	03-5693-1511	
江戸川	同愛会病院	椿 浩司	132-0031	江戸川区松島1-42-21	03-3654-3311	
江戸川	医療法人社団美友梨会 福田クリニック	福田 徹	133-0065	江戸川区南篠崎町2-38-13	03-3679-2011	
江戸川	京谷医院	京谷 淳	133-0051	江戸川区北小岩6-17-7	03-3671-8103	
江戸川	小暮医院	小暮 堅三	133-0042	江戸川区興宮町16-13	03-3653-5347	
江戸川	中川医院	中川 陽之	132-0034	江戸川区小松川3-75	03-3684-2534	
江戸川	葛西中央病院	土谷 明男	134-0091	江戸川区船堀7-10-3	03-3680-8121	
江戸川	恵仁堂医院	山上 恵一	133-0052	江戸川区東小岩4-10-5	03-3657-4416	○
八王子市	秋山内科医院	秋山 幸久	192-0904	八王子市市安町1-32-7	042-643-0212	
八王子市	京王八王子駅前診療所	田中 光彦	192-0046	八王子市明神町4-7-1 京王駅前ビル5F	042-645-8228	○
八王子市	近藤内科医院	近藤 一英	193-0824	八王子市長房町1502-30	042-661-6035	
八王子市	遠山内科・循環器クリニック	遠山 博	192-0916	八王子市みなみ野2-16-3 モンパルテ1F	042-632-8033	
八王子市	伊藤内科消化器医院	伊藤 均	192-0045	八王子市大和田町4-15-14	042-642-6734	
八王子市	南大沢クリニック	佐々木 容三	192-0364	八王子市南大沢5-14-4-1	042-674-7766	
八王子市	横川内科クリニック	島村 嘉一	192-0823	八王子市横川町550-23 矢野ビル1F	042-625-7711	
町田市	こばやし医院	小林 信正	194-0012	町田市金森1-26-15	042-726-3431	
町田市	中村クリニック	中村 豊	194-0036	町田市木曽東3-20-28	042-792-0033	
町田市	泰生医院	金沢 健雅	194-0212	町田市小山町2470-5	042-797-7423	
町田市	成田クリニック	成田 雅弘	194-0011	町田市成瀬ヶ丘2-23-16	042-795-1281	○
町田市	はやし内科クリニック	林 淳弘	195-0057	町田市真光寺2-37-11	042-736-5501	
西多摩	福生クリニック	玉木 一弘	197-0012	福生市加美平3-35-13	042-551-2312	
西多摩	日の出ヶ丘病院	神尾 重則	190-0181	日の出町大久野310	042-597-0811	
西多摩	片平医院	片平 潤一	198-0036	青梅市河辺町10-16-20	0428-21-1741	○
西多摩	近藤医院	近藤 之暢	197-0827	あきる野市油平35	042-558-0506	
西多摩	双葉クリニック	松崎 潤	205-0022	羽村市双葉町1-1-15	042-570-1588	
西多摩	石畑診療所	小林 康弘	190-1211	瑞穂町石畑207	042-557-0072	
南多摩	斉藤内科呼吸器科	斉藤 宣照	206-0025	多摩市永山4-2-6-202	042-373-2522	
南多摩	土方クリニック	土方 英史	191-0024	日野市万願寺1-13-1	042-587-7171	
南多摩	中川クリニック	中川 均	191-0041	日野市南平7-18-11	042-594-0313	
南多摩	やはの内科・胃腸科クリニック	矢羽野 壮光	206-0011	多摩市関戸1-11-9 桜ヶ丘富沢ビル6F	042-356-3761	
南多摩	長峰クリニック	武井 滋	206-0821	稲城市長峰2-2-2	042-350-7171	

(注) 備考欄に「○」の表示がある医療機関は、内科病原体定点を兼ねる医療機関である。

保健所名	医療機関名	氏名	郵便番号	所在地	電話番号	備考
多摩立川	唯善クリニック 内科・呼吸器内科	竹口 甲三	190-0013	立川市富士見町1-34-9-1F	042-527-6711	
多摩立川	平田循環器・内科	平田 俊吉	190-0002	立川市幸町2-45-9	042-537-4850	○
多摩立川	まことクリニック	腰塚 誠二	196-0003	昭島市松原町2-9-1	042-546-2800	
多摩立川	国分寺内科中央病院	松本 めぐみ	185-0022	国分寺市東元町2-3-19	042-322-0131	
多摩立川	新田クリニック	新田 國夫	186-0005	国立市西2-26-29	042-574-3355	
多摩立川	半田医院	半田 宏一	208-0013	武蔵村山市大南3-54-16	042-564-8649	
多摩立川	高橋医院	高橋 英樹	207-0021	東大和市立野2-3-17	042-565-7001	
多摩府中	赤須内科クリニック	赤須 文彰	183-0006	府中市緑町2-17-9	042-334-0780	
多摩府中	小林内科	小林 肇	182-0035	調布市上石原2-30-22	042-482-8623	
多摩府中	田原医院	田原 順雄	180-0014	武蔵野市関前3-3-9	042-251-8458	
多摩府中	渡辺医院	渡辺 滋	180-0004	武蔵野市吉祥寺本町4-7-9	0422-22-8937	
多摩府中	岡庭医院	岡庭 孝	181-0001	三鷹市井の頭3-21-16	0422-43-8367	
多摩府中	いりえ内科クリニック	入江 哲也	181-0003	三鷹市北野4-5-30 キューブコート鳥山101号	03-5314-3577	
多摩府中	府中よつやクリニック	市川 雅	183-0035	府中市四谷3-37-14	042-336-7222	
多摩府中	仙川さとうクリニック	佐藤 正邦	182-0002	調布市仙川町2-18-15 メゾン仙川1F	03-5315-7373	
多摩府中	武蔵小金井クリニック	金光 寛承	184-0004	小金井市本町5-19-33	042-384-0080	
多摩府中	柏田内科クリニック	柏田 和子	201-0001	狛江市西野川1-15-19	03-3430-0222	○
多摩府中	中村内科クリニック	中村 公彦	183-0031	府中市西府町2-12-1	042-362-2112	
多摩府中	辻医院	荒井 敏	182-0034	調布市下石原3-60-4	042-482-2891	
多摩小平	松岡内科クリニック	松岡 緑郎	187-0002	小平市花小金井1-1-11 エメラルドビル3F	042-426-8080	
多摩小平	高橋内科クリニック	高橋 英二	189-0011	東村山市恩多町4-1-23	042-395-3553	
多摩小平	水谷医院	水谷 良子	189-0013	東村山市栄町1-13-1	042-390-5522	
多摩小平	宮本医院	宮本 兼吾	204-0022	清瀬市松山1-42-6	042-491-0547	
多摩小平	山口内科・呼吸器科クリニック	山口 規夫	203-0053	東久留米市本町3-12-2	042-472-2386	○
多摩小平	廣川クリニック	廣川 豊	202-0012	西東京市東町4-8-28 JUN西東京市101	042-425-6476	
多摩小平	保谷内科・呼吸器科クリニック	保谷 功	202-0005	西東京市住吉町6-1-26	042-458-7870	
多摩小平	井上内科クリニック	井上 玄	187-0042	小平市仲町268-6 サライ仲町102	042-342-0056	
島しょ	小笠原村診療所	野沢 有二	100-2101	小笠原村父島清瀬	04998-2-3800	

(注) 備考欄に「○」の表示がある医療機関は、内科病原体定点を兼ねる医療機関である。

2022年変更医療機関

2022年4月1日 現在

保健所名	医療機関名	氏名	郵便番号	所在地	電話番号	備考
荒川区	飯土用内科	飯土用 誠也	116-0002	荒川区荒川3-23-13	03-3891-5858	2021年12月31日まで
	南千住つのだ医院	角田 太郎	116-0003	荒川区南千住6-65-12	03-3802-0023	2022年1月1日から

眼科 (39定点)

2021年12月31日 現在

保健所名	医療機関名	氏名	郵便番号	所在地	電話番号	備考
中央区	宮下眼科医院	宮下 公男	104-0031	中央区京橋2-5-18 3F	03-3564-0240	
新宿区	東京女子医科大学病院眼科	篠崎 和美	162-8666	新宿区河田町8-1	03-3353-8111	○*
新宿区	東京医科大学病院眼科	森 秀樹	160-0023	新宿区西新宿6-7-1	03-3342-6111	
文京	順天堂大学医学部眼科	村上 晶	113-0033	文京区本郷3-1-3	03-3813-3111	
墨田区	毛塚眼科医院	毛塚 剛司	131-0033	墨田区向島1-5-7	03-3622-0941	
江東区	さとう眼科	佐藤 明	136-0076	江東区南砂6-1-11	03-3645-5441	
品川区	濱崎眼科医院	濱崎 陸	140-0014	品川区大井3-18-17	03-3776-4197	
目黒区	にっこのクリニック	入戸野 晋	152-0011	目黒区原町2-1-24	03-5704-4092	
大田区	朝広眼科	朝広 信彦	146-0085	大田区久が原5-17-9	03-3751-7757	
大田区	下丸子眼科クリニック	藤井 孝	146-0092	大田区下丸子1-6-24 グラントステラ下丸子1F	03-5741-2400	
世田谷	福地眼科	福地 郁子	156-0057	世田谷区上北沢3-20-22	03-3304-5586	
世田谷	喜多見眼科	熊川 美代子	157-0067	世田谷区喜多見8-18-10 小泉ビル3F	03-5494-7878	
渋谷区	細川眼科クリニック	細川 可奈	150-0012	渋谷区広尾5-14-2 広尾KKビル4F	03-5423-7023	○
中野区	福田眼科医院	福田 敏雅	165-0026	中野区新井2-33-1	03-3386-3700	
杉並	荒木眼科医院	荒木 博子	167-0042	杉並区西荻北2-9-10	03-3395-3091	○
池袋	大木眼科	大木 孝太郎	171-0014	豊島区池袋2-17-1	03-3971-2598	
北区	クリスタル眼科	野牛 千鶴	114-0004	北区堀船3-18-3	03-5902-5089	
荒川区	眼科アリモト	有本 啓三	116-0014	荒川区東日暮里5-51-7	03-3806-3720	
板橋区	フルヤ眼科クリニック	古谷 和正	173-0004	板橋区板橋1-22-8 古谷ビル2F	03-5375-4930	
板橋区	小暮眼科	小暮 慎二	175-0094	板橋区成増3-10-5	03-3979-3555	
練馬区	荻野眼科医院	荻野 公嗣	177-0041	練馬区石神井町1-25-10	03-3996-2021	
練馬区	氷川台眼科	長松 淳一	179-0084	練馬区氷川台3-38-8 内観堂ビル2F	03-5984-1900	
足立	三原眼科医院	三原 敬	123-0857	足立区本木北町14-6	03-3890-0785	
足立	こばやし眼科クリニック	小林 康彦	120-0043	足立区千住宮元町1-1 千住宮元ビル2F	03-5244-6080	
葛飾区	的場眼科クリニック	伊藤 景子	125-0042	葛飾区金町6-13-9	03-3607-0657	
江戸川	松江八木橋眼科	八木橋 修	132-0025	江戸川区松江2-1-5 目々沢ビル	03-5607-3505	
江戸川	安田医院	安田 尚美	132-0011	江戸川区瑞江1-43-12	03-5666-7038	
八王子市	きむら眼科	木村 隆	194-0904	八王子市子安町4-10-1	042-680-7430	
八王子市	大熊眼科医院	大熊 京子	193-0835	八王子市千人町2-19-15 長塚ビル3F	042-667-3477	
町田市	すずかけ台眼科クリニック	吉利 尚	194-0002	町田市南つくし野3-4-2 久保田ビル2階	042-788-5505	
西多摩	後藤眼科診療所	後藤 晋	198-0089	青梅市森下町508	0428-22-3202	
南多摩	小川眼科	小川 昭彦	206-0011	多摩市関戸2-40-1 ニッセイ聖蹟桜ヶ丘ビル3F	042-337-6660	
多摩立川	天佑眼科医院	岡本 晴彦	207-0014	東大和市南街1-27-5	042-561-2965	
多摩立川	曾根医院	曾根 隆一郎	185-0012	国分寺市本町4-19-8	042-322-0516	
多摩府中	こはら眼科	小原 真樹夫	180-0006	武蔵野市中町1-4-4 スクウェア三鷹1F	0422-52-8871	
多摩府中	武蔵境眼科医院	村松 隆次	180-0023	武蔵野市境南町1-8-1 武蔵野STビル2F	0422-34-2117	
多摩府中	平山眼科医院	平山 信隆	183-0023	府中市宮町1-20-19 大津ビル2F	042-364-0300	
多摩小平	徳島診療所	中川 尚	189-0024	東村山市富士見町1-2-14	042-391-2525	○
多摩小平	つしま眼科医院	對馬 一仁	204-0021	清瀬市元町1-8-19 アーク清瀬201	042-496-2240	

(注) 備考欄に「○」の表示がある医療機関は、眼科病原体定点を兼ねる医療機関である。
備考欄に「*」の表示がある医療機関は、基幹定点を兼ねる医療機関である。

性感染症（55定点）

2021年12月31日 現在

保健所名	医療機関名	氏名	郵便番号	所在地	電話番号	備考
千代田	スバル医院	中村 憲司	100-0006	千代田区有楽町1-2-6	03-3580-9559	
千代田	(公社)東京都教職員互助会 三楽病院	平澤 潔	101-8326	千代田区神田駿河台2-5	03-3292-3981	
中央区	銀座吉田医院	吉田 正平	104-0061	中央区銀座2-4-8 GINZA YUKI BLD 8・9F	03-3561-5537	
中央区	弓削医院	弓削 文一	103-0014	中央区日本橋蠣殻町1-28-7	03-3666-3979	
中央区	対馬ルリ子女性ライフクリニック 銀座	対馬 ルリ子	104-0061	中央区銀座2-6-5 銀座トレシヤビル7F	03-3538-0283	
みなと	大原皮膚泌尿器科	大原 正雄	107-0052	港区赤坂2-14-33 栄屋清水ビル5階	03-3584-4821	
みなと	赤枝六本木診療所	赤枝 恒雄	106-0046	港区元麻布3-1-30	03-3405-1388	
新宿区	新宿さくらクリニック	澤村 正之	169-0073	新宿区百人町2-11-22	03-3364-6333	
新宿区	たつきクリニック	矢谷 達樹	160-0023	新宿区西新宿7-16-14 ミクラ西新宿ビル2F	03-5348-7074	
新宿区	植松医院	植松 幹雄	169-0075	新宿区高田馬場1-32-14 UKビル2F	03-3209-5608	
新宿区	阿蘇医院	阿蘇 哲	160-0008	新宿区三栄町1-1	03-3351-3224	
新宿区	竹下医院	竹下 寿子	169-0075	新宿区高田馬場2-14-22	03-3200-1281	
新宿区	(財)東京都保健医療公社 大久保病院	高田 淳子	160-8488	新宿区歌舞伎町2-44-1	03-5273-7711	
新宿区	しらかば診療所	井戸田 一朗	162-0065	新宿区住吉町8-28 B・STEPビル2階	03-5919-3127	
文京	細部医院	細部 高英	113-0031	文京区根津1-1-15	03-3822-6858	
台東	佐々木医院	佐々木貴子	111-0032	台東区浅草5-33-7	03-3872-6776	
台東	永寿総合病院	高橋 峰夫	110-8645	台東区東上野2-23-16	03-3833-8381	
墨田区	南外科泌尿器科	南 孝明	131-0032	墨田区東向島5-38-14	03-3614-2511	
墨田区	賛育会病院	高本 眞一	130-0012	墨田区太平3-20-2	03-3622-9191	
江東区	西大島駅と亀戸駅の間のいわぶ ち内科と泌尿器科のクリニック	岩渕 敏久	136-0072	江東区大島3-4-3 タワーレジデンス西大島2階	03-3683-3137	○
江東区	江東病院	宮崎 亮一郎	136-0072	江東区大島6-8-5	03-3685-2166	
品川区	東五反田クリニック	小川 秀彌	141-0022	品川区東五反田4-11-12 パラドール池田山102	03-3280-6762	
大田区	前村医院	前村 由美	143-0014	大田区大森中2-19-17	03-3761-3955	
大田区	東京蒲田病院	小山 豊	144-0051	大田区西蒲田7-10-1	03-3733-0525	
渋谷区	渋谷新南口クリニック	秋山 昭人	150-0002	渋谷区渋谷3-28-8 第三久我屋ビル2F	03-3406-6301	
渋谷区	赤阪医院	赤阪 雄一郎	150-0001	渋谷区神宮前3-31-9	03-3401-7506	
渋谷区	JR東京総合病院	奥山 伸彦	151-8528	渋谷区代々木2-1-3	03-3320-2204	
渋谷区	東クリニック	東 哲徳	151-0073	渋谷区笹塚1-30-3 ピラージュ笹塚Ⅲ4F	03-3481-0380	
渋谷区	都立広尾病院	秋山 邦久	150-0013	渋谷区恵比寿2-34-10	03-3444-1181	
中野区	やなだクリニック	築田 周一	164-0013	中野区弥生町6-2-20	03-5342-9511	
中野区	新渡戸記念中野総合病院	後藤 智隆	164-8607	中野区中央4-59-16	03-3382-1231	
杉並	荻窪駅前クリニック	吉田 正林	167-0051	杉並区荻窪5-27-8 FCビル4F	03-3220-9622	
杉並	荻窪病院	杉山 武	167-0035	杉並区今川3-1-24	03-3399-1101	
池袋	安康レディースクリニック	安康 善雄	171-0014	豊島区池袋2-42-3 オスカービル2F	03-3971-3544	
池袋	真和クリニック	森田 博人	171-0021	豊島区西池袋1-25-1	03-3971-3272	
池袋	渡辺胃腸科医院	渡辺 伸介	170-0005	豊島区南大塚1-53-1	03-3943-6371	○
北区	十条銀座診療所	平林 徹	114-0034	北区上十条2-30-4	03-3908-1826	
荒川	加藤産婦人科医院	加藤 寛彦	116-0001	荒川区町屋2-9-21	03-3895-3521	

(注) 備考欄に「○」の表示がある医療機関は、「性感染症病原体定点」を兼ねる医療機関である。

保健所名	医療機関名	氏名	郵便番号	所在地	電話番号	備考
板橋区	本多医院	本多 章乃	173-0023	板橋区大山町18-12	03-3959-0807	
板橋区	板橋中央総合病院	石田 友彦	174-8691	板橋区小豆沢2-12-7	03-3967-1181	
足立	長門クリニック	渡邊 秀樹	120-0002	足立区中川2-5-8	03-3605-3131	
足立	博慈会記念総合病院	林 達郎	123-0864	足立区鹿浜5-11-1	03-3899-1311	
江戸川	岩倉病院	岩倉 弘毅	133-0056	江戸川区南小岩7-28-4	03-3659-3215	○
江戸川	とおるクリニック	田中 徹	132-0011	江戸川区瑞江2-3-1-3F	03-5664-8020	
八王子市	新クリニック	福嶺 紀隆	193-0931	八王子市台町2-16-8	042-621-6203	
八王子市	西島産婦人科	西島 重信	193-0835	八王子市千人町1-8-5	042-661-6642	○
八王子市	米山産婦人科病院	花岡 素美	192-0065	八王子市新町2-12	042-642-5225	
八王子市	はぎの医院	萩野 大輔	192-0066	八王子市本町11-6	042-622-2206	
町田市	産婦人科ベルンの森クリニック	松下 径広	194-0215	町田市小山ヶ丘4-3-1	042-775-3553	
多摩立川	泉医院	泉 康二	190-0012	立川市曙町2-14-16	042-522-2233	
多摩立川	こむかい産婦人科	小武海 成之	190-0022	立川市錦町2-3-30	050-3588-0123	
多摩府中	武蔵野陽和会病院	長倉 和彦	180-0012	武蔵野市緑町2-1-33	0422-52-3212	
多摩府中	武蔵野赤十字病院	泌尿器科部長	180-8610	武蔵野市境南町1-26-1	0422-32-3111	*
多摩府中	都立多摩総合医療センター	医事課 医事管理係	183-8524	府中市武蔵台2-8-29	042-323-5111	
多摩小平	真能クリニック	真能 純一	187-0045	小平市学園西町2-13-37 カミデビル2F	042-342-8280	

(注) 備考欄に「○」の表示がある医療機関は、性感染症病原体定点を兼ねる医療機関である。

備考欄に「*」の表示がある医療機関は、基幹定点を兼ねる医療機関である。

基幹（25定点）

2021年12月31日 現在

保健所名	医療機関名	氏名	郵便番号	所在地	電話番号	備考
千代田	東京通信病院	小野 正恵	102-8798	千代田区富士見2-14-23	03-5214-7111	○*
千代田	(公社)東京都教職員互助会 三楽病院	総務課長	101-8326	千代田区神田駿河台2-5	03-3292-3981	
みなと	東京都済生会中央病院	小児科外来	108-0073	港区三田1-4-17	03-3451-8211	○*
新宿区	(社)聖母会 聖母病院	猪野 雅孝	161-8521	新宿区中落合2-5-1	03-3951-1111	○*
新宿区	東京女子医科大学病院	病院長	162-8666	新宿区河田町8-1	03-3353-8111	○#
文京	がん・感染症センター 都立駒込病院	医事課長	113-8677	文京区本駒込3-18-22	03-3823-2101	○
墨田区	都立墨東病院	医事課長	130-8575	墨田区江東橋4-23-15	03-3633-6151	○
大田区	(公財)東京都保健医療公社 荏原病院	医事課長	145-0065	大田区東雪谷4-5-10	03-5734-8000	○
世田谷	国立成育医療研究センター	医事課長	157-8535	世田谷区大蔵2-10-1	03-3416-0181	
世田谷	公立学校共済組合 関東中央病院	医事課長	158-8531	世田谷区上用賀6-25-1	03-3429-1171	
渋谷区	都立広尾病院	医事課長	150-0013	渋谷区恵比寿2-34-10	03-3444-1181	○
杉並	立正佼成会附属佼成病院	倉山 亮太	166-0012	杉並区和田2-25-1	03-3383-1281	○*
杉並	河北総合病院	岡井 隆広	166-8588	杉並区阿佐谷北1-7-3	03-3339-2121	
池袋	都立大塚病院	病歴係長	170-8476	豊島区南大塚2-8-1	03-3941-3211	○
板橋区	(公財)東京都保健医療公社 豊島病院	医事課長	173-0015	板橋区栄町33-1	03-5375-1234	○
葛飾	(公財)東京都保健医療公社 東部地域病院	医事課長	125-8512	葛飾区亀有5-14-1	03-5682-5111	○
八王子市	東京医科大学 八王子医療センター	医事課長	193-0998	八王子市館町1163	042-665-5611	○
西多摩	青梅市立総合病院	医事課長	198-0042	青梅市東青梅4-16-5	0428-22-3191	○
多摩立川	国家公務員共済組合連合会 立川病院	医事課長	190-8531	立川市錦町4-2-22	042-523-3131	○
多摩府中	都立多摩総合医療センター	医事課 医事管理係	183-8524	府中市武蔵台2-8-29	042-323-5111	○
多摩府中	都立小児総合医療センター	医事課 医事管理係	183-8561	府中市武蔵台2-8-29	042-300-5111	○
多摩府中	武蔵野赤十字病院	総務課長	180-8610	武蔵野市境南町1-26-1	0422-32-3111	○
多摩小平	(公財)東京都保健医療公社 多摩北部医療センター	医事課長	189-8511	東村山市青葉町1-7-1	042-396-3811	○
多摩小平	公立昭和病院	医事課長	187-8510	小平市花小金井8-1-1	042-461-0052	○
島しょ	町立八丈病院	業務課長	100-1511	八丈島八丈町三根26-11	04996-2-1188	○

(注) 備考欄に「○」の表示がある医療機関は、基幹病原体定点を兼ねる医療機関である。

備考欄に「*」の表示がある医療機関は、「小児科定点」を兼ねる医療機関である。

備考欄に「#」の表示がある医療機関は、「眼科定点」を兼ねる医療機関である。

疑似症（38定点）

2021年12月31日 現在

保健所名	種別	医療機関名	郵便番号	所在地	備考
千代田		東京通信病院	102-0071	千代田区富士見2-14-23	
中央		聖路加国際病院	104-8560	中央区明石町9-1	
みなと		虎の門病院	105-8470	港区虎ノ門2-2-2	
みなと		東京慈恵会医科大学附属病院	105-0003	港区西新橋3-19-18	
新宿	特定	国立研究開発法人 国立国際医療研究センター	162-8655	新宿区戸山1-21-1	
新宿		東京女子医科大学病院	162-8666	新宿区河田町8-1	
文京	一種	がん・感染症センター 都立駒込病院	113-8677	文京区本駒込3-18-22	
文京		日本医科大学付属病院	113-8603	文京区千駄木1-1-5	2021年7月1日から
文京		国立大学法人 東京医科歯科大学病院	113-8519	文京区湯島1-5-45	2021年7月1日から
台東区		永寿総合病院	110-8645	台東区東上野2-23-16	
墨田区	一種	東京都立墨東病院	130-8575	墨田区江東橋4-23-15	
江東		昭和大学江東豊洲病院	135-8577	江東区豊洲5-1-38	
品川		昭和大学病院	142-8666	品川区旗の台1-5-8	
大田区	一種	公益財団法人 東京都保健医療公社 荏原病院	145-0065	大田区東雪谷4-5-10	
大田区		東邦大学医療センター大森病院	143-8541	大田区大森西6-11-1	
目黒		独立行政法人 国立病院機構 東京医療センター	152-8902	目黒区東が丘2-5-1	
世田谷	一種	自衛隊中央病院	154-0001	世田谷区池尻1-2-24	
渋谷区		日本赤十字社医療センター	150-0012	渋谷区広尾4-1-22	
渋谷区		東京都立広尾病院	150-0013	渋谷区恵比寿2-34-10	
中野区		東京警察病院	164-8541	中野区中野4-22-1	
杉並区		河北総合病院	166-0001	杉並区阿佐谷北1-7-3	
池袋		東京都立大塚病院	170-8476	豊島区南大塚2-8-1	
北区		公益社団法人 地域医療振興協会 東京北医療センター	115-0053	北区赤羽台4-17-56	
板橋	二種	公益財団法人 東京都保健医療公社 豊島病院	173-0015	板橋区栄町33-1	
練馬		練馬光が丘病院	179-0072	練馬区光が丘2-11-1	
足立		東京女子医科大学 附属足立医療センター	123-8558	足立区江北4-33-1	
足立		博慈会記念総合病院	123-0864	足立区鹿浜5-11-1	
葛飾		東京慈恵会医科大学 葛飾医療センター	125-8506	葛飾区青戸6-41-2	
江戸川		日本私立学校振興・共済事業団 東京臨海病院	134-0086	江戸川区臨海町14-2	
八王子市	二種	東京医科大学八王子医療センター	193-0998	八王子市館町1163	
町田市		町田市民病院	194-0023	町田市旭町2-15-41	
西多摩	二種	青梅市立総合病院	198-0042	青梅市東青梅4-16-5	
南多摩		公益財団法人 東京都保健医療公社 多摩南部地域病院	206-0036	多摩市中沢2-1-2	
多摩立川	二種	国家公務員共済組合連合会 立川病院	190-8531	立川市錦町4-2-22	
多摩立川		社会医療法人 社団健生会 立川相互病院	190-8578	立川市緑町4-1	
多摩府中	二種	武蔵野赤十字病院	180-8610	武蔵野市境南町1-26-1	
多摩小平	二種	公立昭和病院	187-8510	小平市花小金井8-1-1	
島しょ	二種	町立八丈病院	100-1511	八丈島八丈町三根26-11	

2 東京都感染症予防検討委員会委員名簿

2021年12月31日現在 : 順不同

氏 名	役 職
◎ 桜 山 豊 夫	公益財団法人東京都結核予防会理事長
○ 岡 部 信 彦	川崎市健康安全研究所長
○ 萩 原 温 久	萩原医院 (東京小児科医会)
永 井 英 明	独立行政法人 国立病院機構東京病院統括診療部長
尾 形 英 雄	結核予防会複十字病院安全管理特任部長
前 田 秀 雄	北区保健所長
河 合 江 美	町田市保健所長
今 村 顕 史	東京都立駒込病院感染症科部長
高 橋 真 吾 *	東京都福祉保健局健康安全部食品危機管理担当課長
吉 田 敦 *	東京都健康安全研究センター 企画調整部健康危機管理情報課疫学情報担当課長
有 馬 雄 三 ※	国立感染症研究所感染症疫学センター第四室室長
カエベタ 亜矢 *	東京都福祉保健局感染症対策部防疫・情報管理課長
山 本 史 郎 *	山本医院 (東京泌尿器科医会)
北 村 邦 夫	一般社団法人日本家族計画協会理事長 (東京産婦人科医会)
黒 澤 サト子	くろさわ子ども&内科クリニック (東京小児科医会)
倉 本 慶 子 *	小松眼科 (東京都眼科医会)
美 田 敏 宏	順天堂大学医学部 熱帯医学・寄生虫病学講座教授
山 下 隆 博	恩賜財団母子愛育会総合母子保健センター愛育病院副院長
池 田 忠 生	元日本大学医学部准教授
川 上 一 恵	東京都医師会理事 (疾病担当)

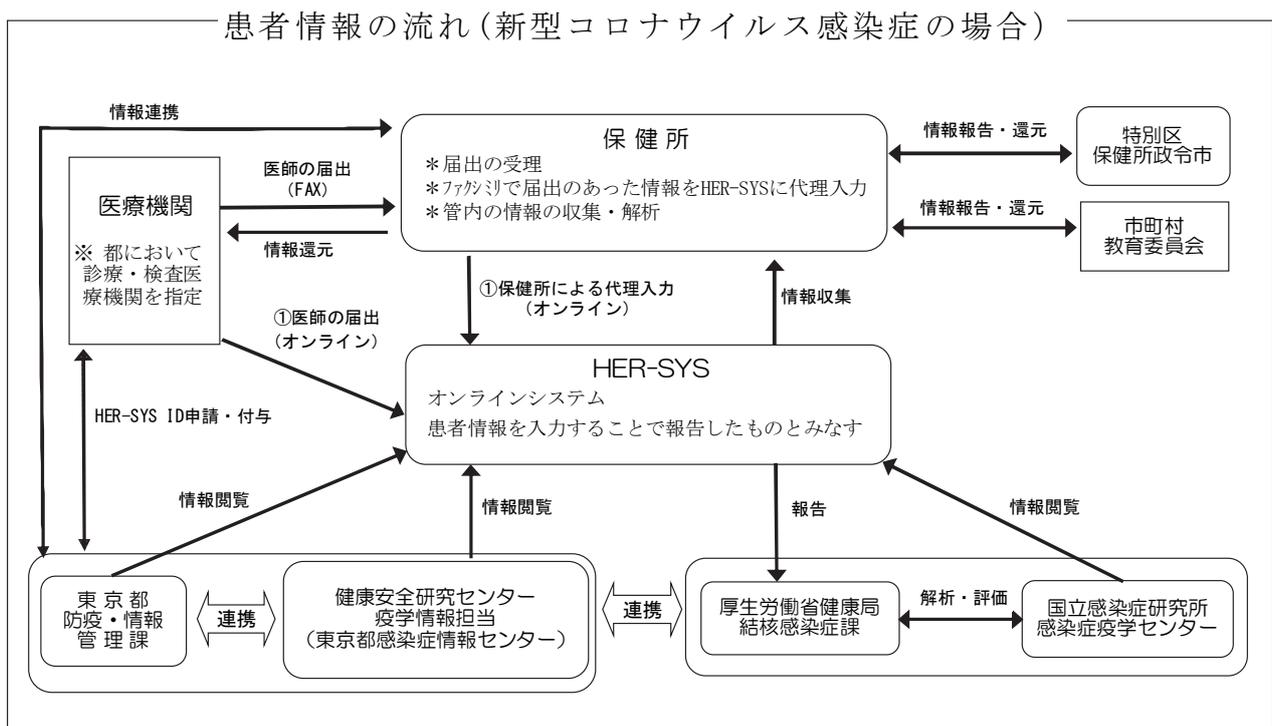
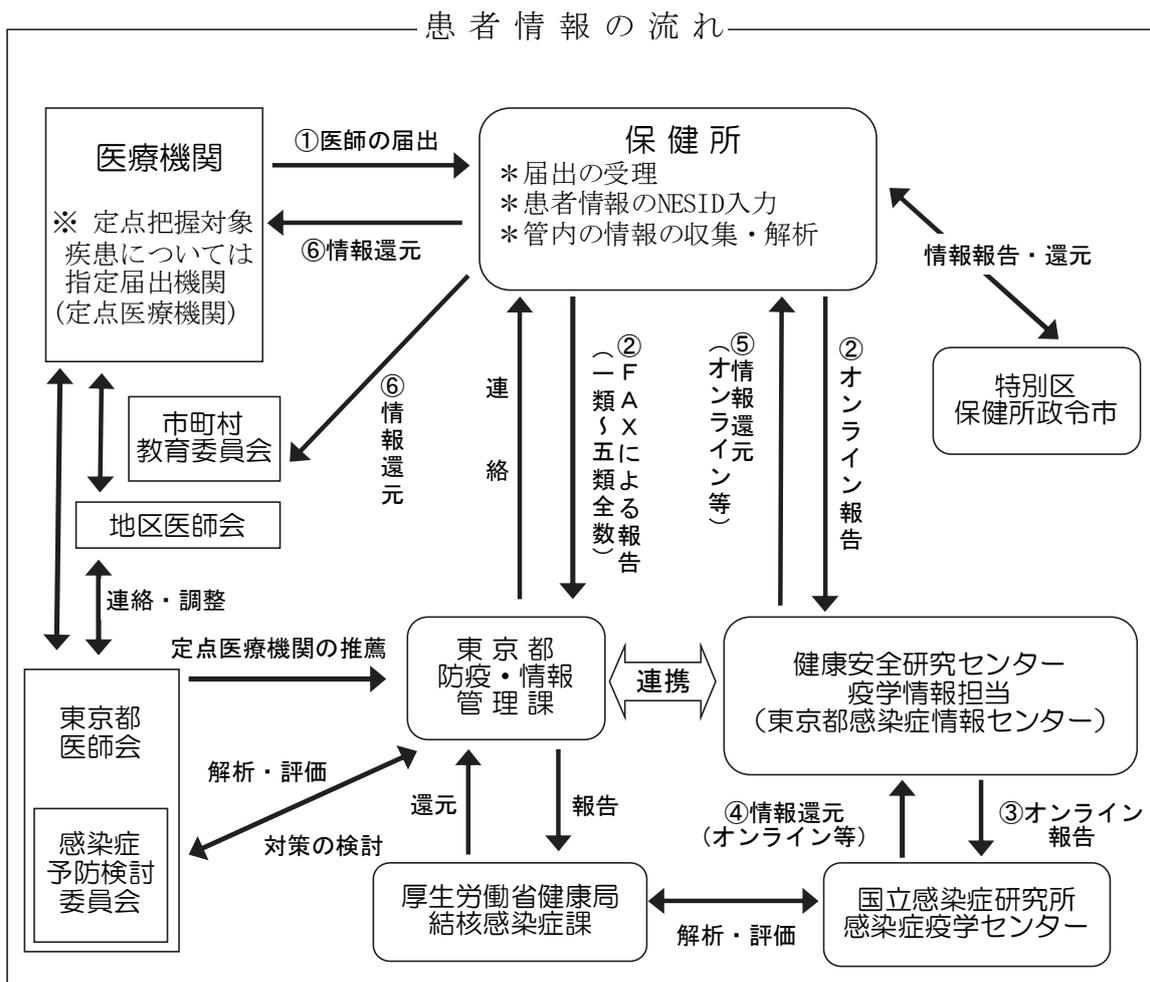
◎委員長 ○副委員長

* 2021年4月1日から ※ 2021年8月24日から

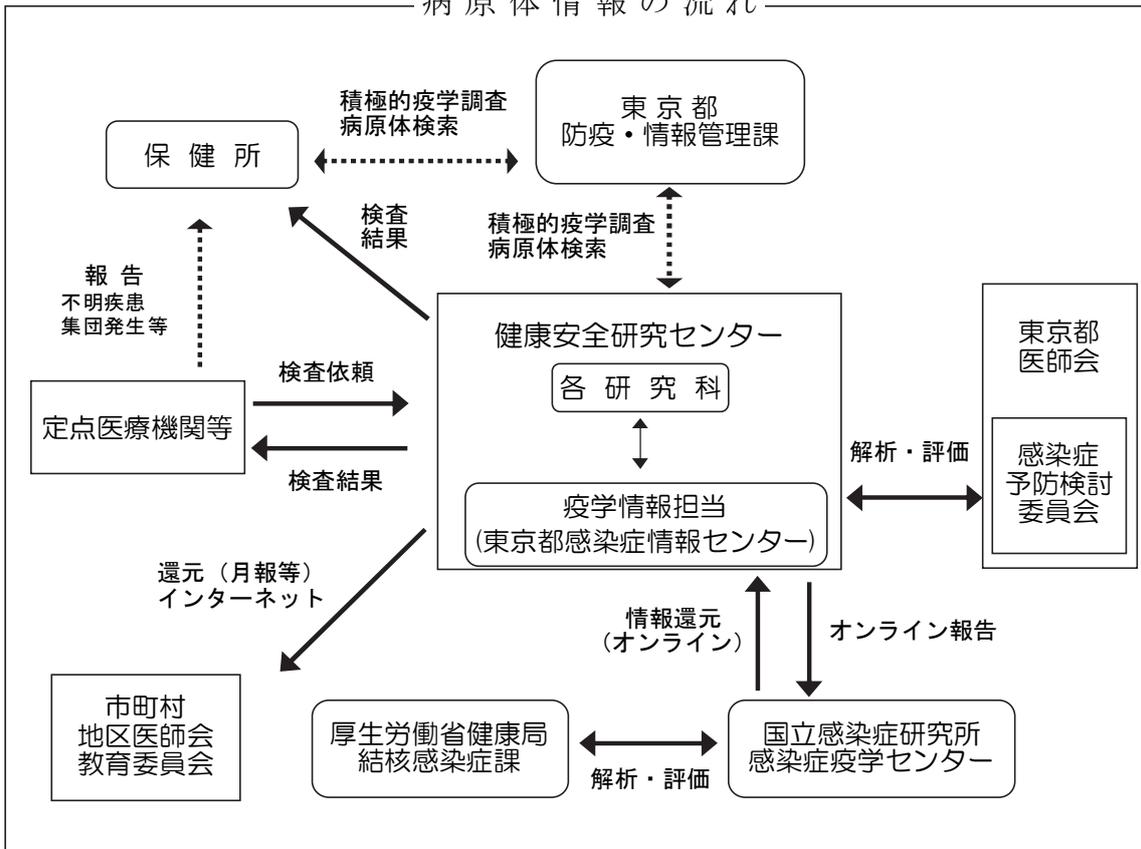
2021年3月31日まで

永 渕 恒 幸	東京都福祉保健局健康安全部食品危機管理担当課長
中 坪 直 樹	東京都健康安全研究センター 企画調整部健康危機管理情報課疫学情報担当課長
砂 川 富 正	国立感染症研究所感染症疫学センター第二室長
関 なおみ	東京都福祉保健局感染症対策部防疫・情報管理課長
長谷川 道 彦	はせがわクリニック
吉 見 裕美子	野近眼科医院

3 東京都感染症発生動向調査事業の流れ



病原体情報の流れ



東京都感染症発生動向調査事業実施要綱

11 衛福結第680号

平成12年3月30日

最終改正 3 福保感防第3628号

令和4年3月31日

第1 趣旨及び目的

感染症発生動向調査事業については、昭和56年7月から18疾病を対象に開始され、昭和62年1月からは対象疾病を27に拡大するとともにコンピュータを用いたオンラインシステムを導入、以後、順次対象疾病の拡大を図りながら運用されてきたところである。

平成11年4月から施行された「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」（以下「感染症法」という。）により、本事業が、事前対応型行政を重視した感染症対策の一つとして位置づけられることになった。

これを受け、本事業は、感染症の発生状況の正確な把握と分析、その結果の国民や医療関係者への迅速な提供・公開により、感染症に対する有効かつ的確な予防・診断・治療に係る対策を図り、多様な感染症の発生及びまん延を防止するとともに、病原体情報を収集、分析することで、流行している病原体の検出状況及び特性を確認し、適切な感染症対策を立案することを目的として実施するものとする。

第2 根拠法令等

本事業の実施に当たっては、感染症法及び国の定める感染症発生動向調査事業実施要綱に基づくものとする。

第3 対象感染症

この事業の対象とする感染症は、別表1のとおりとする。

第4 実施体制

1 地方感染症情報センター及び基幹地方感染症情報センター

地方感染症情報センターは、東京都、特別区及び保健所政令市における患者情報、疑似症情報及び病原体情報（検査情報を含む。以下同じ。）を収集・分析し、東京都、特別区及び保健所政令市の本庁に報告するとともに、全国情報と併せて、これらを速やかに医師会等の関係機関に提供・公開するために、東京都及び各特別区内に1か所、地方衛生研究所等の中に設置されている。

基幹地方感染症情報センターである東京都健康安全研究センター（以下「健康安全研究センター」という。）は、東京都全域の患者情報、疑似症情報及び病原体情報を収集・分析し、その結果を各地方感染症情報センターに送付する。

2 指定届出機関及び指定提出機関（定点）

- (1) 東京都は、定点把握対象の感染症についての、患者情報及び疑似症情報を収集するため、感染症法第14条第1項に規定する指定届出機関として、患者定点及び疑似症定点をあらかじめ

選定する。

- (2) 東京都は、定点把握対象の五類感染症についての、患者の検体又は当該感染症の病原体（以下「検体等」という。）を収集するため、病原体定点をあらかじめ選定する。なお、感染症法施行規則第7条の2に規定する五類感染症については、感染症法第14条の2第1項に規定する指定提出機関として、病原体定点を選定する。
- (3) 東京都は、上記（1）及び（2）に係る指定届出機関及び指定提出機関との連絡調整及び推薦等に係る業務を、東京都医師会に委託することができる。

3 感染症予防検討委員会

- (1) 東京都内における情報の収集、分析の効果的・効率的な運用を図るため、小児科、内科、眼科、皮膚科、泌尿器科、婦人科、微生物学、疫学、獣医学、昆虫学等の専門家、保健所及び地方衛生研究所の代表、地域の医師会の代表等（10名程度）からなる感染症予防検討委員会を置く。
- (2) 東京都は、上記（1）に係る事務を、東京都医師会へ委託することができる。

4 検査施設

東京都内における本事業に係る検体等の検査については、健康安全研究センターにおいて実施する。健康安全研究センターは、検査施設における病原体等検査の業務管理要領（以下「病原体検査要領」という。）に基づき検査を実施し、検査の信頼性確保に努めることとする。

第5 事業の実施

1 一類感染症、二類感染症、三類感染症、四類感染症、五類感染症（別表1の75、85及び86に掲げるもの）、新型インフルエンザ等感染症（別表1の118及び119に掲げるものを除く）及び指定感染症

(1) 調査単位及び実施方法

ア 診断した医師

一類感染症、二類感染症、三類感染症、四類感染症、五類感染症（別表1の75、85及び86に掲げるもの）、新型インフルエンザ等感染症及び指定感染症を「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第12条第1項及び第14条第2項に基づく届出の基準等について」

（平成18年3月8日付健感発第0308001号厚生労働省健康局結核感染症課長通知、令和4年3月17日最終改正。以下「届出基準」という。）に基づき診断した場合は、本要綱の別記様式8から9、及び11から74を用いて、直ちに最寄りの保健所に届出を行う。

イ 検体等を所持している医療機関等

保健所等から当該患者の病原体検査のための検体等の提供について、依頼又は命令を受けた場合にあつては、検体等を提供する。

ウ 保健所

(ア) 届出を受けた保健所は、直ちに感染症発生動向調査システムに届出内容を入力するものとする。

また、保健所は、病原体検査が必要と判断した場合は、検体等を所持している医療機関等に対して、病原体検査のための検体等の提供について依頼等するものとする。なお、病原体検査の必要性の判断及び実施等について、必要に応じて福祉保健局感染症対策部防疫・情報

管理課及び健康安全研究センターと協議する。

(イ) 保健所は、検体等の提供を受けた場合には、健康安全研究センターへ検査を依頼するものとする。

(ウ) 保健所は、届出を受けた感染症に係る発生状況等を把握し、市町村、指定届出機関、指定提出機関その他の関係医療機関、地区医師会、教育委員会等の関係機関に発生状況等を提供し、連携を図る。

エ 健康安全研究センター

(ア) 健康安全研究センターは、管内の患者情報について保健所からの情報の入力があり次第、登録情報の確認を行う。

(イ) 健康安全研究センターは、検体等が送付された場合にあつては、病原体検査要領に基づき当該検体等を検査し、その結果を保健所を経由して診断した医師に通知するとともに、保健所、福祉保健局感染症対策部防疫・情報管理課に送付する。また、病原体情報について、速やかに中央感染症情報センターに報告する。

(ウ) 検査のうち、健康安全研究センターにおいて実施することが困難なものについては、必要に応じて、他の道府県等又は国立感染症研究所に協力を依頼する。

(エ) 健康安全研究センターは、患者が一類感染症と診断されている場合（疑いを含む。）又は東京都域を越えた感染症の集団発生があつた場合等の緊急の場合及び国から求められた場合にあつては、福祉保健局感染症対策部防疫・情報管理課等と協議の上、検体等を国立感染症研究所に送付する。

(オ) 基幹地方感染症情報センターである健康安全研究センターは、東京都内のすべての患者情報及び病原体情報を収集、分析するとともに、その結果を週報等として公表される全国情報と併せて、地方感染症情報センター等の関係機関に提供・公開する。

オ 情報の報告等

(ア) 都道府県知事、保健所を設置する市又は特別区の長（以下「都道府県知事等」という。）は、その管轄する区域外に居住する者について法第 12 条第 1 項の規定による届出を受けたときは、当該届出の内容を、その居住地を管轄する都道府県知事等に通報する。保健所を設置する市又は特別区の長（以下「保健所設置市等の長」という。）が通報先となる場合には、当該市・区が所在する都道府県知事にも通報する。

(イ) 保健所設置市等の長は、厚生労働大臣に対して、

- ・ 法第 12 条の規定による発生届出の一連の事務の中で、同条第 2 項の報告を行う場合
- ・ 法第 15 条の規定による積極的疫学調査の一連の事務の中で、同条第 13 項の報告を行う場合

は、併せて都道府県知事に報告する。

(ウ) 都道府県知事等は、他の都道府県知事等が管轄する区域内における感染症のまん延を防止するために必要な場合は、法第 15 条の規定による積極的疫学調査の結果を、当該他の都道府県知事等に通報する。保健所設置市等の長が通報先となる場合には、当該市・区が所在する都道府県知事にも通報する。

(エ) (イ) の法第 12 条の規定による報告について、感染症発生動向調査システムにより相互に情報を閲覧できる措置を講じた場合は、当該報告をしたものとみなす。

2 新型コロナウイルス感染症及び再興型コロナウイルス感染症

(1) 調査単位及び実施方法

ア 診断した医師

新型コロナウイルス感染症又は再興型コロナウイルス感染症を届出基準等通知に基づき診断した場合は、別に定める基準に基づき、直ちに最寄りの保健所に届出を行う。当該届出は、新型コロナウイルス感染者等情報把握・管理支援システム（以下「HER-SYS」という。）への入力により行うことを基本とするが、HER-SYSの入力環境がない場合には、最寄りの保健所が定める方法により行って差し支えない。

イ 検体等を所持している医療機関等

保健所等から当該患者の病原体検査のための検体等の提供について、依頼又は命令を受けた場合にあっては、検体等を提供する。

ウ 保健所

(ア) 届出を受けた保健所は、直ちに届出内容の確認を行うとともに、診断した医師の医療機関にHER-SYSの入力環境がない場合には、当該届出内容をHER-SYSに入力するものとする。また、保健所は、病原体検査が必要と判断した場合には、検体等を所持している医療機関等に対して、病原体検査のための検体等の提供について依頼等するものとする。なお、病原体検査の必要性の判断及び実施等について、必要に応じて福祉保健局感染症対策部防疫・情報管理課及び健康安全研究センターと協議する。

(イ) 保健所は、検体等の提供を受けた場合には、健康安全研究センターへ検査を依頼するものとする。

(ウ) 保健所は、届出を受けた感染症に係る発生状況等を把握し、市町村、指定届出機関、指定提出機関その他の関係医療機関、地区医師会、教育委員会等の関係機関に発生状況等を提供し、連携を図る。

エ 健康安全研究センター

(ア) 健康安全研究センターは、HER-SYSを活用し、管内の患者情報について保健所からの情報の入力があり次第、登録情報の確認を行う。

(イ) 健康安全研究センターに検体等が送付された場合にあっては、病原体検査要領に基づき当該検体等を検査し、その結果を保健所を経由して診断した医師に通知するとともに、保健所、福祉保健局感染症対策部防疫・情報管理課に送付する。また、病原体情報について、速やかに中央感染症情報センターに報告する。

(ウ) 検査のうち、健康安全研究センターにおいて実施することが困難なものについては、必要に応じて、他の道府県等又は国立感染症研究所に協力を依頼する。

(エ) 基幹地方感染症情報センターである健康安全研究センターは、HER-SYS等の活用により、東京都内のすべての患者情報及び病原体情報を収集、分析するとともに、その結果を公表される都道府県情報及び全国情報と併せて、ホームページへの掲載等の適切な方法により、保健所等の関係機関に提供・公開する。

オ 福祉保健局感染症対策部防疫・情報管理課

福祉保健局感染症対策部防疫・情報管理課は、保健所等がHER-SYSに入力した情報、健康安全研究センターが収集、分析した患者情報及び病原体情報を感染症対策に利用し、関係機関との連携・調整を行う。なお、緊急の場合及び国から対応を求められた場合においては、

福祉保健局感染症対策部防疫・情報管理課は、直接必要な情報を収集するとともに、国及び他の都道府県等とも連携の上、迅速な対応を行う。

カ 情報の報告等

(ア) 都道府県知事等は、その管轄する区域外に居住する者について法第12条第1項の規定による届出を受けたときは、当該届出の内容を、その居住地を管轄する都道府県知事等に通報する。保健所設置市等の長が通報先となる場合には、当該市・区が所在する都道府県知事にも通報する。

(イ) 保健所設置市等の長は、厚生労働大臣に対して、

- ・ 法第12条の規定による発生届出の一連の事務の中で、同条第2項の報告を行う場合
- ・ 法第15条の規定による積極的疫学調査の一連の事務の中で、同条第13項の報告を行う場合

は、併せて都道府県知事に報告する。

(ウ) 都道府県知事等は、他の都道府県知事等が管轄する区域内における感染症のまん延を防止するために必要な場合は、法第15条の規定による積極的疫学調査の結果を、当該他の都道府県知事等に通報する。保健所設置市等の長が通報先となる場合には、当該市・区が所在する都道府県知事にも通報する。

(エ) (ア) から (ウ) の報告等について、HER-SYSにより相互情報を閲覧できる措置講じた場合は、当該報告等をしたものとみなす。

キ その他

病原体検査を行政検査として医療機関に委託している場合には、当該医療機関において、保健所及び都道府県等に必要な情報提供を行うこと。当該情報共有は、HER-SYSへの入力により行うことを基本とすること。

3 全数把握対象の五類感染症（別表1の75、85及び86に掲げるものを除く。）

(1) 調査単位及び実施方法

ア 診断した医師

全数把握対象の五類感染症（別表1の75、85及び86に掲げるものを除く。）を届出基準に基づき診断した医師は、国の定める届出基準の別記様式5-1から5-11、5-13から5-15、5-17から5-21、5-24並びに本要綱の別記様式10を用いて、7日以内に最寄りの保健所に届出を行う。

イ 検体等を所持している医療機関等

保健所等から当該患者の病原体検査のための検体等の提供の依頼を受けた場合にあっては、検体等について、保健所に協力し、提供する。

ウ 保健所

(ア) 届出を受けた保健所は、直ちに感染症発生動向調査システムに届出内容を入力するものとする。

また、保健所は、病原体検査が必要と判断した場合は、検体等を所持している医療機関等に対して、病原体検査のための検体等の提供について依頼するものとする。なお、病原体検査の必要性の判断及び実施等について、必要に応じて福祉保健局感染症対策部防疫・情報管理課及び健康安全研究センターと協議する。

(イ) 保健所は、検体等の提供を受けた場合には、健康安全研究センターへ検査を依頼するものとする。

(ウ) 保健所は、届出を受けた感染症に係る発生状況等を把握し、市町村、指定届出機関、指定提出機関その他の関係医療機関、地区医師会、教育委員会等の関係機関に発生状況等を提供し、連携を図る。

エ 健康安全研究センター

(ア) 健康安全研究センターは、管内の患者情報について保健所からの入力があり次第、登録情報の確認を行う。

(イ) 健康安全研究センターは、検体等が送付された場合にあつては、病原体検査要領に基づき当該検体等を検査し、その結果を保健所を経由して診断した医師に通知するとともに、保健所、福祉保健局感染症対策部防疫・情報管理課に送付する。また、病原体情報について、速やかに中央感染症情報センターに報告する。

(ウ) 検査のうち、健康安全研究センターにおいて実施することが困難なものについては、必要に応じて、他の道府県等又は国立感染症研究所に協力を依頼する。

(エ) 健康安全研究センターは、東京都域を越えた感染症の集団発生があつた場合等の緊急の場合及び国から提出を求められた場合にあつては、福祉保健局感染症対策部防疫・情報管理課等と協議の上、検体等を国立感染症研究所に送付する。

(オ) 基幹地方感染症情報センターである健康安全研究センターは、東京都内のすべての患者情報及び病原体情報を収集、分析するとともに、その結果を週報等として公表される全国情報と併せて、地方感染症情報センター等の関係機関に提供・公開する。

4 定点把握対象の五類感染症

(1) 対象とする感染症患者の状態

各々の定点把握対象の五類感染症について、届出基準を参考とし、当該疾病の患者と診断される場合とする。

(2) 定点の選定

ア 患者定点

定点把握対象の五類感染症の発生状況を地域的に把握するため、東京都は次の点に留意し、関係医師会の協力を得て、医療機関の中から可能な限り無作為に患者定点を選定する。また、定点の選定に当たっては、人口及び医療機関の分布等を勘案して、できるだけ東京都全体の感染症の発生状況を把握できるよう考慮する。

(ア) 小児科定点

対象感染症のうち、別表1の88から99までに掲げるものについては、小児科を標ぼうする医療機関（主として小児科医療を提供しているもの）を小児科定点として指定する。この場合において、小児科定点として指定された医療機関は、インフルエンザ定点として協力するよう努めること。

(イ) インフルエンザ定点

対象感染症のうち、別表1の100に掲げるインフルエンザ（鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。以下同じ。）については、前記（ア）で選定した小児科定点のうちインフルエンザ定点として協力する小児科定点に加え、内科を標ぼうする医療機関（主

として内科医療を提供しているもの)を内科定点として指定し、両者を合わせてインフルエンザ定点とする。

(ウ) 眼科定点

対象感染症のうち、別表1の101及び102に掲げるものについては、眼科を標ぼうする医療機関(主として眼科医療を提供しているもの)を眼科定点として指定する。

(エ) 性感染症定点

対象感染症のうち、別表1の103から107までに掲げるものについては、産婦人科、産科若しくは婦人科(産婦人科系)、医療法施行令(昭和二十三年政令第三百二十六号)第三条の二第一項第一号ハ及びニ(2)の規定により性感染症と組み合わせた名称を診療科名とする診療科、泌尿器科又は皮膚科を標ぼうする医療機関(主として各々の標ぼう科の医療を提供しているもの)を性感染症定点として指定する。

(オ) 基幹定点

対象感染症のうち、別表1の100に掲げるインフルエンザ(届出基準はインフルエンザ定点と異なり、入院患者に限定される)、別表1の108から115までに掲げるものについては、患者を300人以上収容する施設を有する病院であつて、内科及び外科を標榜する病院(小児科医療と内科医療を提供しているもの)を二次医療圏毎に1か所以上、基幹定点として指定する。

イ 病原体定点

病原体の分離等の検査情報を収集するため、東京都は次の点に留意し、関係医師会の協力を得て、病原体定点を選定する。また、定点の選定に当たっては、人口及び医療機関の分布等を勘案して、できるだけ東京都全体の感染症の発生状況を把握できるよう考慮する。

(ア) 医療機関を病原体定点として選定する場合は、原則として、患者定点として選定された医療機関の中から選定する。

(イ) アの(ア)により選定された患者定点の概ね10%を小児科病原体定点とし、別表1の88から99までを対象感染症とする。

(ウ) アの(ア)及び(イ)により選定された患者定点の概ね10%をインフルエンザ病原体定点とし、別表1の100を対象感染症とする。また、インフルエンザ病原体定点を、感染症法第14条の2第1項に規定する指定提出機関として指定する。

(エ) アの(ウ)により選定された患者定点の中から眼科病原体定点を選定し、別表1の101及び102を対象感染症とする。

(オ) アの(エ)により選定された患者定点の中から性感染症病原体定点を選定し、別表1の103から107を対象感染症とする。

(カ) アの(オ)により選定された患者定点の中から基幹病原体定点を選定し、別表1の100に掲げるインフルエンザ(入院患者に限る。)、別表1の108から115までを対象感染症とする。

(3) 調査単位等

ア 患者情報

調査単位の期間等は、別表2のとおりとする。

イ 病原体情報

病原体情報のうち、(2)のイの(ウ)により選定された病原体定点に関するものについては、

別表1の100に掲げるインフルエンザの流行期((2)のアの(イ)により選定された患者定点あたりの患者発生数が東京都全体で1を超えた時点から1を下回るまでの間)には1週間(月曜日から日曜日)を調査単位とし、非流行期(流行期以外の期間)には各月を調査単位とする。その他病原体定点に関するものについては、各月を調査単位とする。

(4) 実施方法

ア 患者定点

(ア) 患者定点として選定された医療機関は、速やかな情報提供を図る趣旨から、調査単位の期間の診療時において、届出基準を参考とし、患者発生状況の把握を行うものとする。

(イ) (2)のアにより選定された定点把握の対象の指定届出機関においては、届出基準に従い、それぞれの調査単位の患者発生状況を別記様式2から7に記載する。

(ウ) (イ)の届出に当たっては、感染症法施行規則第7条に従い行うものとする。

イ 病原体定点

(ア) 病原体定点として選定された医療機関は、必要に応じて病原体検査のために検体等を採取する。

(イ) 病原体定点は、検体等について、別記様式1の検査票を添付し、速やかに健康安全研究センターへ送付する。

(ウ) (2)のイの(イ)により選定された病原体定点においては、別表1の88から97までの対象感染症のうち、調査単位ごとに、概ね4症例からそれぞれ少なくとも1種類の検体を送付するものとする。

(エ) (2)のイの(ウ)により選定された病原体定点においては、別表1の100に掲げるインフルエンザ(インフルエンザ様疾患を含む。)について、調査単位ごとに、少なくとも1検体を送付するものとする。

ウ 検体等を所持している医療機関等

保健所等から当該患者の病原体検査のための検体等の提供の依頼を受けた場合にあっては、検体等について、保健所に協力し、提供する。

エ 保健所

(ア) 保健所は、患者定点から得られた患者情報が週単位の場合は調査対象の週の翌週の火曜日までに、月単位の場合は調査対象月の翌月の3日までに、感染症発生動向調査システムに入力するものとし、併せて、対象感染症についての集団発生その他特記すべき情報については、福祉保健局感染症対策部防疫・情報管理課及び健康安全研究センターに報告する。

また、保健所は、病原体検査が必要と判断した場合は、検体等を所持している医療機関等に対して、病原体検査のための検体等の提供について依頼するものとする。なお、病原体検査の必要性の判断及び実施等について、必要に応じて福祉保健局感染症対策部防疫・情報管理課及び健康安全研究センターと協議する。

(イ) 保健所は、検体等の提供を受けた場合には、健康安全研究センターへ検査を依頼するものとする。

(ウ) 保健所は、定点把握の対象の五類感染症の発生状況等を把握し、市町村、指定届出機関、指定提出機関その他の関係医療機関、地区医師会、教育委員会等の関係機関に発生状況等を提供し、連携を図る。

オ 健康安全研究センター

- (ア) 健康安全研究センターは、管内の患者情報について保健所からの入力があり次第、登録情報の確認を行う。
- (イ) 健康安全研究センターは、別記様式1の検査票及び検体又は病原体情報が送付された場合にあっては、当該検体を検査し、その結果を保健所を経由して診断した医師に通知するとともに、別記様式1により保健所、福祉保健局感染症対策部防疫・情報管理課に送付する。また、病原体情報について、速やかに中央感染症情報センターに報告する。
- (ウ) 検査のうち、健康安全研究センターにおいて実施することが困難なものについては、必要に応じて、他の道府県等又は国立感染症研究所に協力を依頼する。
- (エ) 健康安全研究センターは、東京都域を越えた感染症の集団発生があった場合等の緊急の場合及び国から提出を求められた場合にあっては、福祉保健局感染症対策部防疫・情報管理課等と協議の上、検体等を国立感染症研究所に送付する。
- (オ) 基幹地方感染症情報センターである健康安全研究センターは、東京都内のすべての患者情報及び病原体情報を収集、分析するとともに、その結果を週報（月単位の場合は月報）等として公表される全国情報と併せて、地方感染症情報センター等の関係機関に提供・公開する。

5 法第14条第1項に規定する厚生労働省令で定める疑似症

(1) 対象とする疑似症の状態

各々の疑似症について、届出基準を参考とし、当該疑似症の患者と診断される場合とする。

(2) 疑似症定点の選定

東京都は、関係医師会の協力を得て、国の定める感染症発生動向調査事業実施要綱第5の4(2)に定める基準を満たす医療機関の中から疑似症定点を選定する。また、疑似症定点の選定に当たっては、人口及び医療機関の分布等を勘案して、できるだけ東京都全体の感染症の発生状況を把握できるよう考慮する。

(3) 調査単位

調査単位の期間等は、別表3のとおりとする。

(4) 実施方法

ア 疑似症定点

(ア) 疑似症定点として選定された医療機関は、速やかな情報提供を図る趣旨から、調査単位の期間の診療時において、届出基準により、患者発生状況の把握を行うものとする。

(イ) 疑似症定点として選定された医療機関は、届出基準に従い、直ちに疑似症発生状況を国の定める届出基準の別記様式6-7に記載する。なお、届出に当たっては、感染症法施行規則第7条に従い行うものとする。

イ 保健所

(ア) 保健所は、疑似症定点から得られた疑似症情報を、随時福祉保健局感染症対策部防疫・情報管理課に報告する。

また、対象疑似症についての集団発生その他特記すべき情報については、福祉保健局感染症対策部防疫・情報管理課及び健康安全研究センターに報告する。

(イ) 保健所は、疑似症の発生状況等を把握し、市町村、指定届出機関、指定提出機関その他の関係医療機関、地区医師会、教育委員会等の関係機関に発生状況等を提供し、連携を図る。

ウ 福祉保健局感染症対策部防疫・情報管理課

福祉保健局感染症対策部防疫・情報管理課は保健所から得られた疑似症情報を健康安全研究センターに報告する。

エ 健康安全研究センター

基幹地方感染症情報センターである健康安全研究センターは、東京都内のすべての疑似症情報を収集し、汎用サーベイランスシステムに入力する。また、当該情報を分析するとともに、その結果を週報等として公表される全国情報と併せて、地方感染症情報センター等の関係機関に提供・公開する。

6 その他

- (1) 上記の実施方法以外の部分について、必要と認められる場合には、東京都の実情に応じた追加を行い、地域における効果的・効率的な感染症発生動向調査体制を構築していくこととする。
- (2) 感染症発生動向調査のために取り扱うこととなった検体等については、感染症の発生及びまん延防止策の構築、公衆衛生の向上のために使用されるものであり、それ以外の目的のために用いてはならない。また、検体採取の際には、その使用目的について説明の上、できるだけ、本人等に同意をとることが望ましい。なお、上記に掲げる目的以外の研究に使用する場合は、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」等の規定に従い行うものとする。
- (3) 本実施要綱に定める事項以外の内容については、必要に応じて福祉保健局長が定めることとする。

7 特別区及び保健所政令市との関係

東京都は、本事業を実施するため特別区及び保健所政令市と協議し、連携を図るものとする。

附 則

この実施要綱は、平成12年4月1日から施行する。

附 則

この実施要綱は、平成13年4月1日から施行する。

附 則

この実施要綱は、平成14年4月1日から施行する。

附 則

この実施要綱は、平成15年4月1日から施行する。

附 則

この実施要綱は、平成15年11月5日から適用する。

附 則

この実施要綱は、平成16年8月1日から施行する。

附 則

この実施要綱は、平成18年4月1日から施行する。

附 則

この実施要綱は、平成18年6月12日から施行する。

附 則

この実施要綱は、平成19年6月15日から施行し、同年4月1日から適用する。

附 則

この実施要綱は、平成20年1月31日から施行し、同年1月1日から適用する。

附 則

この実施要綱は、平成20年4月1日から施行する。

附 則

この実施要綱は、平成20年7月1日から施行する。

附 則

この実施要綱は、平成22年3月16日から施行し、同年3月11日から適用する。

附 則

この実施要綱は、平成23年2月1日から施行する。

附 則

この実施要綱は、平成23年4月1日から施行する。

附 則

この実施要綱は、平成23年9月5日から施行する。

附 則

この実施要綱は、平成25年4月1日から施行する。

附 則

この実施要綱は、平成25年5月22日から施行し、同年5月6日から適用する。

附 則

この実施要綱は、平成25年10月14日から施行する。

附 則

この実施要綱は、平成26年6月12日から施行し、同年5月12日から適用する。

附 則

この実施要綱は、平成26年8月13日から施行し、同年7月26日から適用する。附 則

この実施要綱は、平成26年9月19日から施行する。

附 則

この実施要綱は、平成27年2月25日から施行し、同年1月21日から適用する。

附 則

この実施要綱は、平成27年5月21日から施行する。

附 則

この実施要綱は、平成28年1月1日から施行する。

附 則

この実施要綱は、平成28年2月15日から施行する。

附 則

この実施要綱は、平成28年4月1日から施行する。

附 則

この実施要綱は、平成30年1月1日から施行する。

附 則

この実施要綱は、平成30年5月1日から施行する。

附 則

この実施要綱は、平成31年1月1日から施行する。

附 則

この実施要綱は、平成31年4月1日から施行する。

附 則

この実施要綱は、令和元年5月1日から施行する。

附 則

この実施要綱は、令和2年1月1日から施行する。

附 則

この実施要綱は、令和2年2月3日から施行する。

附 則

この実施要綱は、令和2年4月1日から施行する。

附 則

この実施要綱は、令和2年5月13日から施行する。

附 則

この実施要綱は、令和2年6月24日から施行し、5月29日から適用する。

附 則

この実施要綱は、令和2年6月25日から施行する。

附 則

この実施要綱は、令和2年10月2日から施行する。

附 則

この実施要綱は、令和2年10月14日から施行する。

附 則

この実施要綱は、令和3年3月31日から施行し、同年2月13日から適用する。

附 則

この実施要綱は、令和3年6月18日から施行し、同年6月3日から適用する。

附 則

この実施要綱は、令和3年12月14日から施行し、同年12月1日から適用する。

附 則

この実施要綱は、令和4年3月31日から施行し、同年3月17日から適用する。

感染症法に基づく感染症の分類

1 一類感染症、二類感染症、三類感染症、四類感染症及び指定感染症

	疾患名	届出対象者			届出方法	
		患者	疑似症患者	無症状病原体保有者	届出種別	時期
一類	1 エボラ出血熱	○	○	○	全数	直ちに
	2 クリミア・コンゴ出血熱					
	3 痘そう					
	4 南米出血熱					
	5 ペスト					
	6 マールブルグ病					
	7 ラッサ熱					
二類	8 急性灰白髄炎	○	—	○	全数	直ちに
	9 結核	○	○	△※		
	10 ジフテリア	○	—	○		
	11 重症急性呼吸器症候群 (病原体がベータコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る)	○	○	○		
	12 中東呼吸器症候群 (病原体がベータコロナウイルス属MERSコロナウイルスであるものに限る)	○	○	○		
	13 鳥インフルエンザ (H5N1)	○	○	○		
	14 鳥インフルエンザ (H7N9)	○	○	○		
三類	15 コレラ	○	—	○	全数	直ちに
	16 細菌性赤痢	○	—	○		
	17 腸管出血性大腸菌感染症	○	—	○		
	18 腸チフス	○	—	○		
	19 パラチフス	○	—	○		
四類	20 E型肝炎	○	—	○	全数	直ちに
	21 ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む。)	○	—	○		
	22 A型肝炎	○	—	○		
	23 エキノコックス症	○	—	○		
	24 黄熱	○	—	○		
	25 オウム病	○	—	○		
	26 オムスク出血熱	○	—	○		
	27 回帰熱	○	—	○		
	28 キャサヌル森林病	○	—	○		
	29 Q熱	○	—	○		
	30 狂犬病	○	—	○		
	31 コクシジオイデス症	○	—	○		
	32 サル痘	○	—	○		
	33 ジカウイルス感染症	○	—	○		
	34 重症熱性血小板減少症候群 (病原体がフレボウイルス属SFTSウイルスであるものに限る。)	○	—	○		
	35 腎症候性出血熱	○	—	○		
	36 西部ウマ脳炎	○	—	○		
	37 ダニ媒介脳炎	○	—	○		
	38 炭疽	○	—	○		
	39 チクングニア熱	○	—	○		
40 つつが虫病	○	—	○			
41 デング熱	○	—	○			
42 東部ウマ脳炎	○	—	○			
43 鳥インフルエンザ (H5N1及びH7N9を除く)	○	—	○			
44 ニパウイルス感染症	○	—	○			
45 日本紅斑熱	○	—	○			

※結核の無症状病原体保有者については、結核医療を必要としないと認められる場合は届出不要。

	疾患名	届出対象者			届出方法	
		患者	疑似症患者	無症状病原体保有者	届出別	時期
四 類	45 日本紅斑熱	○	—	○	全数	直ちに
	46 日本脳炎	○	—	○		
	47 ハンタウイルス肺症候群	○	—	○		
	48 Bウイルス病	○	—	○		
	49 鼻疽	○	—	○		
	50 ブルセラ症	○	—	○		
	51 ベネズエラウマ脳炎	○	—	○		
	52 ヘンドラウイルス感染症	○	—	○		
	53 発しんチフス	○	—	○		
	54 ボツリヌス症	○	—	○		
	55 マラリア	○	—	○		
	56 野兎病	○	—	○		
	57 ライム病	○	—	○		
	58 リッサウイルス感染症	○	—	○		
	59 リフトバレー熱	○	—	○		
60 類鼻疽	○	—	○			
61 レジオネラ症	○	—	○			
62 レプトスピラ症	○	—	○			
63 ロッキー山紅斑熱	○	—	○			
指定感染症	—	—	—	—	—	

※令和3年2月13日現在、政令に基づく指定感染症なし。

2 五類感染症（全数把握）

	疾患名	届出対象者			届出方法			
		患者	疑似症患者	無症状病原体保有者	届出別	時期		
64	アメーバ赤痢	○	—	—	全数	7日以内		
65	ウイルス性肝炎 (E型肝炎及びA型肝炎を除く。)	○	—	—				
66	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	○	—	—				
67	急性弛緩性麻痺（急性灰白髄炎を除く。)	○	—	—				
68	急性脳炎 (ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。)	○	—	—				
69	クリプトスポリジウム症	○	—	—				
70	クロイツフェルト・ヤコブ病	○	—	—				
71	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	○	—	—				
72	後天性免疫不全症候群	○	—	○				
73	ジアルジア症	○	—	—				
74	侵襲性インフルエンザ菌感染症	○	—	—				
75	侵襲性髄膜炎菌感染症	○	—	—			全数	直ちに
76	侵襲性肺炎球菌感染症	○	—	—			全数	7日以内
77	水痘（患者が入院を要すると認められるものに限る。)	○	—	—				
78	先天性風しん症候群	○	—	—				
79	梅毒	○	—	○				
80	播種性クリプトコックス症	○	—	—				
81	破傷風	○	—	—				
82	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	○	—	—				
83	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	○	—	—				
84	百日咳	○	—	—				
85	風しん	○	—	—				
86	麻しん	○	—	—	全数	直ちに		
87	薬剤耐性アシネトバクター感染症	○	—	—	全数	7日以内		

3 新型インフルエンザ等感染症

	疾患名	届出対象者			届出方法	
		患者	疑似症患者	無症状病原体保有者	届出種別	時期
116	新型インフルエンザ	○	○	○	全数	直ちに
117	再興型インフルエンザ	○	○	○		
118	新型コロナウイルス感染症	○	○	○		
119	再興型コロナウイルス感染症	○	○	○		

4 五類感染症（定点把握）

	疾患名	届出対象者			届出方法	
		患者	疑似症患者	無症状病原体保有者	届出種別 (定点)	時期
88	RSウイルス感染症	○	—	—	別表2参照	
89	咽頭結膜熱	○	—	—		
90	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	○	—	—		
91	感染性胃腸炎	○	—	—		
92	水痘	○	—	—		
93	手足口病	○	—	—		
94	伝染性紅斑	○	—	—		
95	突発性発しん	○	—	—		
96	ヘルパンギーナ	○	—	—		
97	流行性耳下腺炎	○	—	—		
98	不明発しん症（都単独）	○	—	—		
99	川崎病（都単独）	○	—	—		
100	インフルエンザ (鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。)	○	—	—		
101	急性出血性結膜炎	○	—	—		
102	流行性角結膜炎	○	—	—		
103	性器クラミジア感染症	○	—	—		
104	性器ヘルペスウイルス感染症	○	—	—		
105	尖圭コンジローマ	○	—	—		
106	淋菌感染症	○	—	—		
107	膻トリコモナス症（都単独）	○	—	—		
108	クラミジア肺炎（オウム病を除く。）	○	—	—		
109	感染性胃腸炎 (病原体がロタウイルスであるものに限る。)	○	—	—		
110	細菌性髄膜炎 (インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く)	○	—	—		
111	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	○	—	—		
112	マイコプラズマ肺炎	○	—	—		
113	無菌性髄膜炎	○	—	—		
114	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	○	—	—		
115	薬剤耐性緑膿菌感染症	○	—	—		

5 疑似症

	届出対象	届出対象者			調査単位 (期間)	時期
		患者	疑似症患者	無症状病原体保有者		
120	発熱、呼吸器症状、発しん、消化器症状又は神経症状その他感染症を疑わせるような症状のうち、医師が一般に認められている医学的知見に基づき、集中治療その他これに準ずるものが必要であり、かつ、直ちに特定の感染症と診断することができないと判断したもの。	—	○	—	別表3参照	

五類感染症（定点把握）の調査単位と報告時期

定点種別	疾患名	調査単位 (期間)	時 期
小児科定点 ※	RSウイルス感染症	週単位 (月曜日から日曜日。以下同じ。)	次の月曜日
	咽頭結膜熱		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		
	感染性胃腸炎		
	水痘		
	手足口病		
	伝染性紅斑		
	突発性発しん		
	ヘルパンギーナ		
	流行性耳下腺炎		
	不明発しん症 (都単独)		
	川崎病 (都単独)		
インフルエンザ (鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。)			
内科定点※	インフルエンザ (鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。)	週単位	次の月曜日
眼科定点	急性出血性結膜炎	週単位	次の月曜日
	流行性角結膜炎		
性感染症 定点	性器クラミジア感染症	月単位	翌月初日
	性器ヘルペスウイルス感染症		
	尖圭コンジローマ		
	淋菌感染症		
	臍トリコモナス症 (都単独)		
基幹 定点	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	週単位	次の月曜日
	感染性胃腸炎 (病原体がロタウイルスであるものに限る。)		
	細菌性髄膜炎 (インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く)		
	マイコプラズマ肺炎		
	無菌性髄膜炎		
	インフルエンザ (鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。入院患者のみ。)		
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	月単位	翌月初日
	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		
薬剤耐性緑膿菌感染症			

※小児科定点と内科定点を合わせてインフルエンザ定点とする。

疑似症の調査単位と報告時期

定点種別	届出対象	調査単位 (期間)	時期
疑似症定点	発熱、呼吸器症状、発しん、消化器症状又は神経症状その他感染症を疑わせるような症状のうち、医師が一般に認められている医学的知見に基づき、集中治療その他これに準ずるものが必要であり、かつ、直ちに特定の感染症と診断することができないと判断したもの。	随時	直ちに

(注)

- 1 感染症法に規定する感染症によるものでないことが明らかである場合には、本届出の対象とはならない。
- 2 感染症法に規定する感染症によるものであることが明らかであり、かつ、いずれの感染症であるかが特定可能な場合には、当該感染症の届出基準に基づき届出を行うこととなるため、本届出の対象とはならない。
- 3 当該疑似症が発生した場合は直ちに報告するとともに、発生が無い場合についても週単位で報告する。

別記様式一覧表

番号	別記様式	件名等	別記様式	件名等
別記様式 1	1	感染症発生動向調査病原体定点検査票	39	Q熱発生届
別記様式 2	2	五類感染症（定点把握対象）小児科患者定点報告票	40	狂犬病発生届
別記様式 3	3	五類感染症（定点把握対象）インフルエンザ患者定点報告票	41	コクシジオイデス症発生届
別記様式 4	4	五類感染症（定点把握対象）眼科患者定点報告票	42	サル痘発生届
別記様式 5	5	五類感染症（定点把握対象）性感染症患者定点報告票	43	ジカウイルス感染症発生届
別記様式 6-1、6-2	6-1 6-2	五類感染症（定点把握対象） 基幹患者定点報告票（週報告分）	44	重症熱性血小板減少症候群（病原体がフレボウイルス属 SFTS ウイルスであるものに限る。）発生届
別記様式 7	7	五類感染症（定点把握対象） 基幹患者定点報告票（月報告分）	45	腎症候性出血熱（HFRS）発生届
別記様式 8	8	麻疹発生届	46	西部ウマ脳炎発生届
別記様式 9	9	結核発生届	47	ダニ媒介脳炎発生届
別記様式 10	10	梅毒発生届	48	炭疽発生届
別記様式 11	11	風しん発生届	49	チクングニア熱発生届
別記様式 12	12	エボラ出血熱発生届	50	つつが虫病発生届
別記様式 13	13	クリミア・コンゴ出血熱発生届	51	デング熱発生届
別記様式 14	14	痘そう発生届	52	東部ウマ脳炎発生届
別記様式 15	15	南米出血熱発生届	53	鳥インフルエンザ（鳥インフルエンザ（H5N1 及び H7N9）を除く。）発生届
別記様式 16	16	ペスト発生届	54	ニパウイルス感染症発生届
別記様式 17	17	マールブルグ病発生届	55	日本紅斑熱発生届
別記様式 18	18	ラッサ熱発生届	56	日本脳炎発生届
別記様式 19	19	急性灰白髄炎発生届	57	ハンタウイルス肺症候群発生（HPS）届
別記様式 20	20	ジフテリア発生届	58	B ウイルス病発生届
別記様式 21	21	重症急性呼吸器症候群（SARS）発生届	59	鼻疽発生届
別記様式 22	22	中東呼吸器症候群（MERS）発生届	60	ブルセラ症発生届
別記様式 23	23	鳥インフルエンザ（H5N1）発生届	61	ベネズエラウマ脳炎発生届
別記様式 24	24	鳥インフルエンザ（H7N9）発生届	62	ヘンドラウイルス感染症発生届
別記様式 25	25	コレラ発生届	63	発しんチフス発生届
別記様式 26	26	細菌性赤痢発生届	64	ボツリヌス症発生届
別記様式 27	27	腸管出血性大腸菌感染症発生届	65	マラリア発生届
別記様式 28	28	腸チフス発生届	66	野兔病発生届
別記様式 29	29	パラチフス発生届	67	ライム病発生届
別記様式 30	30	E 型肝炎発生届	68	リッサウイルス感染症発生届
別記様式 31	31	ウエストナイル熱（ウエストナイル脳炎含む）発生届	69	リフトバレー熱発生届
別記様式 32	32	A 型肝炎発生届	70	類鼻疽発生届
別記様式 33	33	エキノкокクス症発生届	71	レジオネラ症発生届
別記様式 34	34	黄熱発生届	72	レプトスピラ症発生届
別記様式 35	35	オウム病発生届	73	ロッキー山紅斑熱発生届
別記様式 36	36	オムスク出血熱発生届	74	侵襲性髄膜炎菌感染症発生届
別記様式 37	37	回帰熱発生届	75	新型コロナウイルス感染症発生届
別記様式 38	38	キャサナル森林病発生届		

<https://idsc.tmph.metro.tokyo.lg.jp/survey/kobetsu/> 参照

感染症発生動向調査病原体定点検査票

【医療機関記入欄】

医療機関名		医師名		【患者報告】 月 日 ~ 月 日 分で報告	
患者報告を行った 該当する1種類の診断名にのみ○をつけてください。 (定点把握疾患の病原体の動向把握を目的とした検査ですので、下記の診断名の疾患を対象としています) ※発生動向調査事業の趣旨をご説明いただき、本人等の同意をとったうえで、検体採取をお願いいたします。					
診断名	小児科	・RSウイルス感染症 ・咽頭結膜熱 ・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 ・感染性胃腸炎 ・水痘 ・手足口病 ・伝染性紅斑 ・突発性発しん ・ヘルパンギーナ ・流行性耳下腺炎 ・川崎病 ・インフルエンザ ※インフルエンザ様疾患(上気道炎・下気道炎等)含む (迅速診断キット検査結果: A型陽性 B型陽性 陰性) ・不明発しん症			
	内科	・インフルエンザ ※インフルエンザ様疾患(上気道炎・下気道炎等)含む (迅速診断キット検査結果: A型陽性 B型陽性 陰性)			
	眼科	・流行性角結膜炎 ・急性出血性結膜炎			
	性感染症	・性器クラミジア感染症 ・性器ヘルペスウイルス感染症 ・尖圭コンジローマ ・淋菌感染症 ・臍トリコモナス症			
	基幹	・クラミジア肺炎(オウム病を除く) ・感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスに限る) ・マイコプラズマ肺炎 ・細菌性髄膜炎(インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因とするものを除く) ・無菌性髄膜炎 ・インフルエンザ ※入院患者のみ (迅速診断キット検査結果: A型陽性 B型陽性 陰性) ・ペニシリン耐性肺炎球菌感染症 ・メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症 ・薬剤耐性緑膿菌感染症			
ID (イニシャル)				居住地	区市町村
発病日	年 月 日	検体採取日	年 月 日	性別	男・女 年齢 歳 ヵ月
検体	・便 ・直腸ぬぐい液 ・尿 ・咽頭ぬぐい液、うがい液、鼻汁 ・吐物 ・喀痰 ・気管吸引液 ・結膜ぬぐい液(結膜擦過物、眼脂) ・その他 []		・髄液 ・皮膚病巣(水疱内容、痂皮、創傷) ・陰部尿道頸管擦過物/分泌物 ・血液(全血、血清、血漿)		
	臨床症状・兆候	・発熱(最高 ℃) ・頭痛 ・発疹(丘疹、紅斑、バラ疹、水疱) ・上気道/下気道炎(咽頭炎、扁桃炎、肺炎、気管支炎) ・筋肉痛、関節痛 ・神経系症状(脳炎、脳症、髄膜炎、意識障害) ・尿路生殖器症状(排尿時痛、かゆみ、膿、下腹部痛、コンジローマ)		・口内・咽頭所見() ・唾液腺腫脹、リンパ節腫脹(部位) ・胃腸炎(下痢、血便、嘔気、嘔吐、腹痛) ・肝機能障害 ・黄疸 ・出血傾向※全身のもの ・腎機能障害 ・結膜炎、角膜炎、角結膜炎	
転 帰		経過観察中、軽快、治癒、後遺症有り、死亡(原因)			
基礎疾患					
発生の状況	・散発 ・地域流行 ・家族内発生 ・集団発生(保育所、幼稚園、小学校、中学校、その他 [])				
最近の海外渡航歴	国名	期間	年 月 日 ~ 年 月 日		
ワクチン接種歴 (当該疾患に係るもの)	(無、有、不明)	ワクチン名	最近の接種年月日	年 月 日	
健安研への連絡事項					

センター記入欄につき
ここには記入しないでください。

感染症発生動向調査（小児科定点）

週報

調査期間 年 月 日(月) ~ 月 日(日) 医療機関名：

疾患名	年齢	~5	~11	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	15	20歳	合計
		ヶ月	ヶ月										~14	~19	以上	
RSウイルス感染症	男															
	女															
咽頭結膜熱	男															
	女															
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	男															
	女															
感染性胃腸炎	男															
	女															
水痘	男															
	女															
手足口病	男															
	女															
伝染性紅斑	男															
	女															
突発性発しん	男															
	女															
ヘルパンギーナ	男															
	女															
流行性耳下腺炎	男															
	女															
不明発しん症	男															
	女															
川崎病	男															
	女															

注1) 川崎病、不明発しん症は東京都独自の報告対象疾患です。

注2) 感染性胃腸炎については、原因の如何に関わらず、届出基準に合致する患者を診断し、又は死体を検案した

場合に届出を行うこと。

疾患名	年齢	~5	~11	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	15	20	
		ヶ月	ヶ月										~14	~19	~29	
インフルエンザ (鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症をのぞく)	男															
	女															
		30 ~39	40 ~49	50 ~59	60 ~69	70 ~79	80歳 以上	合計								
	男															
	女															

定点医療機関からのコメント

別記様式3

週報

感染症発生動向調査（インフルエンザ定点）

調査期間 年 月 日 ～ 年 月 日 医療機関名:

インフルエンザ (鳥インフルエンザ 及び新型イン フルエンザ等 感染症をのぞ く)	0～5 カ月		6～ 11カ 月	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10～ 14	15～ 19	20～ 29	30～ 39	40～ 49	50～ 59	60～ 69	70～ 79	80歳 以上	合計	
	男	女																					

定点医療機関 からのコメント	
-------------------	--

臨床診断例については、届出後であっても、血清抗体価の測定を実施するとともに、所在地の地方自治体に検体提出し、その結果について最寄りの保健所に報告していただき、検査結果等を総合的に勘案し、麻しんでないと判断された場合は届出の取り下げ等のご協力いただきますようお願いいたします。

麻 し ん 発 生 届

東京都知事（保健所設置市長・特別区長） 殿

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第12条第1項（同条第8項において準用する場合を含む。）の規定により、以下のとおり届け出る。

報告年月日 令和 年 月 日

医師の氏名 _____

従事する病院・診療所の名称 _____

上記病院・診療所の所在地(※) _____

電話番号(※) () - (※病院・診療所に従事していない医師にあっては、その住所・電話番号を記載)

1 診断（検案）した者（死体）の種類					
・患者（確定例） ・感染症死亡者の死体					
2 当該者氏名	3 性別	4 生年月日	5 診断時の年齢(0歳は月齢)	6 当該者職業	
	男・女	年 月 日	歳 (月)		
7 当該者住所					
電話 () -					
8 当該者所在地					
電話 () -					
9 保護者氏名		10 保護者住所 (9、10は患者が未成年の場合のみ記入)			
		電話 () -			

病 型	13 感染原因・感染経路・感染地域
1) 麻しん（検査診断例） 2) 麻しん（臨床診断例） 3) 修飾麻しん（検査診断例）	①感染原因・感染経路（確定・推定） 1 飛沫・飛沫核感染（感染源となった麻疹患者・状況：()） 2 接触感染（感染源となった麻疹患者・物の種類・状況：()） 3 その他 ()
11 症状 ・発熱（月 日出現） ・咳 ・鼻汁 ・結膜充血 ・眼脂 ・コプリック斑 ・発疹（月 日出現） ・肺炎 ・中耳炎 ・腸炎 ・クループ ・脳炎（急性脳炎の届出もお願いします） ・その他 ()	②感染地域（確定・推定） 1 日本国内（ 都道府県 市区町村） 2 国外（ 国 詳細地域 ()） ※ 複数の国又は地域が該当する場合は全て記入すること。 渡航期間（出国日 年 月 日・入国日 年 月 日 国外居住者については、入国日のみで可）
12 診断方法 陰性結果を含め実施したもの全て記載して下さい。 (ア) 分離・同定による病原体の検出 検体：咽頭拭い液・血液・髄液・尿・その他 () 検体採取日(月 日) 結果(陽性・陰性) 遺伝子型：() (イ) 検体から直接のPCR法による病原体遺伝子の検出 検体：咽頭拭い液・血液・髄液・尿・その他 () 検体採取日(月 日) 結果(陽性・陰性) 遺伝子型：() (ウ) 血清IgM抗体の検出 検体採取日(月 日) 結果(陽性・陰性・判定保留) 抗体価：() (エ) ペア血清での抗体の検出 検体採取日(1回目 月 日 2回目 月 日) 抗体価 (1回目 2回目) 結果：抗体陽転・抗体価の有意上昇 検査方法：EIA・HI・NT・PA・その他 () (オ) その他の検査方法 () 検体 () 検体採取日(月 日) 結果 () (カ) 臨床決定 ()	③麻しん含有ワクチン接種歴 1回目 有(歳)・無・不明 ワクチンの種類(麻しん単抗原・MR・MMR・不明) 接種年月日(S・H 年 月 日・不明) 製造会社/Lot番号(/ ・不明) 2回目 有(歳)・無・不明 ワクチンの種類(麻しん単抗原・MR・MMR・不明) 接種年月日(S・H 年 月 日・不明) 製造会社/Lot番号(/ ・不明)
	14 初診年月日 令和 年 月 日
	15 診断（検案(※)）年月日 令和 年 月 日
	16 感染したと推定される年月日 令和 年 月 日
	17 発病年月日(※) 令和 年 月 日
	18 死亡年月日(※) 令和 年 月 日
	19 その他感染症のまん延の防止及び当該者の医療のために医師が必要と認める事項

この届出は診断後直ちに行ってください

(1, 3, 11 から 13 欄は該当する番号等を○で囲み、4, 5, 14 から 18 欄は年齢、年月日を記入すること。(※) 欄は、死亡者を検案した場合のみ記入すること。(※) 欄は、患者（確定例）を診断した場合のみ記入すること。11, 12 欄は、該当するものすべてを記載すること。)

診断した医師の方へのお願い

感染症法第15条により、積極的疫学調査を実施致します（この場合、医師の守秘義務は解除されます）。しかし、迅速な感染拡大防止のため、保健所の調査前であっても、患者（又は保護者）の同意が得られた場合には、下記及び裏面調査票により情報提供をお願い致します。

ア. 集団生活：無、有（園児、小・中・高・大・その他の学生、施設入所者、その他())	
イ. 集団に接する職業：無、有（保育士、教師、施設職員、医療従事者、その他())	
ウ. 集団に接する機会：無、有（施設での実習、ボランティア活動、その他())	
エ. 日本国内での滞在期間：長期滞在、一時滞在（帰国予定 年 月 日）	

保健所への裏面調査票記載の情報提供に関する患者（あるいは保護者）の同意（有・無）

※ 迅速な感染源探索、二次感染対策に役立てるため、患者（あるいは保護者）の同意がとれた場合に、下記の事項について可能な限りご記入をお願いいたします。

1 患者の情報について記入してください。該当がない場合には「なし」に○をつけてください。

通学先・勤務先等	あり（ <input type="checkbox"/> ） なし（ <input type="checkbox"/> ）
同居者（家族・同室者等）	あり（ <input type="checkbox"/> ） なし（ <input type="checkbox"/> ）

2 感染源に関する情報（発症約2週間前に出かけた場所、会った人）

(1) 周囲に麻しんと診断された方はいましたか

いた （どなたですか ）

わからない

(2) 出かけた場所はどちらですか

- ・ 海外：渡航先
- ・ 職場や学校、保育所等：施設名
- ・ 人が多く集まる場所（クラブ活動、習い事、イベント、会食等）：名称
- ・ その他：名称

3 二次感染に関する情報（発症1日前から解熱後3日目までに出かけた場所、会った人）

- ・ 職場や学校、保育所等：施設名
- ・ 人が多く集まる場所（クラブ活動、習い事、イベント、会食等）：名称
- ・ 医療機関：名称
- ・ 救急車、タクシーなど
- ・ その他：名称

梅 毒 発 生 届

都道府県知事（保健所設置市長・特別区長） 殿

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第 12 条第 1 項（同条第 8 項において準用する場合を含む。）の規定により、以下のとおり届け出る。

報告年月日 令和 年 月 日

医師の氏名 _____

従事する病院・診療所の名称 _____

上記病院・診療所の所在地(※) _____

電話番号(※) () - _____

(※病院・診療所に従事していない医師にあつては、その住所・電話番号を記載)

1 診断（検案）した者（死体）の類型	
・患者（確定例） ・無症状病原体保有者 ・感染症死亡者の死体	
2 性別	3 診断時の年齢（0 歳は月齢）
男 ・ 女	歳（ 月 ）
病 型	
① 病型 1) 早期顕症梅毒(7、I 期 イ、II 期) 2) 晩期顕症梅毒、 3) 先天梅毒、4) 無症候（無症状病原体保有者） ② HIV 感染症合併の有無 1) 有 2) 無 3) 不明	1 1 感染原因・感染経路・感染地域 ① 感染原因・感染経路（確定・推定） 1 性的接触 (A. 性交 B. 経口) (ア. 同性間 イ. 異性間 ウ. 不明) (性風俗産業の従事歴（直近6か月以内） 1) 有 2) 無 3) 不明) (性風俗産業の利用歴（直近6か月以内） 1) 有 2) 無 3) 不明) 2 静注薬物使用 3 母子感染（ア. 胎内・出産時 イ. 母乳） 4 輸血・血液製剤 (輸血・血液製剤の種類・使用年月・状況：) 5 その他（ ） 6 不明 ② 感染地域（確定 ・ 推定） 1 日本国内（ 都道府県 市区町村） 2 国外 (国名： 詳細地域：) 3 不明 ③ 過去の治療歴 1) 1年より前 2) 1年以内 3) なし 4) 不明
4 症 状 ・初期硬結（性器、肛門、口唇、口腔咽頭、その他（ ）） ・硬性下疳（性器、肛門、口唇、口腔咽頭、その他（ ）） ・鼠径リンパ節腫脹（無痛性） ・梅毒性バラ疹 ・丘疹性梅毒疹 ・扁平コンジローマ ・ゴム腫 ・心血管症状 ・神経症状 ・眼症状 ・骨軟骨炎 ・実質性角膜炎 ・感音性難聴 ・Hutchinson 歯 ・その他（ ） ・なし	1 2 感染症のまん延の防止及び当該者の医療のために必要な事項として厚生労働大臣が定める事項 ・妊娠の有無 1) 有（ 週） 2) 無 3) 不明
5 診断方法 ① 患者（確定例）の場合 ・病変からの病原体の検出（染色法、PCR 検査） ・次の1)、2)の両方の抗体検査による血清抗体の検出 1) カルジオリピンを抗原とする検査 2) <i>T. pallidum</i> を抗原とする検査 ② 無症状病原体保有者の場合 ・次の1)、2)の両方の抗体検査による血清抗体の検出 1) カルジオリピンを抗原とする検査 (抗体価を記載、16 倍相当以上が必要) 結果：(倍、R.U.、U 又は SU/ml) 2) <i>T. pallidum</i> を抗原とする検査 ・その他の検査方法（ ） 検体（ ） 結果（ ）	6 初診年月日 令和 年 月 日 7 診断（検案(※)）年月日 令和 年 月 日 8 感染したと推定される年月日 令和 年 月 日 9 発病年月日（*） 令和 年 月 日 10 死亡年月日（※） 令和 年 月 日

この届出は診断から7日以内に行ってください

(1, 2, 4, 5, 11, 12 欄は該当する番号等を○で囲み、3, 6 から 10 欄は年齢、年月日を記入すること。

(※) 欄は、死亡者を検案した場合のみ記入すること。

(*) 欄は、患者（確定例）を診断した場合のみ記入すること。

4, 5 欄は、該当するものすべてを記載すること。)

以下の項目は、梅毒対策に役立てるため、感染症法第 15 条に基づく積極的疫学調査の一環として情報提供を求めるものです。本調査により、個人が特定されることはありません。患者の協力が得られた場合には御記入願います（数字を○で囲んでください）。

ア. 国籍 1 日本 2 その他 3 不明
 イ. 居住地 1 日本（ 都道府県 市区町村） 2 国外（国名： ）

臨床診断例については、届出後であっても、血清抗体価の測定を実施するとともに、所在地の地方自治体に検体提出し、その結果について最寄りの保健所に報告していただき、検査結果等を総合的に勘案し、風しんでないと判断された場合は届出の取り下げ等のご協力いただきますようお願いいたします。

風 し ん 発 生 届

東京都知事（保健所設置市長・特別区長） 殿

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第 1 2 条第 1 項（同条第 8 項において準用する場合を含む。）の規定により、以下のとおり届け出る。

報告年月日 令和 年 月 日

医師の氏名 _____

従事する病院・診療所の名称 _____

上記病院・診療所の所在地(※) _____

電話番号(※) () () () _____

(※病院・診療所に従事していない医師にあつては、その住所・電話番号を記載)

1 診断（検査）した者（死体）の類型					
・患者（確定例） ・感染症死亡者の死体					
2 当該者氏名	3 性別	4 生年月日	5 診断時の年齢(0歳は月齢)	6 当該者職業	
	男・女	年 月 日	歳 (か月)		
7 当該者住所	電話 () -				
8 当該者所在地	電話 () -				
9 保護者氏名	10 保護者住所	(9、10は患者が未成年の場合のみ記入)			
	電話 () -				

病 型		13 感染原因・感染経路・感染地域
1) 風しん（検査診断例） 2) 風しん（臨床診断例）		①感染原因・感染経路（ 確定・推定 ）
11 症状	・発熱（ 月 日出現） ・咳 ・鼻汁 ・結膜充血 ・発疹（ 月 日出現） ・リンパ節腫脹 ・関節痛・関節炎 ・血小板減少性紫斑病 ・脳炎（急性脳炎の届出もお願いします） ・その他（ ）	1 飛沫感染（感染源となった風しん患者・状況： ） 2 接触感染（感染源となった風しん患者・物の種類・状況： ） 3 その他（ ）
12 診断方法	陰性結果を含め実施したもの全て記載して下さい。 (ア) 分離・同定による病原体の検出 検体： 咽頭拭い液・血液・髄液・尿・その他（ ） 検体採取日（ 月 日 ） 結果（ 陽性・陰性 ） 遺伝子型：（ ） (イ) 検体から直接のPCR法による病原体遺伝子の検出 検体： 咽頭拭い液・血液・髄液・尿・その他（ ） 検体採取日（ 月 日 ） 結果（ 陽性・陰性 ） 遺伝子型：（ ） (ウ) 血清IgM抗体の検出 検体採取日（ 月 日 ） 結果（ 陽性・陰性・判定保留 ） 抗体価：（ ） (エ) ペア血清での抗体の検出 検体採取日（1回目 月 日 2回目 月 日） 抗体価（1回目 2回目 ）(単位) 結果：抗体陽転・抗体価の有意上昇 検査方法：HI・EIA・ELFA・LTI・CLEIA・LA その他（ ） (オ) その他の検査方法（ ） 検体（ ） 検体採取日（ 月 日 ） 結果（ ） (カ) 臨床決定（ ）	②感染地域（ 確定 ・ 推定 ） 1 日本国内（ 都道府県 市区町村） 2 国外（ 国 詳細地域 ） ※ 複数の国又は地域が該当する場合は全て記入すること。 渡航期間（出国日 年 月 日・入国日 年 月 日 国外居住者については、入国日のみで可） ③風しん含有ワクチン接種歴 1回目 有（ 歳）・無・不明 ワクチンの種類（風しん単抗原・MR・MMR・不明） 接種年月日（ S・H 年 月 日・不明） 製造会社/Lot番号（ / ・不明） 2回目 有（ 歳）・無・不明 ワクチンの種類（風しん単抗原・MR・MMR・不明） 接種年月日（ S・H 年 月 日・不明） 製造会社/Lot番号（ / ・不明）
		14 初診年月日 令和 年 月 日
		15 診断（検査(※)）年月日 令和 年 月 日
		16 感染したと推定される年月日 令和 年 月 日
		17 発病年月日（*） 令和 年 月 日
		18 死亡年月日（※） 令和 年 月 日
		19 その他感染症のまん延の防止及び当該者の医療のため に必要と認める事項 ・妊娠の有無(女性のみ) 有（ 週）・無・不明

この届出は診断後直ちに行ってください

(病型、1、3、11から13,19欄は該当する番号等を○で囲み、4、5、14から18欄は年齢、年月日を記入すること。
(※)欄は、死亡者を検査した場合のみ記入すること。(*)欄は、患者（確定例）を診断した場合のみ記入すること。

診断した医師の方へお願い

感染症法第 15 条により、積極的疫学調査を実施致します（この場合、医師の守秘義務は解除されます）。しかし、迅速な感染拡大防止のため、保健所の調査前であっても、患者（又は保護者）の同意が得られた場合には、下記及び裏面調査票により情報提供をお願い致します。

ア. 集団生活：無、有（園児・小・中・高・大・その他の学生、施設入所者、その他（ ））	
イ. 集団に接する職業：無、有（保育士、教師、施設職員、医療従事者、その他（ ））	
ウ. 集団に接する機会：無、有（施設での実習、ボランティア活動、その他（ ））	
エ. 妊婦との接触：無、有	
オ. 日本国内での滞在期間：長期滞在、一時滞在（帰国予定 年 月 日）	

保健所への裏面調査票記載の情報提供に関する患者（あるいは保護者）の同意（有・無）

※ 迅速な感染源探索、二次感染対策に役立てるため、患者（あるいは保護者）の同意がとれた場合に、下記の事項について可能な限りご記入をお願いいたします。

1 患者の情報について記入してください。該当がない場合には「なし」に○をつけてください。

通学先・勤務先等	あり（ ） なし
家族・同室者等	あり（ ） なし

2 感染源に関する情報（発症約3週間前に出かけた場所、会った人）

(1) 周囲に風しんと診断された方はいましたか

いた（ どなたですか ）

わからない

(2) 出かけた場所はどちらですか

- ・ 海外：渡航先
- ・ 職場や学校、保育所等：施設名
- ・ 人が多く集まる場所（クラブ活動、習い事、イベント、会食等）：名称
- ・ その他：名称

3 二次感染に関する情報（発疹が出現する7日前から出現後5日目までに出かけた場所、会った人）

(1) 周囲に妊婦の方はいますか

いる（ どなたですか ）

いない

(2) 出かけた場所はどちらですか

- ・ 職場や学校、保育所等：施設名
- ・ 人が多く集まる場所（クラブ活動、習い事、イベント、会食等）：名称
- ・ 医療機関：名称
- ・ 救急車、タクシーなど：
- ・ その他：名称

侵襲性髄膜炎菌感染症発生届

都道府県知事（保健所設置市長・特別区長） 殿

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第 1 2 条第 1 項（同条第 8 項において準用する場合を含む。）の規定により、以下のとおり届け出る。

報告年月日 令和 年 月 日

医師の氏名 _____

従事する病院・診療所の名称 _____

上記病院・診療所の所在地(※) _____

電話番号(※) () - _____

(※病院・診療所に従事していない医師にあつては、その住所・電話番号を記載)

1 診断（検案）した者（死体）の種類					
・患者（確定例） ・感染症死亡者の死体					
2 当該者氏名	3 性別	4 生年月日	5 診断時の年齢(0 歳は月齢)	6 当該者職業	
	男・女	年 月 日	歳 (か月)		
7 当該者住所					
電話 () -					
8 当該者所在地					
電話 () -					
9 保護者氏名	10 保護者住所 (9、10 は患者が未成年の場合のみ記入)				
	電話 () -				

11 症 状	<ul style="list-style-type: none"> ・頭痛 ・嘔吐 ・意識障害 ・点状出血 ・髄膜炎 ・多臓器不全 	<ul style="list-style-type: none"> ・発熱 ・発疹 ・項部硬直 ・ショック ・菌血症 ・その他 () 	18 感染原因・感染経路・感染地域	①感染原因・感染経路 (確定・推定) 1 飛沫・飛沫核感染 (感染源の種類・状況:) 2 接触感染 (接触した人・物の種類・状況:) 3 その他 ()	この届出は診断後直ちに行ってください
	②感染地域 (確定 ・ 推定) 1 日本国内 (都道府県 市区町村) 2 国外 (国 詳細地域) ※ 複数の国又は地域が該当する場合は全て記入すること。 渡航期間 (出国日 年 月 日・入国日 年 月 日 国外居住者については、入国日のみで可)	③共同生活の有無 (有 ・ 無) 1 学生寮 2 社員寮 3 その他 ()			
12 診 断 方 法	・分離・同定による病原体の検出 検体：髄液・血液・その他 () 血清群：未実施・A群・B群・C群・Y群・W-135 群・その他 ()			19 その他感染症のまん延の防止及び当該者の医療のため に医師が必要と認める事項	
	・検体からの直接の PCR 法による病原体遺伝子の検出 検体：髄液・血液・その他 () 血清群：未実施・A群・B群・C群・Y群・W-135 群・その他 ()				
	・その他の検査方法 () 検体 () 結果 ()				
13 初診年月日	令和	年	月	日	
14 診断（検案(※)）年月日	令和	年	月	日	
15 感染したと推定される年月日	令和	年	月	日	
16 発病年月日 (*)	令和	年	月	日	
17 死亡年月日 (※)	令和	年	月	日	

(1, 3, 11, 12, 18 欄は該当する番号等を○で囲み、4, 5, 13 から 17 欄は年齢、年月日を記入すること。
 (※) 欄は、死亡者を検案した場合のみ記入すること。(*) 欄は、患者（確定例）を診断した場合のみ記入すること。
 11, 12 欄は、該当するものすべてを記載すること。)

診断した医師の方へのお願い

感染症法第 15 条により、積極的疫学調査を実施致します（この場合、医師の守秘義務は解除されます）。しかし、迅速な感染拡大防止のため、保健所の調査前であっても、患者（又は保護者）の同意が得られた場合には、下記及び裏面調査票により情報提供をお願い致します。

ア.	集団生活：無、有（園児・小・中・高・大・その他の学生、施設入所者、その他())
イ.	集団に接する職業：無、有（保育士、教師、施設職員、医療従事者、その他())
ウ.	集団に接する機会：無、有（施設での実習、ボランティア活動、その他())
エ.	日本国内での滞在期間：長期滞在、一時滞在（帰国予定 年 月 日）

保健所への裏面調査票記載の情報提供に関する患者（あるいは保護者）の同意 (有・無)

※ 迅速な感染源探索、二次感染対策に役立てるため、患者（あるいは保護者）の同意がとれた場合に、下記の事項について可能な限りご記入をお願いいたします。

1 基本属性を記入してください。該当がない場合には「なし」に○をつけてください。

所属名（保育園・学校・勤務先）	あり（ <input type="checkbox"/> ） なし（ <input type="checkbox"/> ）
同居家族 ※寮、シェアハウスの場合は 施設名を記入	あり（ <input type="checkbox"/> ） なし（ <input type="checkbox"/> ）

2 感染源に関する情報（発症約7日間前に出かけた場所、会った人）

(1) 周囲に侵襲性髄膜炎菌感染症の方はいましたか

いた （どなたですか ）

わからない

(2) 出かけた場所はどちらですか

- ・海外：渡航先
- ・職場や学校、保育園等：施設名
- ・人が多く集まる場所（クラブ、習い事、イベント等）：名称
- ・その他：名称

3 二次感染に関する情報（発症後にいた場所、接触した人）

- ・職場や学校、保育園等：施設名
- ・人が多く集まる場所（クラブ、習い事、イベント等）：名称
- ・医療機関：名称
- ・救急車、タクシーなどの交通機関：
- ・その他：名称

新型コロナウイルス感染症 発生届

都道府県知事（保健所設置市長・特別区長） 殿

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第12条第1項（同条第8項において準用する場合を含む。）の規定により、以下のとおり届け出る。 報告年月日 令和 年 月 日

医師の氏名 _____
 従事する病院・診療所の名称 _____
 上記病院・診療所の所在地(※) _____
 電話番号(※) () - _____

(※病院・診療所に従事していない医師にあつては、その住所・電話番号を記載)

1 診断（検案）した者（死体）の種類					
・患者（確定例） ・無症状病原体保有者 ・疑似症患者（*） ・感染症死亡者の死体 ・感染症死亡疑い者の死体（*）疑似症患者について、当該者が入院を要しないと認められる場合は、本発生届の提出は不要。					
2 当該者氏名（フリガナ）	3 性別	4 生年月日	5 診断時の年齢(0歳は月齢)	6 当該者職業	
	男・女	年 月 日	歳 (月)		
7 当該者住所	電話 () -				
8 当該者所在地	電話 () -				
9 保護者氏名	10 保護者住所 (9、10は患者が未成年の場合のみ記入)				
	電話 () -				

患者本人への検査結果伝達（済・未）

11 症状	<ul style="list-style-type: none"> 発熱 ・咳 ・咳以外の急性呼吸器症状 肺炎像 ・重篤な肺炎 ・急性呼吸窮迫症候群 多臓器不全 ・全身倦怠感 ・頭痛 ・嘔気／嘔吐 下痢 ・結膜炎 ・嗅覚・味覚障害 酸素飽和度（室内気）： % その他 () ・症状なし 	18 感染原因・感染経路・感染地域
	<ul style="list-style-type: none"> 分離・同定による病原体の検出 検体：喀痰、気道吸引液、肺胞洗浄液、咽頭拭い液、鼻腔吸引液、鼻腔拭い液、鼻咽頭拭い液、便、唾液、剖検材料、その他 () 検体採取日 (月 日) 結果 (陽性・陰性) 検体から核酸増幅法（PCR法 LAMP法など）による病原体遺伝子の検出 検体：喀痰、気道吸引液、肺胞洗浄液、咽頭拭い液、鼻腔吸引液、鼻腔拭い液、鼻咽頭拭い液、便、唾液、剖検材料、その他 () 検体採取日 (月 日) 結果 (陽性・陰性) 抗原定性検査による病原体の抗原の検出 検体：鼻腔拭い液、鼻咽頭拭い液、唾液 検体採取日 (月 日) 結果 (陽性・陰性) 抗原定量検査による病原体の抗原の検出 検体：鼻腔拭い液、鼻咽頭拭い液、唾液 検体採取日 (月 日) 結果 (陽性・陰性) 	①感染原因・感染経路（確定・推定） 1 飛沫核・飛沫感染（感染源の種類・状況： _____） 2 接触感染（接触した人・物の種類・状況： _____） 3 その他 () _____ ②感染地域（確定・推定） 1 日本国内 (都道府県 市区町村) 2 国外(国： _____ 詳細地域： _____) ※ 複数の国又は地域該当する場合は全て記入すること。 渡航期間(出国日 年 月 日・入国日 年 月 日 国外居住者については、入国日のみで可) ③ 新型コロナウイルスワクチン接種歴 1回目 有 (歳) ・ 無 ・ 不明 ワクチンの種類／製造会社 (/ ・ 不明) 接種年月日 (R 年 月 日 ・ 不明) 2回目 有 (歳) ・ 無 ・ 不明 ワクチンの種類／製造会社 (/ ・ 不明) 接種年月日 (R 年 月 日 ・ 不明) 3回目 有 (歳) ・ 無 ・ 不明 ワクチンの種類／製造会社 (/ ・ 不明) 接種年月日 (R 年 月 日 ・ 不明)
12 診断方法		19 その他感染症のまん延の防止及び当該者の医療のために医師が必要と認める事項
13 初診年月日	令和 年 月 日	<ul style="list-style-type: none"> 届出時点の入院の有無 (有・無) 入院例のみ(入院年月日 令和 年 月 日) 重症化のリスクとなる疾患等の有無 (有・無) ※有の場合は、以下から選択 悪性腫瘍、慢性閉塞性肺疾患(COPD)、慢性腎臓病、高血圧、糖尿病、脂質異常症、肥満(BMI30以上)、喫煙歴、その他 () 臓器の移植、免疫抑制剤、抗がん剤等の使用その他の事由により、免疫の機能が低下しているおそれの有無 (有・無) 妊娠の有無 (有・無) 重症度(「新型コロナウイルス感染症(COVID-19)診療の手引き」による)(軽症・中等症Ⅰ、中等症Ⅱ・重症) 入院の必要性の有無 (有・無) 新型コロナウイルス感染症の拡大に際しての限定的・特例的な取扱いによる電話や情報通信機器を用いた診療の有無 (有・無)
14 診断（検案(※)）年月日	令和 年 月 日	
15 感染したと推定される年月日	令和 年 月 日	
16 発病年月日(*)	令和 年 月 日	
17 死亡年月日(※)	令和 年 月 日	

この届出は診断後直ちに行ってください

(1、3、11、12、18、19欄は該当する番号等を○で囲み、4、5、13から17欄は年齢、年月日を記入すること。(※)欄は、死亡者を検案した場合のみ記入すること。(*)欄は、患者(確定例)を診断した場合のみ記入すること。11、12欄は、該当するものすべてを記載すること。)

以下は、感染症法第15条に基づく調査として情報提供を求めるものです。協力が得られた場合には御記入願います。

- 重症化リスクのある同居者の有無(有・無)、高齢者・障害者に係る施設やサービス利用の有無(有・無)、集団感染事例との関連(有・無)※有る場合は集団の詳細 ()
- 日本国内での滞在期間：長期滞在、一時滞在(帰国予定 年 月 日)

感染症発生動向調査事業報告書

令和3年（2021年）

令和4年7月

登録番号（4）2

編集・発行 東京都健康安全研究センター
〒169-0073 東京都新宿区百人町3-24-1
電話（03）3363-3231

印刷所 有限会社 雄久社
〒154-0017 東京都世田谷区世田谷1-24-7
電話（03）5451-7030



リサイクル適性[®](A)

この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。

